

富山市
子ども・子育て支援事業に関する
ニーズ調査結果報告書

令和6年3月
富山県 富山市

目 次

第1部 調査実施の概要と調査結果

第1章 調査実施の概要.....	4
1 調査の目的.....	4
2 調査の設計.....	4
3 調査票の配布と回収状況.....	5
4 報告書の見方.....	6
(1) 年齢・学年の定義.....	6
(2) 電算処理の注意点.....	6
(3) グラフの見方.....	6
5 調査対象者の属性・家族状況.....	7
(1) 就学前児童の属性.....	7
(2) 小学生の属性.....	7
(3) 居住地域の状況.....	8
(4) 調査回答者の状況と配偶者の有無.....	8
第2章 調査結果のまとめ.....	10
1 地域（教育・保育提供区域）別の地域特性等.....	10
第3章 子育て家庭を取り巻く環境.....	22
1 子育ての環境について.....	22
(1) 主な保育者と親族等協力者の状況.....	22
(2) 子育てについての感じ方.....	24
(3) 子育てに関する相談相手の状況.....	25
2 保護者の就労状況.....	26
(1) 母親の就労状況.....	26
(2) 父親の就労状況.....	32
第4章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望.....	38
1 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望.....	38
(1) 平日の定期的な教育・保育事業.....	38
(2) 定期的な教育・保育事業の利用理由と未利用の理由.....	41

2	休日の定期的な教育・保育事業の利用希望	44
(1)	土曜日と日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望.....	44
(2)	長期休暇中の教育・保育事業の利用希望	47
3	子育て支援事業の現状と今後の利用希望	49
(1)	地域子育て支援拠点事業の利用状況.....	49
(2)	今後の利用希望	51
(3)	子育てに関する各種相談事業の周知度・利用状況と今後の利用希望	53
4	病児・病後児保育事業の潜在ニーズ.....	54
(1)	病気やケガで保育所や幼稚園が利用できない時の対処	54
5	不定期に利用している教育・保育事業や一時保育等について.....	59
(1)	不定期に利用している教育・保育事業や一時保育等の状況.....	59
(2)	宿泊を伴う保育の利用状況	64
6	放課後の過ごし方について	66
(1)	平日の放課後の過ごし方	66
(2)	長期休暇期間中の地域児童健全育成事業・放課後児童健全育成事業の 利用希望.....	74
第5章 育児休業制度の利用状況等.....		78
1	育児と仕事の両立支援制度について.....	78
(1)	育児休業制度の利用状況	78
(2)	支援制度の認知状況.....	80
(3)	育児休業取得後の職場復帰の状況.....	80
(4)	短時間勤務制度の利用状況	83
(5)	育児休業取得期間の希望	84
第6章 地域の子育て環境や市の施策について.....		86
1	希望する子育ての相談方法	86
2	子育てに関する情報の入手先.....	87
3	子育てに関して欲しい情報、あるいは不足している情報	88
4	子育てに関する施策の期待度	89
5	地域の子育て環境や支援への満足度.....	90

第2部 地域別の調査結果

第1章 地域別の子育て家庭を取り巻く環境	94
1 子育ての環境について	94
(1) 主な保育者と親族等協力者の状況	94
2 保護者の就労状況	101
(1) 母親の就労状況	101
(2) 父親の就労状況	109
第2章 地域別の子育て支援サービスの現状と今後の利用希望	118
1 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望	118
(1) 平日の定期的な教育・保育事業	118
(2) 定期的な教育・保育事業の未利用の理由	134
2 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望	141
(1) 土曜日と日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望	141
(2) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望	146
3 子育て支援事業の現状と今後の利用希望	148
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況	148
(2) 今後の利用希望	155
4 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ	157
(1) 病気やケガで保育所や幼稚園が利用できない時の対処	157
5 不定期に利用している教育・保育事業や一時保育等について	169
(1) 不定期に利用している教育・保育事業や一時保育等の状況	169
(2) 宿泊を伴う保育の利用状況	181
6 放課後の過ごし方について	186
(1) 平日の放課後の過ごし方	186

資料編 自由意見のまとめ、調査票見本

資料編.....	195
1 子ども・子育て環境や支援に関する自由意見	195
(1) 就学前児童の保護者の自由意見.....	195
(2) 小学生の保護者の自由意見	204
2 「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査」調査票	211
(1) 就学前児童の保護者.....	211
(2) 小学生の保護者	224

第 1 部

調査実施の概要と調査結果

第1章

調査実施の概要

第1章 調査実施の概要

1 調査の目的

本市では「子ども・子育て支援法」に基づき、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会の実現を目指して、令和2年3月に「子どもの貧困対策推進計画」の内容を盛り込んだ「第2期富山市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、様々な子育て支援事業に取り組んでいますが、本計画が令和2年度から6年度までの5か年計画であることから、令和7年度を始期とする第3期計画の策定を予定しています。

第3期計画策定にあたり、必要な情報を得るため、子育て家庭のニーズについて動向分析等を行い、市の現状と今後の子ども・子育て支援における課題を整理することを目的としたアンケート形式によるニーズ調査を実施しました。

2 調査の設計

調査票は調査対象者別に作成しており、各調査の件数および調査期間・方法は、以下のとおりです。

図表1.1 調査票の種類と調査対象者及び調査の実施方法

①調査票「子ども・子育て支援に関するニーズ調査（就学前児童用）」	
調査対象者	就学前児童を持つ保護者
調査票配布数	7,500人
調査期間	令和5年11月28日～令和5年12月25日
調査方法	郵送方式による配布・回収（Web回答も可）
②調査票「子ども・子育て支援に関するニーズ調査（小学生用）」	
調査対象者	小学生を持つ保護者
調査票配布数	2,500人
調査期間	令和5年11月28日～令和5年12月8日
調査方法	小学校による配布・回収

3 調査票の配布と回収状況

調査によるそれぞれの配布・回収状況は、以下のとおりです。

就学前児童は、地域の人口の割合に応じて調査対象 7,500 名を無作為に抽出しています。小学生は、市立小学校の各学年 2 名を抽出(生徒数 0 名を除く)し、残りは地域の人口の割合に応じて割振りして調査対象 2,500 名を抽出しています。

図表1.2 調査票の配布・回収状況

調査対象者区分	地域	配布数(人)	就学前児童の保護者		回収率(%)	
			回収数(人)	Web回答		5歳以上
	市全域	7,500	3,933	1,977	695	52.4
	中央地域	501	283	134	40	56.5
	東部地域	1,859	948	502	161	51.0
	西部地域	481	254	127	50	52.8
	南部地域	1,413	692	359	122	49.0
	北部地域	1,069	570	285	91	53.3
	呉羽地域	422	225	103	45	53.3
	水橋地域	216	100	52	19	46.3
	大沢野・細入地域	386	197	96	37	51.0
	大山地域	89	41	18	11	46.1
	八尾・山田地域	232	131	64	34	56.5
	婦中地域	832	457	233	83	54.9
	地域不明(無回答)		35	4	2	—

調査対象者区分	地域	配布数(人)	小学生の保護者			回収率(%)	
			回収数(人)	低学年	高学年		学年不明(無回答)
	市全域	2,500	2,383	1,156	1,207	20	95.3
	中央地域	158	128	62	66	0	81.0
	東部地域	494	460	225	235	0	93.1
	西部地域	192	179	87	92	0	93.2
	南部地域	427	410	195	215	0	96.0
	北部地域	338	304	150	153	1	89.9
	呉羽地域	166	163	83	80	0	98.2
	水橋地域	91	84	42	42	0	92.3
	大沢野・細入地域	134	125	64	61	0	92.3
	大山地域	76	61	30	31	0	80.3
	八尾・山田地域	130	120	57	63	0	92.3
	婦中地域	294	281	132	148	1	95.6
	地域不明(無回答)		68	29	21	18	—

4 報告書の見方

(1) 年齢・学年の定義

就学前児童・小学生の年齢定義は、アンケート調査において誕生日の年月を回答しているため、下表による年齢区分により集計を行いました。

図表1.3アンケート調査における年齢・学年定義

年齢区分	該当する生年月	年齢区分	該当する生年月
0歳児	令和4年4月以降	6歳児	平成28年4月～平成29年3月
1歳児	令和3年4月～令和4年3月	7歳児	平成27年4月～平成28年3月
2歳児	令和2年4月～令和3年3月	8歳児	平成26年4月～平成27年3月
3歳児	平成31年4月～令和2年3月	9歳児	平成25年4月～平成26年3月
4歳児	平成30年4月～平成31年3月	10歳児	平成24年4月～平成25年3月
5歳児	平成29年4月～平成30年3月	11歳児	平成23年4月～平成24年3月

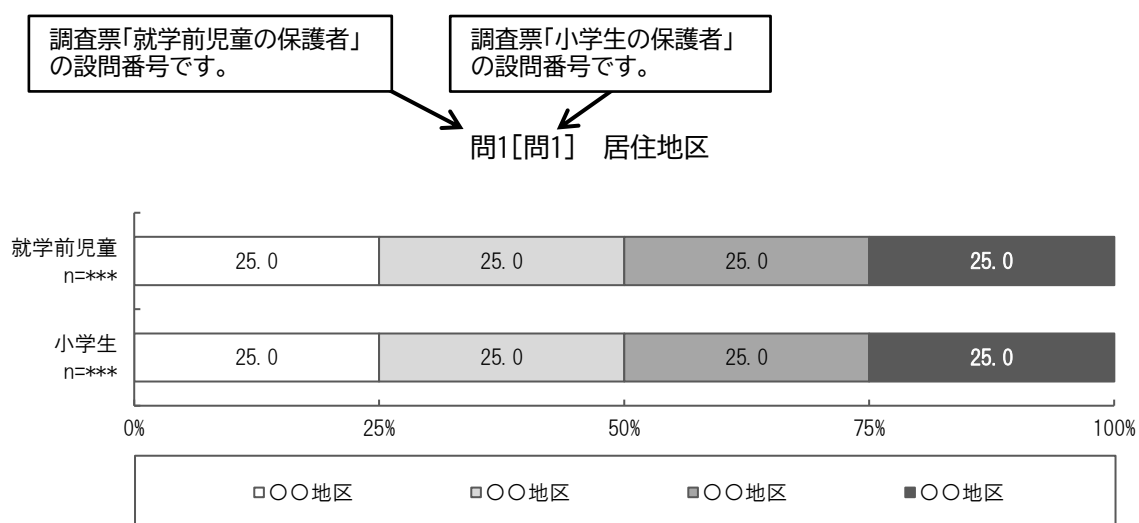
(注) 調査期間【令和5年度】における年齢定義

(2) 電算処理の注意点

調査結果の数値については小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても100%にならない場合があります。また、複数回答が可能な設問では、各項目の割合の合計が100%を超える場合があります。

なお、基数となる実数は「n」として掲載し、各グラフや表の比率は「n」を母数とした割合を示しています。

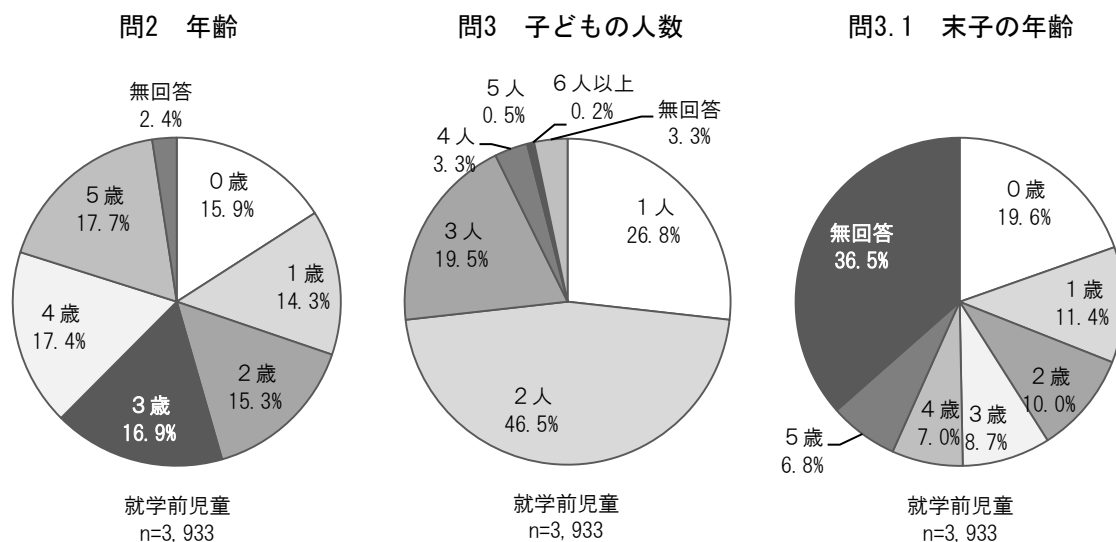
(3) グラフの見方



5 調査対象者の属性・家族状況

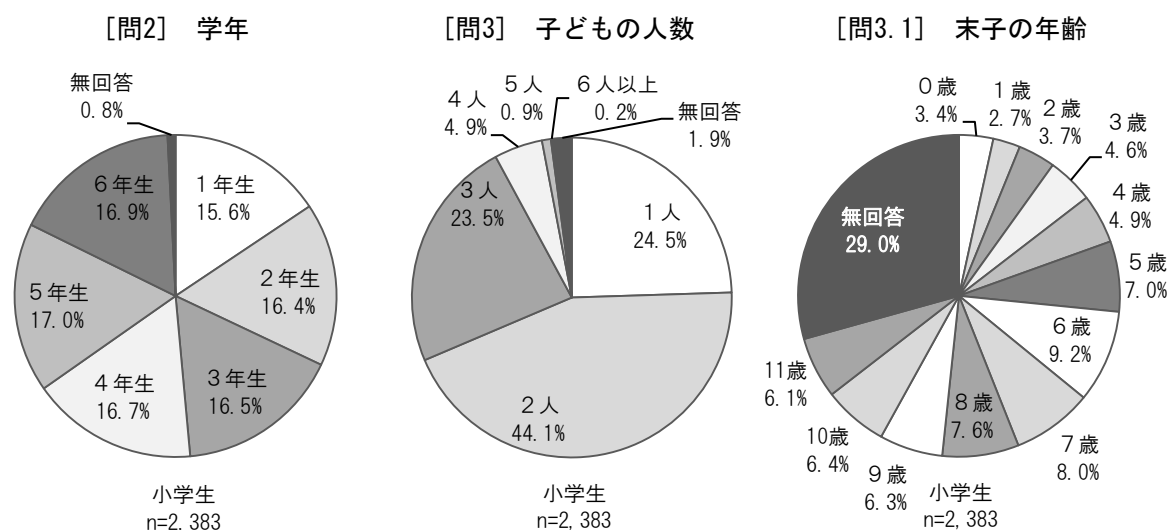
(1) 就学前児童の属性

○回答された3,933人の就学前児童の属性は、以下のとおりです。



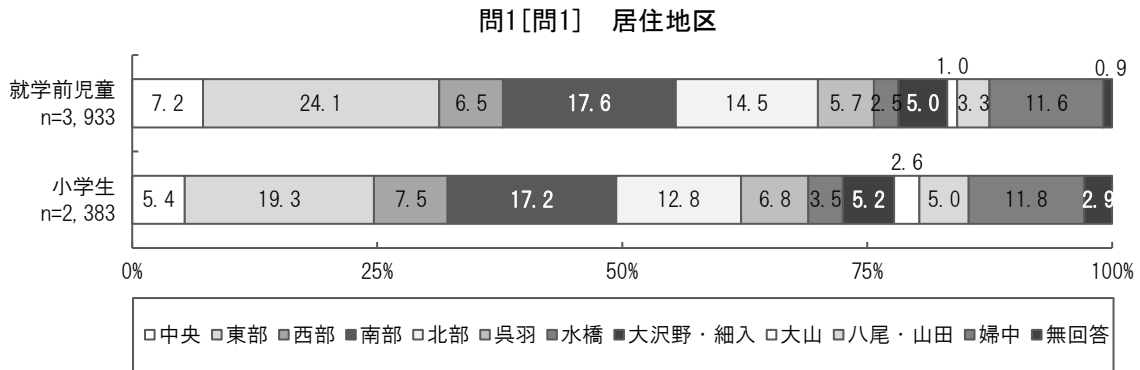
(2) 小学生の属性

○回答された2,383人の小学生の属性は、以下のとおりです。



(3) 居住地域の状況

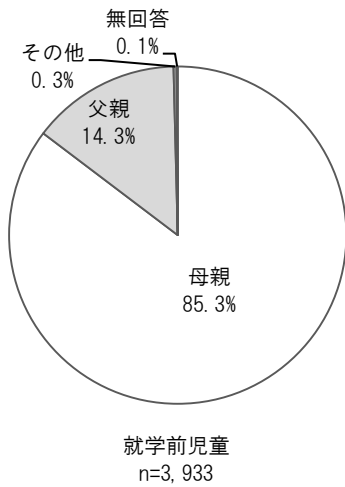
○調査対象者別の回答者の居住地区は以下のとおりです。



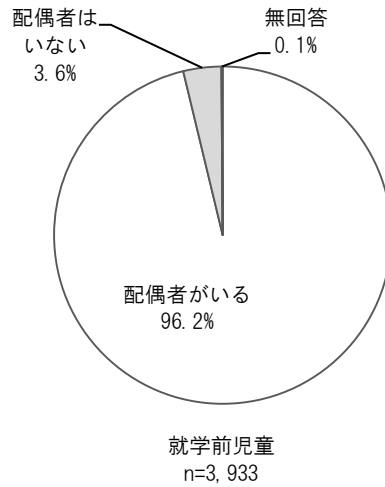
(4) 調査回答者の状況と配偶者の有無

○この調査の回答者は以下のとおりです。

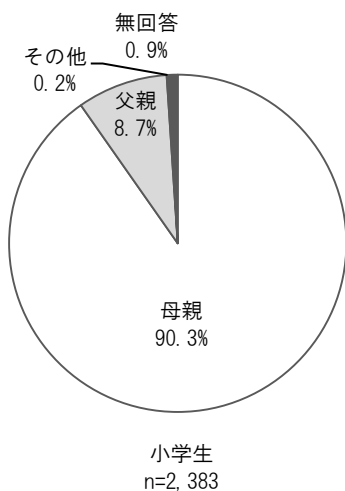
問4 調査回答者（就学前児童）



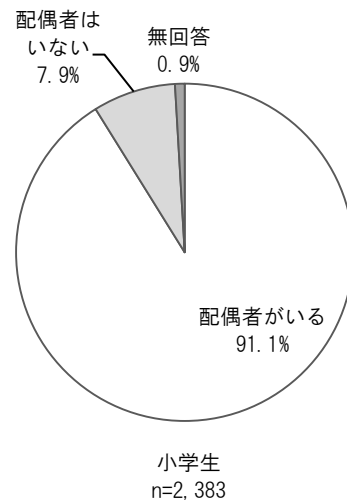
問5 配偶者の有無（就学前児童）



[問4] 調査回答者（小学生）



[問5] 配偶者の有無（小学生）



第2章

調査結果のまとめ

第2章 調査結果のまとめ

1 地域（教育・保育提供区域）別の地域特性等

①中央地域

分析視点	地域特性等
子育て家庭環境	<p>○就学前児童の主な保育者に「父母ともに」と回答している割合は、就学前児童（56.2%）は他地域と比べて最も低く、小学生（60.9%）は市平均値（59.2%）と同程度です。</p> <p>○就学前児童における主な親族・知人等協力者として「いずれもない」（0.0%）は、対象者がいませんでした。</p>
母親の就労状況	<p>○就学前児童では、フルタイム（49.8%）とパートタイム（25.5%）はともに市平均値（54.4%、29.0%）と比べて低い状況です。</p> <p>○小学生では、フルタイム（45.3%）とパートタイム（34.4%）はともに市平均値（52.5%、36.0%）と比べて低い状況です。</p>
定期的な教育・保育事業の利用率とニーズ等	<p>○定期的な教育・保育事業の利用割合は 77.7%で、他地域と比べて最も低い状況です。</p> <p>○「幼稚園」（20.0%）は他地域と比べて最も高く、「認可保育所」（26.8%）は市平均（28.5%）よりやや低い状況です。</p> <p>○「認定こども園」の利用（47.7%）は、市平均値（60.1%）と比べて低い状況です。</p> <p>○利用率（現状）から希望率（今後）の差をみると、「幼稚園の預かり保育」（19.8%）、「幼稚園」（15.0%）、「認可保育所」（13.1%）、「認定こども園」（8.8%）となっています。</p>
子育て支援センターにおける各種事業の利用率とニーズ等	<p>○「子育て支援センター」の利用割合は 16.3%で他地域と比べて最も多く、「保育所、認定こども園等で実施している親子サークル事業など」は 5.7%で、市平均値（5.6%）と同程度です。</p> <p>○新規の利用希望者（20.1%）は他地域と比べて最も多く、回数を増やしたい利用者（7.8%）は 2 番目に多い状況です。</p> <p>○就学前児童の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望は、小学校低学年時期（67.5%）から高学年時期（30.0%）にかけて、6 割近く減少しています。</p> <p>○小学生の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望は、小学校低学年時期（35.5%）から高学年時期（18.0%）にかけて、5 割近く減少しています。</p>
居住地域における子育て環境や満足度	<p>○回答者の平均評価について、就学前児童（3.17）と小学生（3.16）はともに市平均値（2.98、3.01）と比べて高い状況です。</p>

②東部地域

分析視点	地域特性等
子育て家庭環境	<p>○就学前児童の主な保育者に「父母ともに」と回答している割合は、就学前児童（61.0％）は市平均値（63.6％）と比べて低く、小学生（60.0％）は市平均値（59.2％）と同程度です。</p> <p>○就学前児童における主な親族・知人等協力者として「いずれもない」（0.0％）は、対象者がいませんでした。</p>
母親の就労状況	<p>○就学前児童では、フルタイム（54.6％）とパートタイム（28.2％）はともに市平均値（54.4％、29.0％）と同程度です。</p> <p>○小学生では、フルタイム（50.9％）は市平均値（52.5％）と比べて低く、パートタイム（38.9％）は市平均値（36.0％）と比べて高い状況です。</p>
定期的な教育・保育事業の利用率とニーズ等	<p>○定期的な教育・保育事業の利用割合は 79.2％で、他地域と比べて2番目に低い状況です。</p> <p>○「幼稚園」（12.8％）は他地域と比べて2番目に高く、「認可保育所」（24.9％）は市平均（28.5％）より低い状況です。</p> <p>○「認定こども園」の利用（58.2％）は、市平均値（60.1％）と比べてやや低い状況です。</p> <p>○利用率（現状）から希望率（今後）の差をみると、「認可保育所」（16.7％）、「幼稚園」（15.0％）「幼稚園の預かり保育」（9.2％）、「認定こども園」（8.6％）となっています。</p>
子育て支援センターにおける各種事業の利用率とニーズ等	<p>○「子育て支援センター」の利用割合は 12.7％で市平均値（11.9％）と同程度、「保育所、認定こども園等で実施している親子サークル事業など」は 4.2％で、市平均値（5.6％）よりやや低いです。</p> <p>○新規の利用希望者（19.0％）は他地域と比べて3番目に高く、回数を増やしたい利用者（6.0％）は市平均値（5.9％）と同程度です。</p> <p>○就学前児童の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望は、小学校低学年時期（55.9％）から高学年時期（24.8％）にかけて、5割以上減少しています。</p> <p>○小学生の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望は、小学校低学年時期（34.2％）から高学年時期（13.9％）にかけて、6割近く減少しています。</p>
居住地域における子育て環境や満足度	<p>○回答者の平均評価について、就学前児童（2.90）と小学生（2.94）はともに市平均値（2.98、3.01）と比べて低い状況です。</p>

③西部地域

分析視点	地域特性等
子育て家庭環境	<p>○就学前児童の主な保育者に「父母ともに」と回答している割合は、就学前児童（64.2％）は市平均値（63.6％）と同程度、小学生（57.5％）は市平均値（59.2％）と比べてやや低い状況です。</p> <p>○就学前児童における主な親族・知人等協力者として「いずれもない」（0.1％）は、ほとんどいませんでした。</p>
母親の就労状況	<p>○就学前児童では、フルタイム（57.5％）は市平均値（54.4％）と比べて高くパートタイム（24.8％）は市平均値（29.0％）と比べて低い状況です。</p> <p>○小学生では、フルタイム（50.8％）は市平均値（52.5％）と比べて低く、パートタイム（39.1％）は市平均値（36.0％）と比べて高い状況です。</p>
定期的な教育・保育事業の利用率とニーズ等	<p>○定期的な教育・保育事業の利用割合は 81.1％で、市平均値（81.8％）と同程度です。</p> <p>○「幼稚園」（9.2％）・「認可保育所」（28.6％）ともに、市平均（8.8％、28.5％）より高い状況です。</p> <p>○「認定こども園」の利用（61.2％）は、市平均値（60.1％）と同程度です。</p> <p>○利用率（現状）から希望率（今後）の差をみると、「認可保育所」（12.3％）、「幼稚園の預かり保育」（10.4％）、「幼稚園」（9.3％）「認定こども園」（5.8％）となっています。</p>
子育て支援センターにおける各種事業の利用率とニーズ等	<p>○「子育て支援センター」の利用割合は 11.0％で市平均値（11.9％）と同程度、「保育所、認定こども園等で実施している親子サークル事業など」は 7.1％で、他地域と比べて2番目に高い状況です。</p> <p>○新規の利用希望者（16.5％）は他地域と比べて3番目に低く、回数を増やしたい利用者（7.9％）は他地域と比べて最も高い状況です。</p> <p>○就学前児童の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望は、小学校低学年時期（70.0％）から高学年時期（34.0％）にかけて、5割以上減少しています。</p> <p>○小学生の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望は、小学校低学年時期（34.5％）から高学年時期（12.8％）にかけて、6割以上減少しています。</p>
居住地域における子育て環境や満足度	<p>○回答者の平均評価について、就学前児童（3.04）と小学生（3.01）はともに市平均値（2.98、3.01）と同程度です。</p>

④南部地域

分析視点	地域特性等
子育て家庭環境	<p>○就学前児童の主な保育者に「父母ともに」と回答している割合は、就学前児童（65.9%）は市平均値（63.6%）と比べてやや高く、小学生（57.6%）は市平均値（59.2%）と比べてやや低い状況です。</p> <p>○就学前児童における主な親族・知人等協力者として「いずれもない」（13.7%）は、他地域と比べて最も高い状況です。</p>
母親の就労状況	<p>○就学前児童では、フルタイム（52.8%）は他地域と比べて3番目に低く、パートタイム（29.4%）は市平均値（29.0%）と同程度です。</p> <p>○小学生では、フルタイム（49.5%）が他地域と比べて2番目に低く、パートタイム（37.1%）は市平均値（36.0%）と比べて高い状況です。</p>
定期的な教育・保育事業の利用率とニーズ等	<p>○定期的な教育・保育事業の利用割合は82.1%で、市平均値（81.8%）と同程度です。</p> <p>○「幼稚園」（7.2%）は市平均値（8.8%）と比べてやや低く、「認可保育所」（19.0%）では他地域と比べて最も低い状況です。</p> <p>○「認定こども園」の利用（71.0%）は、他地域と比べて2番目に高い状況です。</p> <p>○利用率（現状）から希望率（今後）の差をみると、「認可保育所」（21.9%）、「幼稚園」（15.8%）、「幼稚園の預かり保育」（11.8%）、「認定こども園」（4.5%）となっています。</p>
子育て支援センターにおける各種事業の利用率とニーズ等	<p>○「子育て支援センター」の利用割合は9.7%で市平均値（11.9%）と比べてやや低く、「保育所、認定こども園等で実施している親子サークル事業など」は4.9%で、市平均値（5.6%）と比べてやや低い状況です。</p> <p>○新規の利用希望者（16.5%）は他地域と比べて3番目に低く、回数を増やしたい利用者（6.5%）は他地域と比べて3番目に高い状況です。</p> <p>○就学前児童の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望は、小学校低学年時期（72.1%）から高学年時期（25.4%）にかけて、6割以上減少しています。</p> <p>○小学生の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望は、小学校低学年時期（35.9%）から高学年時期（13.9%）にかけて、6割以上減少しています。</p>
居住地域における子育て環境や満足度	<p>○回答者の平均評価について、就学前児童（2.97）は市平均値（2.98）と同程度、小学生（3.12）は市平均値（3.01）と比べてやや高い状況です。</p>

⑤北部地域

分析視点	地域特性等
子育て家庭環境	<p>○就学前児童の主な保育者に「父母ともに」と回答している割合は、就学前児童・小学生(66.5%、62.8%)とともに、市平均値(63.6%、59.2%)と比べてやや高い状況です。</p> <p>○就学前児童における主な親族・知人等協力者として「いずれもない」(10.9%)は、他地域と比べて2番目に高い状況です。</p>
母親の就労状況	<p>○就学前児童では、フルタイム(56.8%)は市平均値(54.4%)と比べてやや高く、パートタイム(29.3%)は市平均値(29.0%)と同程度です。</p> <p>○小学生では、フルタイム(51.7%)は市平均値(52.5%)と同程度、パートタイム(37.2%)は市平均値(36.0%)と比べて高い状況です。</p>
定期的な教育・保育事業の利用率とニーズ等	<p>○定期的な教育・保育事業の利用割合は80.5%で、市平均値(81.8%)と同程度です。</p> <p>○「幼稚園」(6.3%)は市平均値(8.8%)と比べてやや低く、「認可保育所」(24.2%)は他地域と比べて2番目に低い状況です。</p> <p>○「認定こども園」の利用(68.4%)は、市平均値(60.1%)と比べて高い状況です。</p> <p>○利用率(現状)から希望率(今後)の差をみると、「幼稚園」(16.7%)、「認可保育所」(15.3%)、「幼稚園の預かり保育」(11.3%)、「認定こども園」(3.2%)となっています。</p>
子育て支援センターにおける各種事業の利用率とニーズ等	<p>○「子育て支援センター」の利用割合は13.7%で他地域と比べて2番目に高く、「保育所、認定こども園等で実施している親子サークル事業など」は9.3%で、他地域と比べて最も高い状況です。</p> <p>○新規の利用希望者(20.0%)は他地域と比べて2番目に高く、回数を増やしたい利用者(6.3%)は、市平均値(5.9%)と比べてやや高い状況です。</p> <p>○就学前児童の「放課後児童クラブ(学童保育)」の利用希望は、小学校低学年時期(64.1%)から高学年時期(27.2%)にかけて、6割以上減少しています。</p> <p>○小学生の「放課後児童クラブ(学童保育)」の利用希望は、小学校低学年時期(38.0%)から高学年時期(14.5%)にかけて、6割以上減少しています。</p>
居住地域における子育て環境や満足度	<p>○回答者の平均評価について、就学前児童・小学生(3.13、3.04)とともに、市平均値(2.98、3.01)と同程度です。</p>

⑥呉羽地域

分析視点	地域特性等
子育て家庭環境	<p>○就学前児童の主な保育者に「父母ともに」と回答している割合は、就学前児童（60.0％）は市平均値（63.6％）と比べてやや低く、小学生（59.5％）と市平均値（59.2％）と同程度です。</p> <p>○就学前児童における主な親族・知人等協力者として「いずれもない」（4.9％）は、市平均値（9.8％）と比べて低い状況です。</p>
母親の就労状況	<p>○就学前児童では、フルタイム（58.3％）は他地域と比べて最も高く、パートタイム（27.1％）は他地域と比べて3番目に低い状況です。</p> <p>○小学生では、フルタイム（55.9％）は他地域と比べて3番目に高く、パートタイム（36.2％）は市平均値（36.0％）と同程度です。</p>
定期的な教育・保育事業の利用率とニーズ等	<p>○定期的な教育・保育事業の利用割合は85.3％で、市平均値（81.8％）と比べて高い状況です。</p> <p>○「幼稚園」（4.2％）は市平均値（8.8％）と比べて低く、「認可保育所」（57.3％）は他地域と比べて最も高い状況です。</p> <p>○「認定こども園」の利用（36.5％）は、他地域と比べて最も低い状況です。</p> <p>○利用率（現状）から希望率（今後）の差をみると、「認定こども園」（11.5％）、「幼稚園」（11.4％）、「幼稚園の預かり保育」（10.0％）「認可保育所」（7.2％）、となっています。</p>
子育て支援センターにおける各種事業の利用率とニーズ等	<p>○「子育て支援センター」の利用割合は9.3％で、市平均値（11.9％）と比べてやや低く、「保育所、認定こども園等で実施している親子サークル事業など」は6.7％で、市平均値（5.6％）と同程度です。</p> <p>○新規の利用希望者（18.2％）は市平均値（18.0％）と同程度、回数を増やしたい利用者（5.8％）も、市平均値（5.9％）と同程度です。</p> <p>○就学前児童の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望は、小学校低学年時期（64.4％）から高学年時期（17.8％）にかけて、7割以上減少しています。</p> <p>○小学生の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望は、小学校低学年時期（49.4％）から高学年時期（22.1％）にかけて、5割以上減少しています。</p>
居住地域における子育て環境や満足度	<p>○回答者の平均評価について、就学前児童・小学生（2.80、2.94）ともに、市平均値（2.98、3.01）と比較してやや低くなっています。</p>

⑦水橋地域

分析視点	地域特性等
子育て家庭環境	<p>○就学前児童の主な保育者に「父母ともに」と回答している割合は、就学前児童（68.0％）は市平均値（63.6％）と比べて高く、小学生（58.3％）と市平均値（59.2％）と同程度です。</p> <p>○就学前児童における主な親族・知人等協力者として「いずれもない」（5.0％）は、市平均値（9.8％）と比べて低い状況です。</p>
母親の就労状況	<p>○就学前児童では、フルタイム（57.0％）は他地域と比べて3番目に高く、パートタイム（29.0％）は市平均値（29.0％）と同程度です。</p> <p>○小学生では、フルタイム（63.1％）は他地域と比べて2番目に高く、パートタイム（26.2％）は他地域と比べて最も低い状況です。</p>
定期的な教育・保育事業の利用率とニーズ等	<p>○定期的な教育・保育事業の利用割合は 80.0％で、市平均値（81.8％）と比べてやや低い状況です。</p> <p>○「幼稚園」（3.8％）は市平均値（8.8％）と比べて低く、「認可保育所」（52.5％）は他地域と比べて2番目に高い状況です。</p> <p>○「認定こども園」の利用（43.8％）は、他地域と比べて2番目に低い状況です。</p> <p>○利用率（現状）から希望率（今後）の差をみると、「認定こども園」（13.3％）、「認可保育所」（10.5％）、「幼稚園」（6.3％）、「幼稚園の預かり保育」（3.0％）、となっています。</p>
子育て支援センターにおける各種事業の利用率とニーズ等	<p>○「子育て支援センター」の利用割合は 13.0％で、市平均値（11.9％）と比べてやや高く、「保育所、認定こども園等で実施している親子サークル事業など」は 4.0％で、市平均値（5.6％）と比べてやや低い状況です。</p> <p>○新規の利用希望者（18.0％）は市平均値（18.0％）と同じ、回数を増やしたい利用者（1.0％）は、市平均値（5.9％）と比べて低い状況です。</p> <p>○就学前児童の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望は、小学校低学年時期（84.2％）から高学年時期（36.8％）にかけて、5割以上減少しています。</p> <p>○小学生の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望は、小学校低学年時期（45.2％）から高学年時期（11.9％）にかけて、7割以上減少しています。</p>
居住地域における子育て環境や満足度	<p>○回答者の平均評価について、就学前児童・小学生（2.88、2.84）ともに、市平均値（2.98、3.01）と比較してやや低くなっています。</p>

⑧大沢野・細入地域

分析視点	地域特性等
子育て家庭環境	<p>○就学前児童の主な保育者に「父母ともに」と回答している割合は、就学前児童（67.0％）は市平均値（63.6％）と比べて高く、小学生（71.2％）は他地域と比べて最も高い状況です。</p> <p>○就学前児童における主な親族・知人等協力者として「いずれもない」（7.6％）は、市平均値（9.8％）と比べて低い状況です。</p>
母親の就労状況	<p>○就学前児童では、フルタイム・パートタイム（55.8％、30.0％）ともに、市平均値（54.4％、29.0％）と同程度です。</p> <p>○小学生では、フルタイム（52.0％）は市平均値（52.5％）と同程度、パートタイム（38.4％）は他地域と比べて3番目に高い状況です。</p>
定期的な教育・保育事業の利用率とニーズ等	<p>○定期的な教育・保育事業の利用割合は 84.8％で、市平均値（81.8％）と比べて高い状況です。</p> <p>○「幼稚園」（2.4％）は他地域と比べて3番目に低く、「認可保育所」（26.3％）は市平均値（28.5％）と同程度です。</p> <p>○「認定こども園」の利用（70.7％）は、他地域と比べて3番目に高い状況です。</p> <p>○利用率（現状）から希望率（今後）の差をみると、「認可保育所」（15.3％）、「幼稚園」（13.8％）、「幼稚園の預かり保育」（8.0％）、「認定こども園」（3.5％）となっています。</p>
子育て支援センターにおける各種事業の利用率とニーズ等	<p>○「子育て支援センター」の利用割合は 11.7％で、市平均値（11.9％）と同程度、「保育所、認定こども園等で実施している親子サークル事業など」も 6.1％で、市平均値（5.6％）と同程度です。</p> <p>○新規の利用希望者（18.3％）は市平均値（18.0％）と同程度、回数を増やしたい利用者（4.1％）は、市平均値（5.9％）と比べてやや低い状況です。</p> <p>○就学前児童の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望は、小学校低学年時期（29.7％）から高学年時期（18.9％）にかけて、3割以上減少しています。</p> <p>○小学生の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望は、小学校低学年時期（26.6％）から高学年時期（12.8％）にかけて、5割以上減少しています。</p>
居住地域における子育て環境や満足度	<p>○回答者の平均評価について、就学前児童（2.80）は市平均値（2.98）と比べて低く、小学生（3.15）は市平均値（3.01）と比べて高くなっています。</p>

◎大山地域

分析視点	地域特性等
子育て家庭環境	<p>○就学前児童の主な保育者に「父母ともに」と回答している割合は、就学前児童（73.2%）は他地域と比べて最も高く、小学生（63.9%）は市平均値（59.2%）と比べて高い状況です。</p> <p>○就学前児童における主な親族・知人等協力者として「いずれもない」（4.9%）は、市平均値（9.8%）と比べて低い状況です。</p>
母親の就労状況	<p>○就学前児童では、フルタイム（41.5%）は他地域と比べて最も低く、パートタイム（43.9%）は他地域と比べて最も高い状況です。</p> <p>○小学生では、フルタイム（55.7%）は市平均値（52.5%）と比べてやや高く、パートタイム（31.1%）は他地域と比べて3番目に低い状況です。</p>
定期的な教育・保育事業の利用率とニーズ等	<p>○定期的な教育・保育事業の利用割合は 85.4%で、市平均値（81.8%）と比べて高い状況です。</p> <p>○「幼稚園」（0.0%）は対象者がおらず、「認可保育所」（28.6%）は市平均値（28.5%）と同程度です。</p> <p>○「認定こども園」の利用（71.4%）は、他地域と比べて最も高い状況です。</p> <p>○利用率（現状）から希望率（今後）の差をみると、「認可保育所」（10.5%）、「幼稚園」（7.3%）、「認定こども園」（6.6%）、「幼稚園の預かり保育」（4.9%）、となっています。</p>
子育て支援センターにおける各種事業の利用率とニーズ等	<p>○「子育て支援センター」の利用割合 12.2%で、市平均値（11.9%）と比べてやや高く、「保育所、認定こども園等で実施している親子サークル事業など」は 4.9%で、市平均値（5.6%）と同程度です。</p> <p>○新規の利用希望者（9.8%）は他地域と比べて最も低く、回数を増やしたい利用者（4.9%）は、市平均値（5.9%）と同程度です。</p> <p>○就学前児童の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望は、小学校低学年時期（72.7%）から高学年時期（27.3%）にかけて、6割以上減少しています。</p> <p>○小学生の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望は、小学校低学年時期（53.3%）から高学年時期（29.5%）にかけて、4割以上減少しています。</p>
居住地域における子育て環境や満足度	<p>○回答者の平均評価について、就学前児童（3.02）は市平均値（2.98）と同程度、小学生（2.81）は市平均値（3.01）と比べて低くなっています。</p>

⑩八尾・山田地域

分析視点	地域特性等
子育て家庭環境	<p>○就学前児童の主な保育者に「父母ともに」と回答している割合は、就学前児童（64.9%）は市平均値（63.6%）と同程度、小学生（66.7%）は市平均値（59.2%）と比べて高い状況です。</p> <p>○就学前児童における主な親族・知人等協力者として「いずれもない」（5.3%）は、市平均値（9.8%）と比べて低い状況です。</p>
母親の就労状況	<p>○就学前児童では、フルタイム（53.4%）は市平均値（54.4%）と同程度、パートタイム（32.8%）は他地域と比べて2番目に高い状況です。</p> <p>○小学生では、フルタイム（65.8%）は他地域と比べて最も高く、パートタイム（30.0%）は他地域と比べて2番目に低い状況です。</p>
定期的な教育・保育事業の利用率とニーズ等	<p>○定期的な教育・保育事業の利用割合は 90.1%で、他地域と比べて最も高い状況です。</p> <p>○「幼稚園」（1.7%）は他地域と比べて2番目に低く、「認可保育所」（34.7%）は市平均値（28.5%）と比べてやや高い状況です。</p> <p>○「認定こども園」の利用（62.7%）は、市平均値（60.1%）と比べてやや高い状況です。</p> <p>○利用率（現状）から希望率（今後）の差をみると、「認可保育所」（12.6%）、「幼稚園」（6.7%）、「認定こども園」（3.7%）、「幼稚園の預かり保育」（3.1%）、となっています。</p>
子育て支援センターにおける各種事業の利用率とニーズ等	<p>○「子育て支援センター」の利用割合は 9.2%で、「保育所、認定こども園等で実施している親子サークル事業など」は 3.1%で他地域と比べて最も低い状況です。</p> <p>○新規の利用希望者（16.0%）は市平均値（18.0%）と比べてやや低く、回数を増やしたい利用者（4.6%）は、市平均値（5.9%）と同程度です。</p> <p>○就学前児童の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望は、小学校低学年時期（67.6%）から高学年時期（35.3%）にかけて、5割近く減少しています。</p> <p>○小学生の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望は、小学校低学年時期（49.1%）から高学年時期（27.5%）にかけて、4割以上減少しています。</p>
居住地域における子育て環境や満足度	<p>○回答者の平均評価について、就学前児童・小学生（2.94、2.93）ともに、市平均値（2.98、3.01）と同程度です。</p>

⑪婦中地域

分析視点	地域特性等
子育て家庭環境	<p>○就学前児童の主な保育者に「父母ともに」と回答している割合は、就学前児童（65.4%）は市平均値（63.6%）と同程度、小学生（52.3%）は他地域と比べて最も低い状況です。</p> <p>○就学前児童における主な親族・知人等協力者として「いずれもない」（9.0%）は、市平均値（9.8%）と同程度です。</p>
母親の就労状況	<p>○就学前児童では、フルタイム・パートタイム（53.8%、31.8%）ともに、市平均値（54.4%、29.0%）と同程度です。</p> <p>○小学生では、フルタイム・パートタイム（54.1%、36.6%）ともに市平均値（52.5%、36.0%）と同程度です。</p>
定期的な教育・保育事業の利用率とニーズ等	<p>○定期的な教育・保育事業の利用割合は 86.4%で、市平均値（81.8%）と比べて高い状況です。</p> <p>○「幼稚園」（8.6%）は市平均値（8.8%）と同程度、 「認可保育所」（35.7%）は他地域と比べて3番目に高い状況です。</p> <p>○「認定こども園」の利用（53.4%）は、市平均値（60.1%）と比べて低い状況です。</p> <p>○利用率（現状）から希望率（今後）の差をみると、「認可保育所」（11.6%）、「幼稚園」（11.5%）、「幼稚園の預かり保育」（8.8%）、「認定こども園」（6.5%）となっています。</p>
子育て支援センターにおける各種事業の利用率とニーズ等	<p>○「子育て支援センター」の利用割合は 11.2%で、市平均値（11.9%）と同程度、「保育所、認定こども園等で実施している親子サークル事業など」も 5.0%で、市平均値（5.6%）と同程度です。</p> <p>○新規の利用希望者（16.6%）は市平均値（18.0%）と比べて低く、回数を増やしたい利用者（4.4%）も、市平均値（5.9%）と比べて低い状況です。</p> <p>○就学前児童の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望は、小学校低学年時期（54.2%）から高学年時期（16.9%）にかけて、7割近く減少しています。</p> <p>○小学生の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望は、小学校低学年時期（36.4%）から高学年時期（16.1%）にかけて、5割以上減少しています。</p>
居住地域における子育て環境や満足度	<p>○回答者の平均評価について、就学前児童・小学生（2.98、2.96）ともに、市平均値（2.98、3.01）と同程度です。</p>

第3章

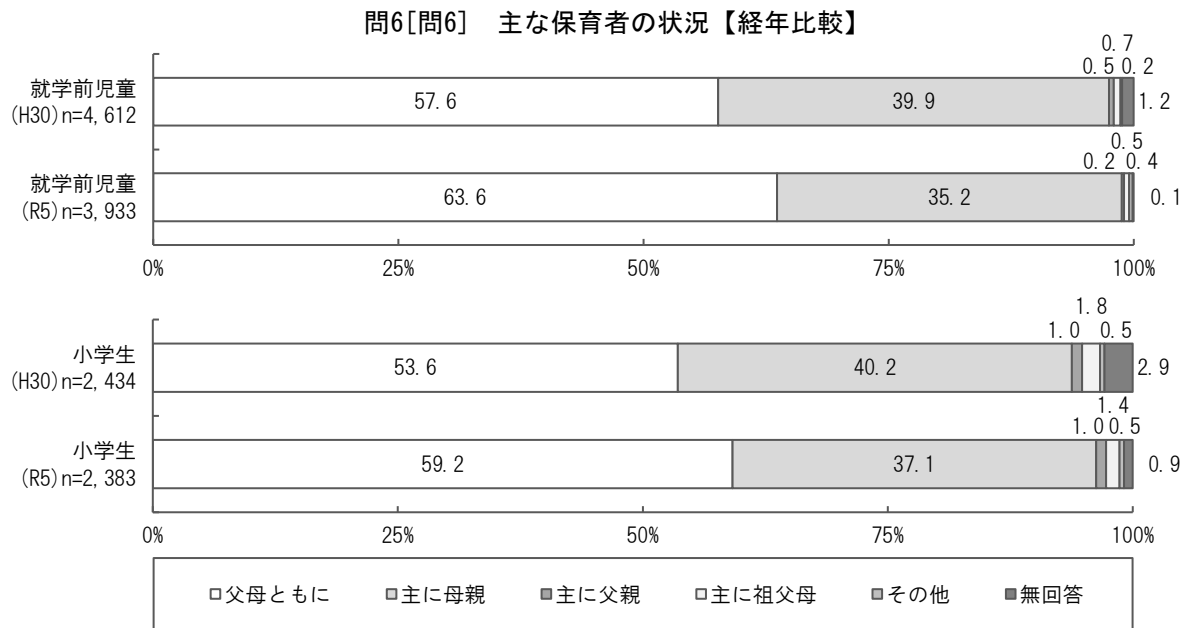
子育て家庭を取り巻く環境

第3章 子育て家庭を取り巻く環境

1 子育ての環境について

(1) 主な保育者と親族等協力者の状況

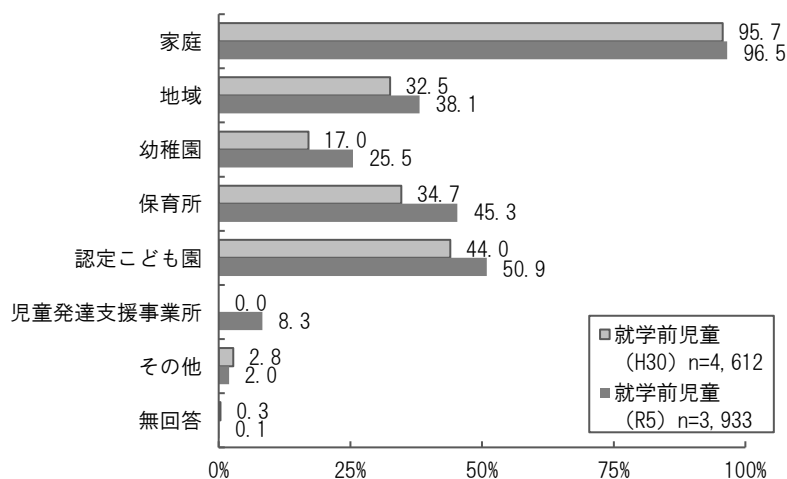
○主な保育者の状況をみると、就学前児童・小学生いずれも「父母ともに」が約6割を占めています。前回調査と比較すると、就学前児童は6.0ポイント、小学生は5.6ポイント高くなっています。



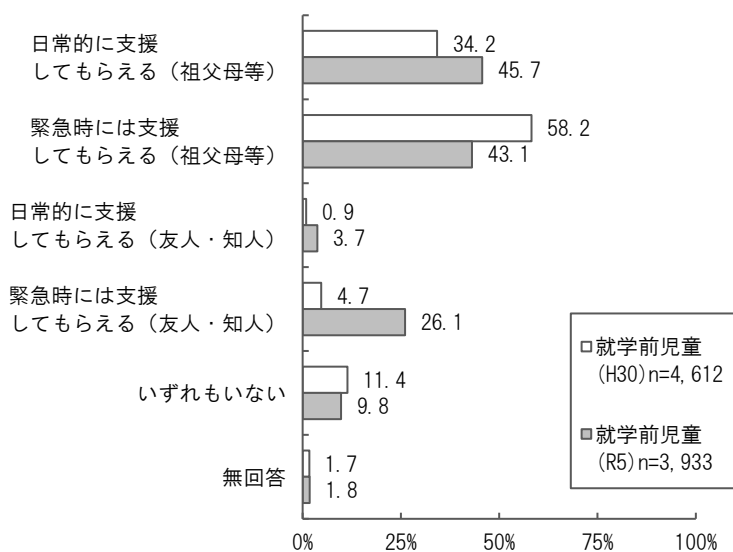
○就学前児童の子育てに影響すると思う環境は、「家庭」(96.5%)と回答した割合が最も高く、次いで「認定こども園」(50.9%)、「保育所」(45.3%)の順となっています。

○就学前児童の子育てに関する親族・知人等協力者の状況をみると、「日常的に支援してもらえる(祖父母等)」方は45.7%「緊急時には支援してもらえる(祖父母等)」方は43.1%、と親族の協力者は多い状況です。前回調査と比較すると、「緊急時には支援してもらえる(祖父母等)」は15.1ポイント減少していますが、「日常的に支援してもらえる(祖父母等)」が11.5ポイント増加しています。一方、「緊急時には支援してもらえる(友人・知人)」(26.1%)が前回調査と比較すると、21.4ポイント増加しており、緊急時には支援してもらえる友人・知人のいる方が増加しています。

問8 子育てに影響すると思う環境



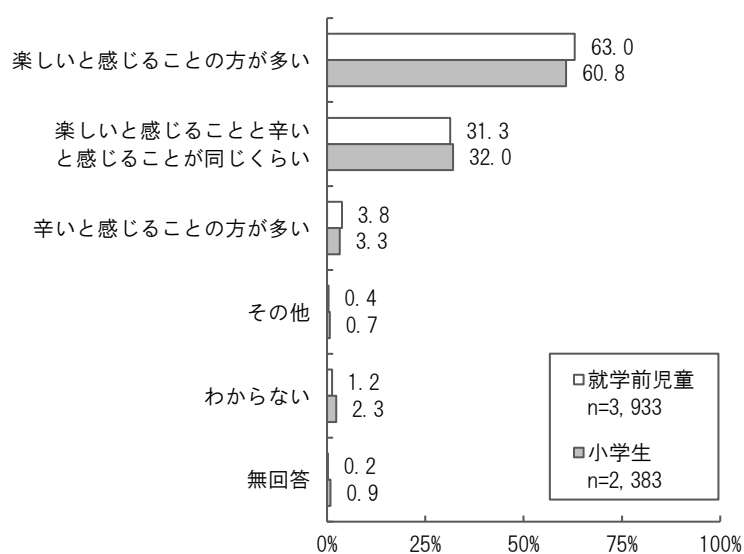
問9 親族・知人等協力者の状況【経年比較】



(2) 子育てについての感じ方

○子育てについての感じ方をみると、就学前児童・小学生いずれも「楽しいと感じることの方が多い」(63.0%・60.8%) が約6割を占めている一方、「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」(31.3%・32.0%) が約3割を占めています。一方で、「辛いと感じることの方が多い」(3.8%・3.3%) は約3%と低くなっています。

問7[問7] 子育てについての感じ方

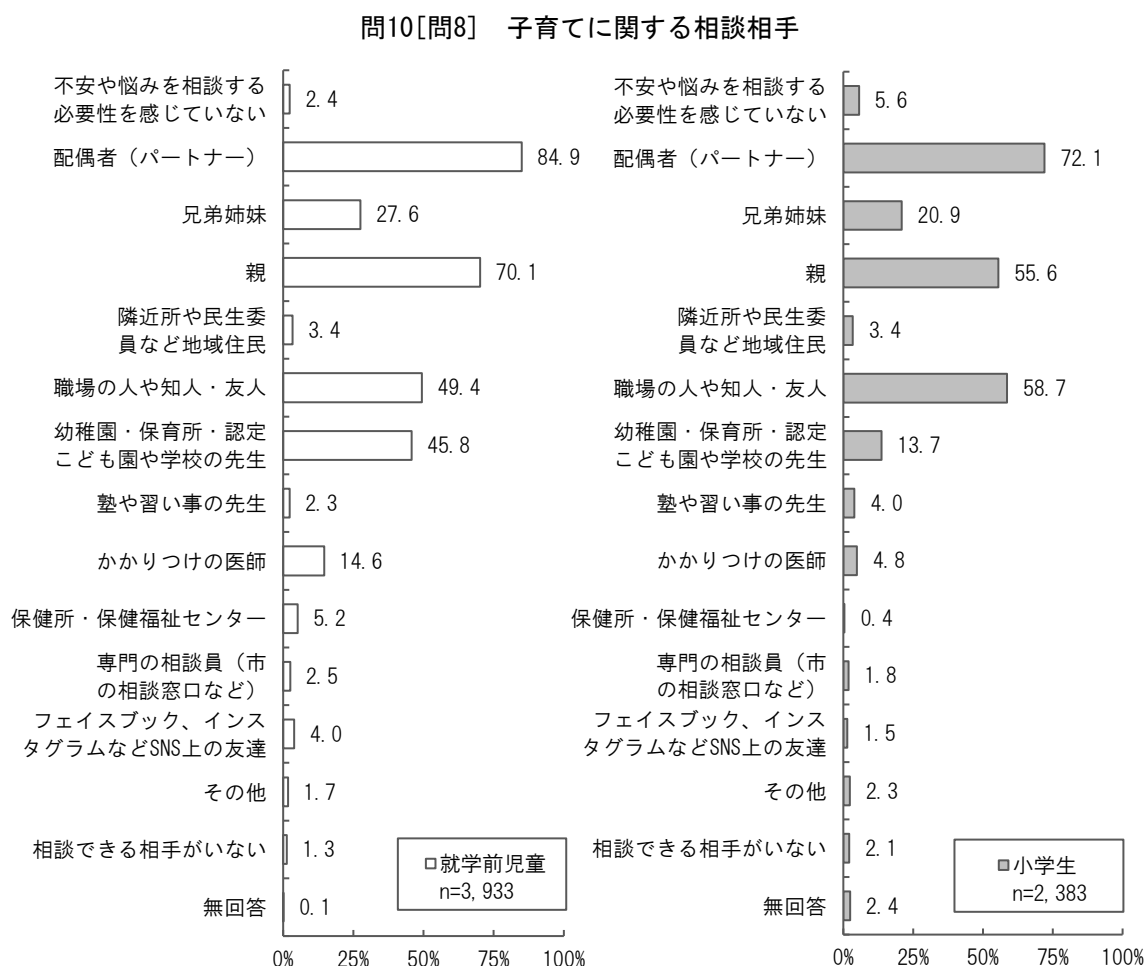


(3) 子育てに関する相談相手の状況

○子育てに関する相談相手を見ると、就学前児童では、「配偶者(パートナー)」が84.9%と最も高く、次いで「親」が70.1%、「職場の人や知人・友人」が49.4%、「幼稚園・保育所・認定こども園や学校の先生」が45.8%となっており、「相談できる相手がない」は1.3%となっています。

○小学生でも、「配偶者(パートナー)」が72.1%と最も高く、次いで「職場の人や知人・友人」が58.7%、「親」が55.6%、「兄弟姉妹」が20.9%となっており、「相談できる相手がない」は2.1%となっています。

○また、就学前児童と小学生を比較すると、就学前児童は「幼稚園・保育所・認定こども園や学校の先生」が32.1^{ポイント}、「親」が14.5^{ポイント}、「配偶者(パートナー)」が12.8^{ポイント}高くなっており、小学生は「職場の人や知人・友人」が9.3^{ポイント}高くなっています。

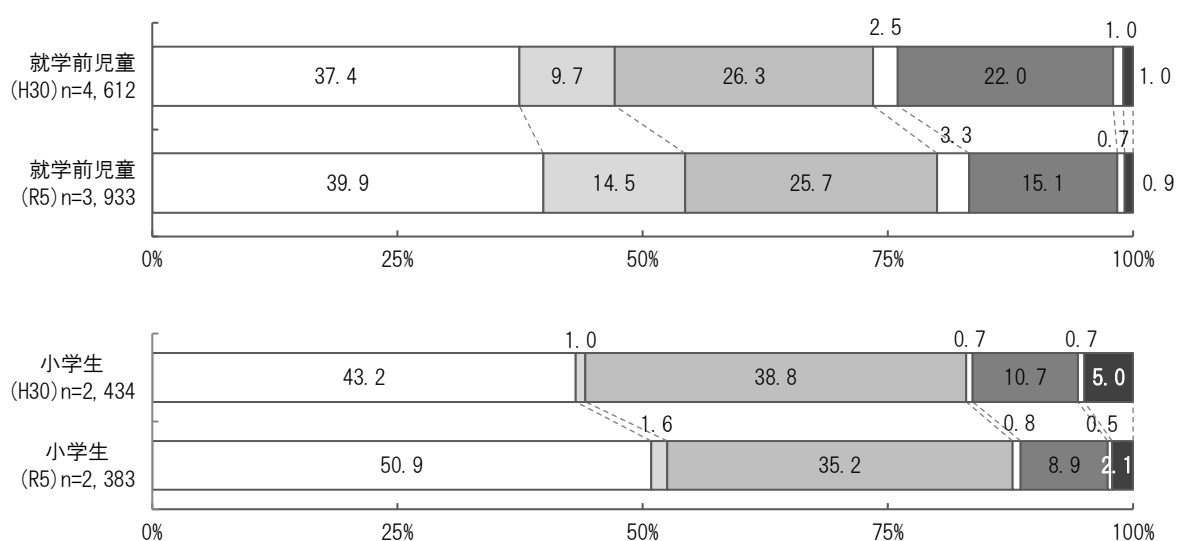


2 保護者の就労状況

(1) 母親の就労状況

○母親の就労状況をみると、「フルタイムで就労している」「パート・アルバイト等で就労している」を合わせた現在就労している方は、就学前児童で83.4%、小学生で88.5%となっています。そのうち産休・育休・介護休業を取得中の方は、就学前児童で17.8%、小学生では2.4%となっています。前回調査と比較すると、現在就労している方は、就学前児童で7.5^{ポイント}、小学生で4.8^{ポイント}増加しています。特にフルタイムで就労している母親が増えています。

問11(1)-1[問9(1)-1] 母親の就労状況【経年比較】

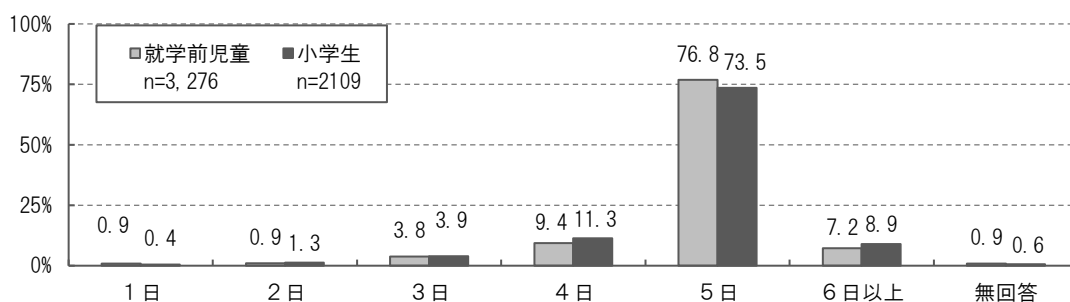


- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業・その他休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業・その他休業中である
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業・その他休業中ではない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業・その他休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

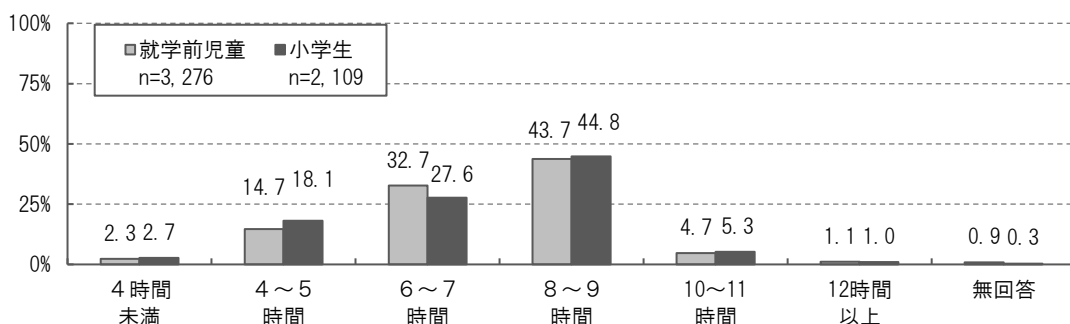
○母親の就労日数と就労時間をみると、就学前児童・小学生ともに「5日」(76.8%・73.5%)、「8～9時間」(43.7%・44.8%)と回答した割合が最も高くなっています。

○母親の出勤時間は、就学前児童では「7時台」(41.8%)、小学生では「8時台」(41.5%)の割合が最も高く、また、帰宅時間は就学前児童・小学生ともに「16～17時台」(41.2%・38.2%)の割合が最も高くなっています。

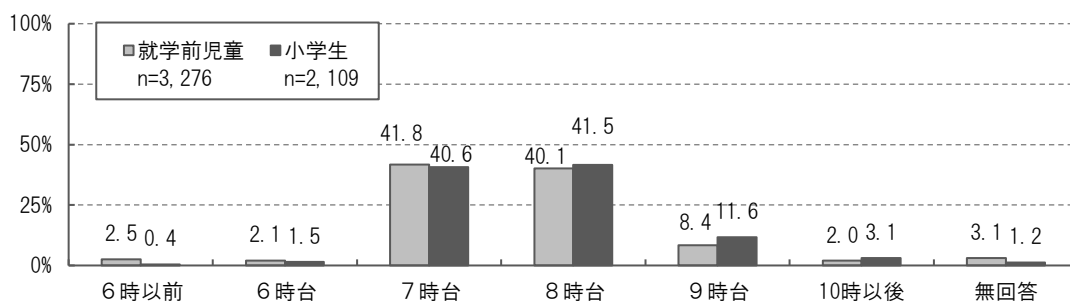
問11(1)-1[問9(1)-1] 母親の就労日数(1週当たり)



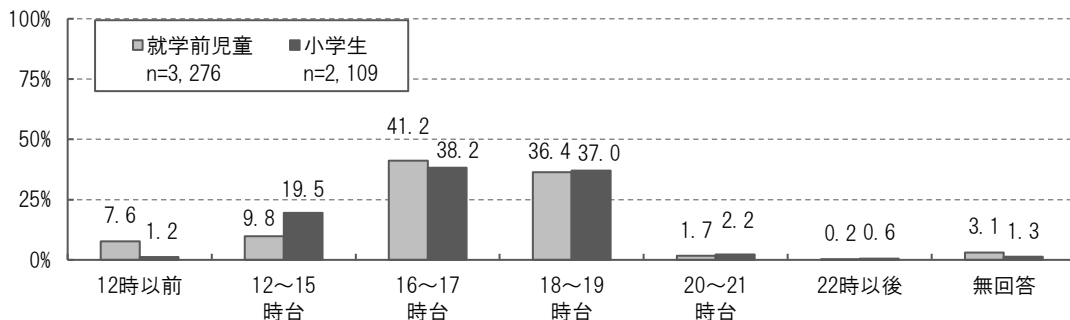
問11(1)-1[問9(1)-1] 母親の就労時間(1日当たり)



問11(1)-2[問9(1)-1] 母親の出勤時間

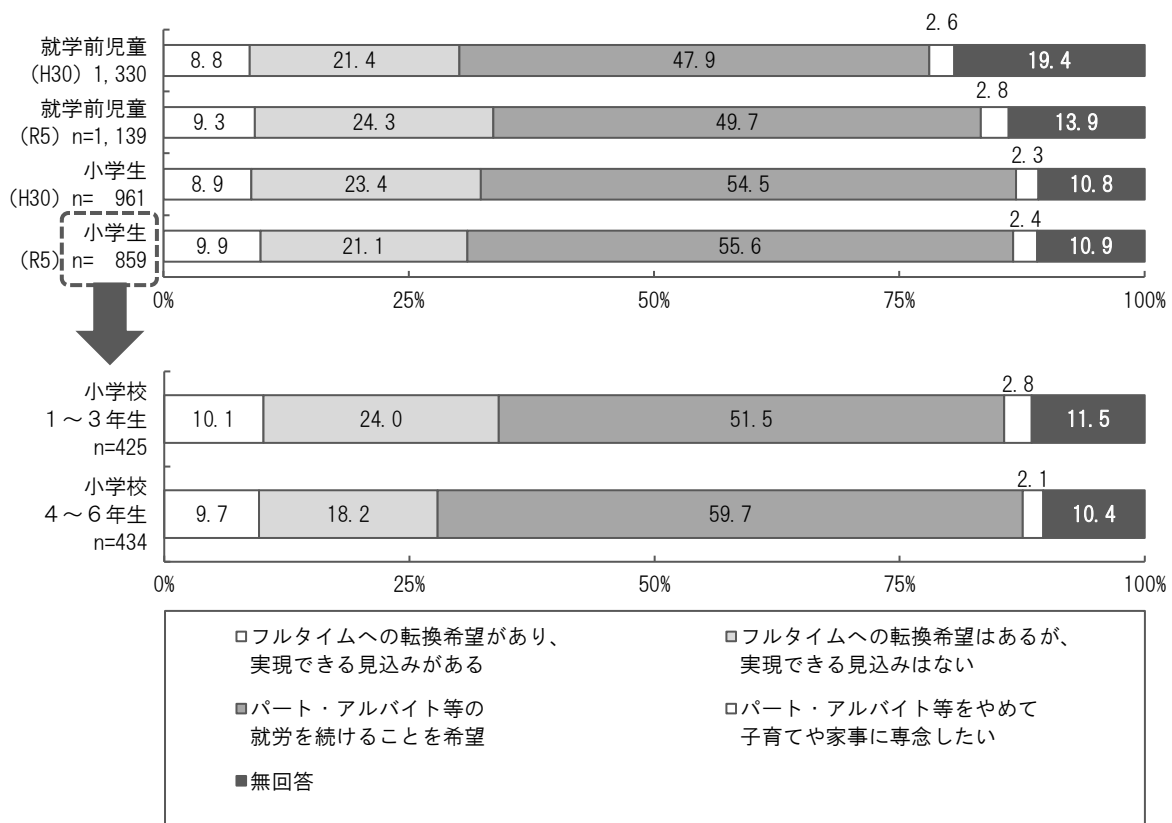


問11(1)-2[問9(1)-1] 母親の帰宅時間



- 「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」を合わせたパートタイムからフルタイムへの転換希望がある母親は、就学前児童で33.6%、小学生で31.0%となっています。
- 低学年では高学年より、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがない」母親の割合が5.8^{ポイント}高く、一方で「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」する母親の割合が高学年の方が8.2^{ポイント}高くなっています。

問12(1) [問10(1)] 母親のパート・アルバイト等からフルタイムへの転換希望

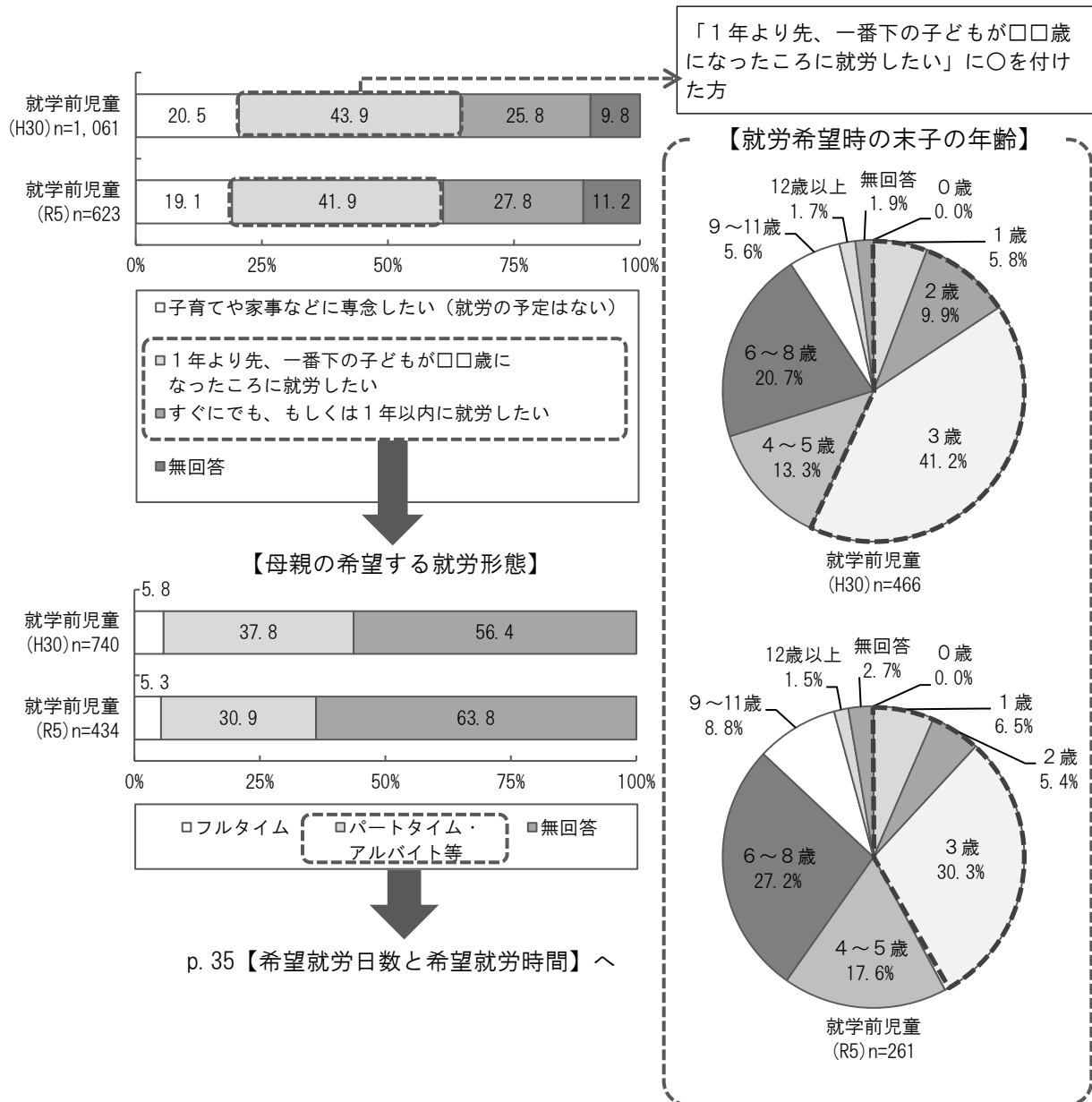


※小学生の内訳には、学年不明（無回答）の20人を含みません。

○就学前児童の母親では、現在就労していないが今後の就労希望がある方は69.7%、その内訳は「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」が41.9%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が27.8%となり、希望する就労形態は「パートタイム、アルバイト等」が30.9%、「フルタイム」が5.3%となっています。また、就労希望時期となる子どもの年齢としては「0～3歳」（42.2%）と回答した割合が最も高く、特に「3歳」（30.3%）が高くなっています。

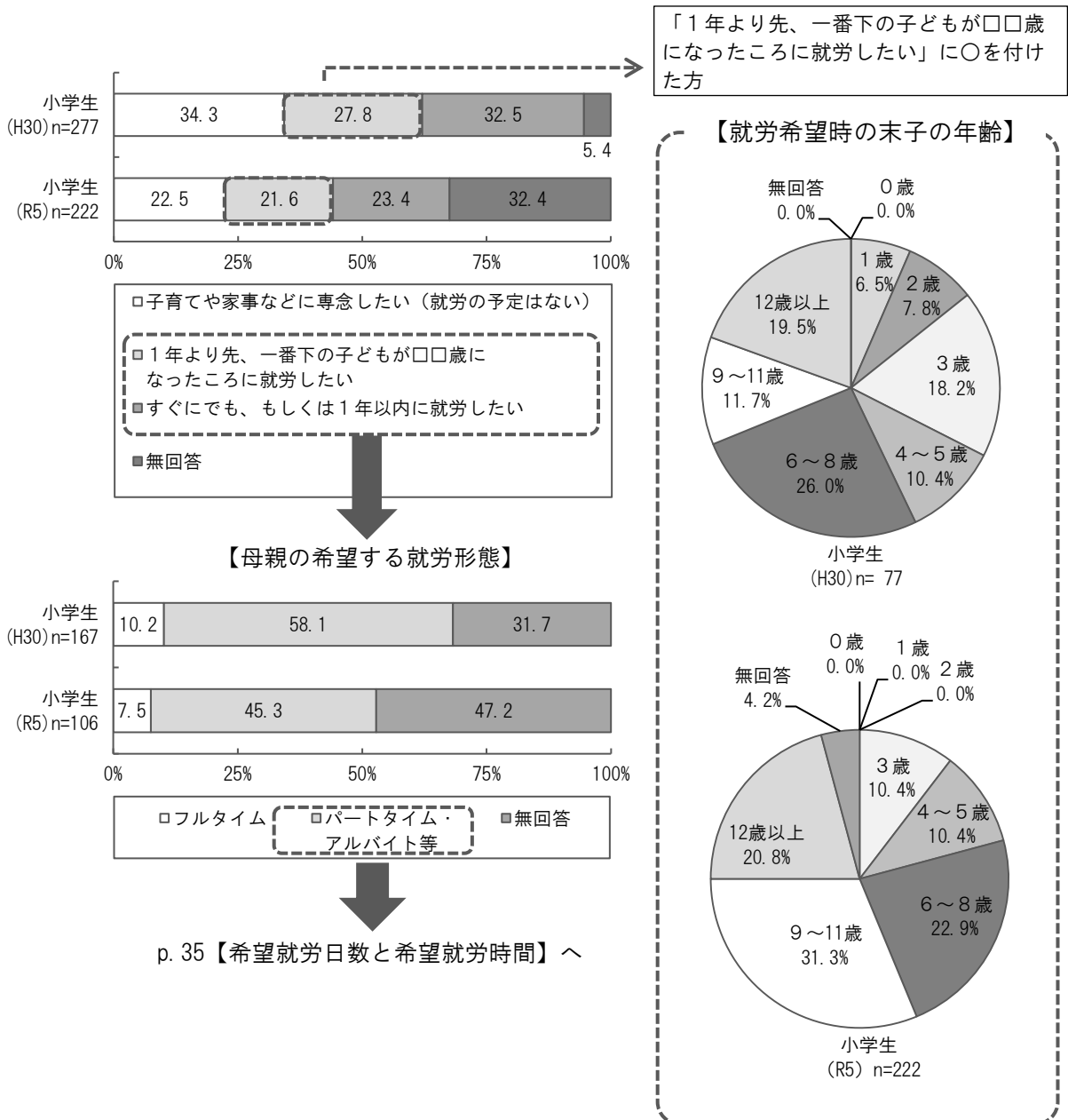
○前回調査と比較すると、就労希望がある母親は、前回今回ともに69.7%と変化はしていませんが、希望する就労形態は「パートタイム、アルバイト等」が6.9^{ポイント}減少しています。また子どもの年齢が「6～8歳」での就労希望が6.5^{ポイント}、「4～5歳」が4.3^{ポイント}増加しています。

問13(1) 就労していない母親の今後の就労希望【経年比較】



○小学生の母親では、現在就労していないが今後の就労希望がある方は45.0%、その内訳は「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が23.4%、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」が21.6%となり、希望する就労形態は「パートタイム、アルバイト等」が45.3%、「フルタイム」が7.5%となっています。また、就労希望時期となる子どもの年齢としては「9～11歳」(31.3%)と回答した割合が最も高く、次いで「6～8歳」(22.9%)となっています。前回調査と比較すると、就労希望がある母親は15.3^{ポイント}減少し、希望する就労形態は「パートタイム、アルバイト等」が12.8^{ポイント}、「フルタイム」が2.7^{ポイント}減少しています。子どもの年齢が「9～11歳」での就労希望が19.6^{ポイント}増加しています。また、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」方も11.8^{ポイント}減少しています。

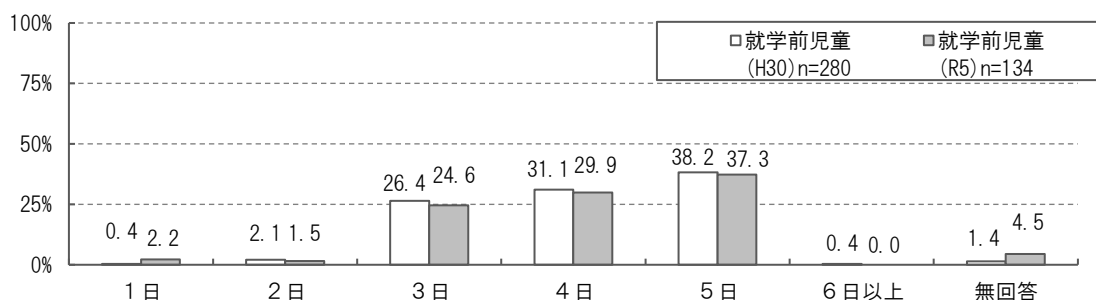
【問11(1)】 就労していない母親の今後の就労希望【経年比較】



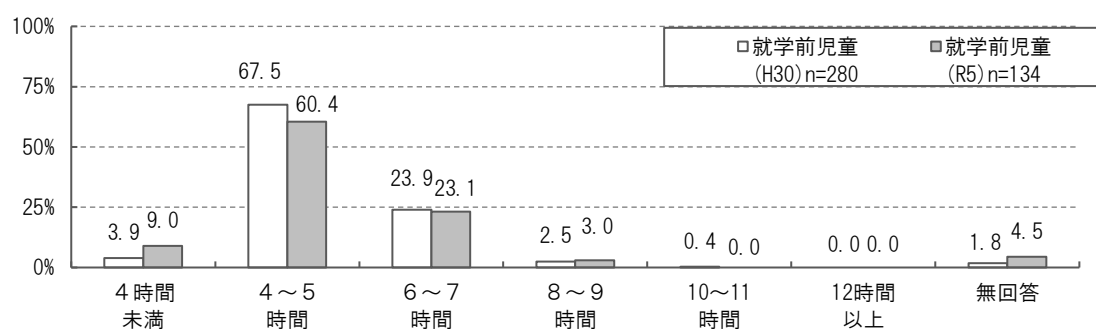
○パートタイム・アルバイト等での就労を希望する母親の1週当たりの希望就労日数をみると、就学前児童が「5日」(37.3%) 小学生が「4日」(35.4%) の割合が最も高くなっています。前回調査と大差はありません。

○希望就労時間は、就学前児童・小学生ともに「4～5時間」(60.4%・79.2%) の割合が最も高く、次いで「6～7時間」(23.1%・10.4%) となっています。

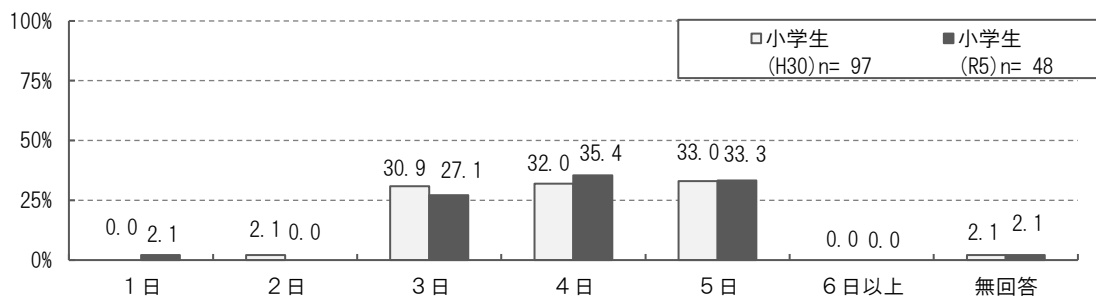
問13(1)② パートタイム・アルバイト等希望の母親の希望就労日数 (1週当たり)



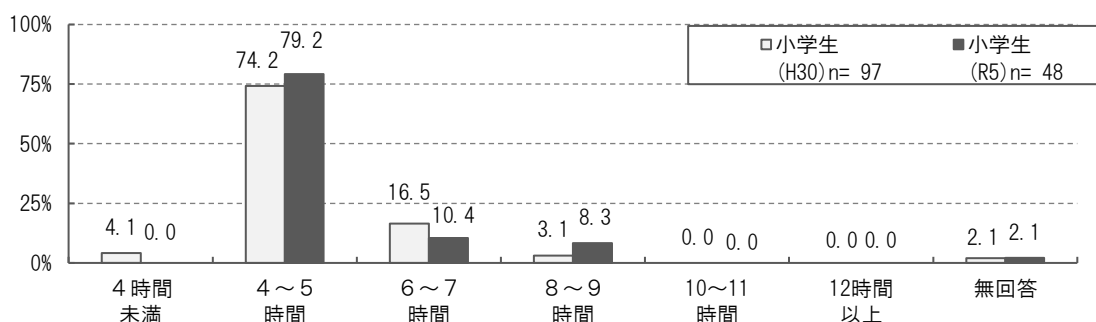
問13(1)② パートタイム・アルバイト等希望の母親の希望就労時間 (1日当たり)



[問13(1)②] パートタイム・アルバイト等希望の母親の希望就労日数 (1週当たり)



[問13(1)②] パートタイム・アルバイト等希望の母親の希望就労時間 (1日当たり)

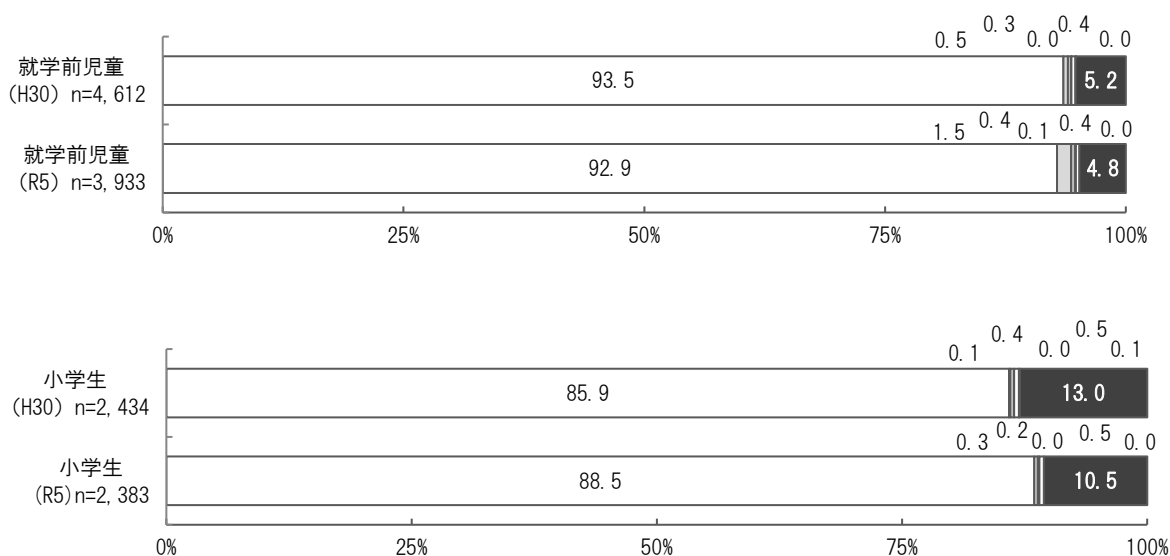


(2) 父親の就労状況

○父親の就労状況をみると、「フルタイムで就労している」「パート・アルバイト等で就労している」を合わせた現在就労している方は、就学前児童で94.9%、小学生で89.0%となっています。

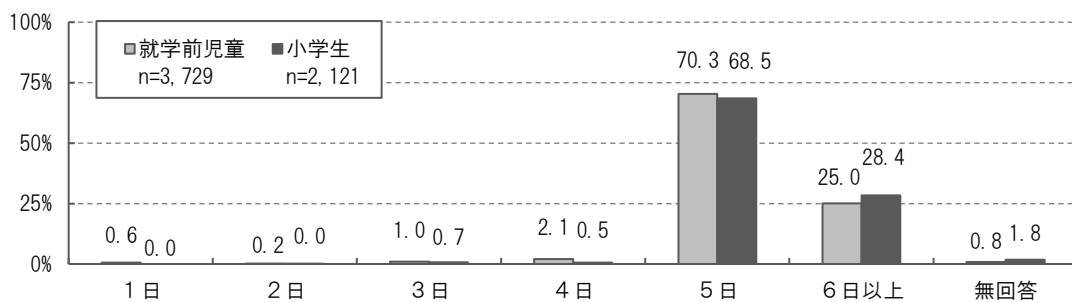
○父親の就労日数をみると、就学前児童・小学生ともに「5日」および「6日以上」と回答した方が大半を占めています。また、就労時間をみると、就学前児童・小学生ともに「8～9時間」（55.1%・59.6%）と回答した割合が最も高くなっています。

問11(2) [問9(2)] 父の就労状況

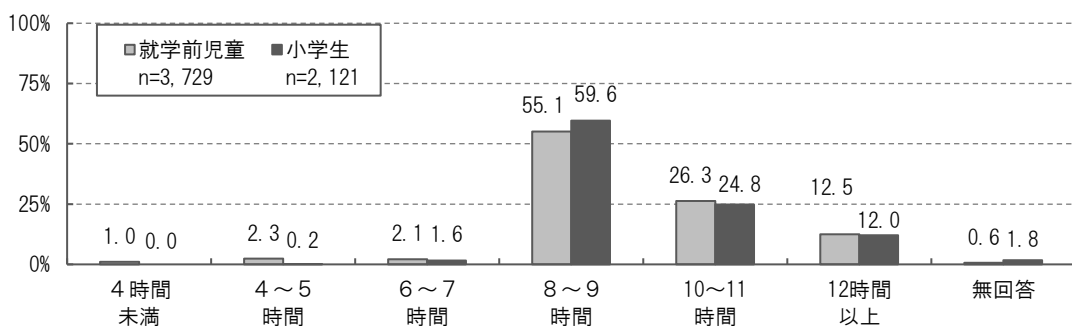


- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業・その他休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業・その他休業中である
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業・その他休業中ではない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業・その他休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

問11(2)-1[問9(2)-1] 父親の就労日数（1週当たり）



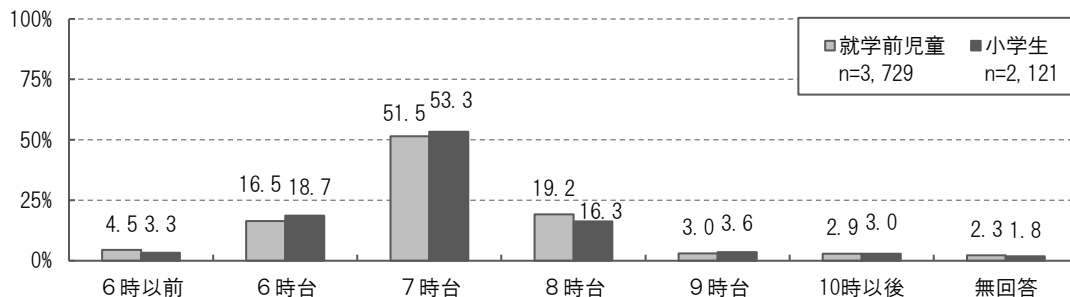
問11(2)-1[問9(2)-1] 父親の就労時間（1日当たり）



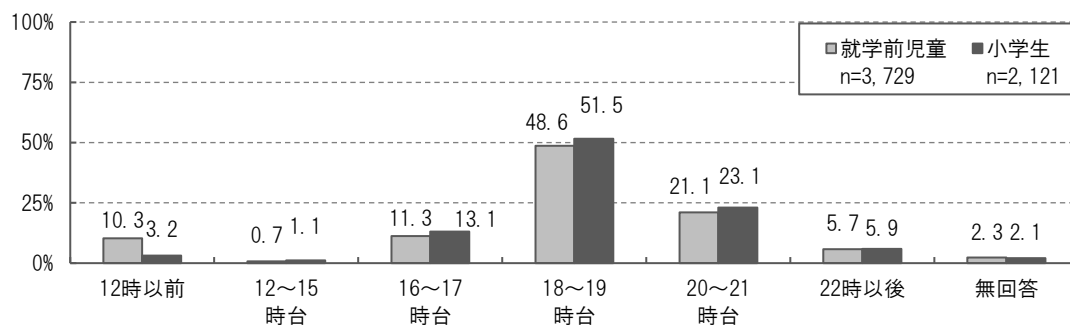
○父親の出勤時間は就学前児童・小学生ともに「7時台」(51.5%・53.3%)、また、帰宅時間は就学前児童・小学生ともに「18~19時台」(48.6%・51.5%)の割合が最も高くなっています。

○父親のパート・アルバイト等からフルタイムへの転換希望は以下のとおりです。

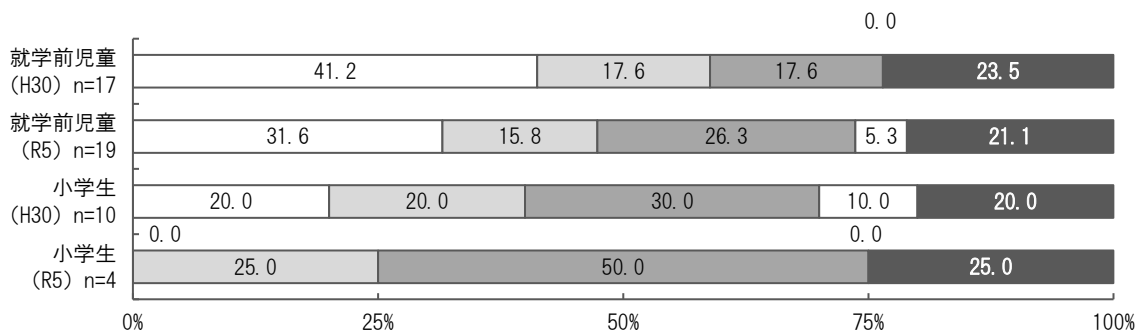
問11(2)-2[問9(2)-1] 父親の出勤時間



問11(2)-2[問9(2)-1] 父親の帰宅時間



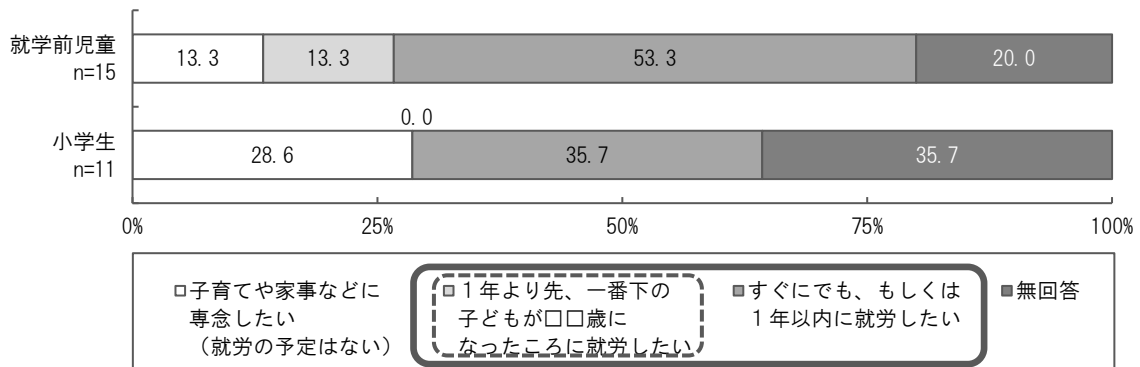
問12(2)[問10(2)] 父親のパート・アルバイト等からフルタイムへの転換希望



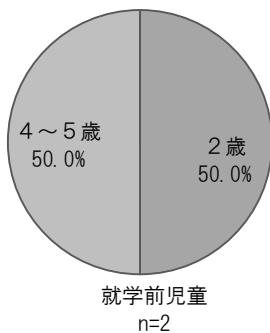
- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

○現在就労していない父親の今後の就労希望は以下のとおりです。

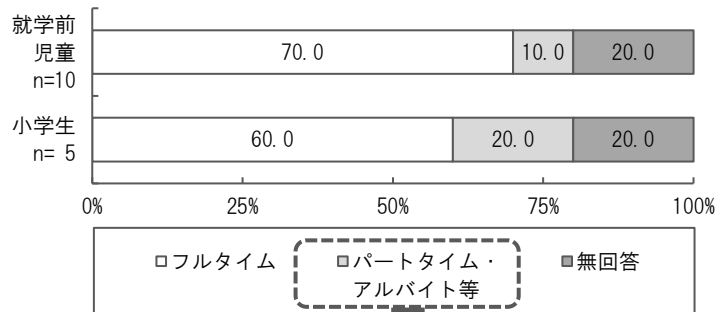
問13(2) [問11(2)] 就労していない父親の就労希望



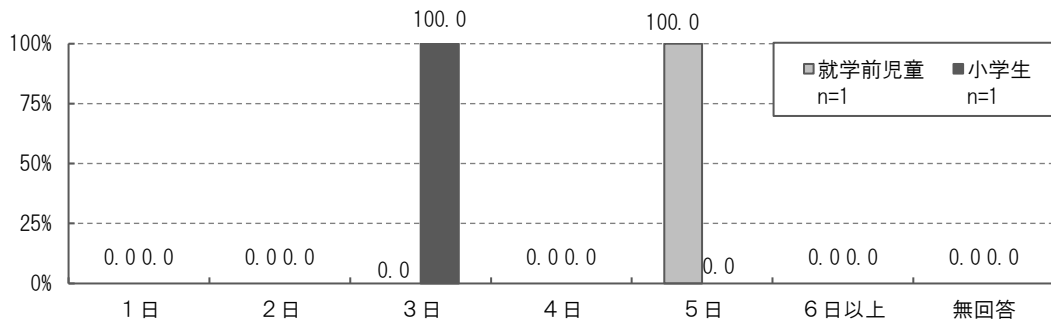
【就労希望時の末子の年齢】
※小学生は0人でした



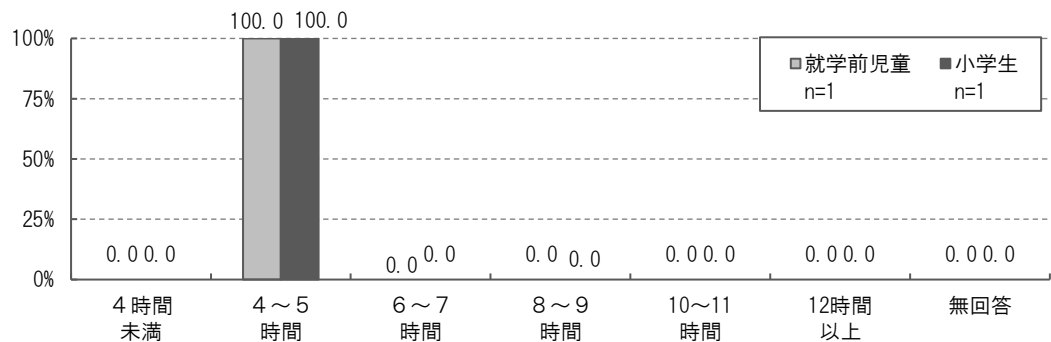
【父親の希望する就労形態】



問13(2)②[問11(2)④] 就労希望のある父親の希望就労日数 (1週当たり)



問13(2)②[問11(2)④] 就労希望のある父親の希望就労時間 (1日当たり)



第4章
子育て支援サービスの現状と
今後の利用希望

第4章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

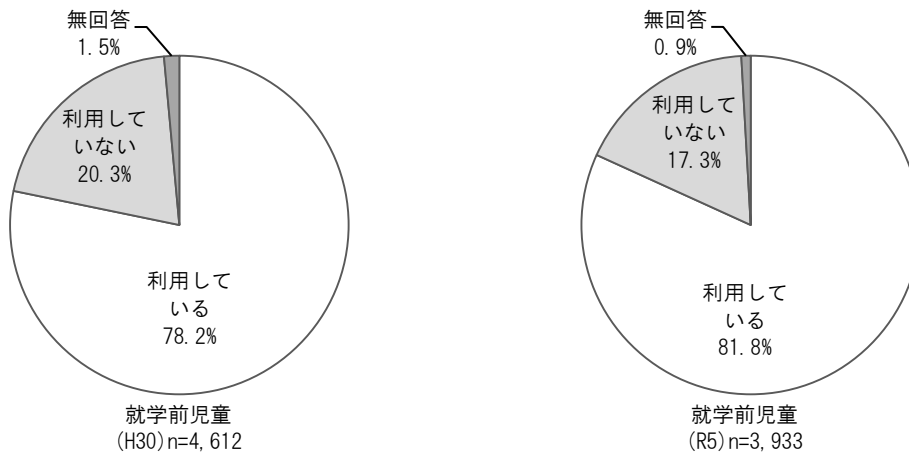
1 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望

(1) 平日の定期的な教育・保育事業

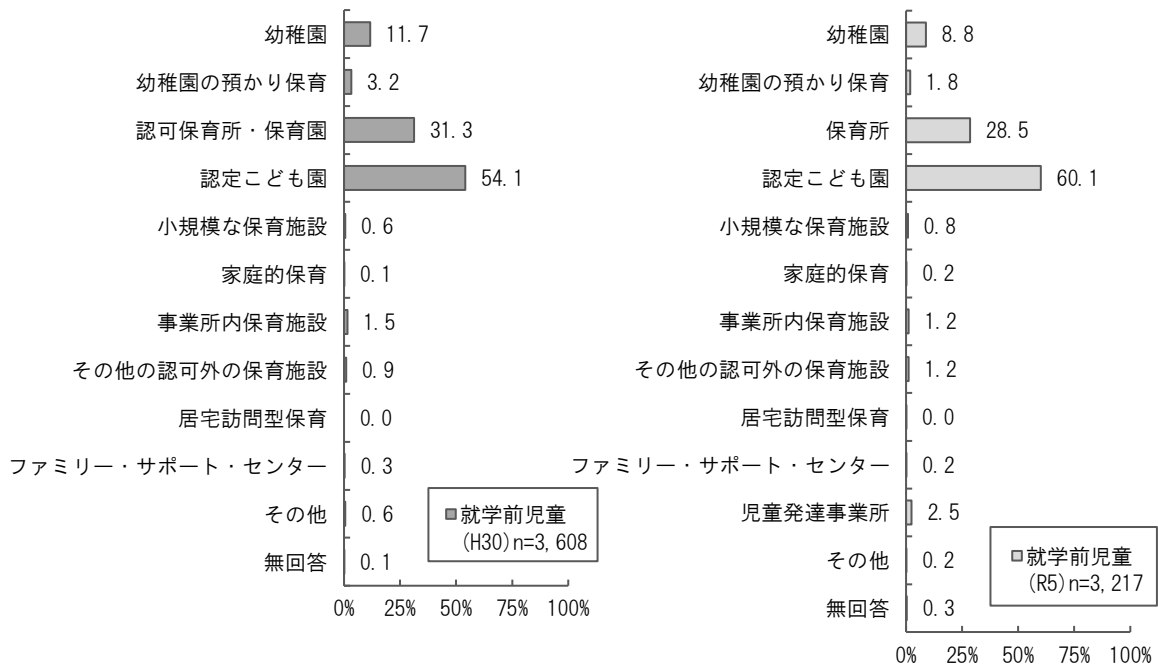
○定期的な教育・保育事業を「利用している」方は81.8%となっています。前回調査と比較すると、3.6ポイント高くなっています。

○利用中の事業をみると、「認定こども園」は60.1%、「保育所」は28.5%、「幼稚園」は8.8%の方が利用しています。前回調査と比較すると、「保育所」(前回調査「認可保育所・保育園」)は2.8ポイント、「幼稚園」は2.9ポイント低くなっています。また「認定こども園」は6.0ポイント高くなっています。

問14 定期的な教育・保育事業の利用状況【経年比較】

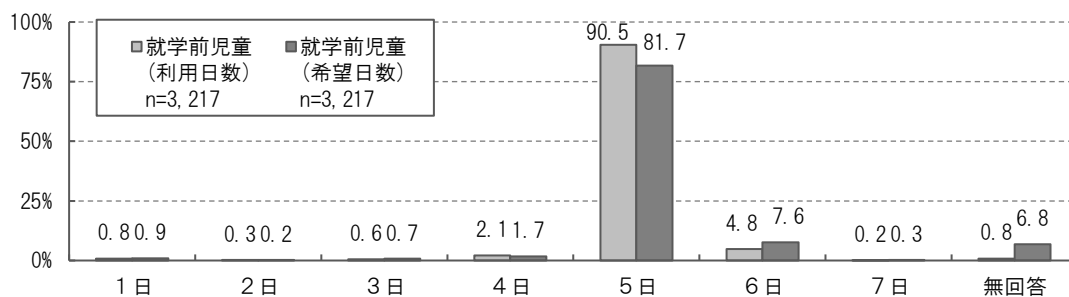


問14-1 定期的な教育・保育事業の利用状況【経年比較】

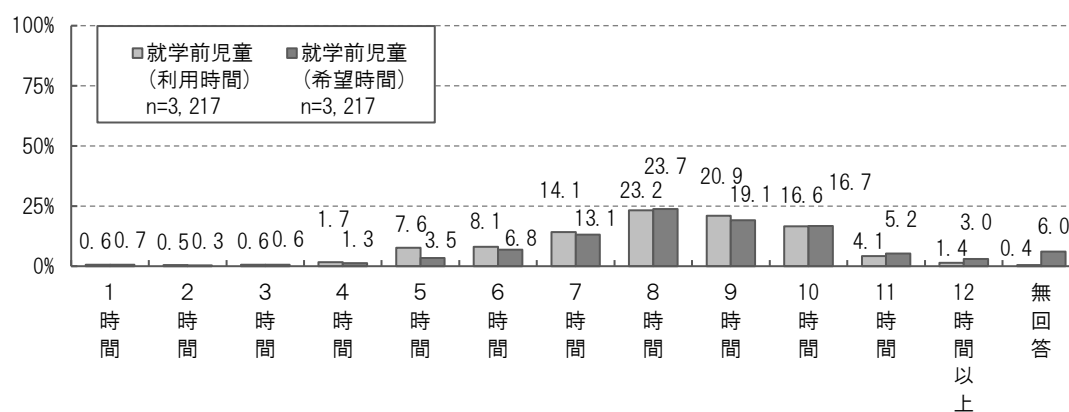


- 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数をみると、利用では「5日」(90.5%)、「6日」(4.8%)の順となり、希望も同様に「5日」(81.7%)、「6日」(7.6%)の順となっています。
- 利用時間と希望時間についてみると、利用・希望ともに「8時間」(23.2%・23.7%)の割合が最も高くなっています。
- 利用時間と希望時間に大差はありません。

問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数(1週当たり)

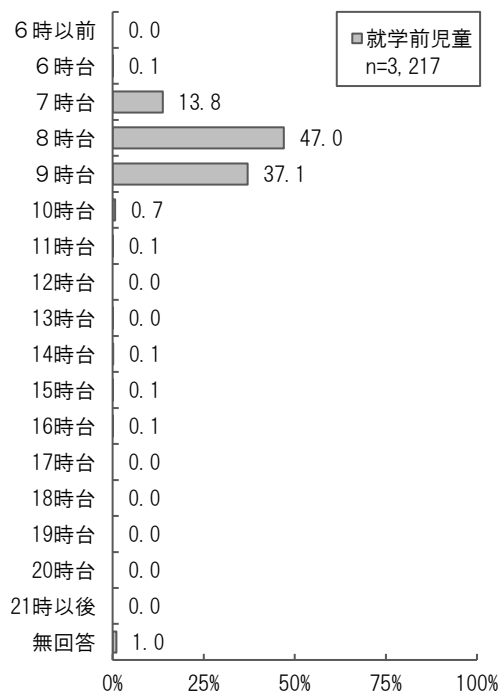


問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間(1日当たり)

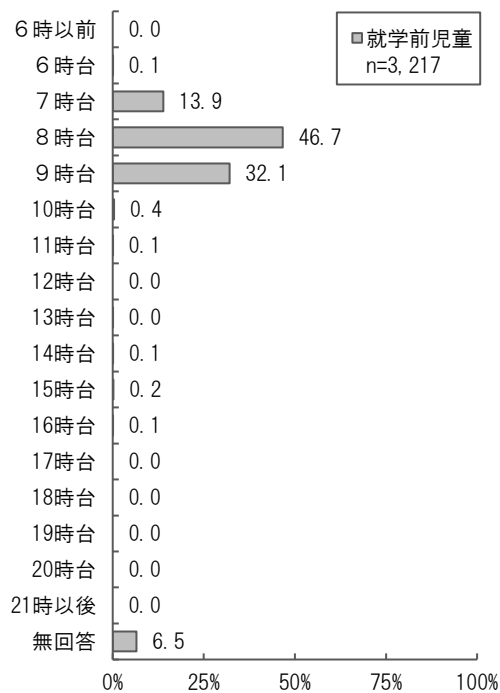


○利用開始時間・希望開始時間ともに「7時台」～「9時台」、利用終了時間・希望終了時間ともに「16時台」～「18時台」で割合が高くなっており、利用時間と希望時間に大差はありません。

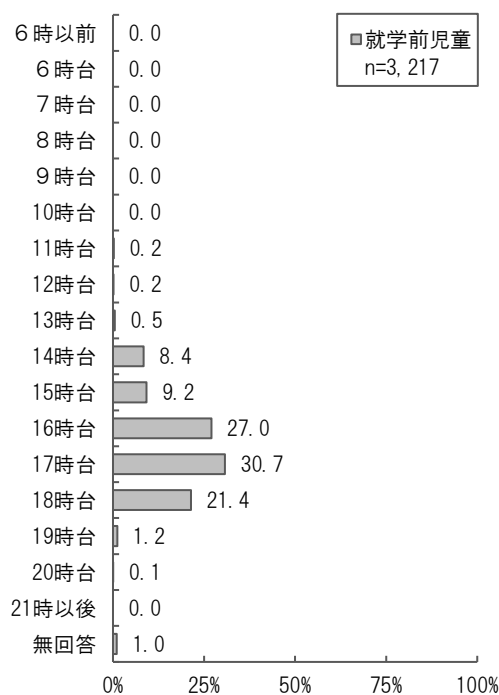
問14-2(1) 利用開始時間



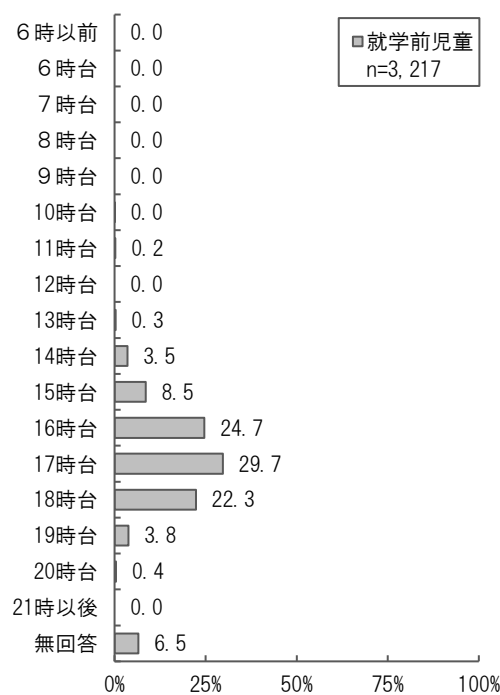
問14-2(2) 希望開始時間



問14-2(1) 利用終了時間



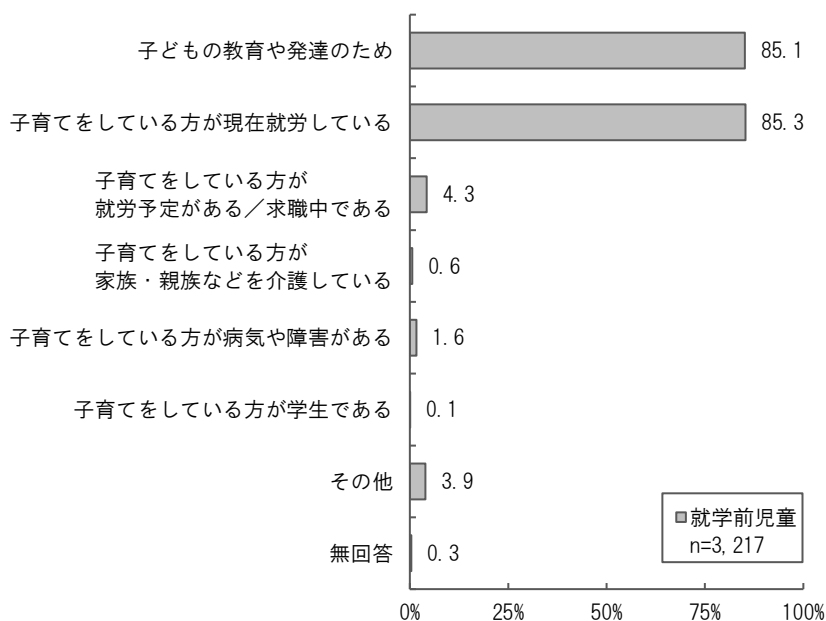
問14-2(2) 希望終了時間



(2) 定期的な教育・保育事業の利用理由と未利用の理由

○平日に教育・保育事業を利用している理由は、「子育てをしている方が現在就労している」(85.3%)と回答した割合が最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」(85.1%)となっています。

問14-3 平日に教育・保育事業を利用している理由

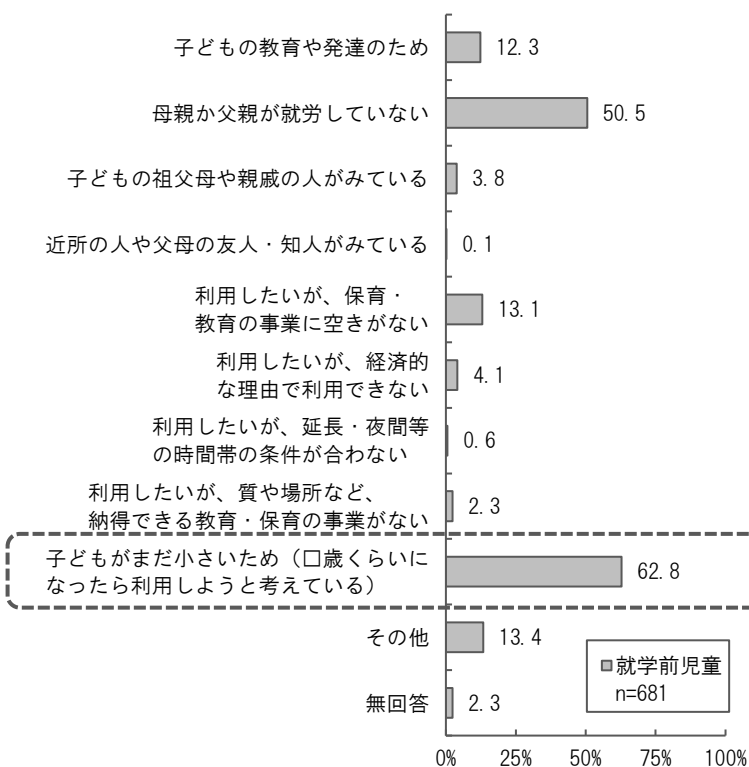


○問 14-3 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由について、「その他」の回答意見としては、「下の子の世話」や「末っ子の面倒」など育児に関する回答、「産休中のため」や「妊娠中のため」など産前産後に関する回答が多くありました。また、「育児休暇中」、「他に預けられる親戚や知人がいない」、「自分の時間をもつため」などの回答もありました。

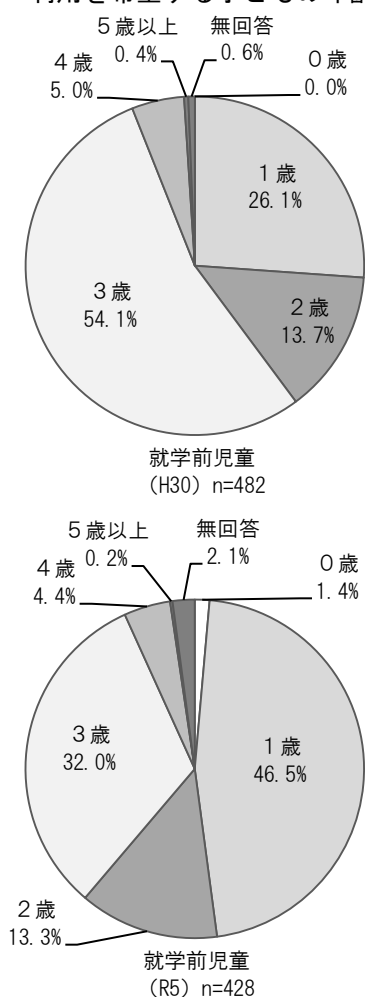
○利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため（〇歳くらいになったら利用しようと考えている）」（62.8%）、「母親か父親が就労していない」（50.5%）の割合が高くなっています。

○「子どもがまだ小さいため（〇歳くらいになったら利用しようと考えている）」と回答した方が、教育・保育事業の利用を希望する子供の年齢は、「1歳」（46.5%）の割合が最も高く、次いで「3歳」（32.0%）、「2歳」（13.3%）となっています。前回調査と比較すると、子どもの年齢が「1歳」での就労希望が20.4^{ポイント}増加しています。

問14-4 教育・保育事業を利用していない理由



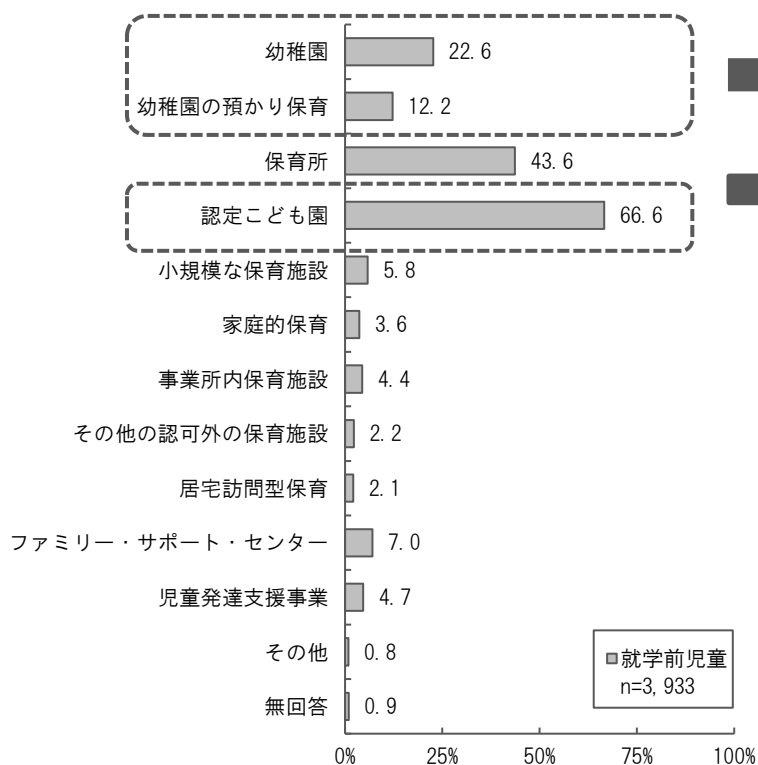
問14-4.9 利用を希望する子どもの年齢



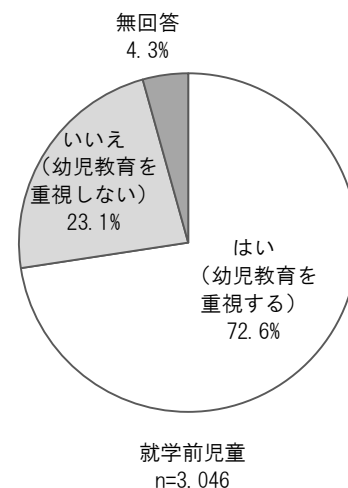
○希望する事業をみると、「認定こども園」は66.6%、「保育所」は43.6%、「幼稚園」は22.6%で高い割合となっています。

○平日の教育・保育の事業として、定期的に「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」「認定こども園」を利用したいと希望した方のうち、「幼児教育を重視する」と回答した方は72.6%となっています。

問15 平日に希望する定期的な教育・保育事業



問15-1 幼児教育への考え方



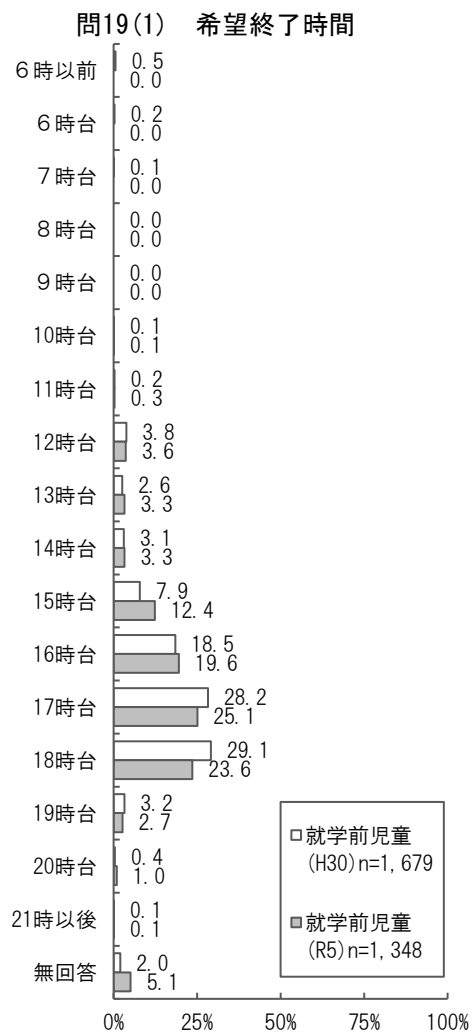
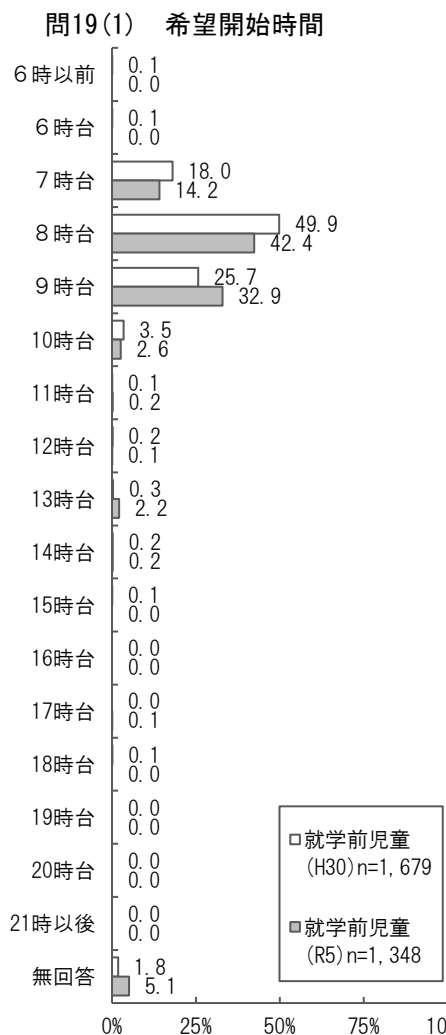
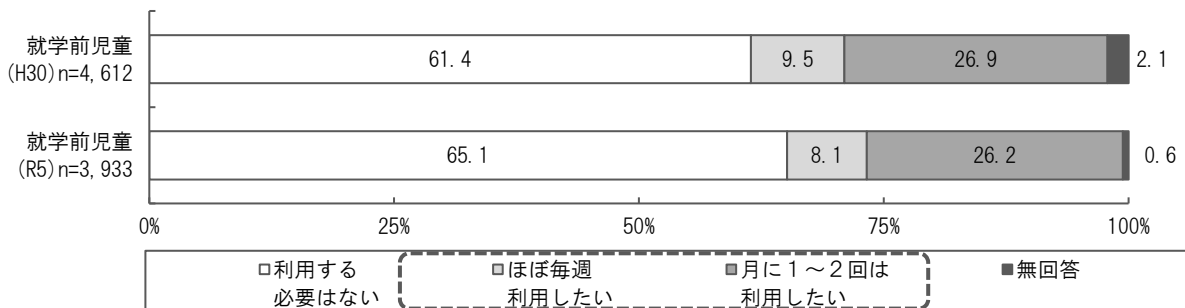
2 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望

(1) 土曜日と日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

○土曜日の教育・保育事業の利用希望をみると、「月に1～2回は利用したい」が26.2%、「ほぼ毎週利用したい」が8.1%となっています。前回調査と比較すると、「利用する必要はない」が3.7^{ポイント}増加しています。

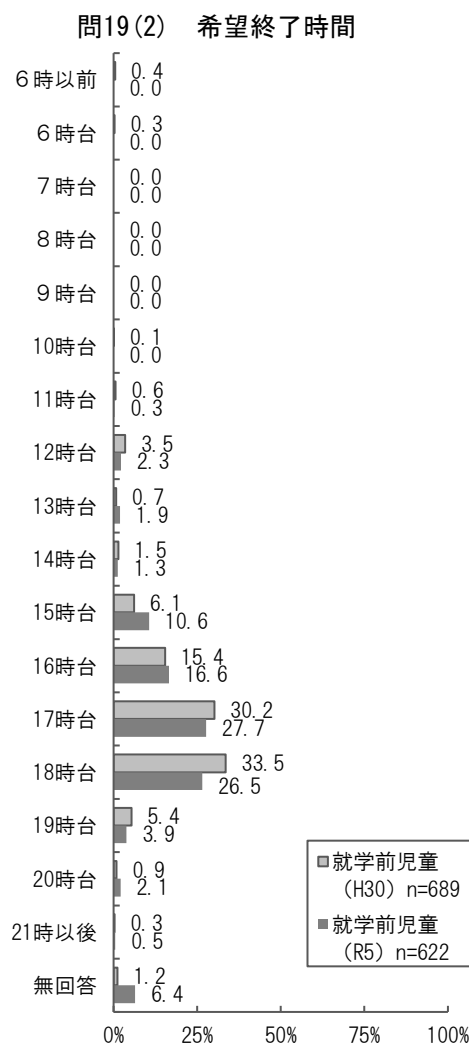
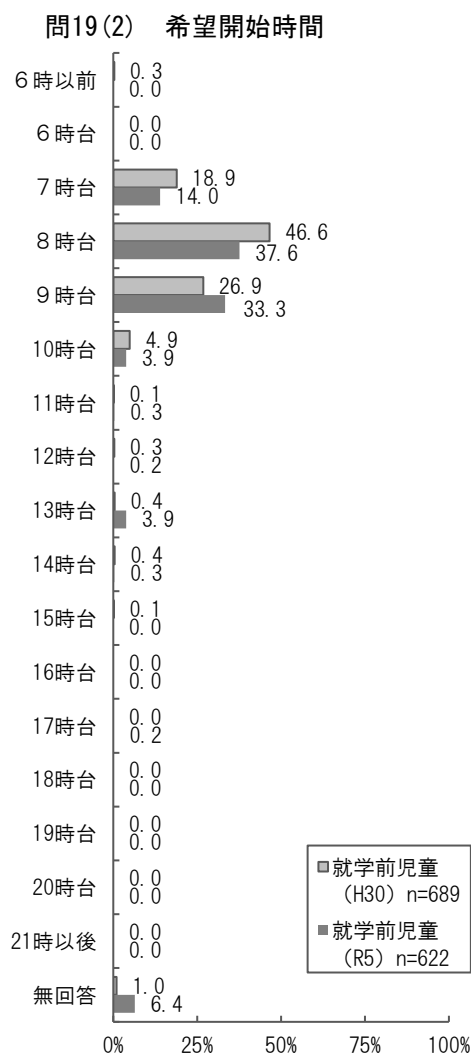
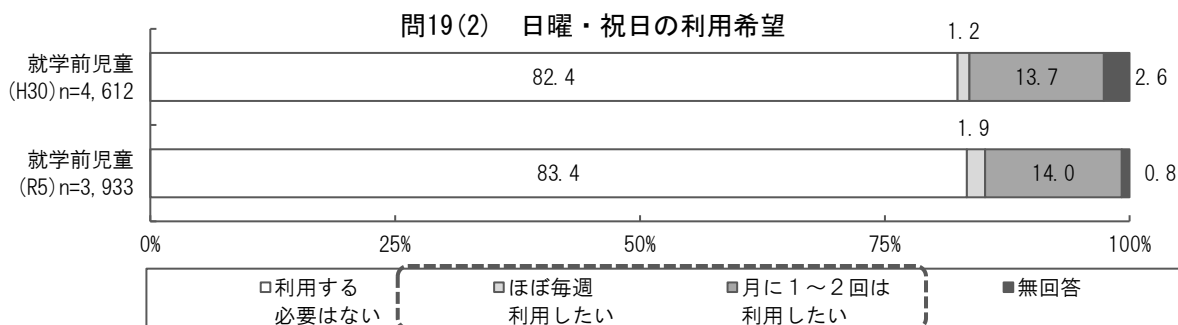
○土曜日の利用希望者は、事業の開始時間は42.4%の方が「8時台」、32.9%の方が「9時台」、終了時間は25.1%の方が「17時台」、23.6%の方が「18時台」、19.6%の方が「16時台」を希望しています。

問19(1) 土曜日の利用希望【経年比較】



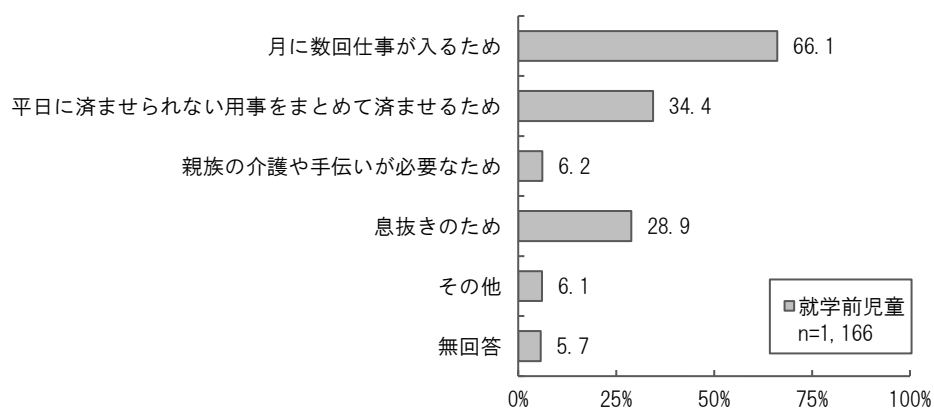
○日曜・祝日の教育・保育事業の利用希望をみると、「利用する必要はない」が8割以上を占めるものの、「月に1～2回は利用したい」を14.0%の方が希望しています。また、「ほぼ毎週利用したい」と定期的な利用を希望している方は1.9%に留まっています。

○日曜・祝日の利用希望者は、事業の開始時間は37.6%の方が「8時台」、33.3%の方が「9時台」、終了時間は27.7%の方が「17時台」、26.5%の方が「18時台」、16.6%の方が「16時台」を希望しています。



○土曜日・日曜・祝日において「月に1～2回は利用したい」理由をみると、「月に数回仕事が入るため」が66.1%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が34.4%、「息抜きのため」が28.9%となっています。

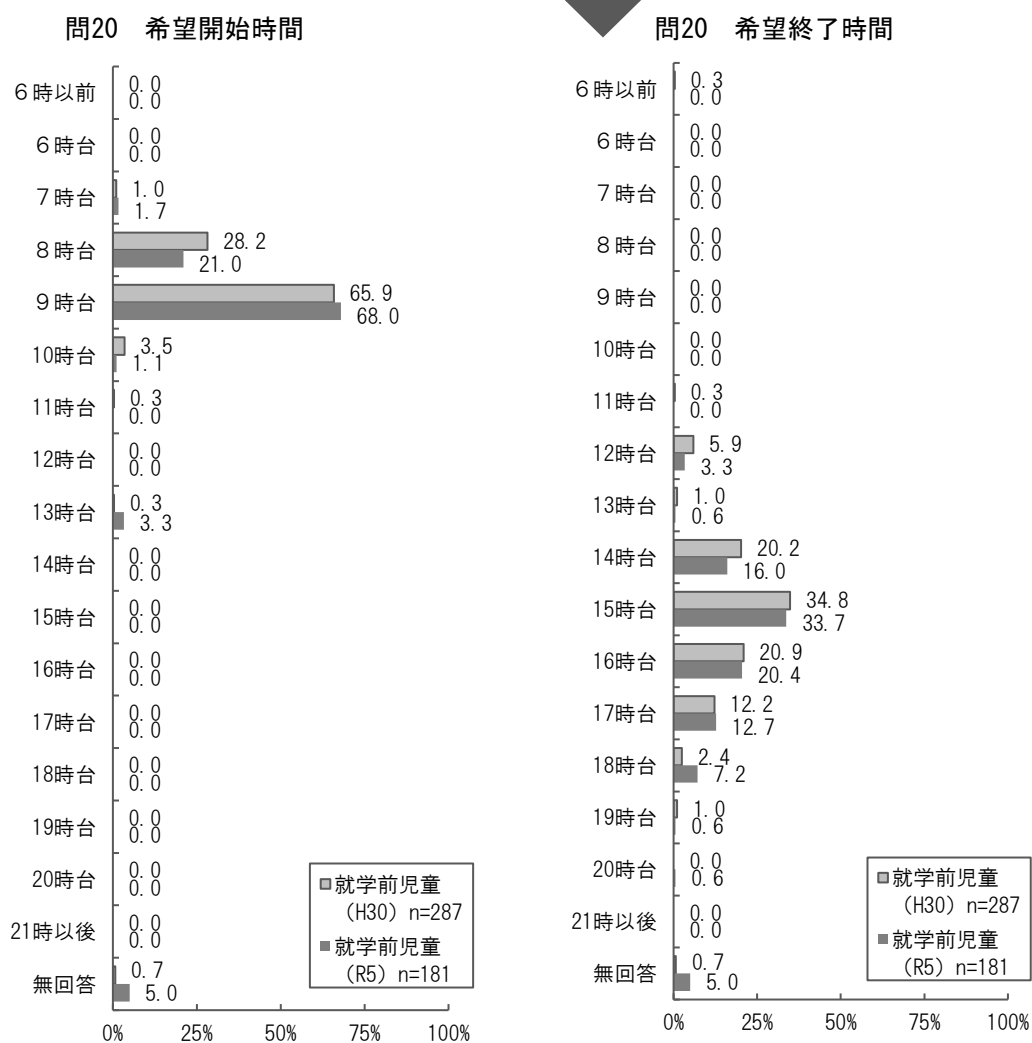
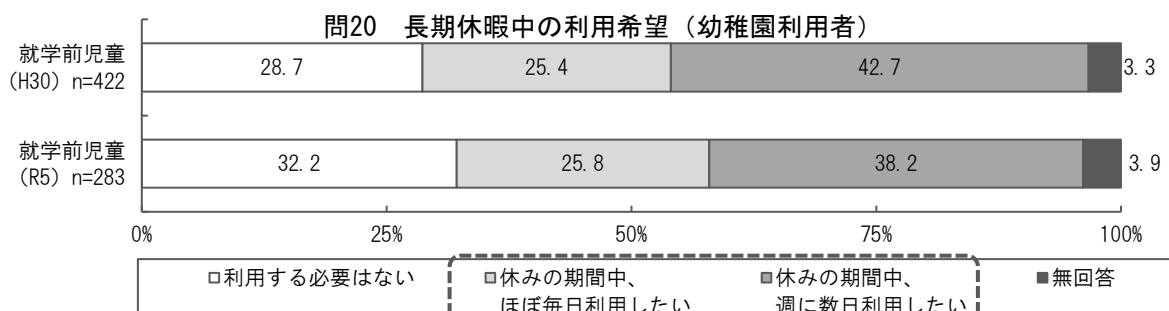
問19-1 毎週ではなく「月に1～2回は利用したい」理由



(2) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

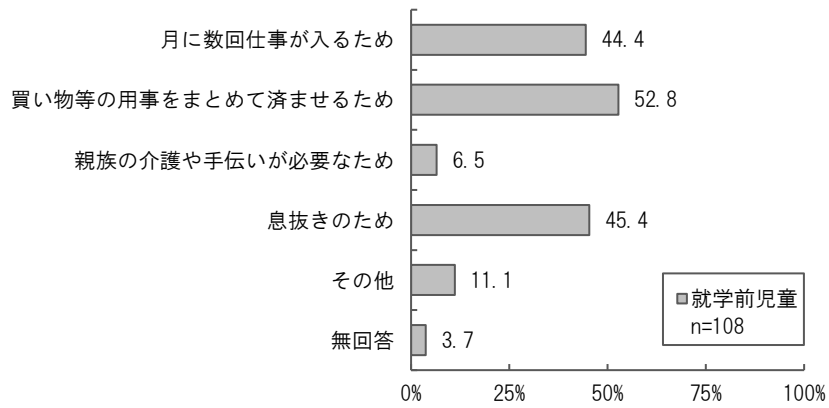
○幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業の利用希望をみると、「休みの期間中、週に数日利用したい」が38.2%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が25.8%となっています。

○長期休暇中の利用希望者は、事業の開始時間を68.0%の方が「9時台」、21.0%の方が「8時台」、終了時間は33.7%の方が「15時台」、20.4%の方が「16時台」、16.0%の方が「14時台」を希望しています。



○長期休暇中において「休みの期間中、週に数日利用したい」理由をみると、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が52.8%と最も高く、次いで「息抜きのため」が45.4%、「月に数回仕事が入るため」が44.4%となっています。

問21-1 「休みの期間中、週に数日利用したい」理由（幼稚園利用者）



3 子育て支援事業の現状と今後の利用希望

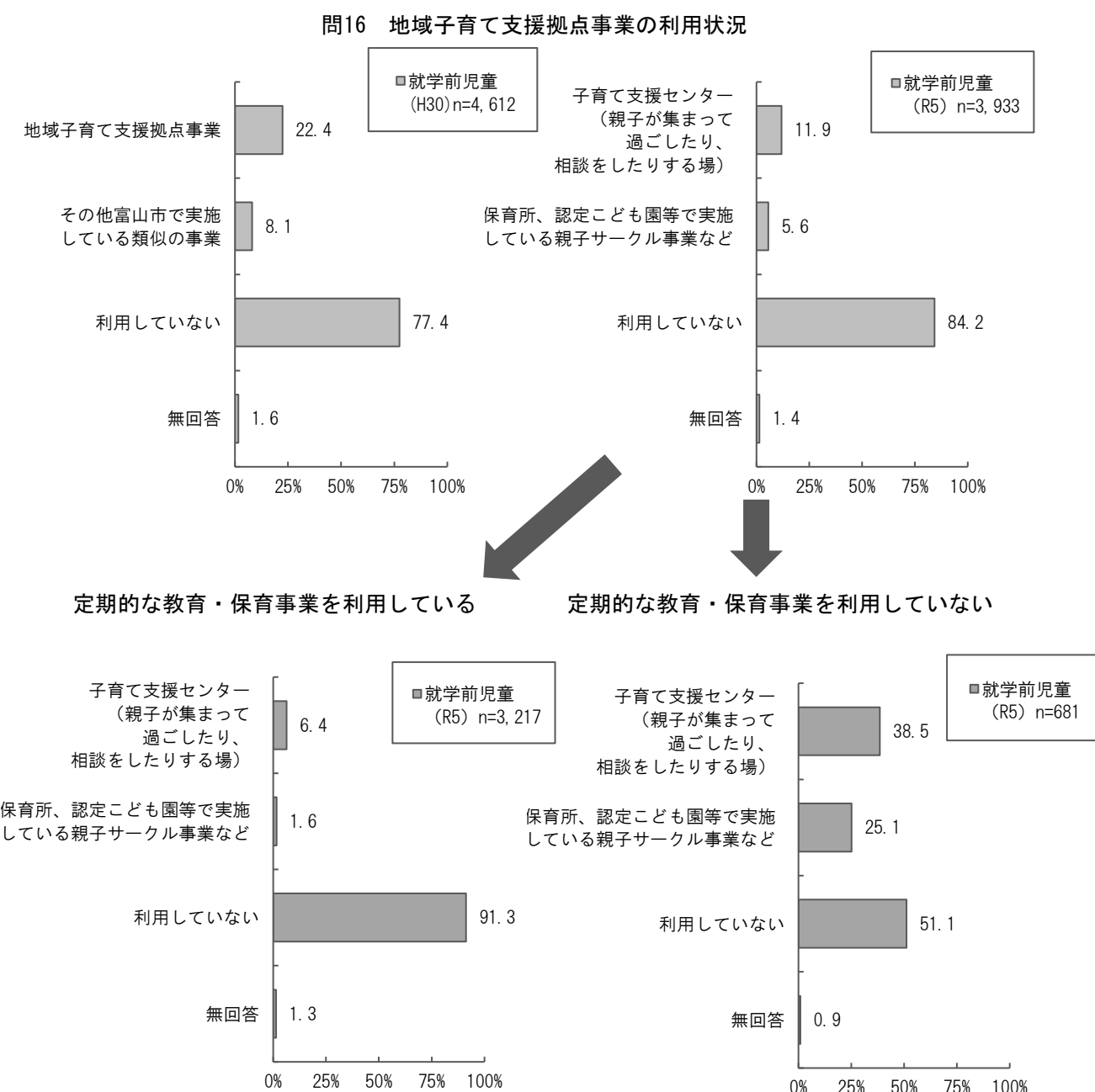
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

○子育て支援センターを利用している方は11.9%となり、前回調査と比較すると、10.5ポイント減少しています。また保育所、認定こども園等で実施している親子サークル事業などを利用している方は5.6%となっています。

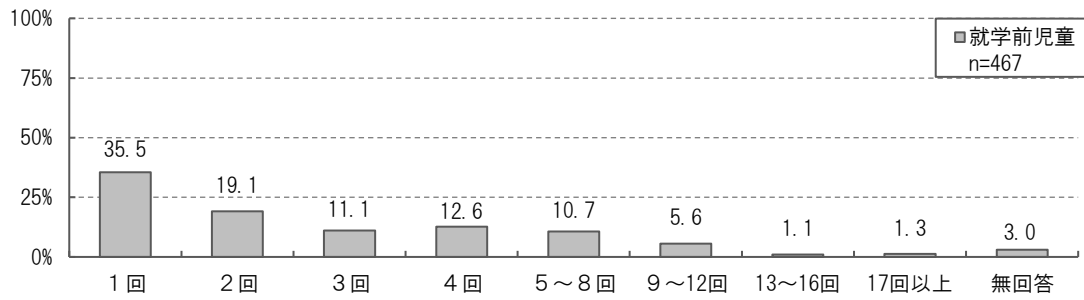
○子育て支援センター利用者の1か月当たりの利用回数は、「1回」が35.5%、「2回」が19.1%となっています。

○保育所、認定こども園等で実施している親子サークル事業などの1か月当たりの利用回数は、「4回」が26.6%、「1回」が25.7%となっています。

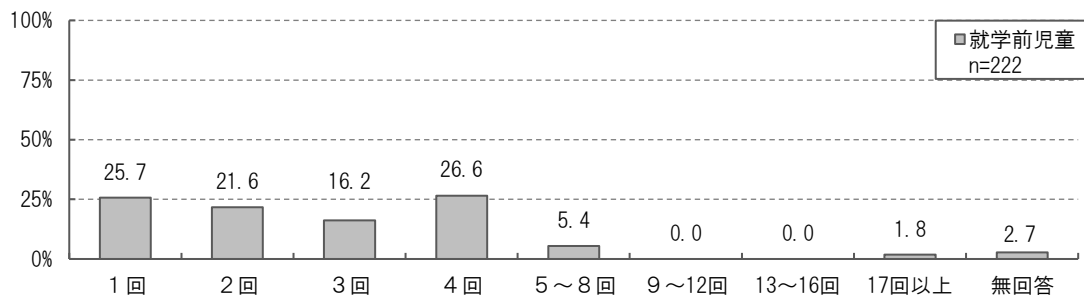
※地域子育て支援拠点事業＝子育て支援センターにおける各種事業



問16.1 子育て支援センター（親子が集まって過ごしたり、相談をしたりする場）（1か月当たり）



問16.2 保育所、認定こども園等で実施している親子サークル事業など（1か月当たり）

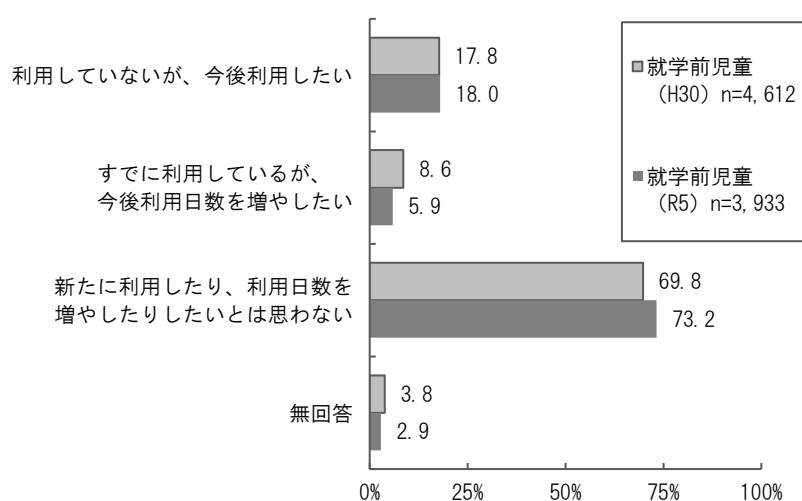


(2) 今後の利用希望

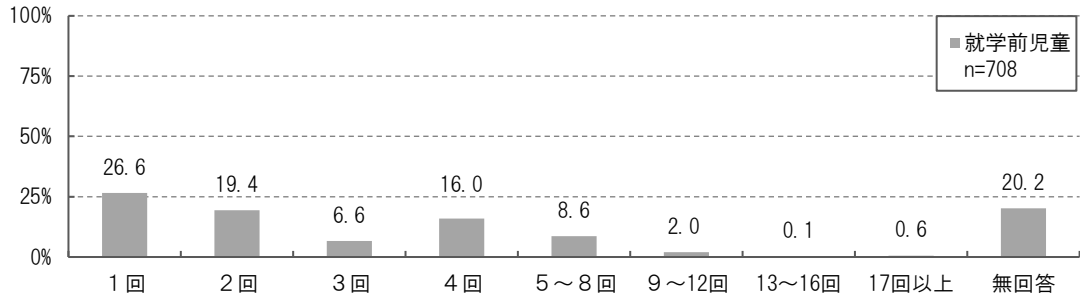
○地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望をみると、「利用していないが、今後利用したい」は18.0%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は5.9%となっています。前回調査と比較すると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない」と回答した方は、3.4^{ポイント}増加しています。

○未利用者の今後の利用希望回数は、「1回」が26.6%、「2回」が19.4%となっています。また、既利用者が今後増やしたい1か月当たりの利用回数は、「4回」が23.7%と最も高くなっています。

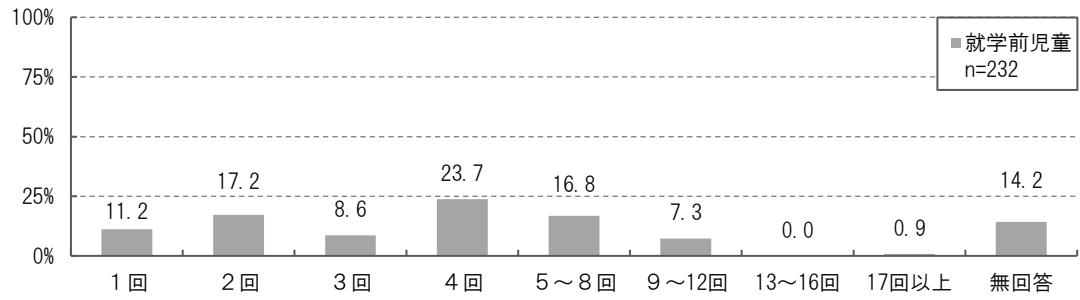
問17 地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望



問17.1 未利用者の今後の利用希望回数（1か月当たり）



問17.2 既利用者の今後増やしたい利用回数（1か月当たり）



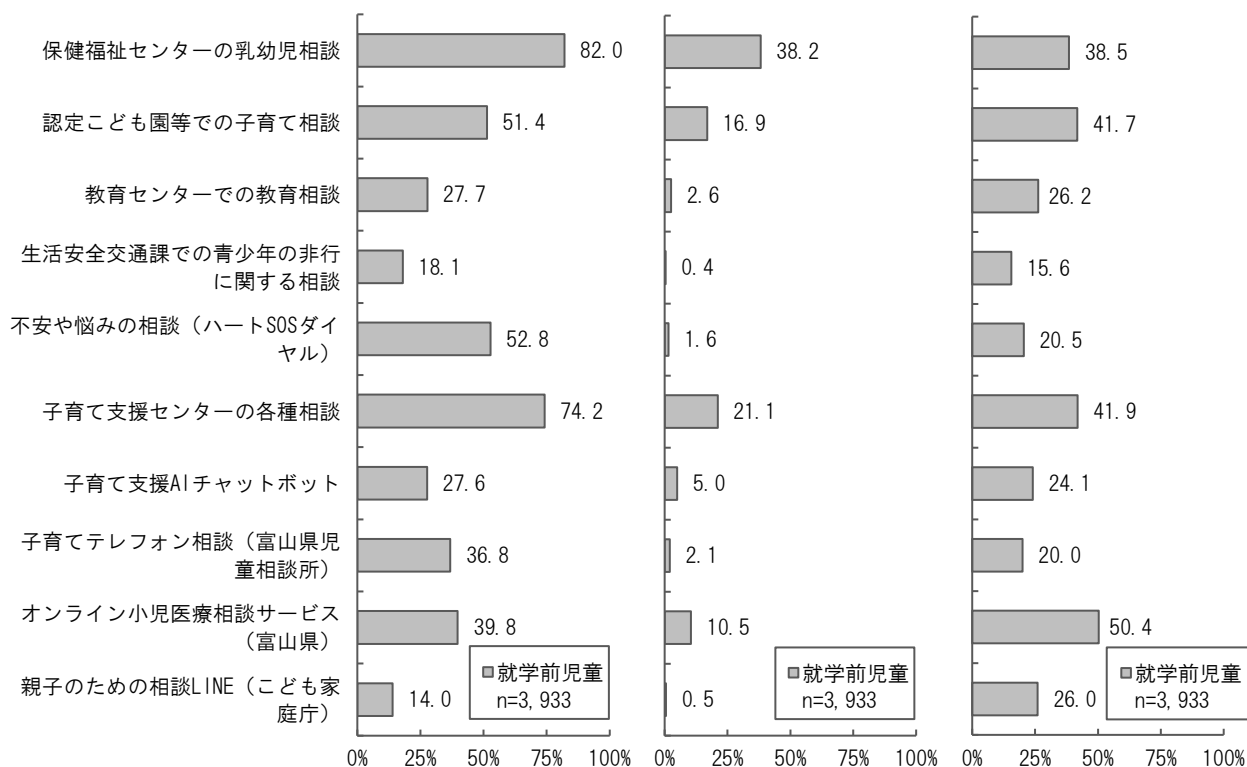
(3) 子育てに関する各種相談事業の周知度・利用状況と今後の利用希望

○子育てに関する各種相談事業の周知度をみると、「保健福祉センターの乳幼児相談」(82.0%)、「子育て支援センターの各種相談」(74.2%)、「不安や悩みの相談(ハートSOSダイヤル)」が上位を占めています。「子育て支援AIチャットボット」は、27.6%にとどまっています。

○これまでに利用したことがある事業は「保健福祉センターの乳幼児相談」(38.2%)、「子育て支援センターの各種相談」(21.1%)となっており、周知度が高い事業においても、利用度は低くなっています。

○今後の利用希望をみると、「オンライン小児医療相談サービス(富山県)」が50.4%で最も高く、次いで「子育て支援センターの各種相談」が41.9%、「認定こども園等での子育て相談」が41.7%となっています。多くの事業は2~4割台となっています。

問18 A. 事業を知っている B. これまでに利用したことがある C. 今後利用したい

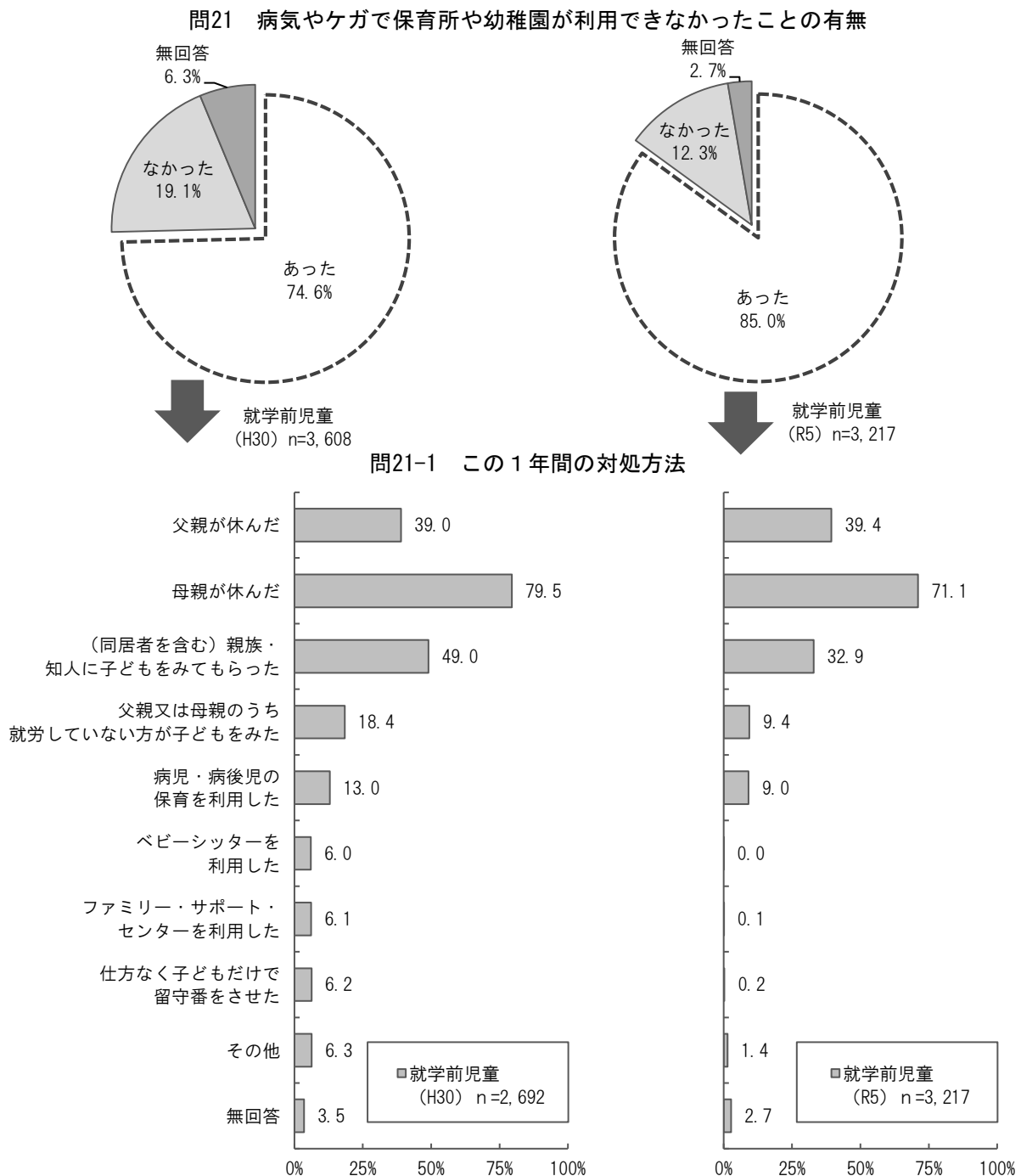


4 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ

(1) 病気やケガで保育所や幼稚園が利用できない時の対処

○病気やケガで保育所や幼稚園が利用できなかったことが、「あった」方は85.0%となっています。前回と比較すると、10.4^{ポイント}増加しています。

○その際の対処方法をみると、「母親が休んだ」が71.1%と最も高く、次いで「父親が休んだ」(39.4%)、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(32.9%)となっています。前回調査と比較すると、「(同居者を含む)親族・友人に子どもをみてもらった」が16.1^{ポイント}、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が9.0^{ポイント}減少しています。

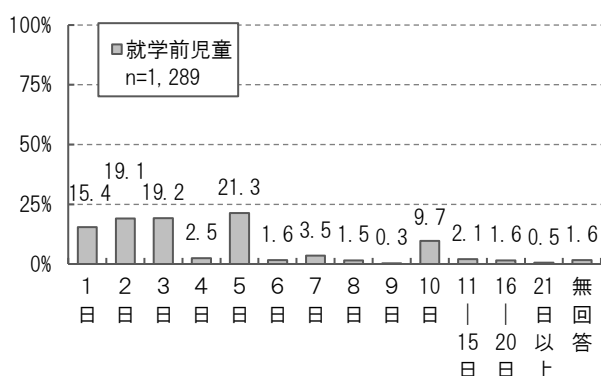


○この1年間の対処方法別の日数をみると、『父親が休んだ日数』は「5日」(21.3%)、「3日」(19.2%)、『母親が休んだ日数』は「10日」(21.8%)、「5日」(16.9%)の順となっています。

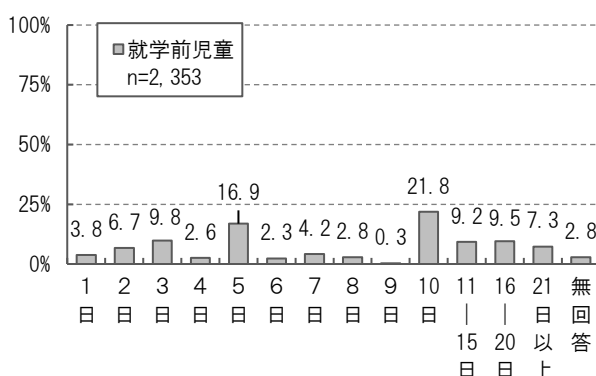
○『(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった日数』は「5日」(22.4%)、「2日」(15.2%)、『父親・母親のうち就労していない方が子どもをみた日数』は「10日」(16.2%)、「5日」(13.8%)の順となっています。

○『病児・病後児の保育を利用した日数』は「2日」(19.9%)、「3日」(17.6%)、ベビーシッターとファミリー・サポート・センターはほとんど利用者がいませんでした。また、『仕方なく子どもだけで留守番をさせた』という回答もありました。

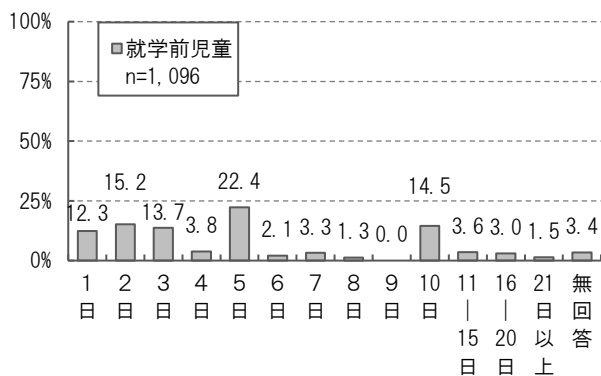
問21-1.1 父親が休んだ日数



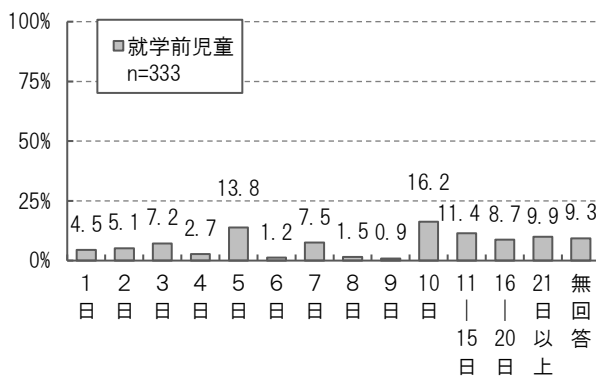
問21-1.2 母親が休んだ日数



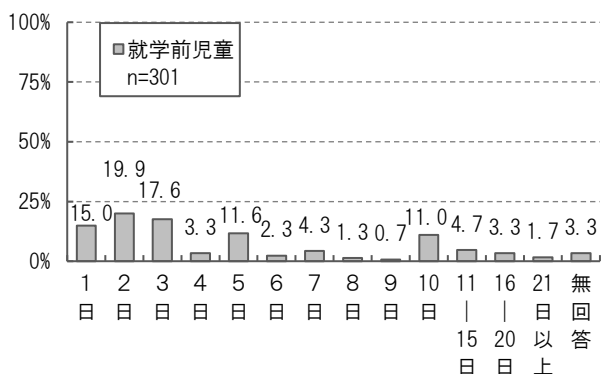
問21-1.3 (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった日数



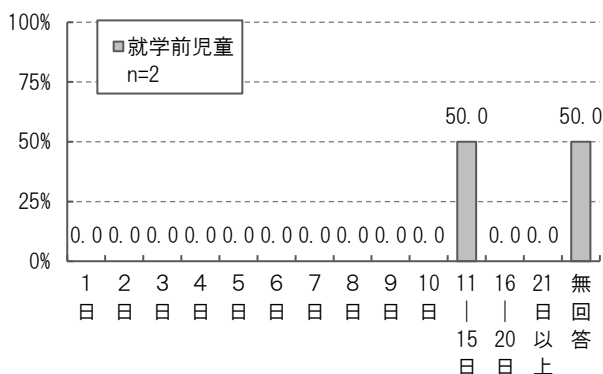
問21-1.4 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた日数



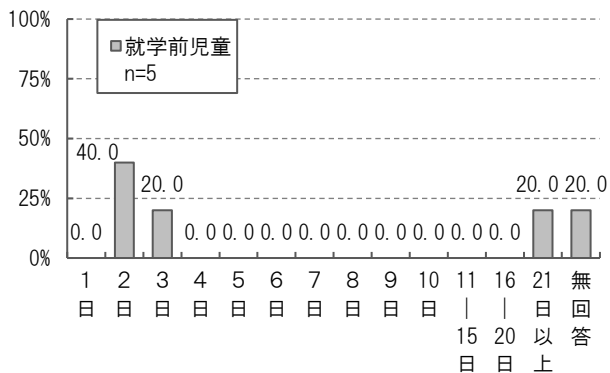
問21-1.5 病児・病後児の保育を利用した日数



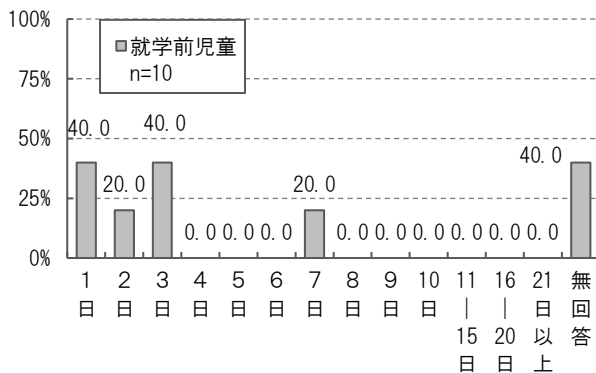
問21-1.6 ベビーシッターを利用した日数



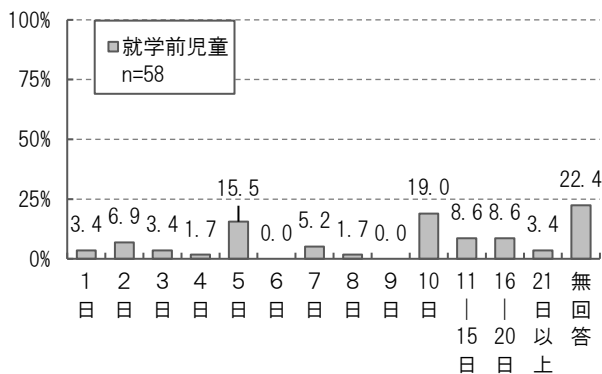
問21-1.7 ファミリー・サポート・センターを利用した日数



問21-1.8 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数



問21-1.9 その他



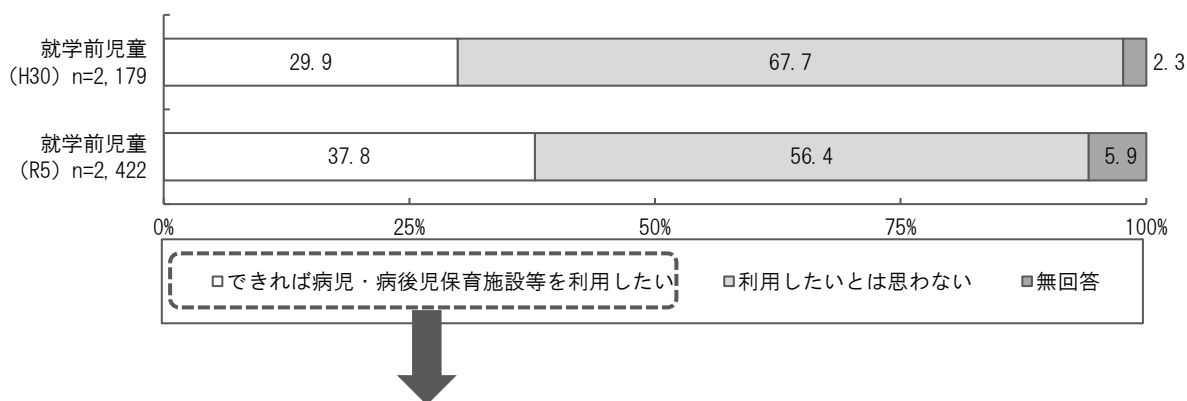
○問 21-1 病気やケガで保育所や幼稚園が利用できないときの対処について、「その他」の回答意見としては、「テレワークを実施」や「在宅勤務にした」など在宅で仕事をしながらお子さんを看病したという回答が多くありました。また「仕事場でみている」や「自営業なので店に連れていった」などお子さんを職場に連れていったという回答もありました。

○父親・母親が休んで対処した方の病児・病後児保育施設の利用希望をみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が37.8%となっています。前回調査と比較すると、7.9^{ポイント}増加しています。

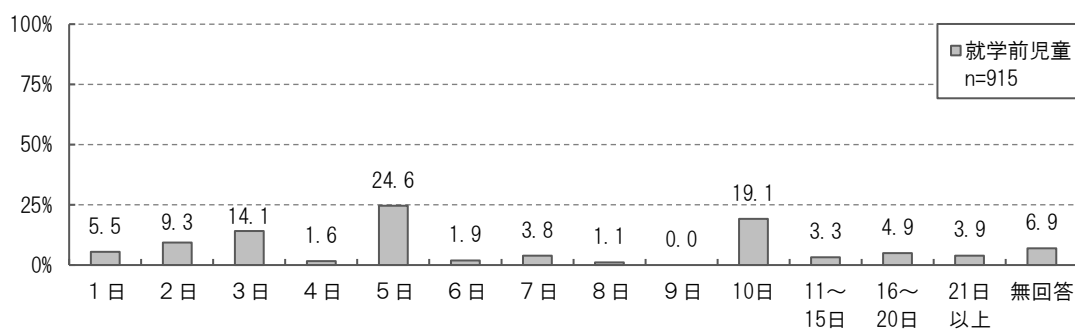
○その際の年間利用希望日数は、「5日」(24.6%)、「10日」(19.1%)の順となっています。

○病児・病後児保育施設に子どもを預ける場合の利用したい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が81.0%と最も高くなっています。

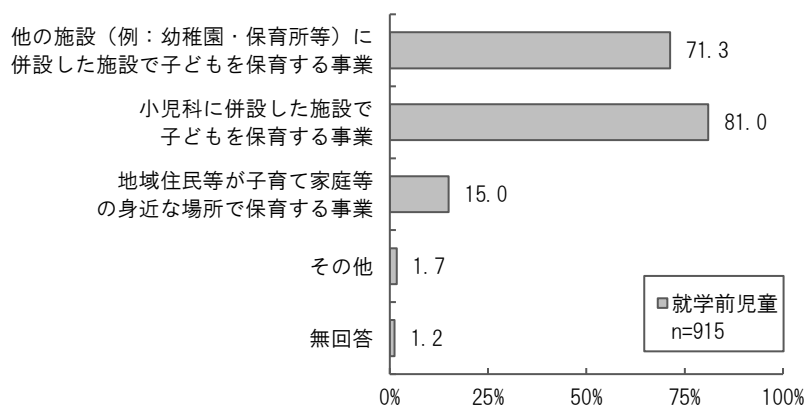
問21-2 父親・母親が休んで対処した方の病児・病後児保育施設の利用希望



問21-2.1 病児・病後児保育施設の利用希望日数

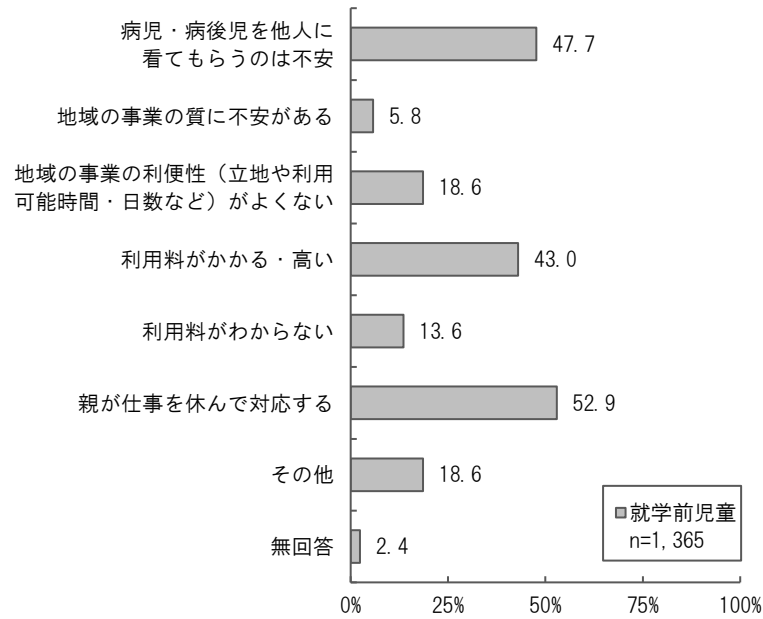


問21-3 病児・病後児保育施設で利用したい事業形態



○父親・母親が休んで対処した方について、病児・病後児保育施設等の利用を希望しない理由として、「親が仕事を休んで対応する」(52.9%)、「病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安」(47.7%)、「利用料がかかる・高い」(43.0%)をあげた割合が高くなっています。

問21-4 病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由

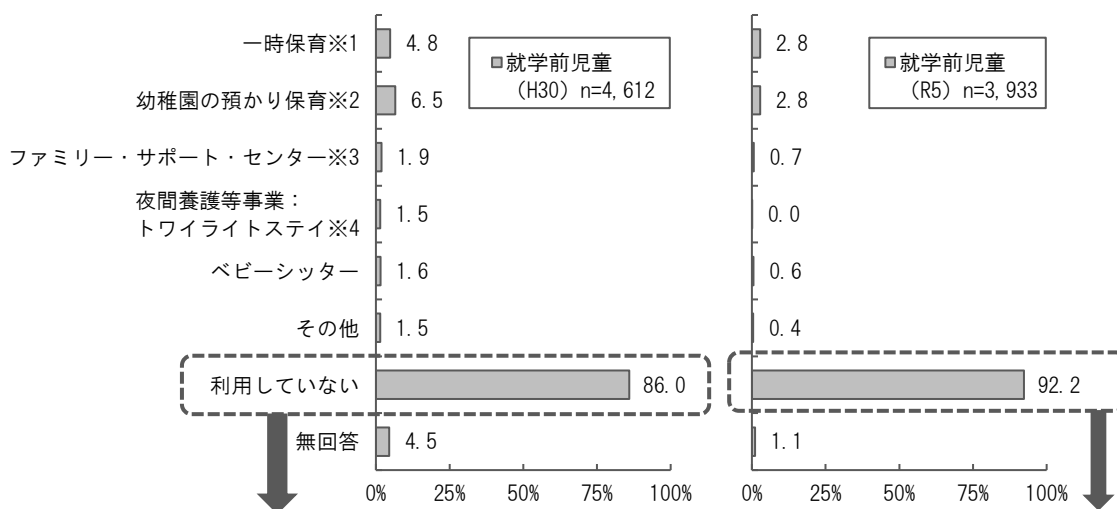


5 不定期的に利用している教育・保育事業や一時保育等について

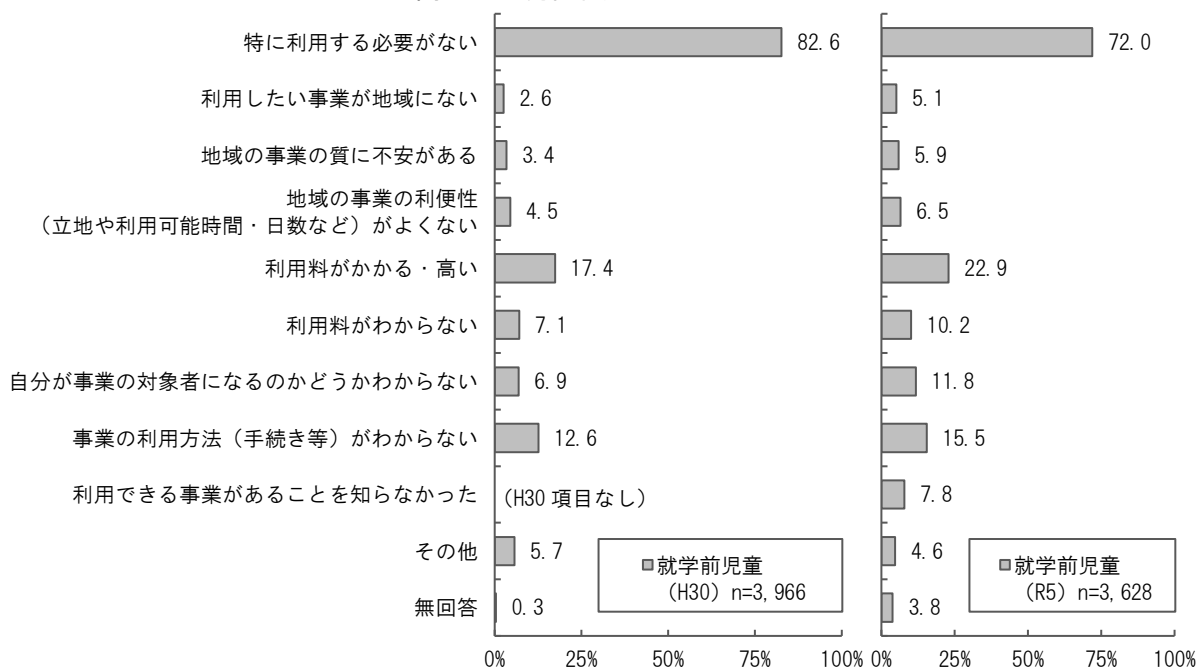
(1) 不定期的に利用している教育・保育事業や一時保育等の状況

- 不定期的に利用している教育・保育事業の状況をみると、前回調査と同様、「一時保育」(2.8%)、「幼稚園の預かり保育」(2.8%)をはじめ、あまり利用がない状況です。
- 「利用していない」理由としては、「特に利用する必要がない」が72.0%を占めています。また、それ以外の理由としては、「利用料がかかる・高い」(22.9%)、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(15.5%)をあげています。

問22 不定期的に利用している教育・保育事業



問22-1 現在利用していない理由



※1 一時保育:私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業

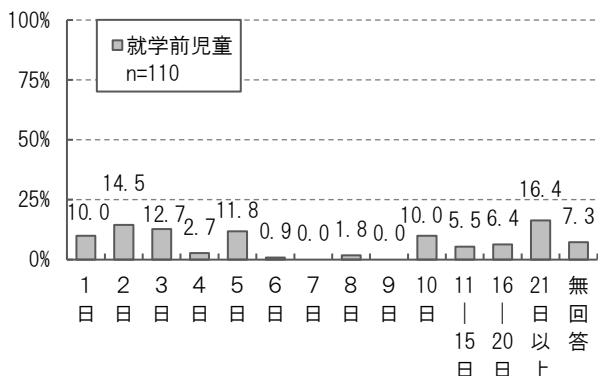
※2 通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期的に利用する場合のみ子どもを預かる事業

※3 子育てのお手伝いができる方(協会会員)が、子育てを手伝ってほしい方(依頼会員)の子育てをサポートする事業

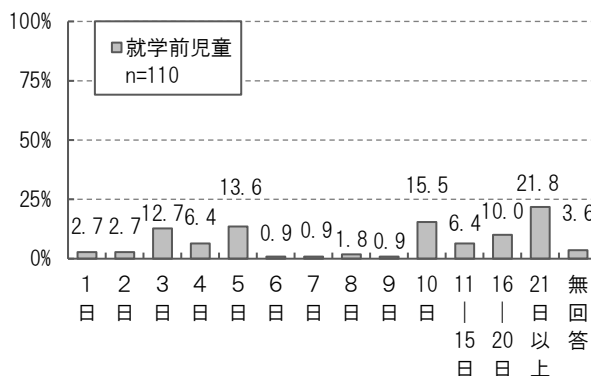
※4 児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業

○事業別の年間利用日数は、以下のとおりです。

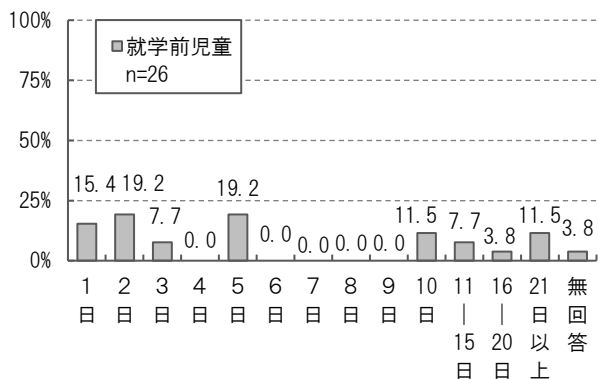
問22.1 「一時保育」年間利用日数



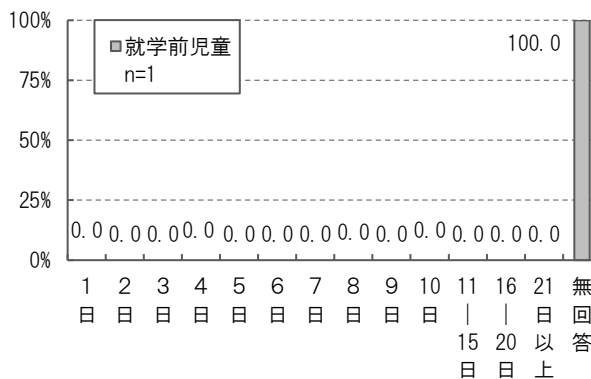
問22.2 「幼稚園の預かり保育」年間利用日数



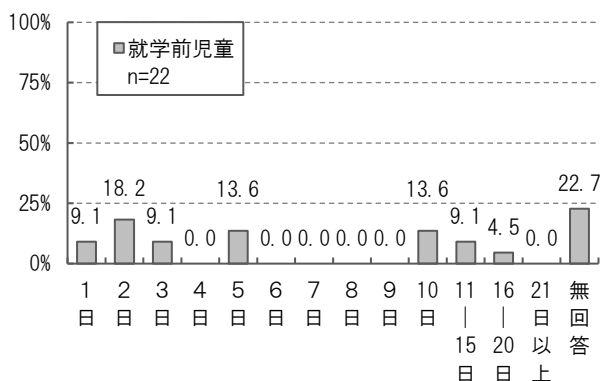
問22.3 「ファミリー・サポート・センター」年間利用日数



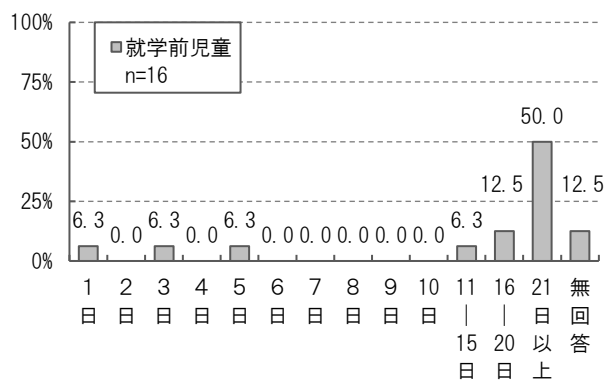
問22.4 「夜間養護等事業」年間利用日数



問22.5 「ベビーシッター」年間利用日数



問22.6 「その他」年間利用日数

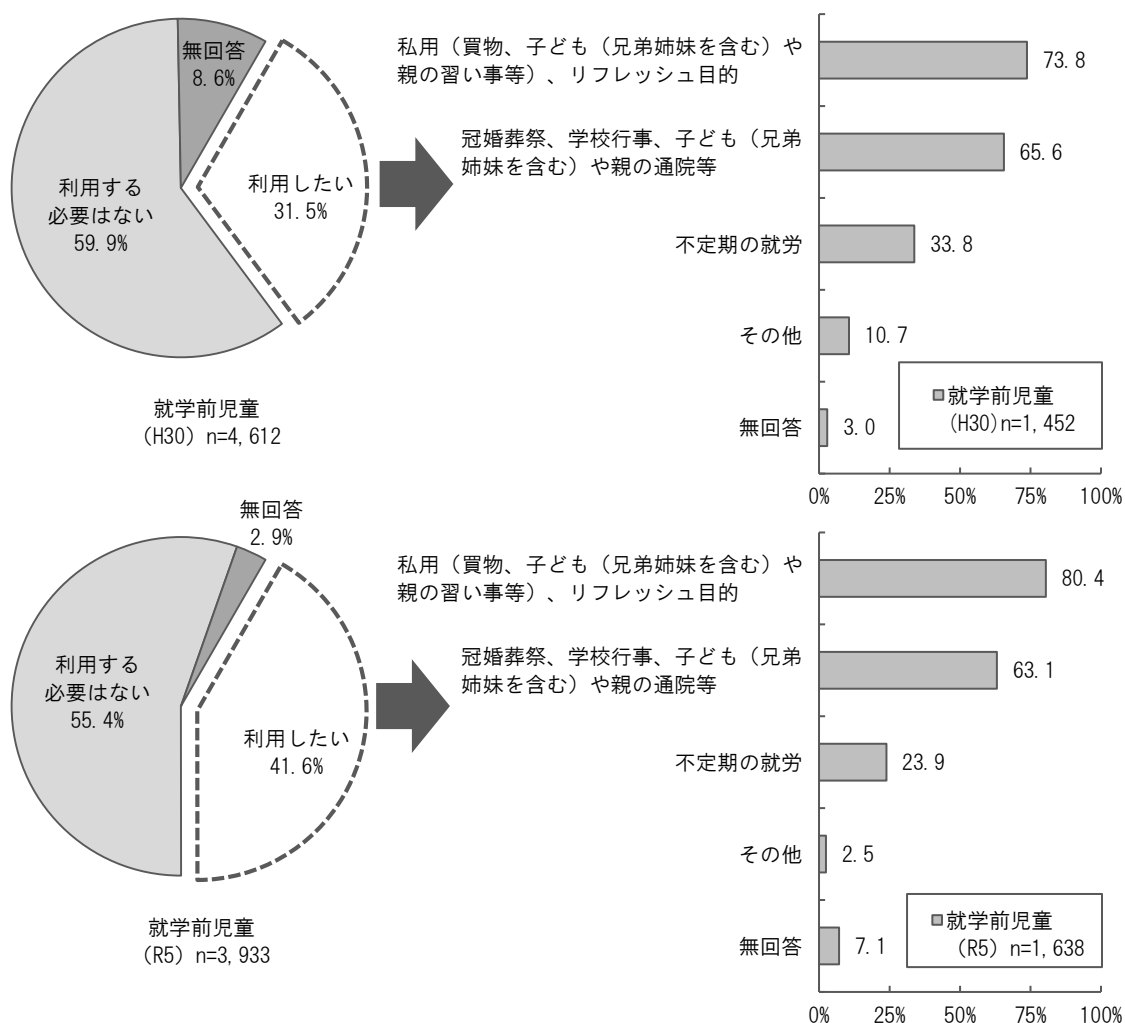


○問22-1 教育・保育事業を不定期に利用していない理由について、「その他」の回答意見としては、「一時保育に空きがない」や「予約が取れない」など利用したいが利用できないという回答、「子どもがかわいそう」や「子どもが嫌がる」など預けるのに不安があるという回答が多くありました。また「親族など預ける」、「手続きが面倒」、「罪悪感がある」などの回答もありました。

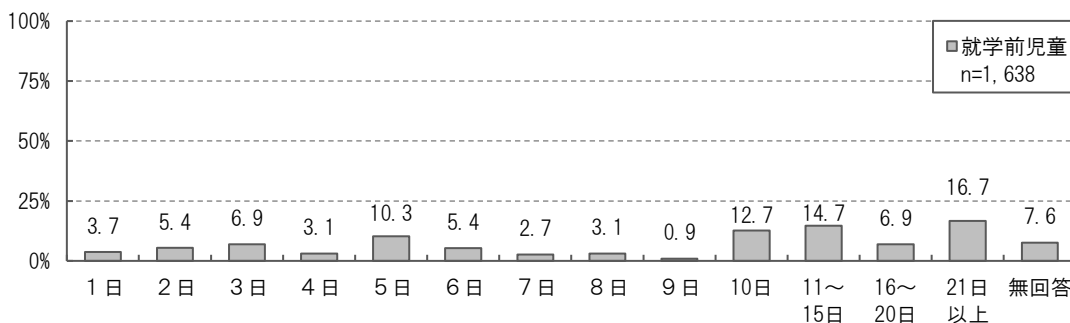
○不定期的に利用する事業の利用希望をみると、「利用する必要はない」が55.4%、「利用したい」が41.6%となっています。前回調査と比較すると「利用する必要はない」が4.5ポイント減少し、「利用したい」が10.1ポイント増加しています。「利用したい」と回答した方の目的は、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」（80.4%）、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」（63.1%）、「不定期の就労」（23.9%）の順となっています。「その他」の回答意見としては、「自分の体調不良」や「妊婦検診」など保護者の体調不良や検診に関する回答が多くありました。また「緊急時の用事」、「求職活動」、「介護」などの回答もありました。

○年間の利用希望日数の合計は、「21日以上」が16.7%と最も高くなっています。

問23 不定期的に利用する事業の利用希望とその目的



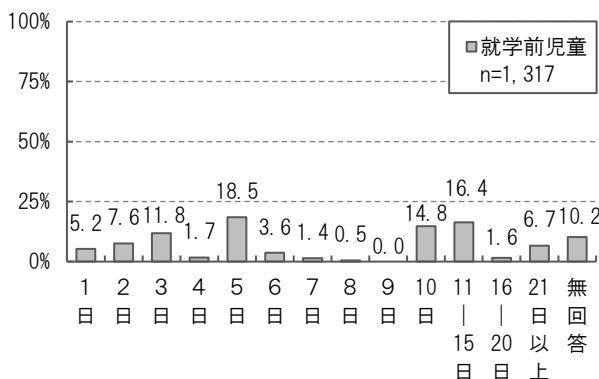
問23.1 不定期に利用する事業の利用希望年間合計日数



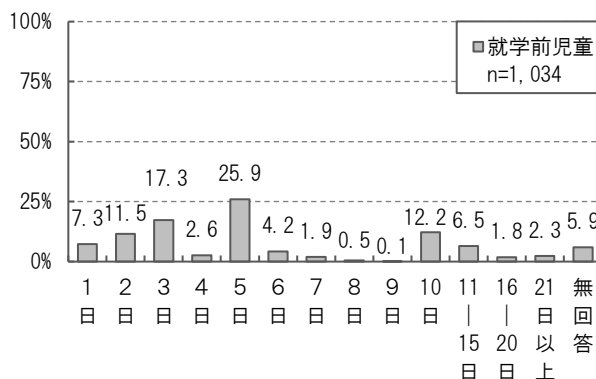
○目的ごとの年間利用希望日数は、『私用、リフレッシュ目的』、『冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等』、『不規則の就労』ともに、「5日」(18.5%、25.9%、15.6%)の割合が高くなっています。

○一時保育として子どもを預ける場合の望ましい事業形態は、幼稚園・保育所等のような「大規模施設で子どもを預かる事業」が68.5%と最も高くなっています。

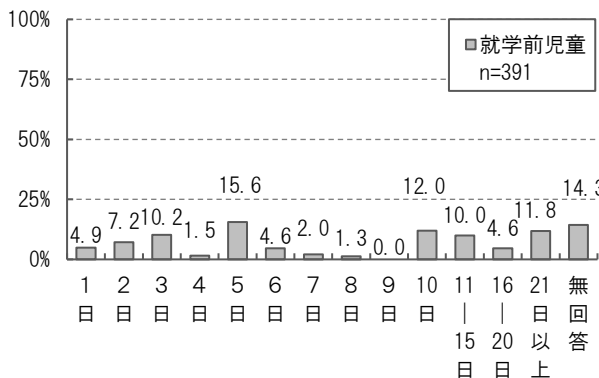
問23.1① 私用、リフレッシュ目的



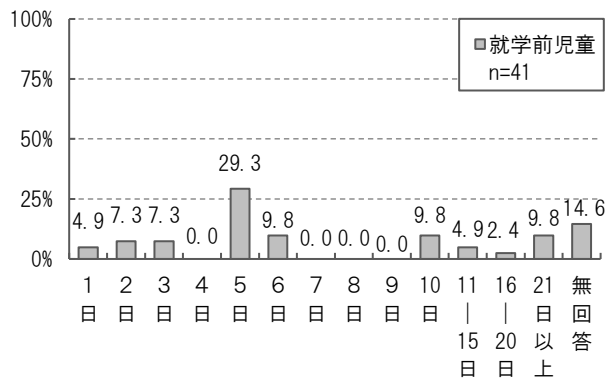
問23.1② 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等



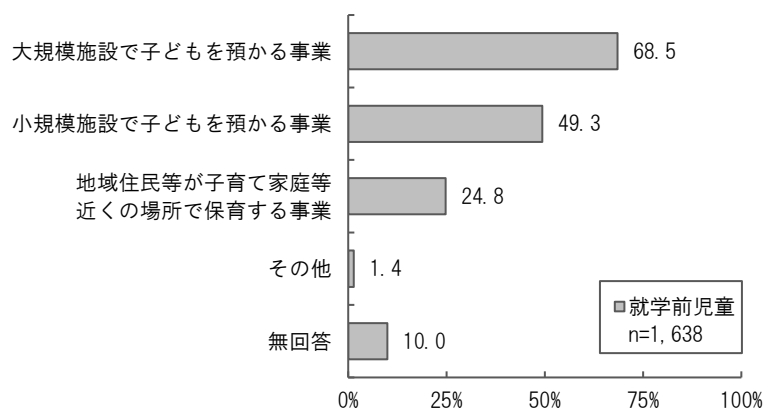
問23.1③ 不規則の就労



問23.1④ その他



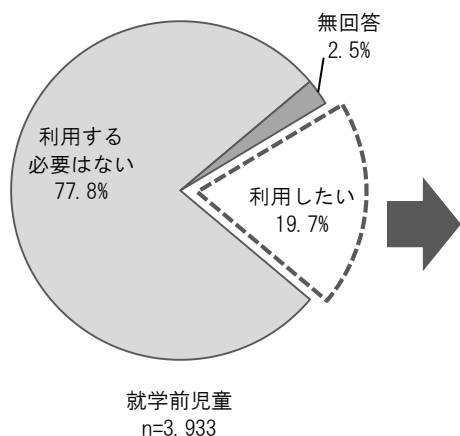
問23-1 子どもを預ける場合の望ましい事業形態



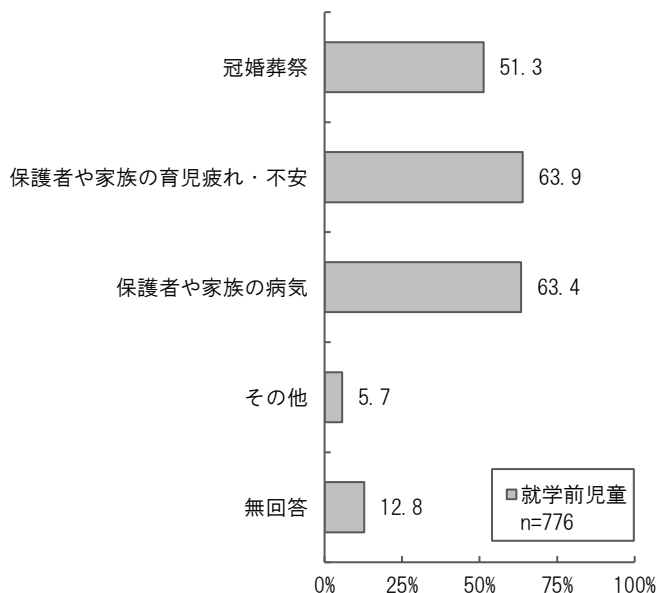
(2) 宿泊を伴う保育の利用希望

- 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の育児疲れや育児不安、病気など）により、短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用したい方は19.7%となっています。そのうち利用目的としては、「保護者・家族の育児疲れ・不安」が63.9%、「保護者や家族の病気」が63.4%、「冠婚葬祭」が51.3%となっています。
- 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の年間利用希望日数の合計は、「5日」が11.3%と最も高くなっています。

問24 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望

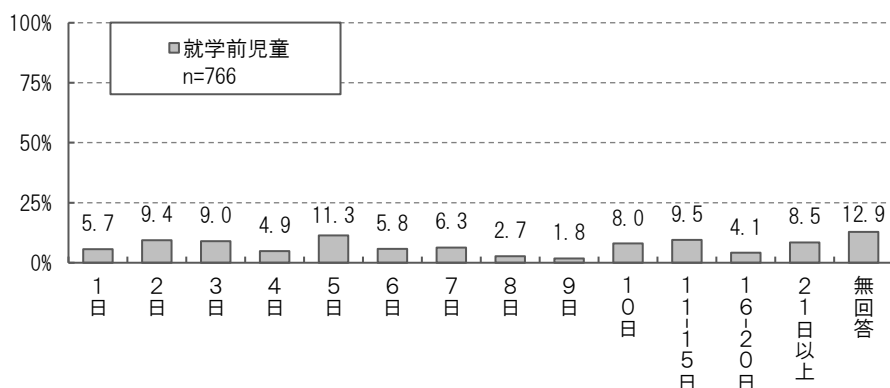


問25.1 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用目的

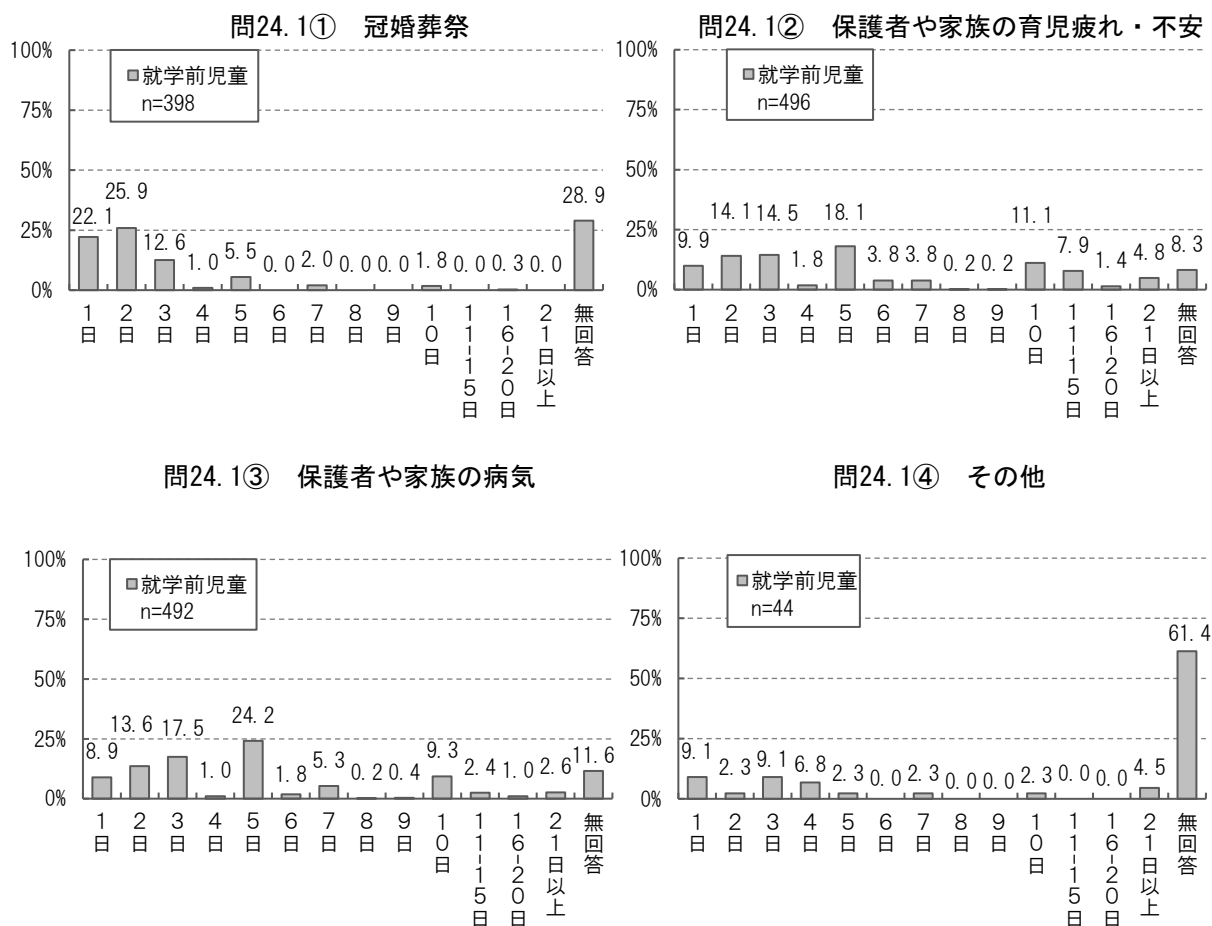


※1 短期入所生活援助事業：児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業

問24.1 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望年間合計日数



○目的ごとの年間利用希望日数は、『冠婚葬祭』では「2日」(25.9%)、『保護者・家族の育児疲れ・不安』では「5日」(18.1%)、『保護者や家族の病気』では「5日」(24.2%)の割合が高くなっています。



○問 24 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用目的について、「その他」の回答意見としては、「出張」や「夜勤」など仕事に関する回答、「妊娠時の体調不良」や「出産」など妊娠・出産に関する回答、また「リフレッシュ」、「姉弟か親子がイベントに参加する時」などの回答もありました。

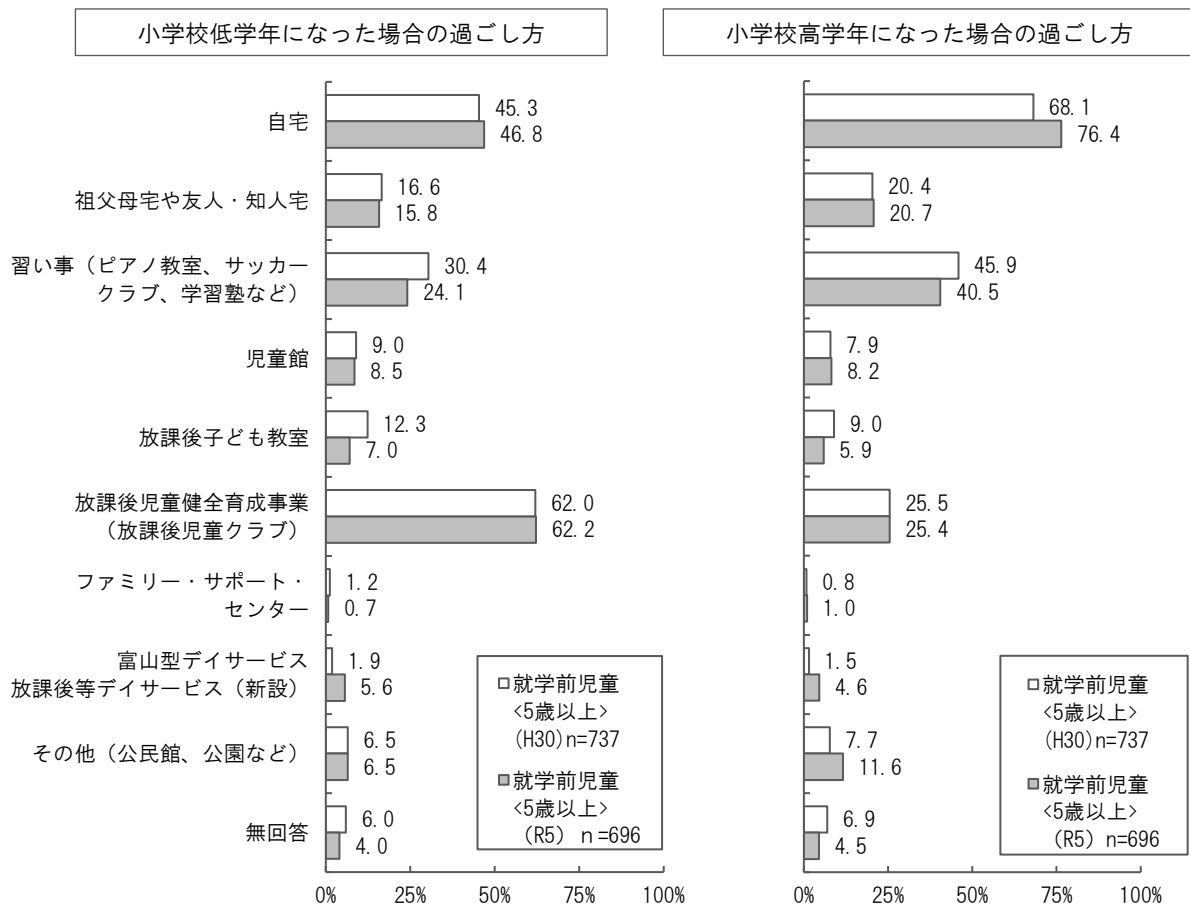
6 放課後の過ごし方について

(1) 平日の放課後の過ごし方

○令和6年度に小学校に入学する就学前児童について、放課後の過ごし方の希望をみると、低学年の時期は「放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）」（62.2%）が最も高く、次いで「自宅」（46.8%）、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（24.1%）となっています。高学年になった場合は、「放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）」（25.4%）が低学年に比べて36.8^{ポイント}減少した一方で、「自宅」（76.4%）が29.6^{ポイント}、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（40.5%）が16.4^{ポイント}増加しています。

○前回調査と比較すると、低学年時期、高学年時期ともに「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（低学年時期6.3^{ポイント}・高学年時期5.4^{ポイント}）が減少しています。

問25・問26 放課後の過ごし方の希望【経年比較】

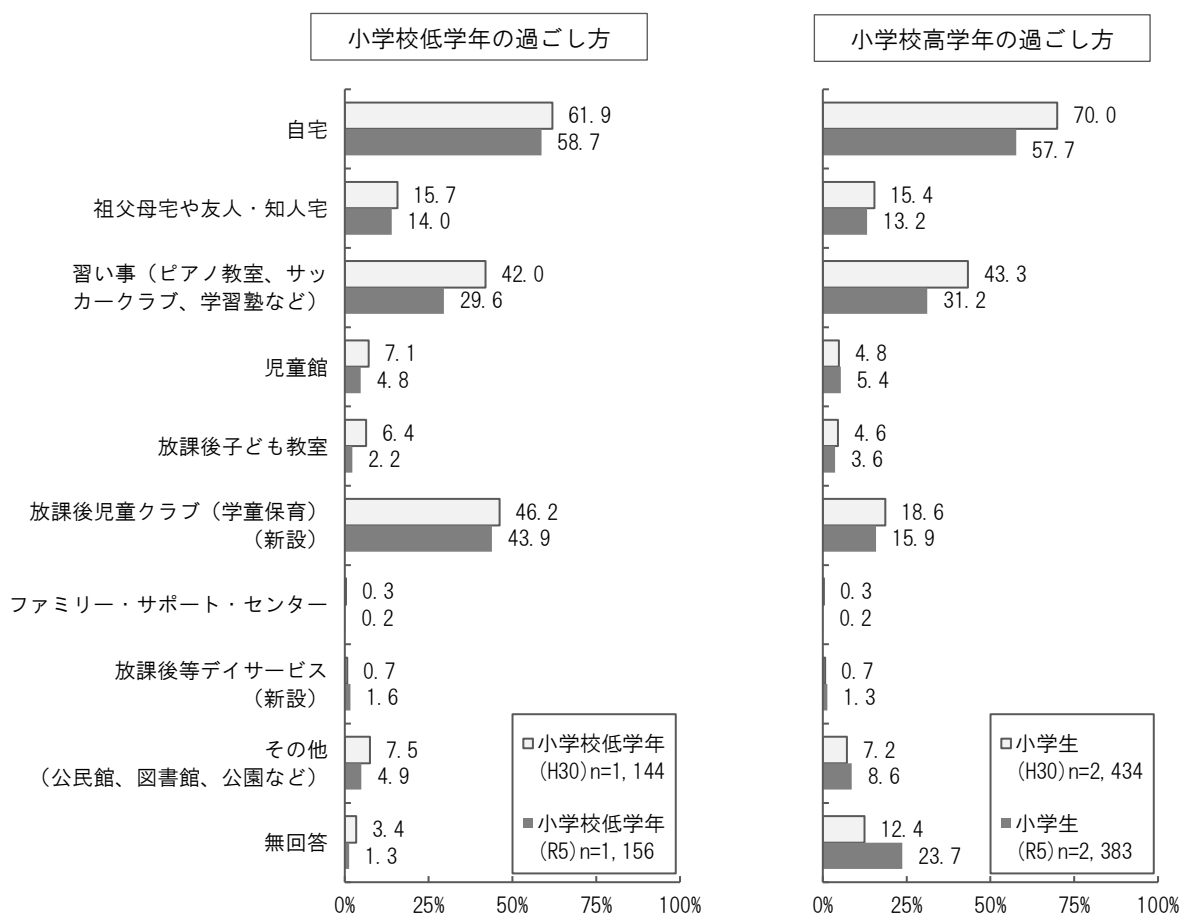


※「小学校低学年」は1～3年生、「小学校高学年」は4～6年生です。

○小学校低学年について放課後の過ごし方の希望をみると、「自宅」(58.7%)が最も高く、次いで「放課後児童クラブ(学童保育)」(43.9%)、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(29.6%)となっています。高学年になると、低学年時期より1.0ポイント減少した「自宅」(57.7%)が最も高く、次いで1.6ポイント増加した「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(31.2%)となっています。また、「放課後児童クラブ(学童保育)」(15.9%)は28.0ポイント減少しています。

○前回調査と比較すると、低学年時期は、ほぼすべての項目で減少傾向がみられます。最も減少したのは、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(29.6%)が12.4ポイント減少となっています。高学年時期は、大半が減少傾向の中、「自宅」(57.7%)が12.3ポイント減少となっています。

[問12]・[問13] 放課後の過ごし方の希望



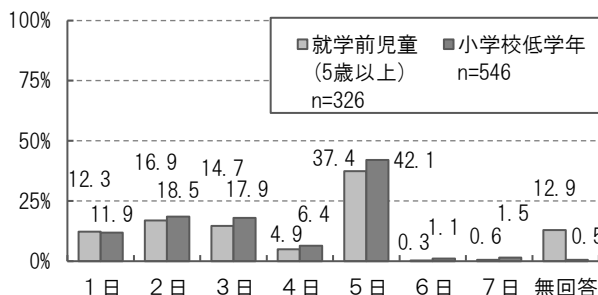
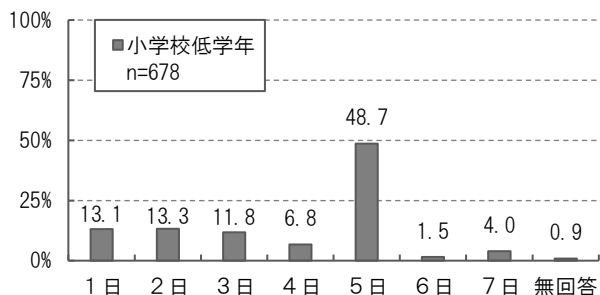
○就学前児童・小学生の保護者が放課後を過ごさせたい場所について、週当たりの利用日数と希望日数は、以下のとおりです。

小学校低学年（になった場合）の過ごし方

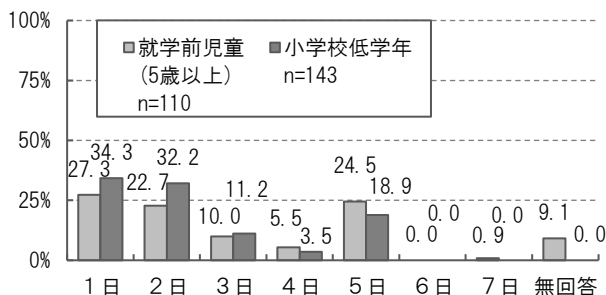
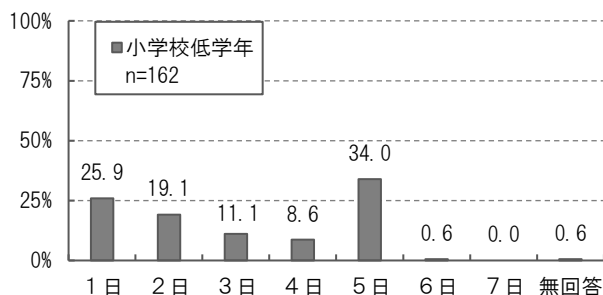
《現 状》

《希望日数》

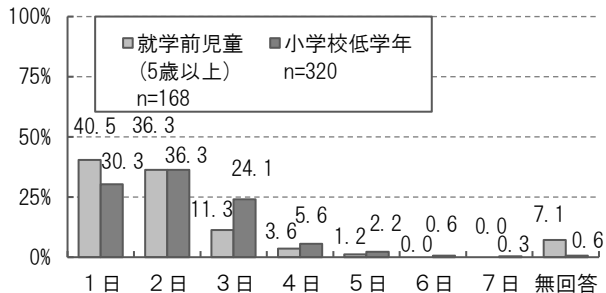
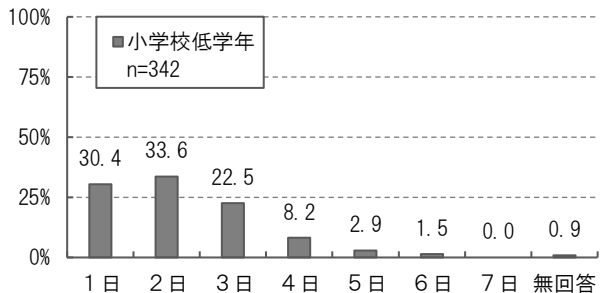
問25.1[問12.1] 「自宅」現状利用日数と希望日数（1週当たり）



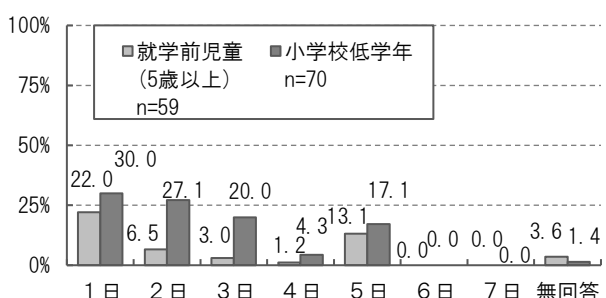
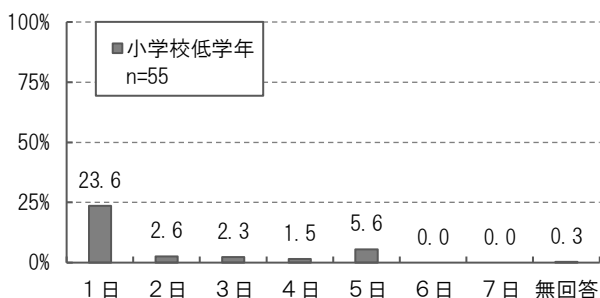
問25.2[問12.2] 「祖父母宅や友人・知人宅」現状利用日数と希望日数（1週当たり）



問25.3[問12.3] 「習い事」現状利用日数と希望日数（1週当たり）



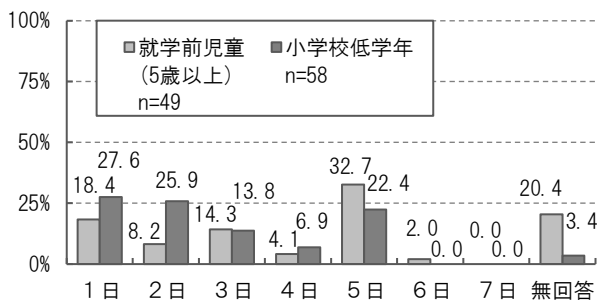
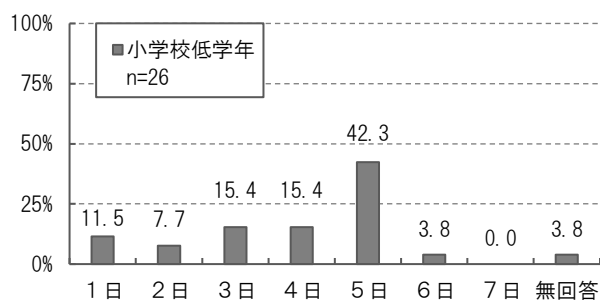
問25.4[問12.4] 「児童館」現状利用日数と希望日数（1週当たり）



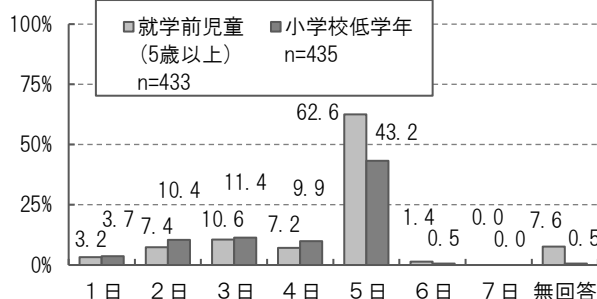
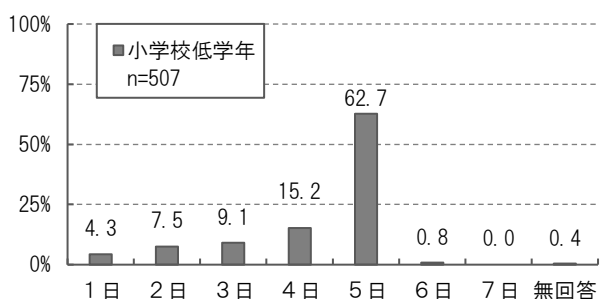
《現 状》

《希望日数》

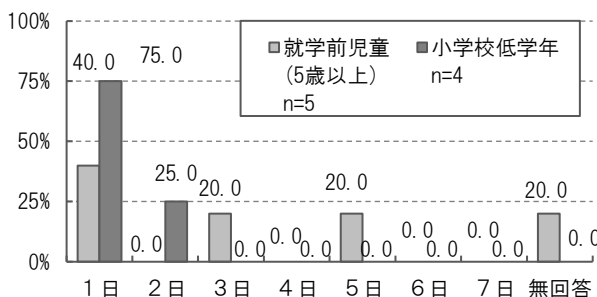
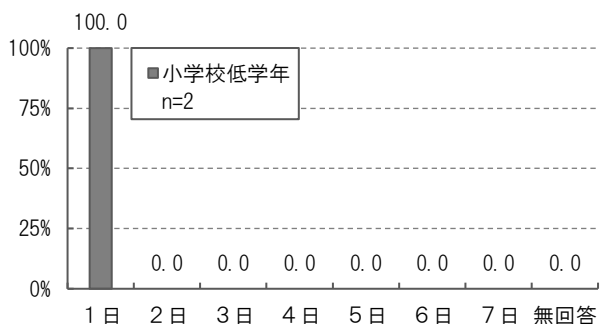
問25.5[問12.5] 「放課後子ども教室」現状利用日数と希望日数（1週当たり）



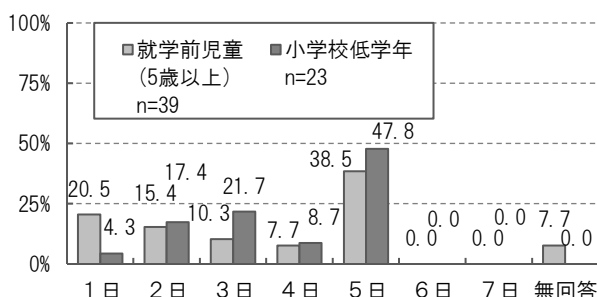
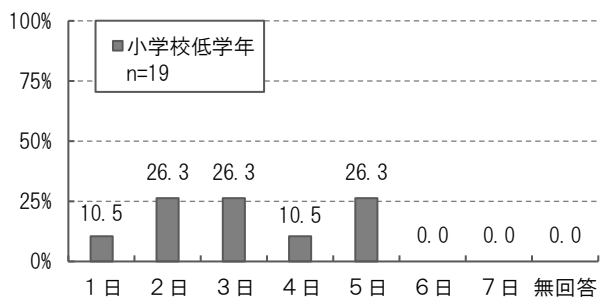
問25.6[問12.6] 「放課後児童クラブ（学童保育）」現状利用日数と希望日数（1週当たり）



問25.7[問12.7] 「ファミリー・サポート・センター」現状利用日数と希望日数（1週当たり）



問25.8[問12.8] 「放課後等デイサービス」現状利用日数と希望日数（1週当たり）

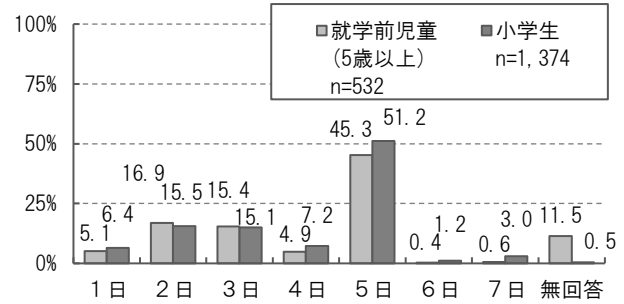
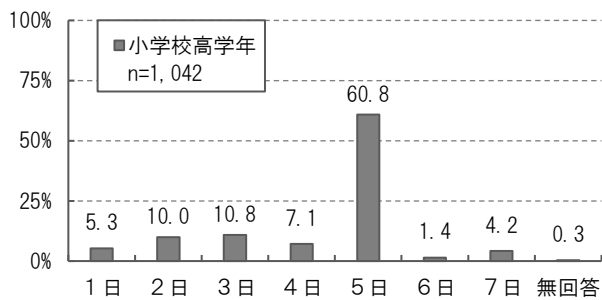


小学校高学年（になった場合）の過ごし方

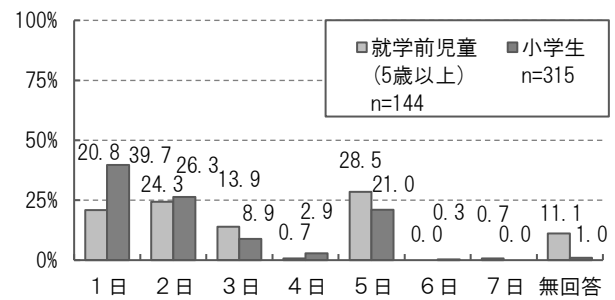
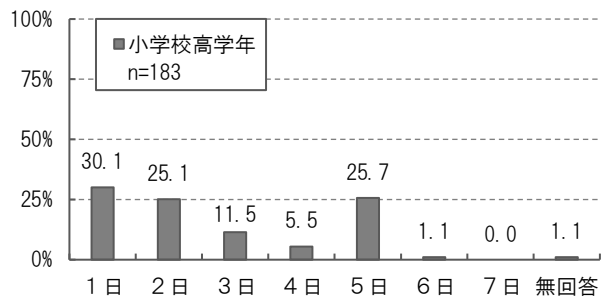
《現 状》

《希望日数》

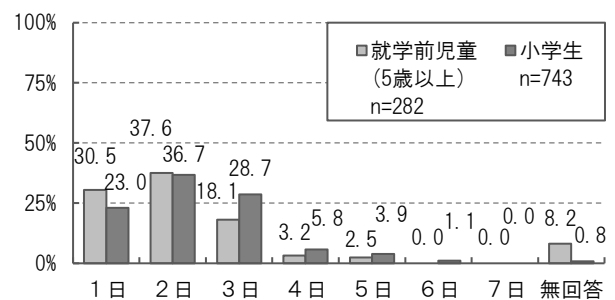
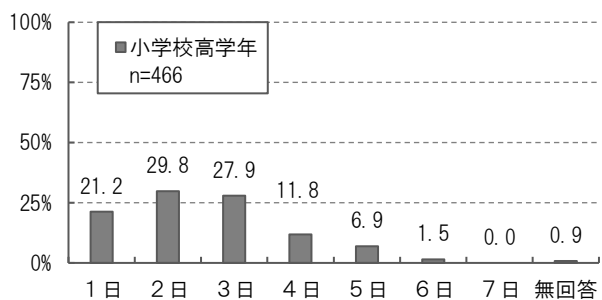
問26.1[問13.1] 「自宅」現状利用日数と希望日数（1週当たり）



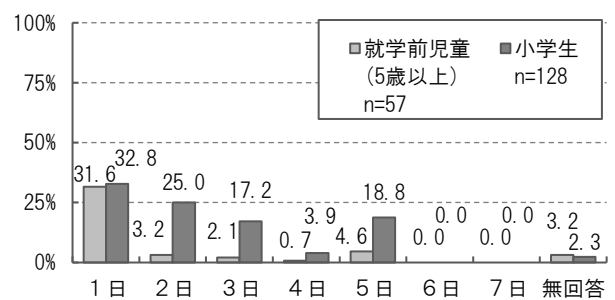
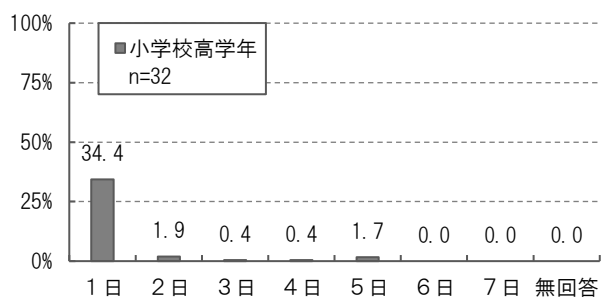
問26.2[問13.2] 「祖父母宅や友人・知人宅」現状利用日数と希望日数（1週当たり）



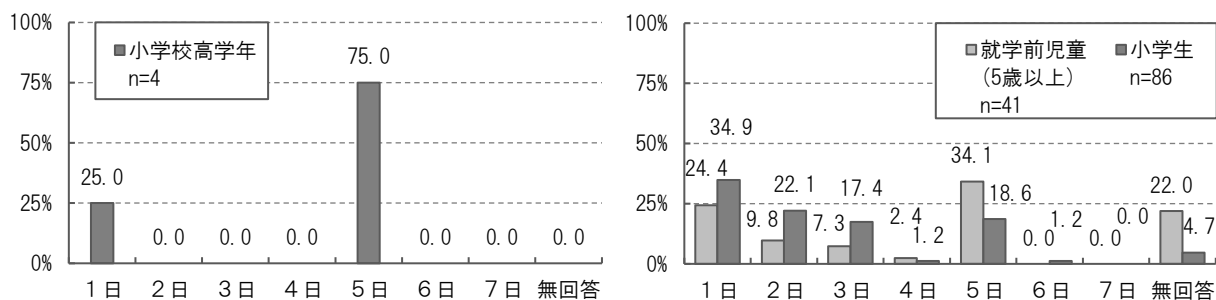
問26.3[問13.3] 「習い事」現状利用日数と希望日数（1週当たり）



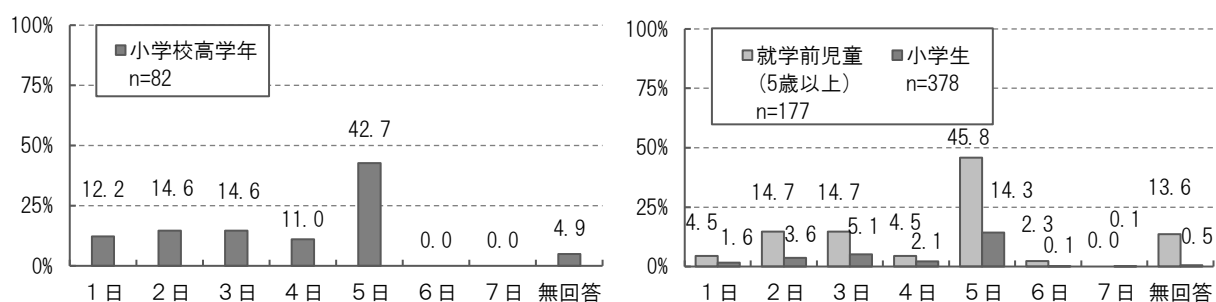
問26.4[問13.4] 「児童館」現状利用日数と希望日数（1週当たり）



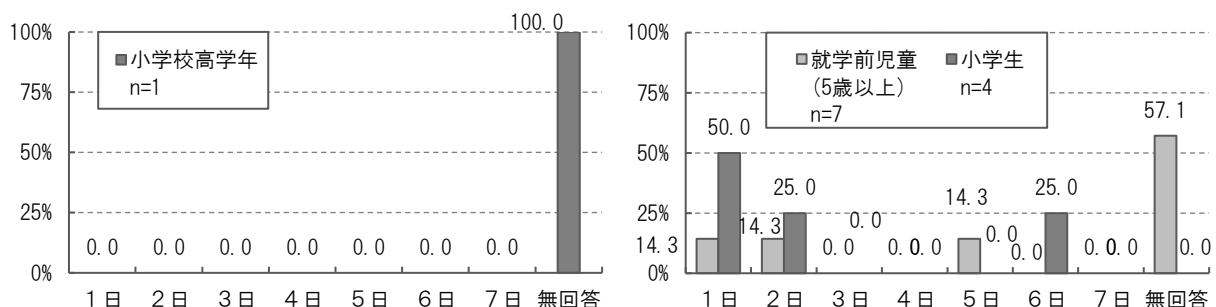
問26.5[問13.5] 「放課後子ども教室」現状利用日数と希望日数（1週当たり）



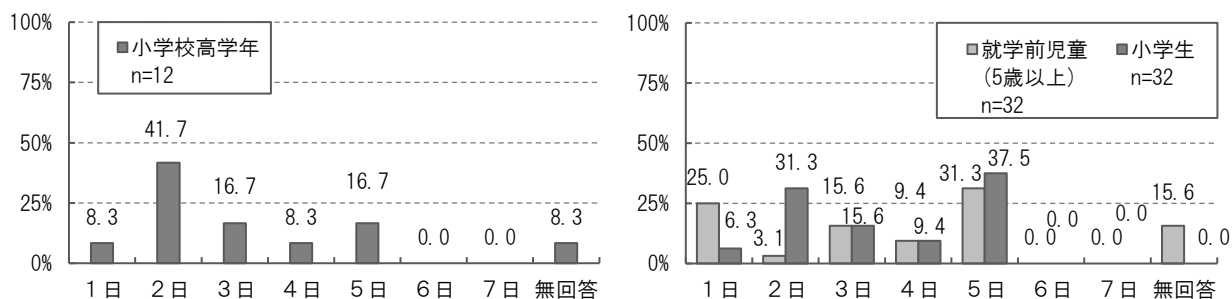
問26.6[問13.6] 「放課後児童クラブ（学童保育）」現状利用日数と希望日数（1週当たり）



問26.7[問13.7] 「ファミリー・サポート・センター」現状利用日数と希望日数（1週当たり）



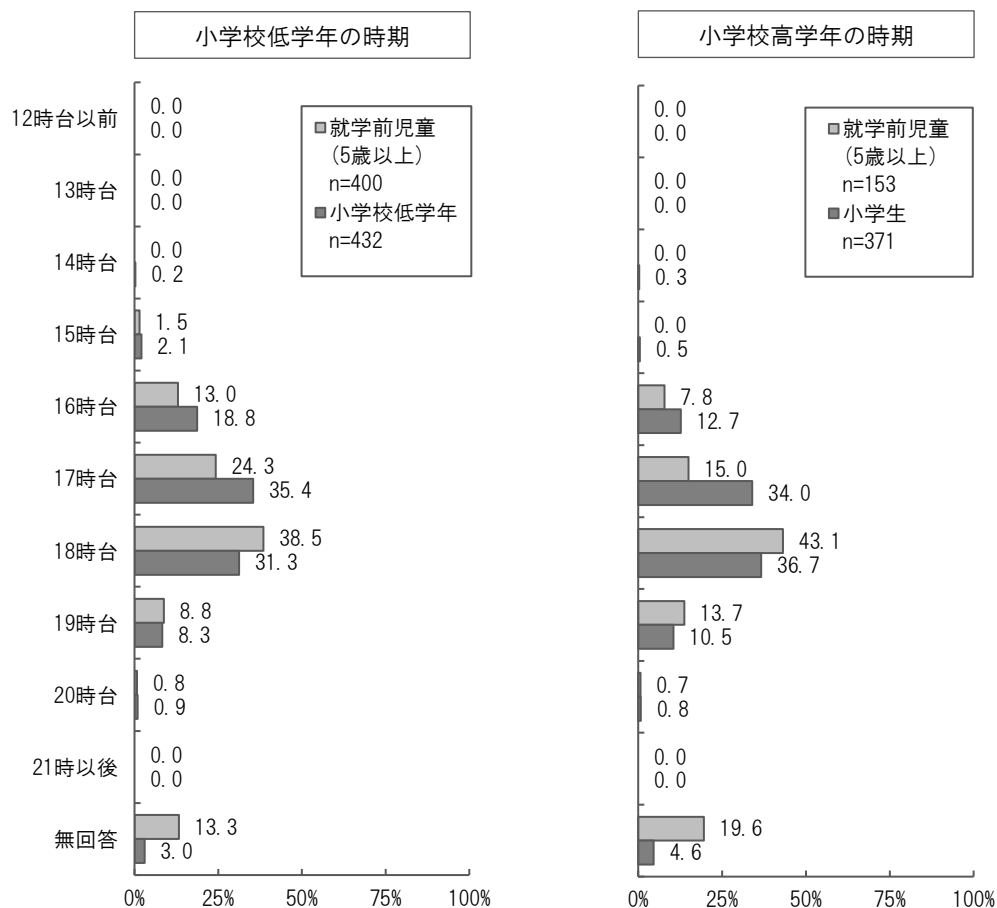
問26.8[問13.8] 「放課後等デイサービス」現状利用日数と希望日数（1週当たり）



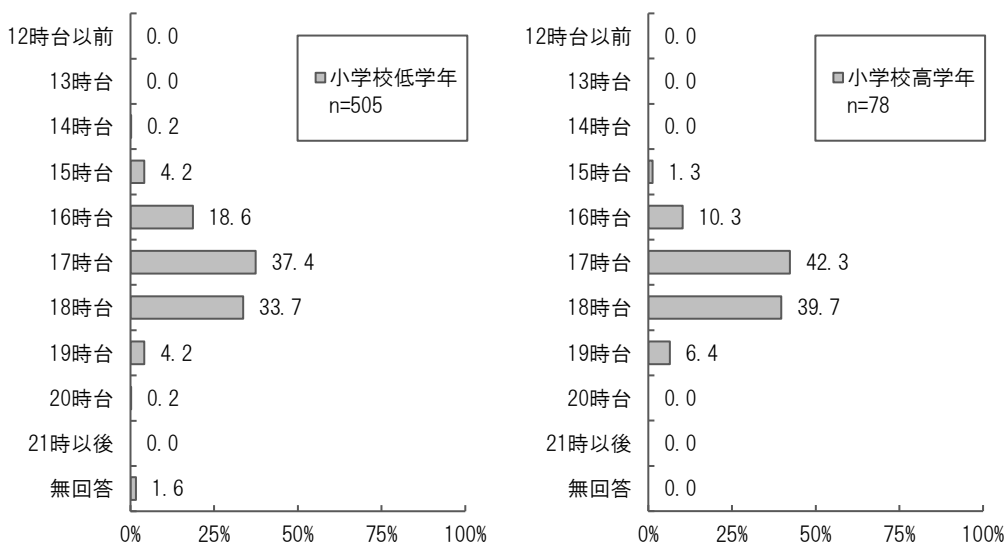
○放課後児童クラブ（学童保育）の下校時からの利用希望する終了時間をみると、就学前児童は「18時台」（低学年時期38.5%・高学年時期43.1%）、小学生は低学年時期が「17時台」（35.4%）、高学年時期が「18時台」（36.7%）で最も高くなっています。

○実際の利用終了時間は、低学年・高学年ともに「17時台」が最も高くなっています。

問25.6[問12.6]・問26.6[問13.6]「放課後児童クラブ（学童保育）」下校時からの希望する利用終了時間



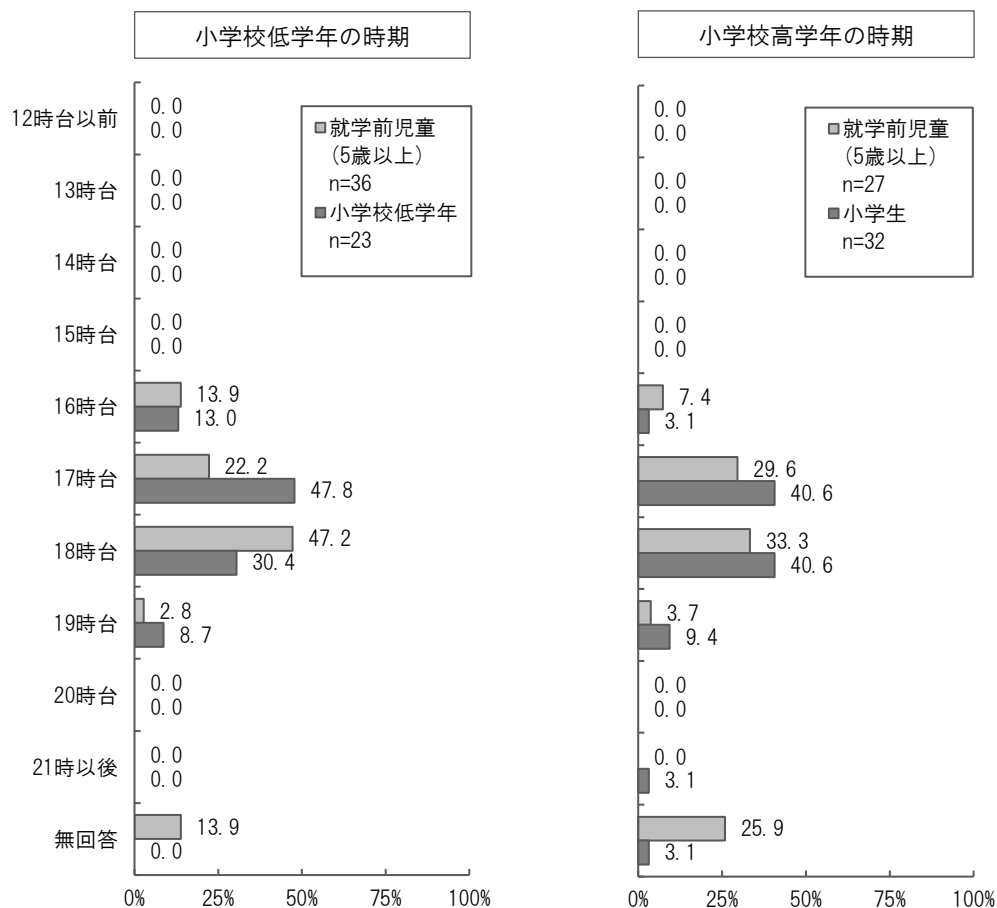
[問12.6]・[問13.6]「放課後児童クラブ（学童保育）」下校時からの実際の利用終了時間



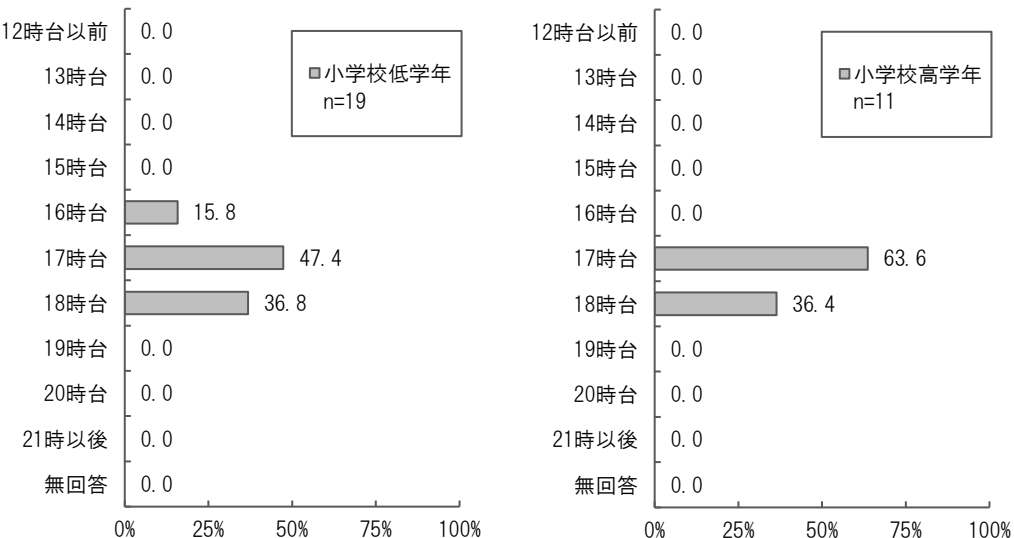
○放課後等デイサービスの下校時からの希望する利用終了時間をみると、就学前児童は「18時台」（低学年時期47.2%・高学年時期33.3%）、小学生は低学年時期が「17時台」（47.8%）、高学年時期が「17時台」「18時台」（ともに40.6%）で割合が最も高くなっています。

○実際の利用終了時間は、低学年・高学年ともに「17時台」が最も高くなっています。

問25. 8[問12. 8]・問26. 8[問13. 8]「放課後等デイサービス」下校時からの希望する利用終了時間



[問12. 8]・[問13. 8]「放課後等デイサービス」下校時からの実際の利用終了時間

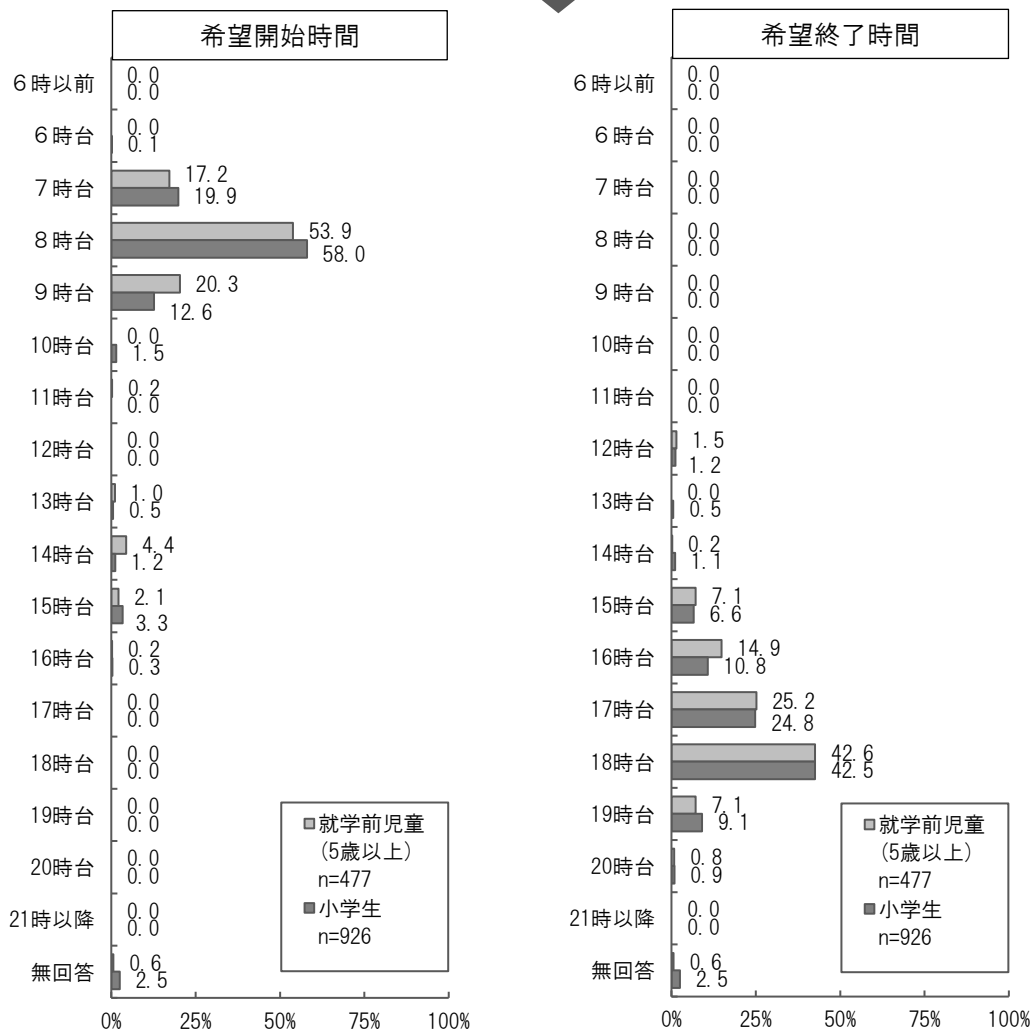
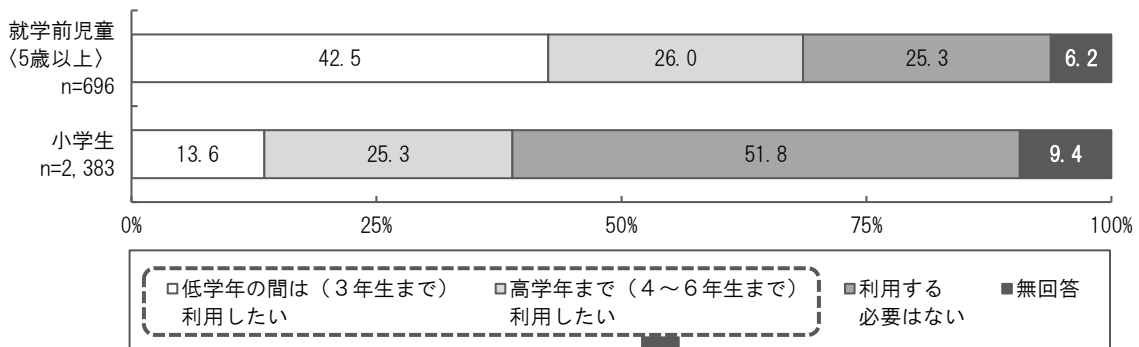


(2) 長期休暇期間中の地域児童健全育成事業・放課後児童健全育成事業の利用希望

○夏休みや冬休みなど長期休暇期間中に「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望をみると、「低学年の間は（3年生まで）利用したい」は就学前児童で42.5%、小学生では13.6%となっています。また、「高学年まで（4～6年生まで）利用したい」は就学前児童で26.0%、小学生では25.3%となっています。

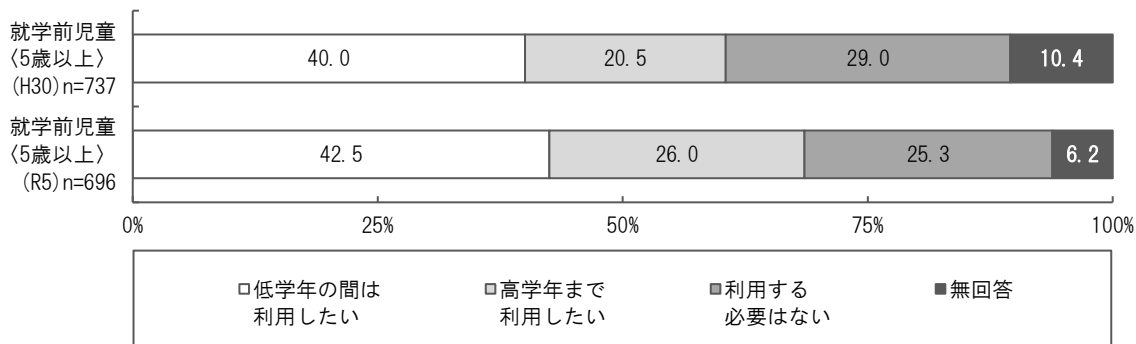
○就学前児童・小学生ともに、希望開始時間は「8時台」（53.9%・58.0%）、希望終了時間は「18時台」（42.6%・42.5%）で最も高くなっています。

問27[問14] 長期休暇期間中の利用希望

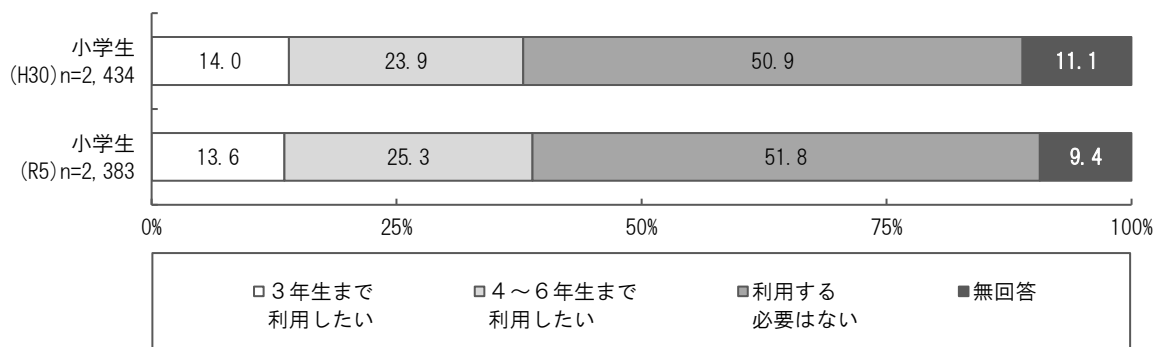


○長期休暇期間中の利用希望を前回調査と比較すると、就学前児童では「低学年の間は利用したい」で2.5ポイント、「高学年まで利用したい」で5.5ポイント高くなっています。小学生では、前回調査と大差はありません。

問 27 長期休暇期間中の利用希望【経年比較】



[問14] 長期休暇期間中の利用希望【経年比較】



第5章

育児休業制度の利用状況等

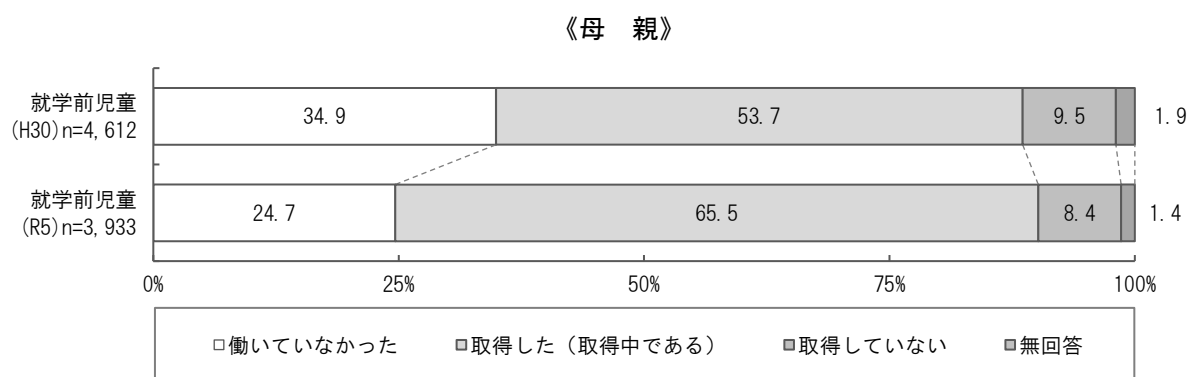
第5章 育児休業制度の利用状況等

1 育児と仕事の両立支援制度について

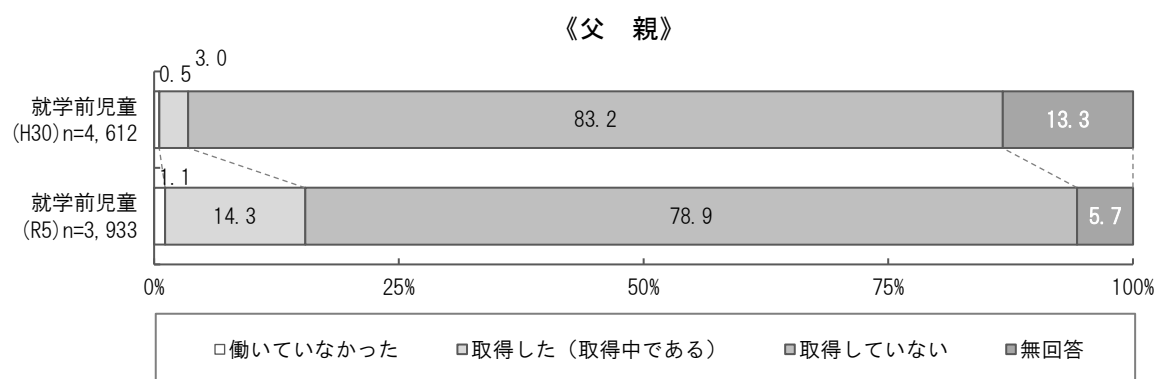
(1) 育児休業制度の利用状況

○母親の育児休業制度の利用状況をみると、「取得した（取得中である）」が65.5%と
なっています。前回調査と比較すると、11.8^{ポイント}増加しています。

問28 育児休業制度の利用状況【経年比較】

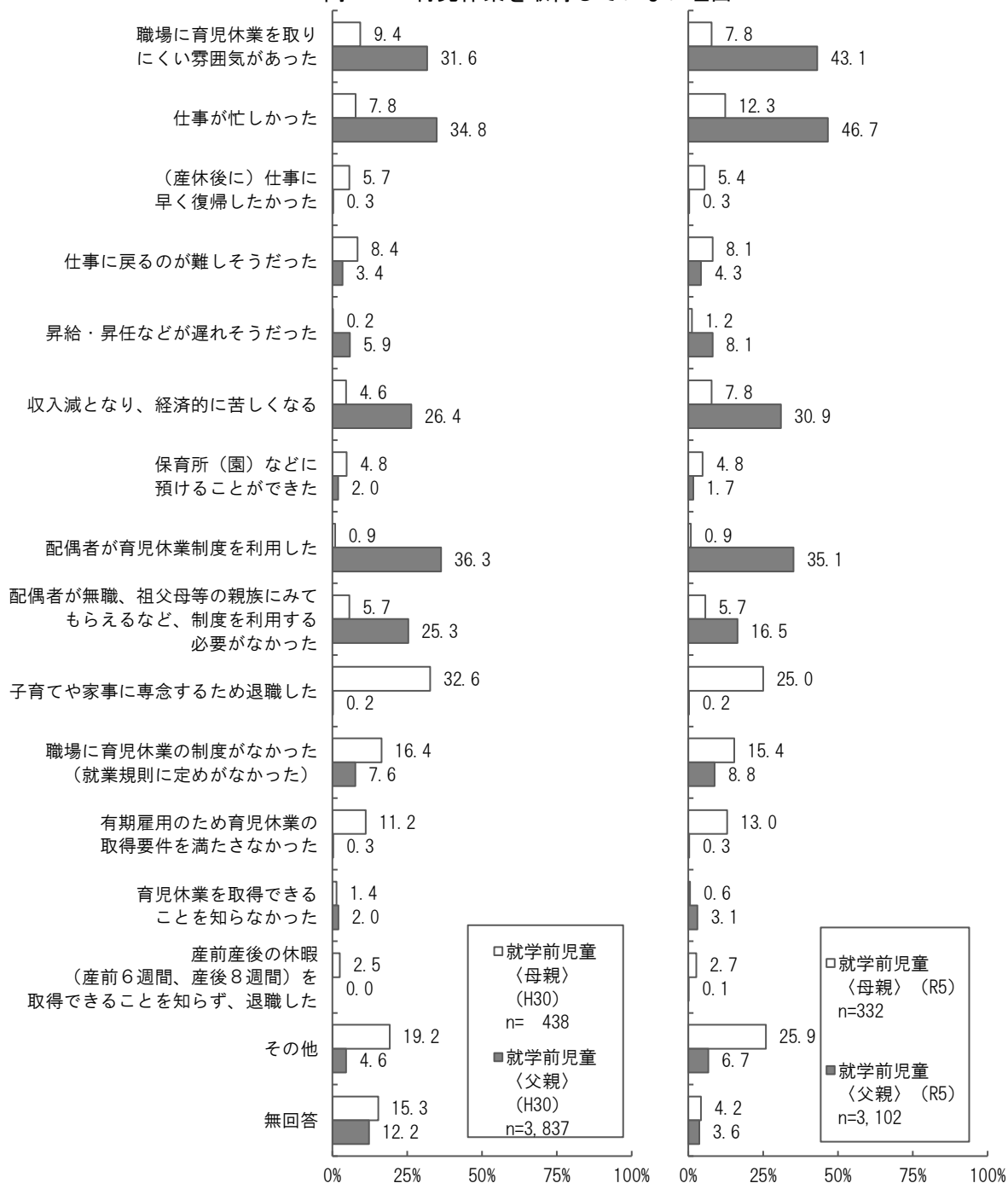


○父親の育児休業制度の利用状況をみると、「取得した（取得中である）」が14.3%と
なっています。前回調査と比較すると、11.3^{ポイント}増加しています。



○育児休業を取得していない理由について、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」(25.0%)、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(15.4%)、「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」(13.0%)をあげた割合が高くなっています。一方、父親は「仕事が忙しかった」(46.7%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(43.1%)、「配偶者が育児休業制度を利用した」(35.1%)など、母親の理由との違いが見られます。前回調査と比較すると、父親は、「仕事が忙しかった」が11.9ポイント、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が11.5ポイント増加しています。

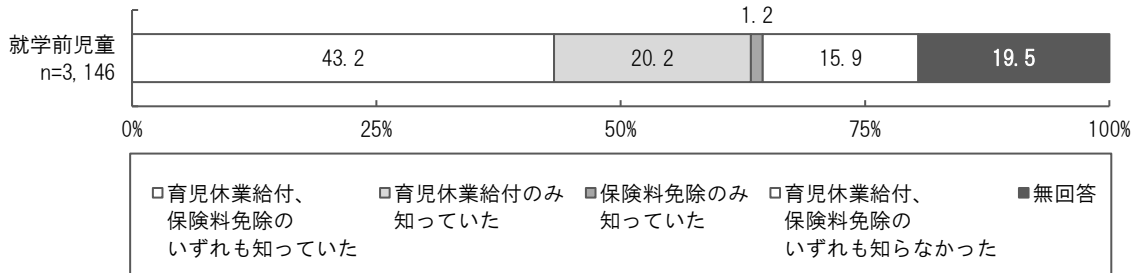
問28.3 育児休業を取得していない理由



(2) 支援制度の認知状況

○育児休業給付の支給と健康保険・厚生年金保険料免除の仕組みについて、認知状況をみると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」は43.2%、一方「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」は15.9%となっています。

問28-1 育児休業給付の支給と健康保険・厚生年金保険料免除の仕組みについての認知状況

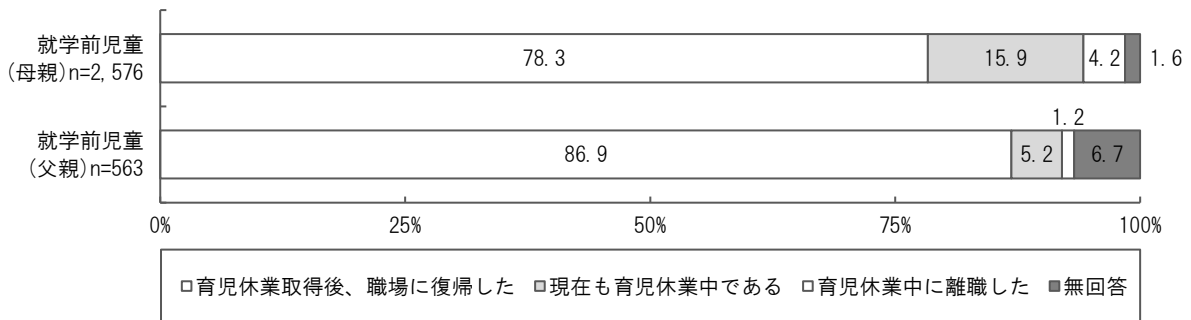


(3) 育児休業取得後の職場復帰の状況

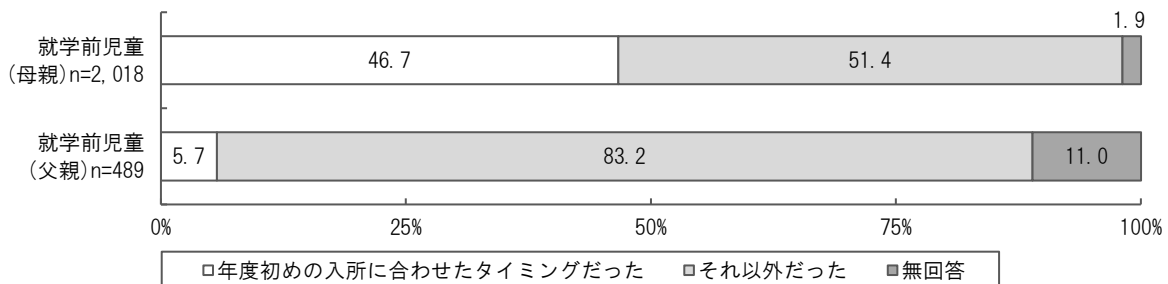
○育児休業取得後の職場復帰の状況をみると、母親も父親ともに同じ傾向となり、「育児休業取得後、職場に復帰した」(母親78.3%・父親86.9%)が最も高く、次いで「現在も育児休業中である」(母親15.9%・父親5.2%)、「育児休業中に離職した」(母親4.2%・父親1.2%)の順となっています。

○育児休業取得後に職場へ復帰した時期をみると、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」と回答した母親は46.7%でした。

問28-2 育児休業取得後の職場復帰の状況

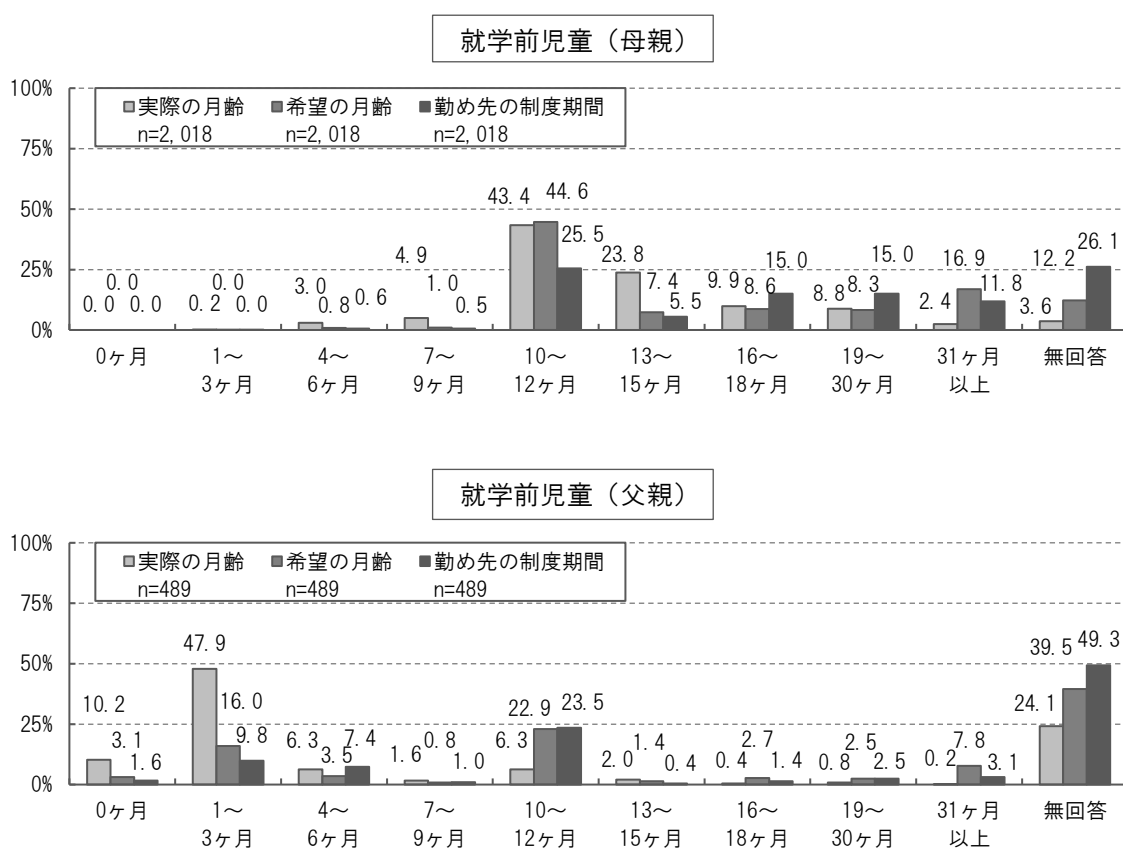


問28-3 育児休業取得後に職場へ復帰した時期

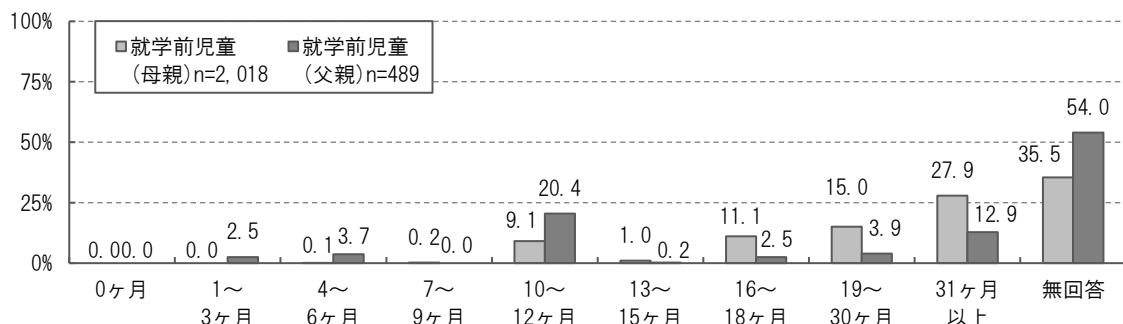


- 育児休業から職場に復帰したときの子どもの実際の月齢をみると、母親は「10～12ヶ月」(43.4%)、父親は「1～3ヶ月」(47.9%)の割合が最も高くなっています。
- 希望する月齢では、母親・父親ともに「10～12ヶ月」(44.6%、22.9%)の割合が最も高くなっています。
- 勤め先の制度期間では、母親・父親ともに「10～12ヶ月」(25.5%、23.5%)の割合が最も高くなっています。
- 3歳までの育児休業制度があった場合に取得を希望する子どもの月齢をみると、母親は「31ヶ月以上」(27.9%)、父親は「10～12ヶ月」(20.4%)の割合が最も高くなっています。

問28-4 育児休業から職場に復帰したときの子どもの実際の月齢と希望する月齢



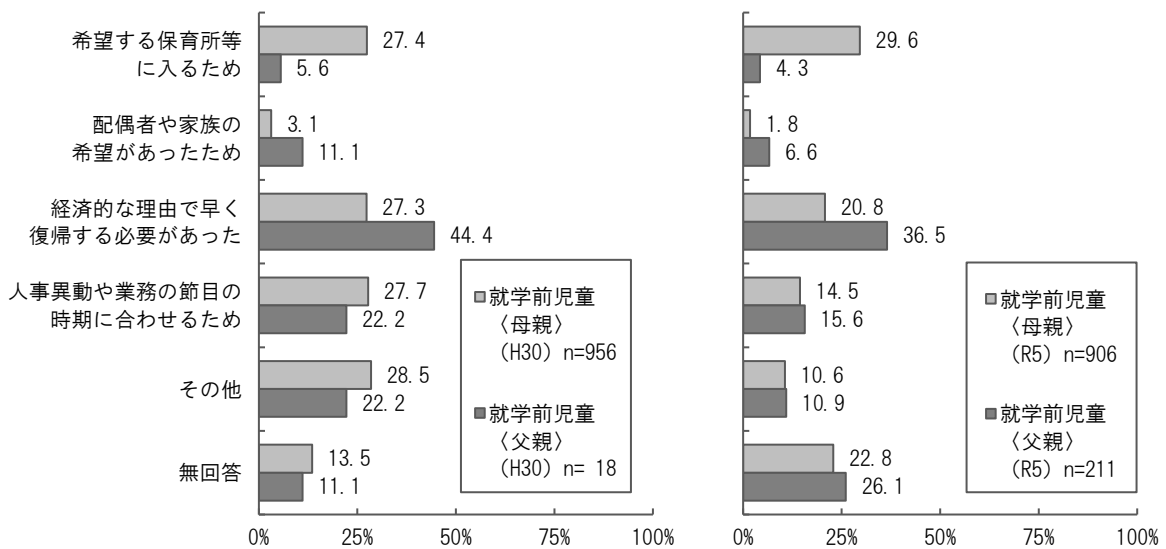
問28-5 3歳までの育児休業があった場合に育休取得を希望する子どもの月齢



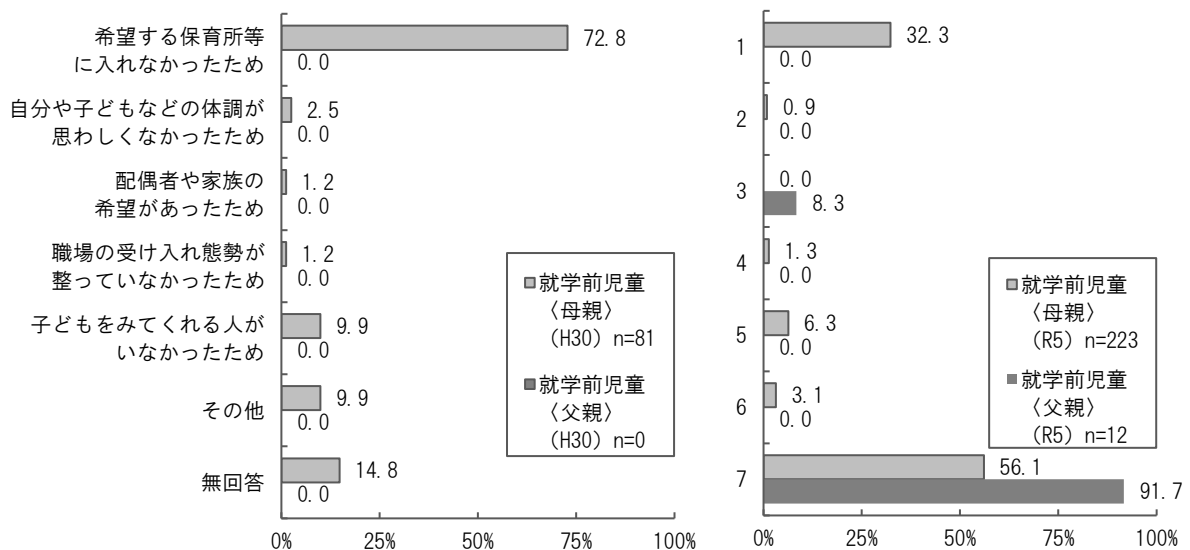
○希望より早く育児休業から職場復帰した理由をみると、母親は「希望する保育所等に入るため」(29.6%)、父親は「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」(36.5%)が最も高くなっています。前回調査と比較すると、母親は「希望する保育所等に入るため」が2.2^{ポイント}増加していますが、それ以外は減少、父親はすべて減少となっています。

○希望より遅く職場復帰した理由をみると、母親は「希望する保育所等に入れなかったため」(32.3%)、父親は「配偶者や家族の希望があったため」(8.3%)が最も高くなっています。前回調査と比較すると、母親は「希望する保育所等に入れなかったため」が40.5^{ポイント}減少しています。

問28-6(1) 希望より早く育児休業から職場復帰した理由



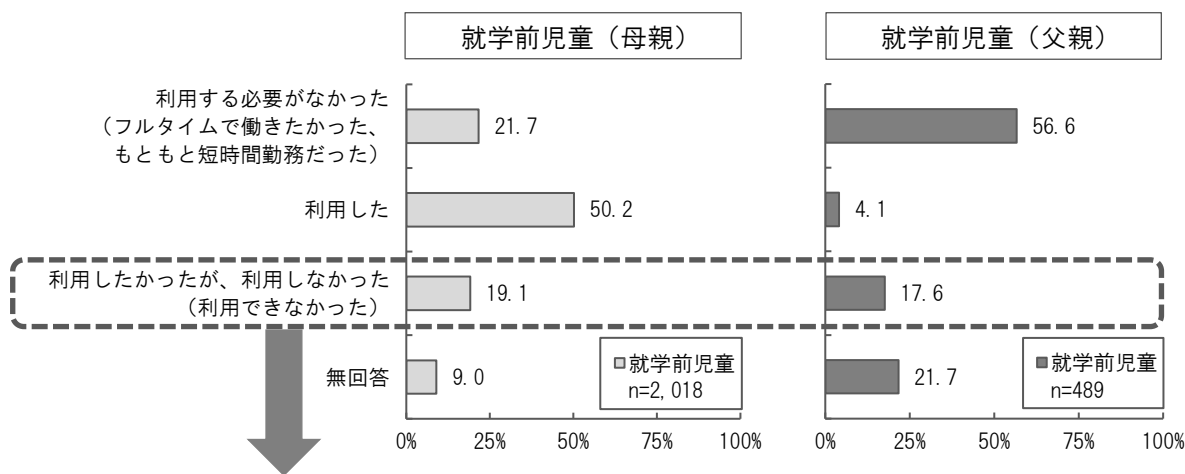
問28-6(2) 希望より遅く育児休業から職場復帰した理由



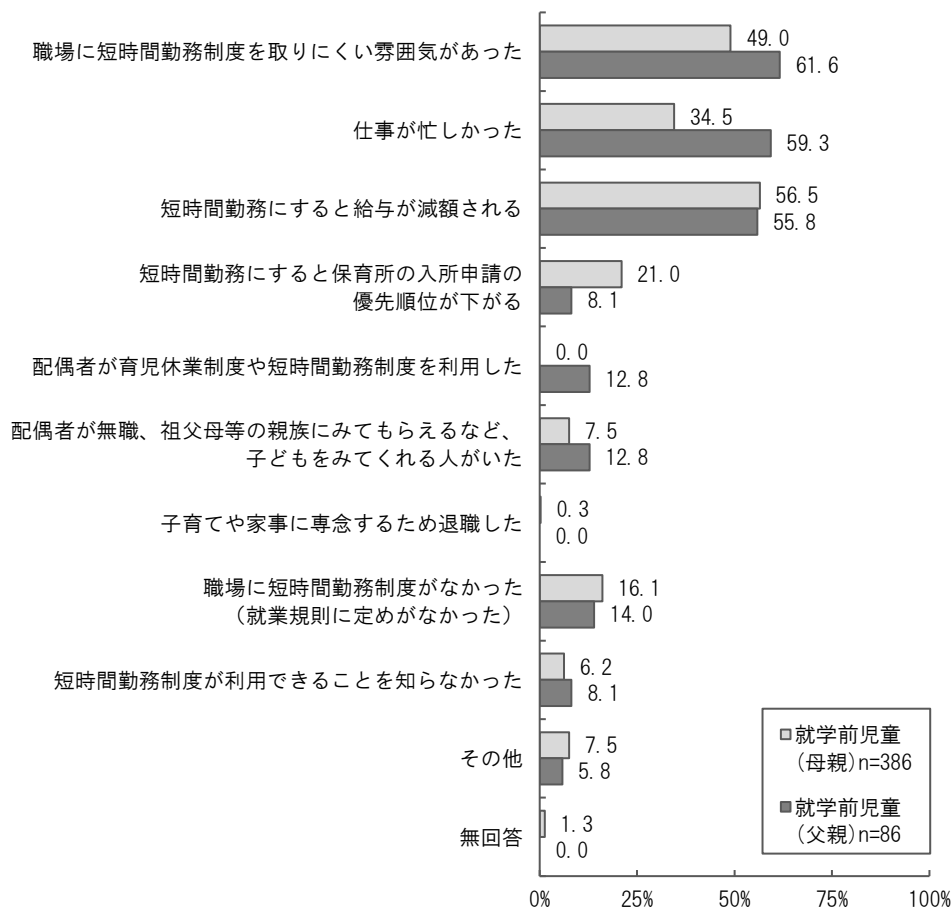
(4) 短時間勤務制度の利用状況

- 育児休業からの職場復帰時における短時間勤務制度の利用状況をみると、「短時間勤務制度を利用した」と回答した方は、母親が50.2%、父親が4.1%となっています。
- 職場復帰時に短時間勤務制度を利用しなかった理由をみると、母親・父親ともに「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」、「仕事が忙しかった」、「短時間勤務にすると給与が減額される」をあげた割合が高くなっています。

問28-7 職場復帰時における短時間勤務制度の利用状況



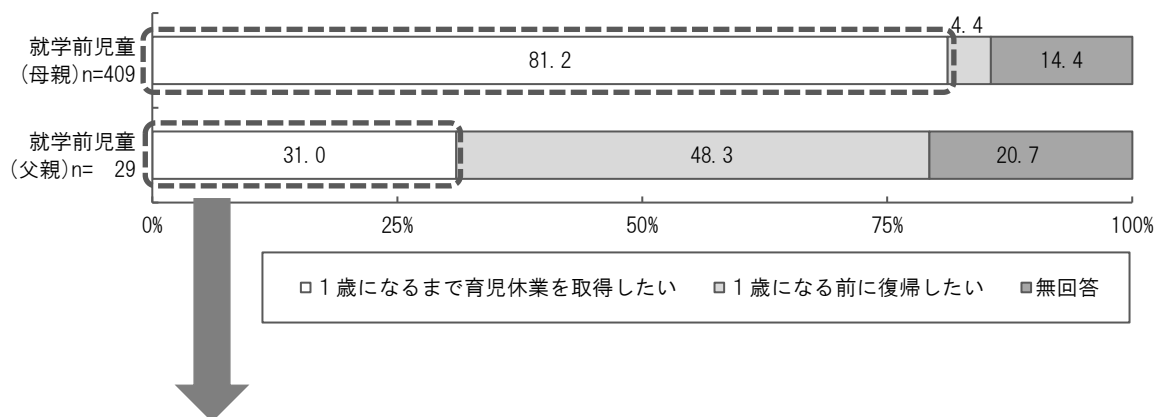
問28-8 職場復帰時に短時間勤務制度を利用しなかった理由



(5) 育児休業取得期間の希望

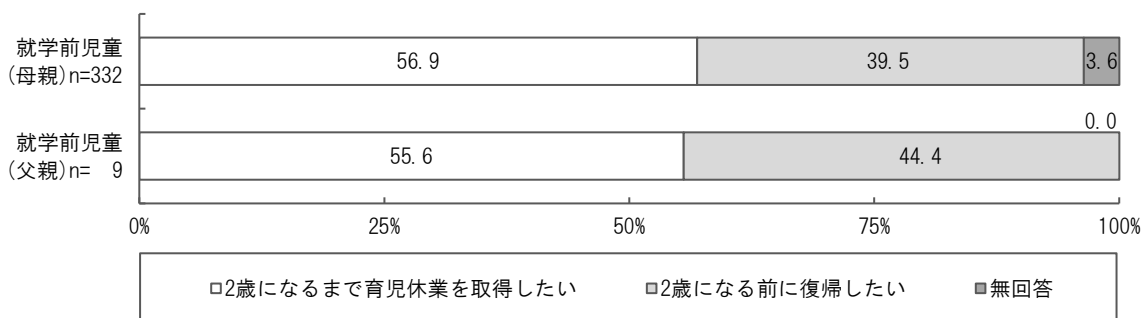
○1歳になった時に必ず利用できる保育事業がある場合の育児休業取得の希望をみると、母親は「1歳になるまで育児休業を取得したい」と81.2%の方が回答しています。一方、父親は「1歳になる前に復帰したい」と48.3%が回答しており、「1歳になるまで育児休業を取得したい」は31.0%となっています。

問28-9 1歳になったときに必ず利用できる保育事業がある場合の育児休業取得の希望



○2歳になった時に必ず利用できる保育事業がある場合の育児休業取得の希望をみると、母親・父親ともに「2歳になるまで育児休業を取得したい」と回答した方が、半数以上を占めています。

問28-10 2歳になったときに必ず利用できる保育事業がある場合の育児休業取得の希望



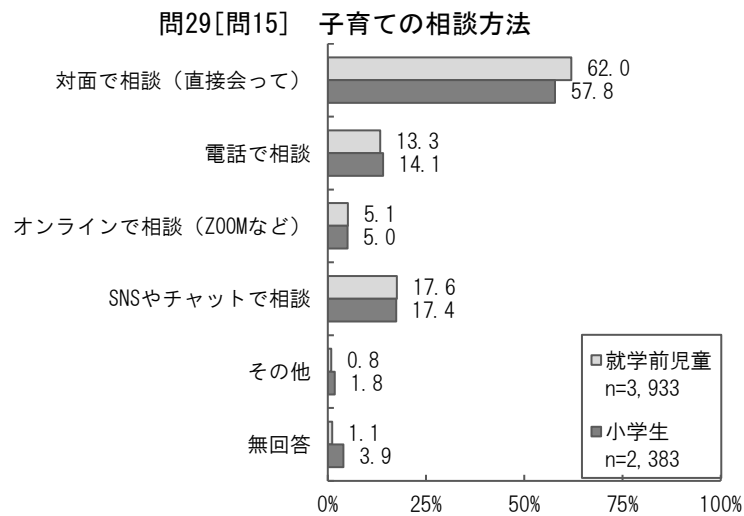
第6章

地域の子育て環境や市の施策について

第6章 地域の子育て環境や市の施策について

1 希望する子育ての相談方法

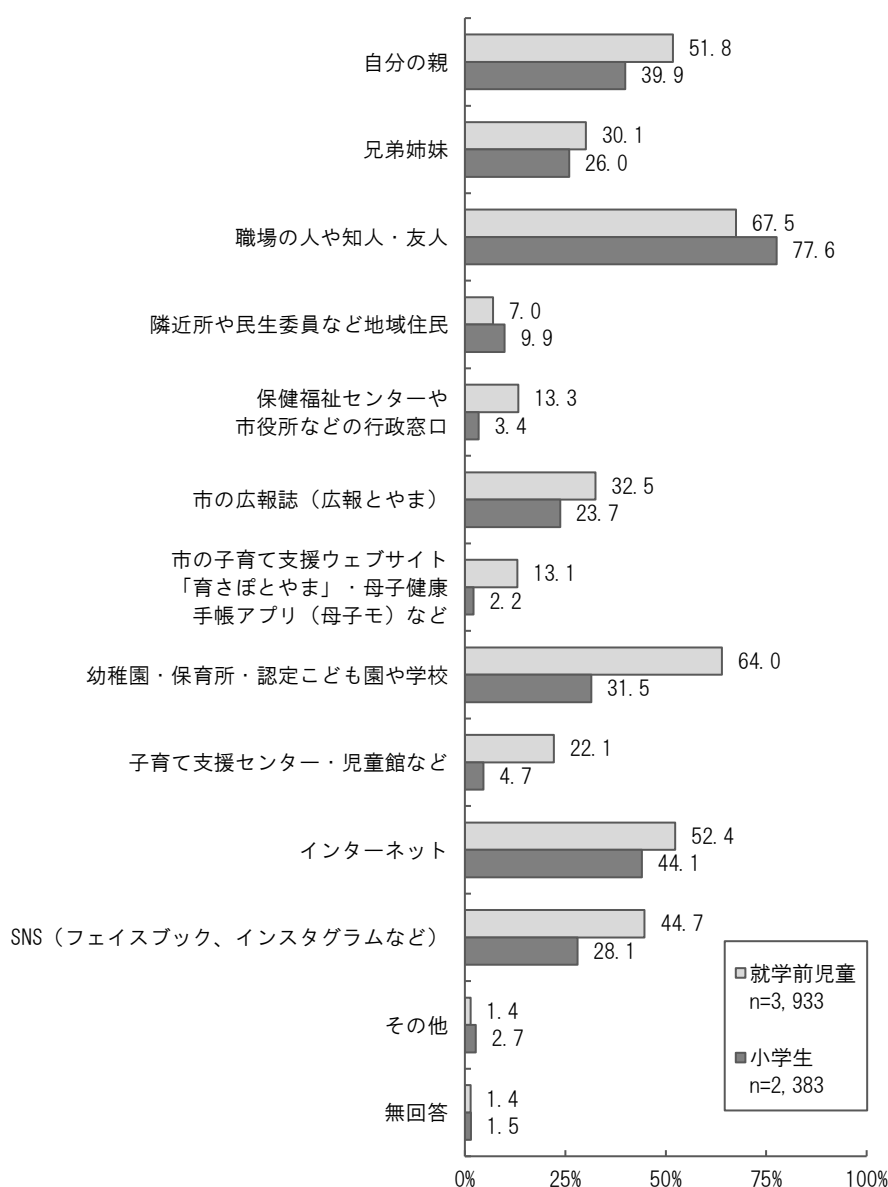
○希望する子育ての相談方法をみると、就学前児童・小学生ともに「対面で相談（直接会って）」（62.0%・57.8%）が最も高くなっています。次いで「SNSやチャットで相談」（17.6%・17.4%）、「電話で相談」（13.3%・14.1%）となっています。



2 子育てに関する情報の入手先

- 子育てに関する情報の入手先をみると、就学前児童では、「職場の人や知人・友人」(67.5%)が最も高く、次いで、「幼稚園・保育所・認定こども園や学校」(64.0%)、「インターネット」(52.4%)となっています。
- 小学生では、「職場の人や知人・友人」(77.6%)が最も高く、次いで、「インターネット」(44.1%)、「自分の親」(39.9%)となっています。
- 就学前児童と小学生を比較すると、小学生は、「保健福祉センターや市役所などの行政窓口」、「市の広報誌(広報とやま)」、「市の子育て支援ウェブサイト育さぼとやま・母子健康手帳アプリ(母子モ)など」、「幼稚園・保育所・認定こども園や学校」、「子育て支援センター・児童館など」等の各種サービスを回答した方の割合が低くなっています。

問30[問16] 子育てに関する情報の入手先

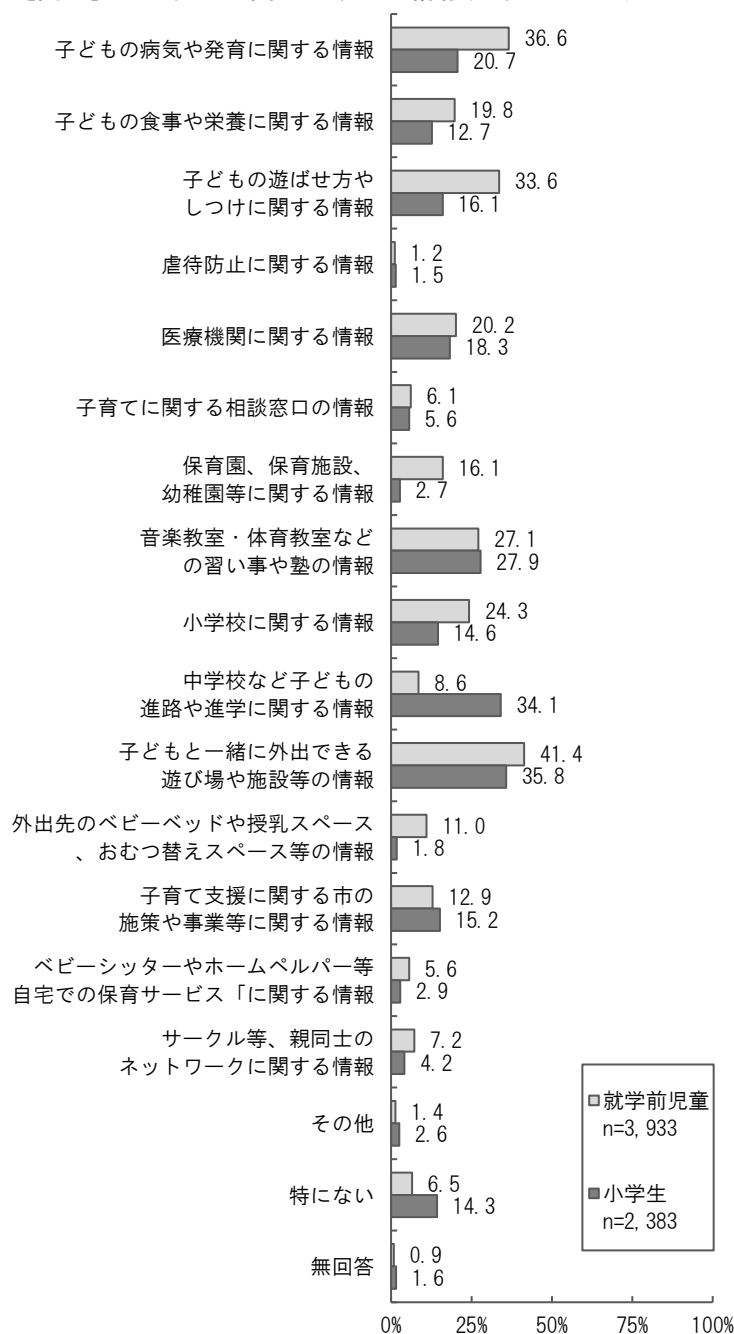


3 子育てに関して欲しい情報、あるいは不足している情報

○子育てに関して欲しい情報、あるいは不足している情報をみると、就学前児童では、「遊び場や施設等に関する情報」(41.4%)が最も高く、次いで、「病気や発育に関する情報」(36.6%)、「遊ばせ方やしつけに関する情報」(33.6%)となっています。また「習い事や塾の情報」(27.1%)や「小学校に関する情報」(24.3%)もやや高くなっています。

○小学生でも、「遊び場や施設等に関する情報」(35.8%)が最も高くなっています。次いで、「子どもの進路や進学に関する情報」(34.1%)、「習い事や塾の情報」(27.9%)、「病気や発育に関する情報」(20.7%)となっています。

問31[問17] 子育てに関して欲しい情報、あるいは不足している情報

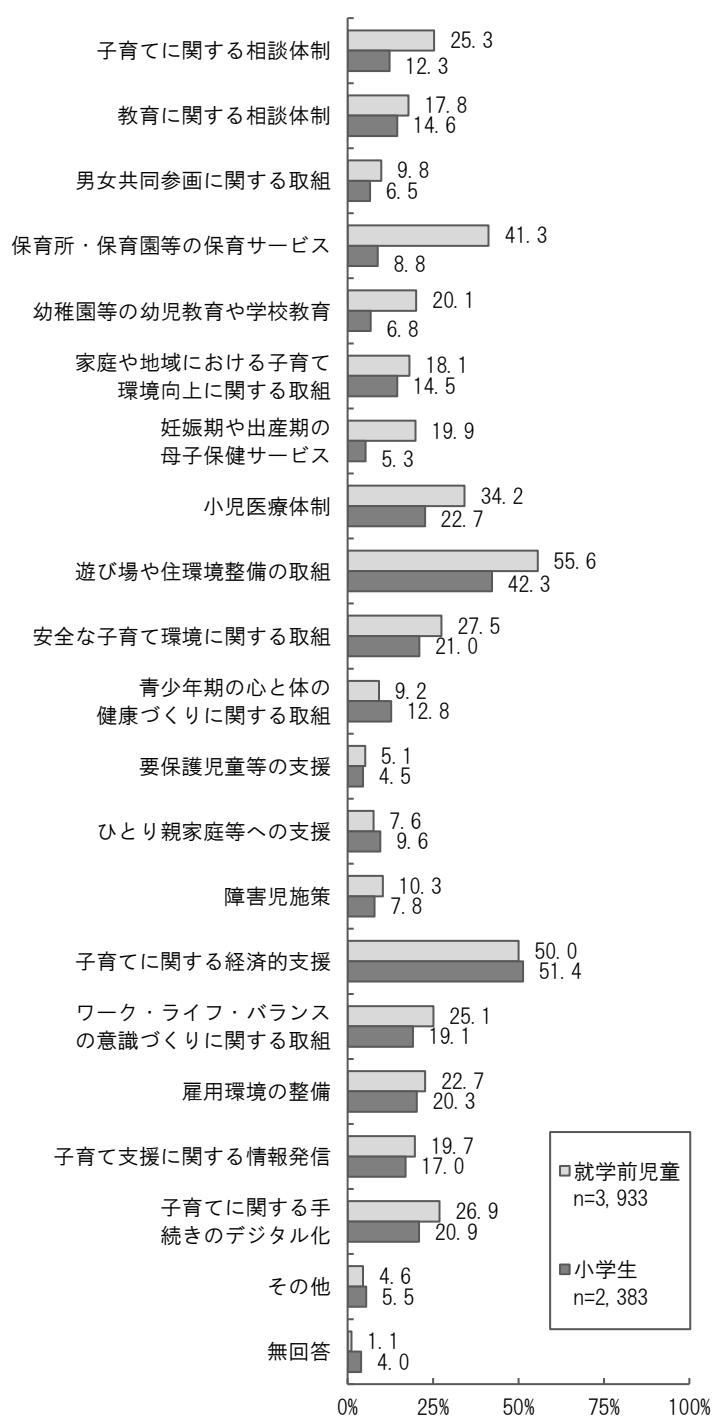


4 子育てに関する施策の期待度

○富山市の子育て施策で、今後さらに充実して欲しいと思う施策について、就学前児童では、「遊び場や住環境整備の取組」(55.6%)が最も高く、次いで「子育てに関する経済的支援」(50.0%)、「保育所・保育園等の保育サービス」(41.3%)となっています。

○小学生では、「子育てに関する経済的支援」(51.4%)が最も高く、次いで「遊び場や住環境整備の取組」(42.3%)となっています。

問32[問18] 充実して欲しい市の子育て施策

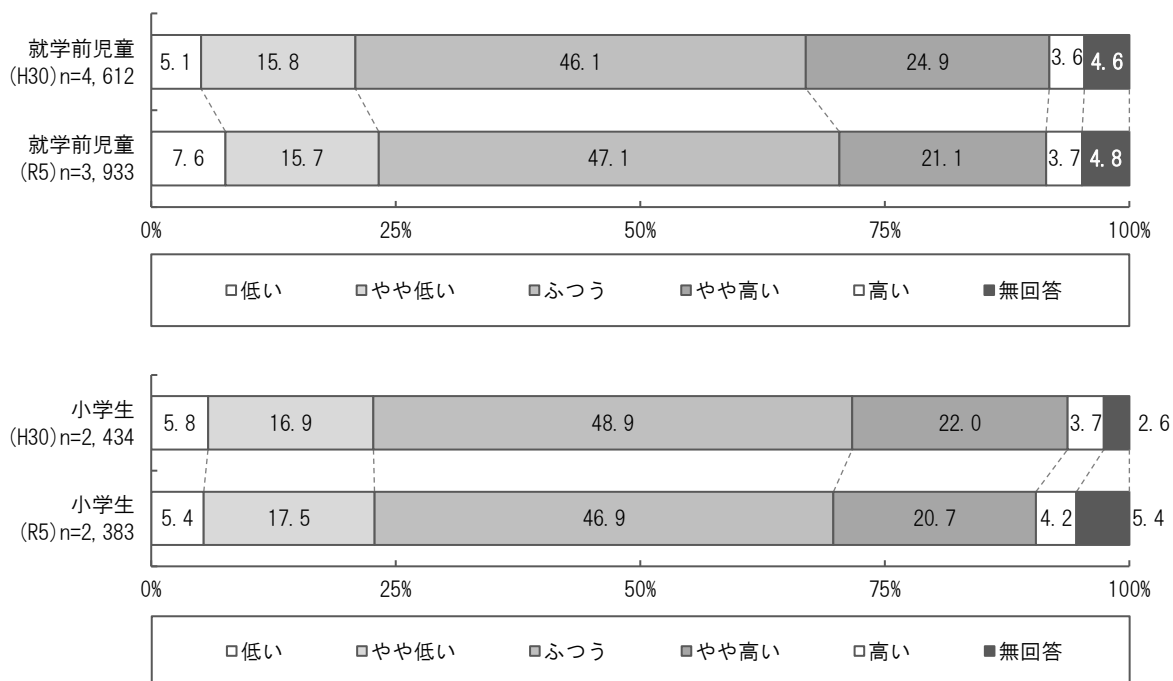


5 地域の子育て環境や支援への満足度

○地域の子育て環境や支援に対する満足度の状況をみると、就学前児童では「高い」と「やや高い」の計が24.8%、「低い」と「やや低い」の計が23.3%で、満足度が高いと考えている方が1.5ポイント上回っています。前回調査と比較すると、「高い」と「やや高い」の計が3.7ポイント減少し、「低い」と「やや低い」の計が2.4ポイント増加しています。

○一方、小学生は「高い」と「やや高い」の計が24.9%、「低い」と「やや低い」の計が22.9%で、満足度が高いと考えている方が2.0ポイント上回っています。前回調査と比較すると、「高い」と「やや高い」の計が0.8ポイント減少し、「低い」と「やや低い」の計が0.2ポイント増加しています。

問34[問20] 地域における子育て環境や支援への満足度【経年比較】



第 2 部

地域別の調査結果

第1章

地域別の子育て家庭を取り巻く環境

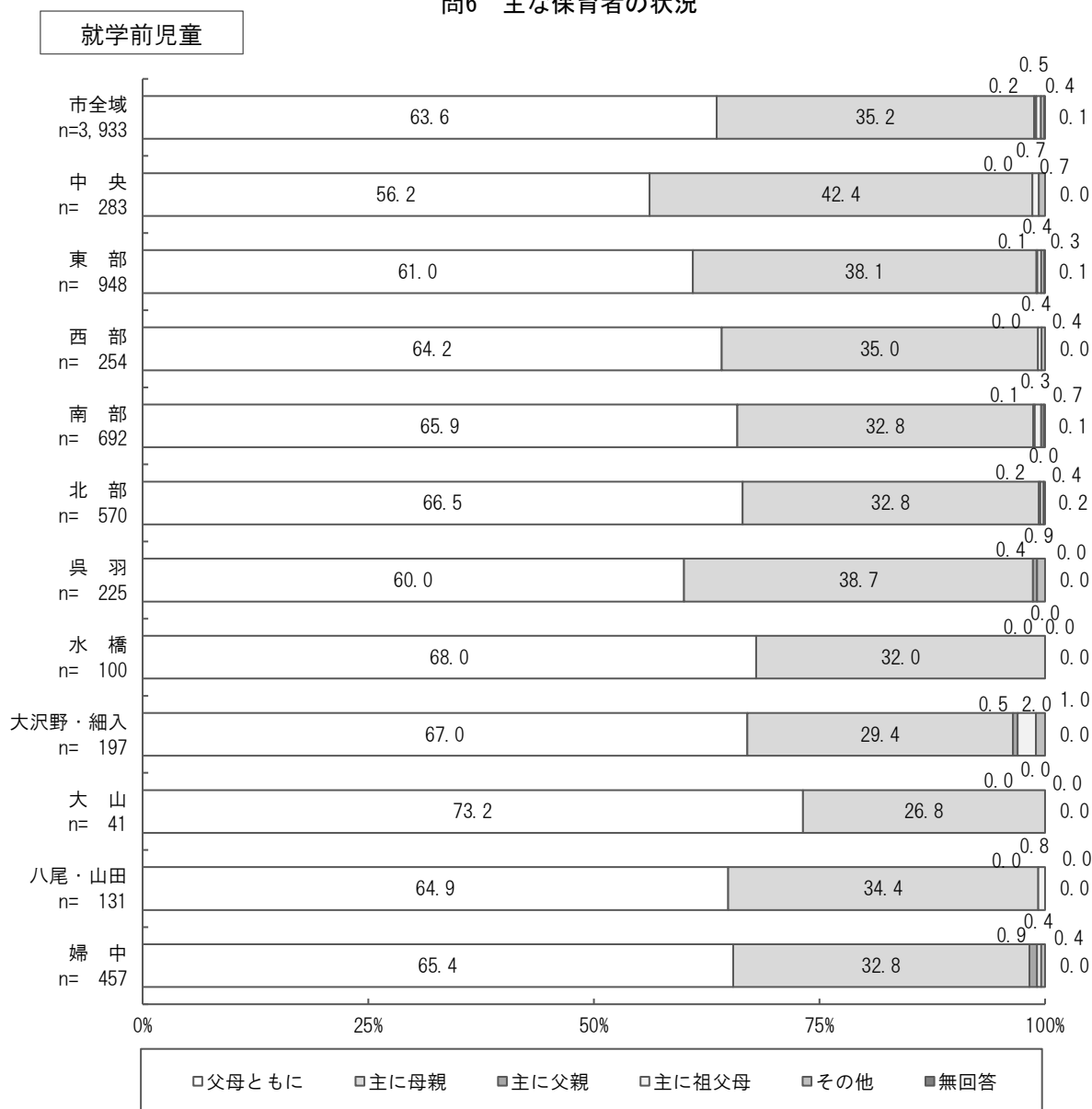
第1章 地域別の子育て家庭を取り巻く環境

1 子育ての環境について

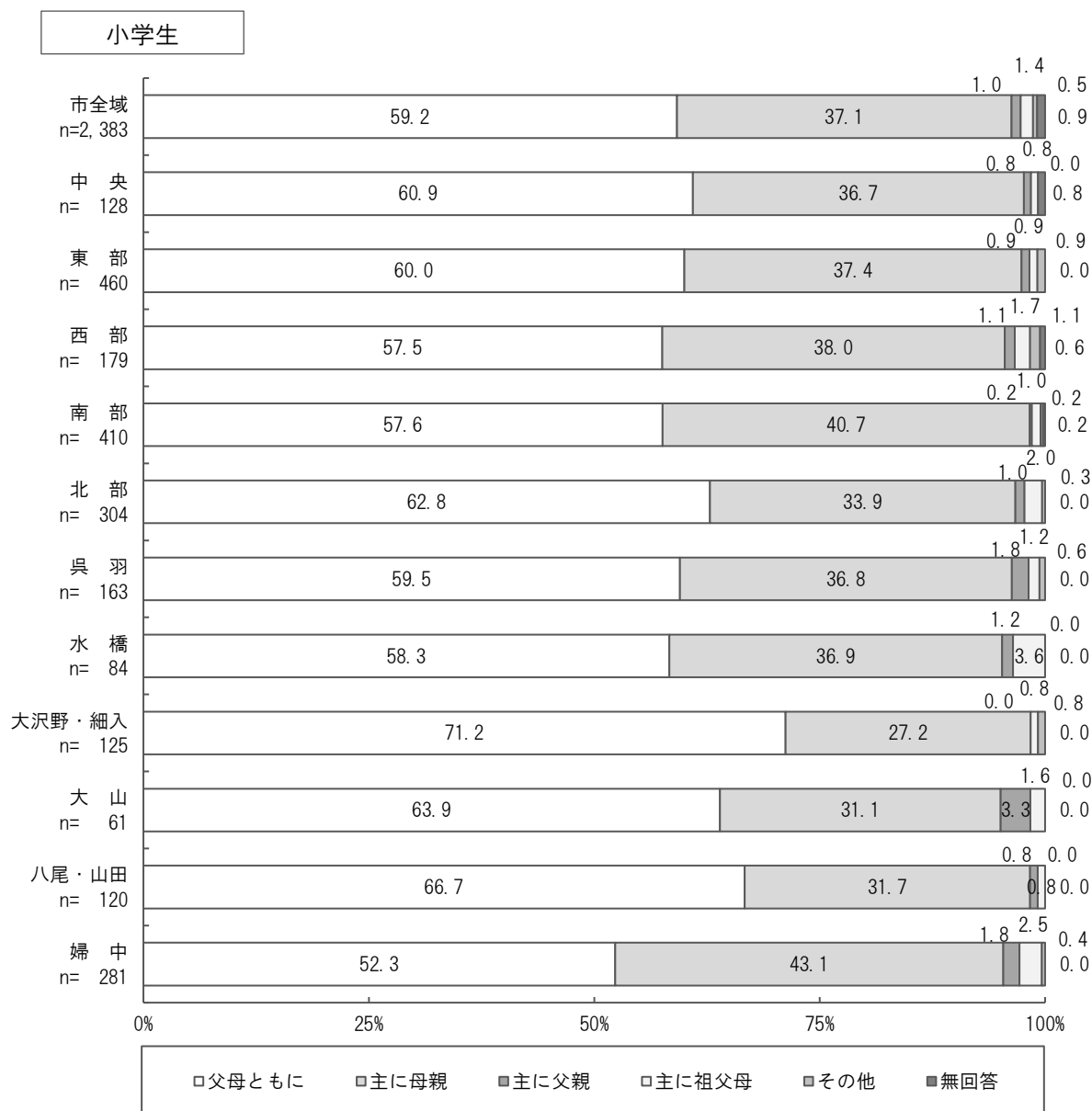
(1) 主な保育者と親族等協力者の状況

○主な保育者の状況について、就学前児童、小学生ともに各地域で「父母ともに」と「主に母親」の回答が1・2位となっています。就学前児童では地域別にみると、「父母ともに」は大山地域（73.2%）、「主に母親」は中央地域（42.4%）の割合が高くなっています。小学生では、「父母ともに」は大沢野・細入地域（71.2%）、「主に母親」は婦中地域（43.1%）の割合が高くなっています。

問6 主な保育者の状況

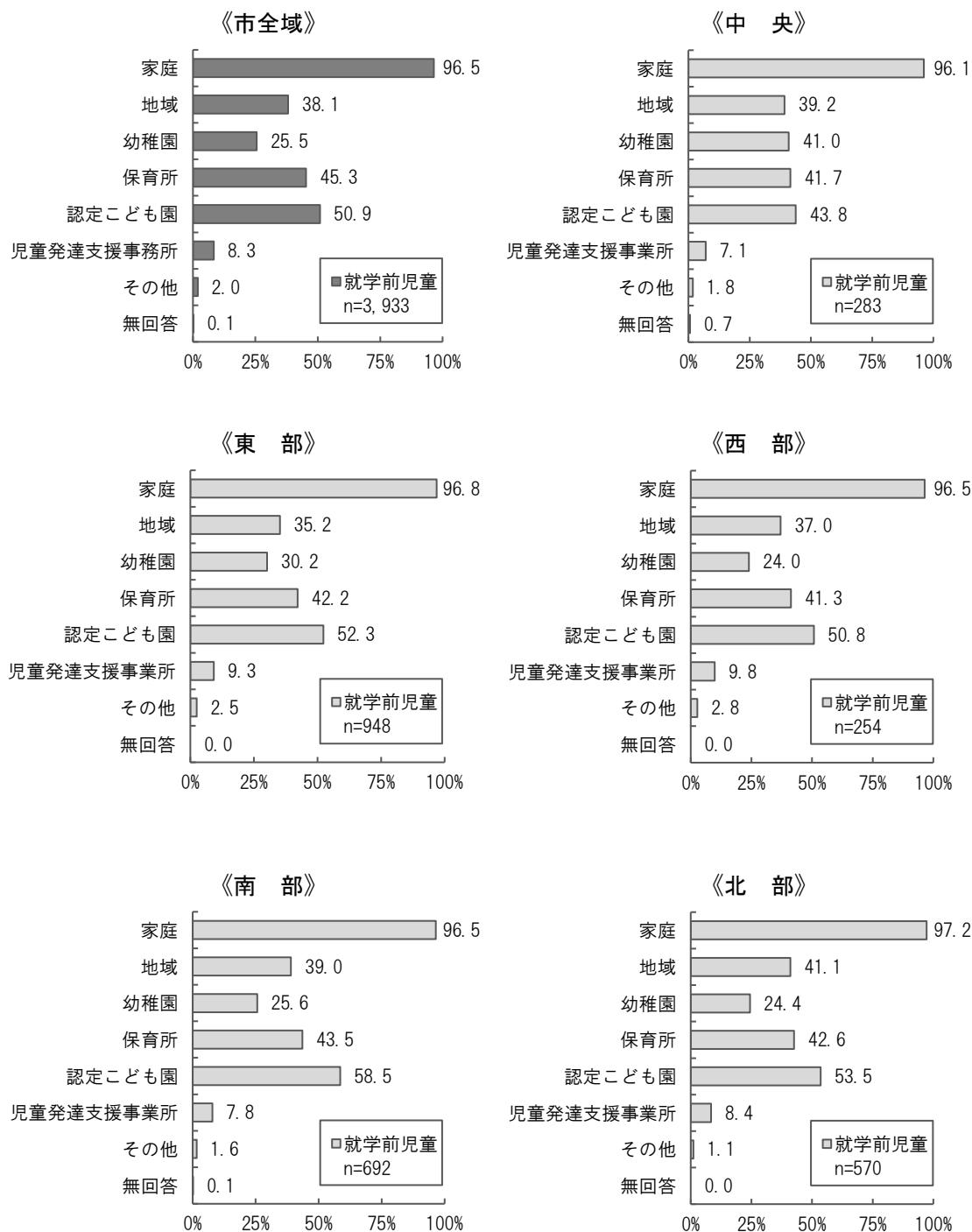


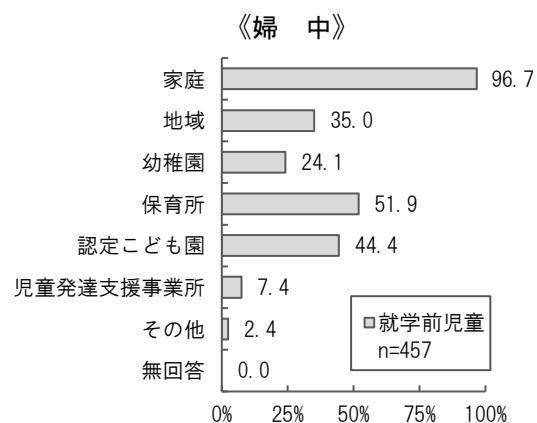
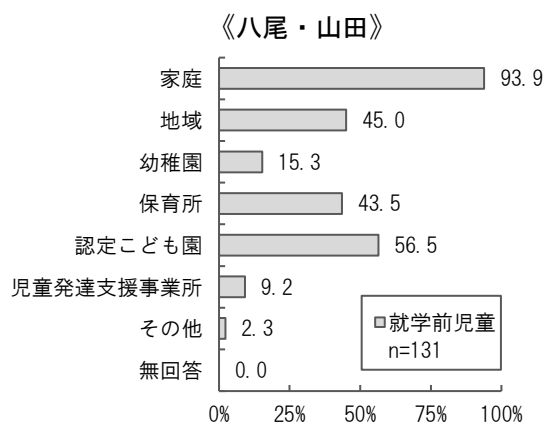
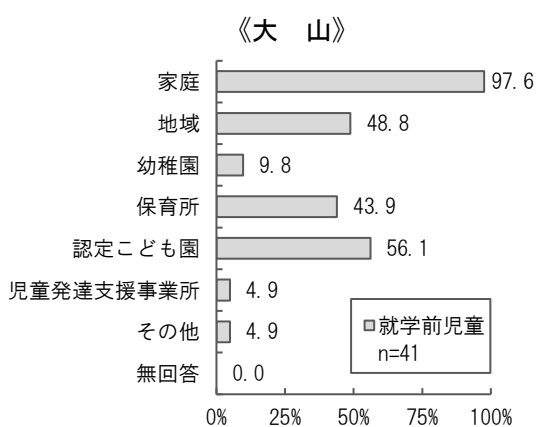
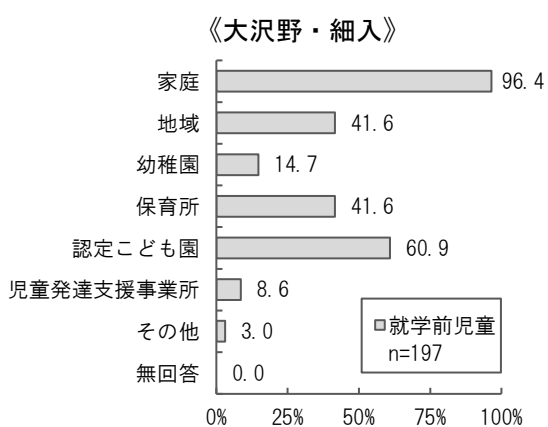
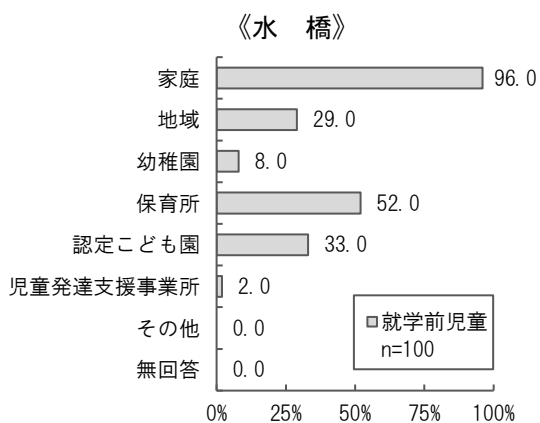
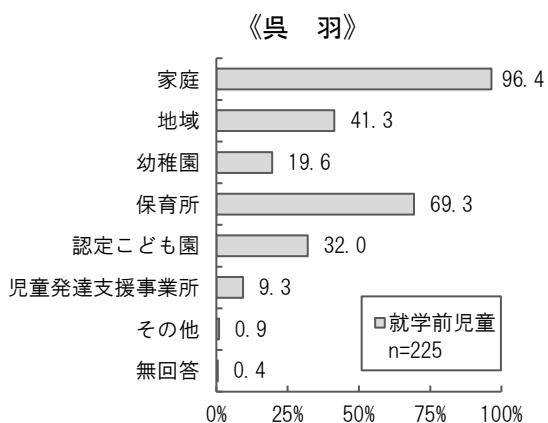
[問6] 主な保育者の状況



○子育てに影響すると思う環境について、就学前児童では各地域ともに「家庭」（93.9～97.6%）が最も高い割合となっています。2位は大半の地域で「認定こども園」（32.0～60.9%）となっていますが、婦中地域と水橋地域と呉羽地域では「保育所」（51.9%・52.0%・69.3%）となっています。

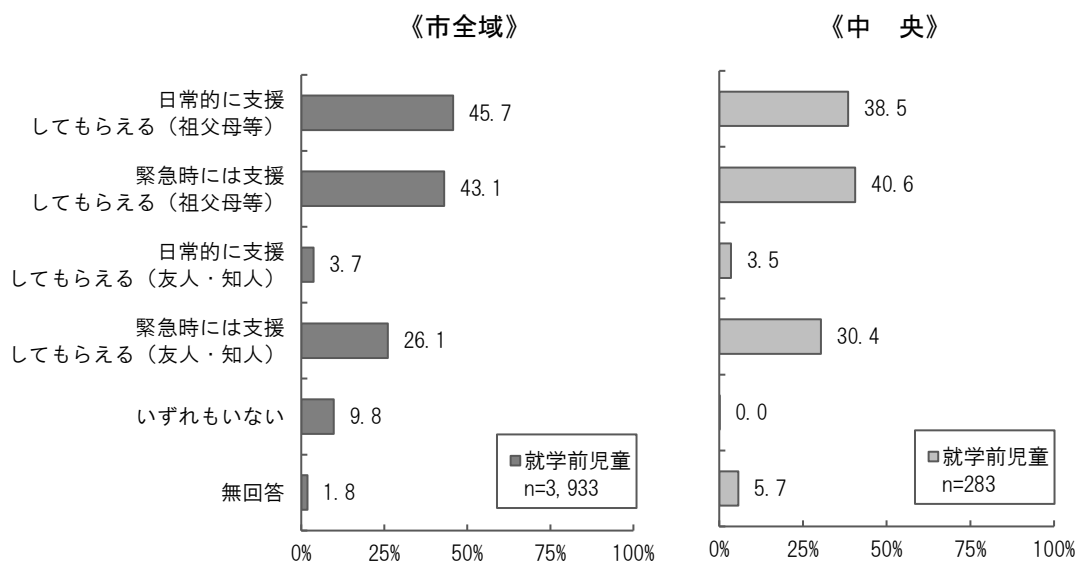
問8 子育てに影響すると思う環境



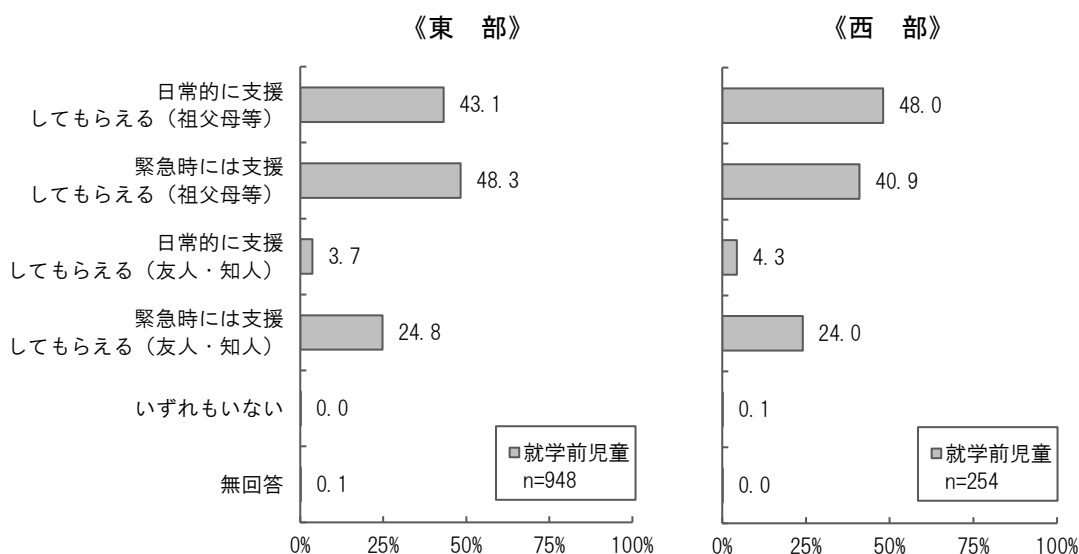


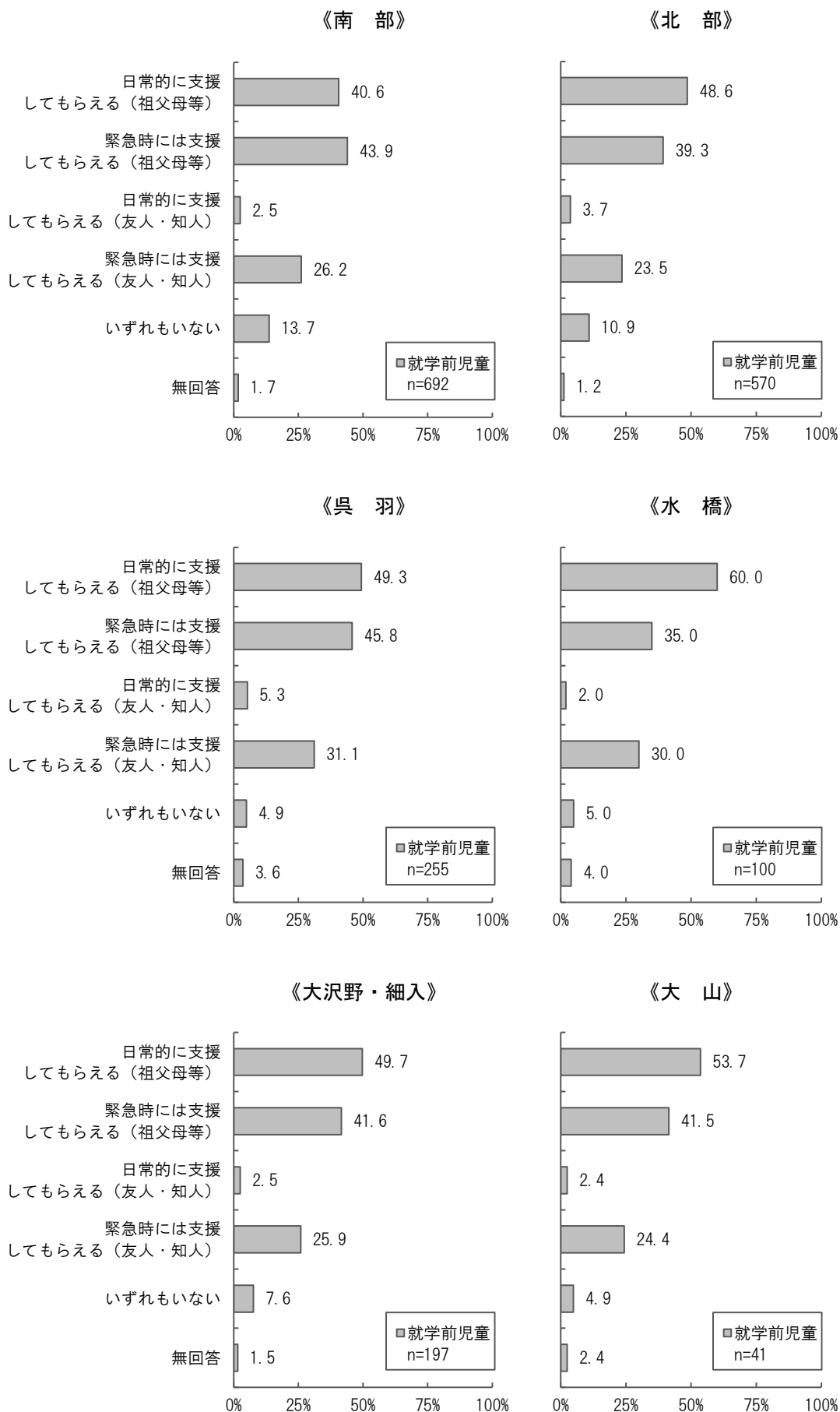
○親族・知人等協力者の状況について、ほとんどの地域で「日常的にもしくは緊急時には祖父母等の親族に支援してもらえる」(79.1~95.2%)が最も高い割合となっていますが、八尾・山田地域は「緊急時には支援してもらえる(友人・知人)」(35.9%)が市全域より10%程度高い割合を示しています。

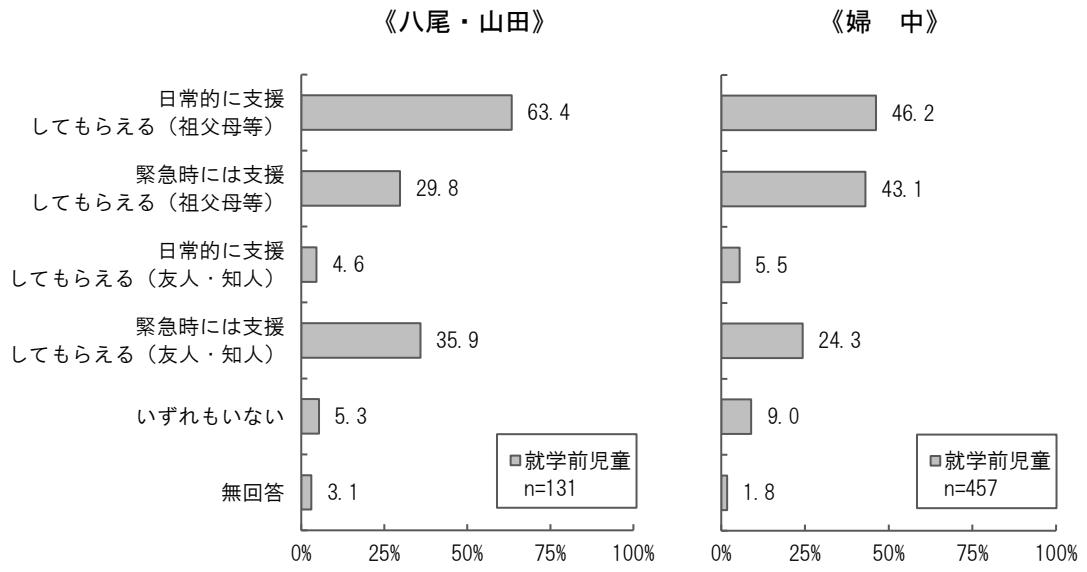
問9 親族・知人等協力者の状況



問9 親族・知人等協力者の状況





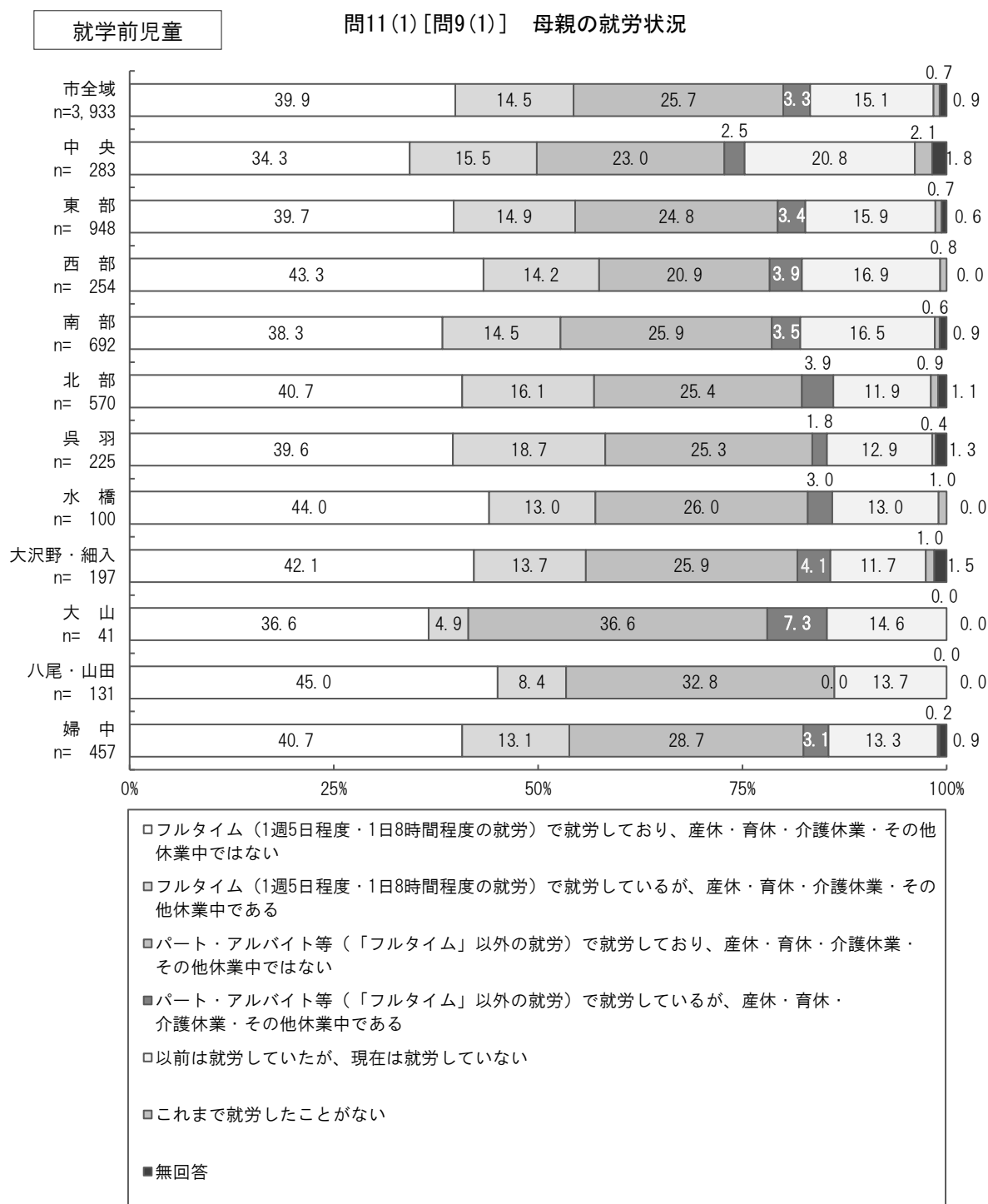


2 保護者の就労状況

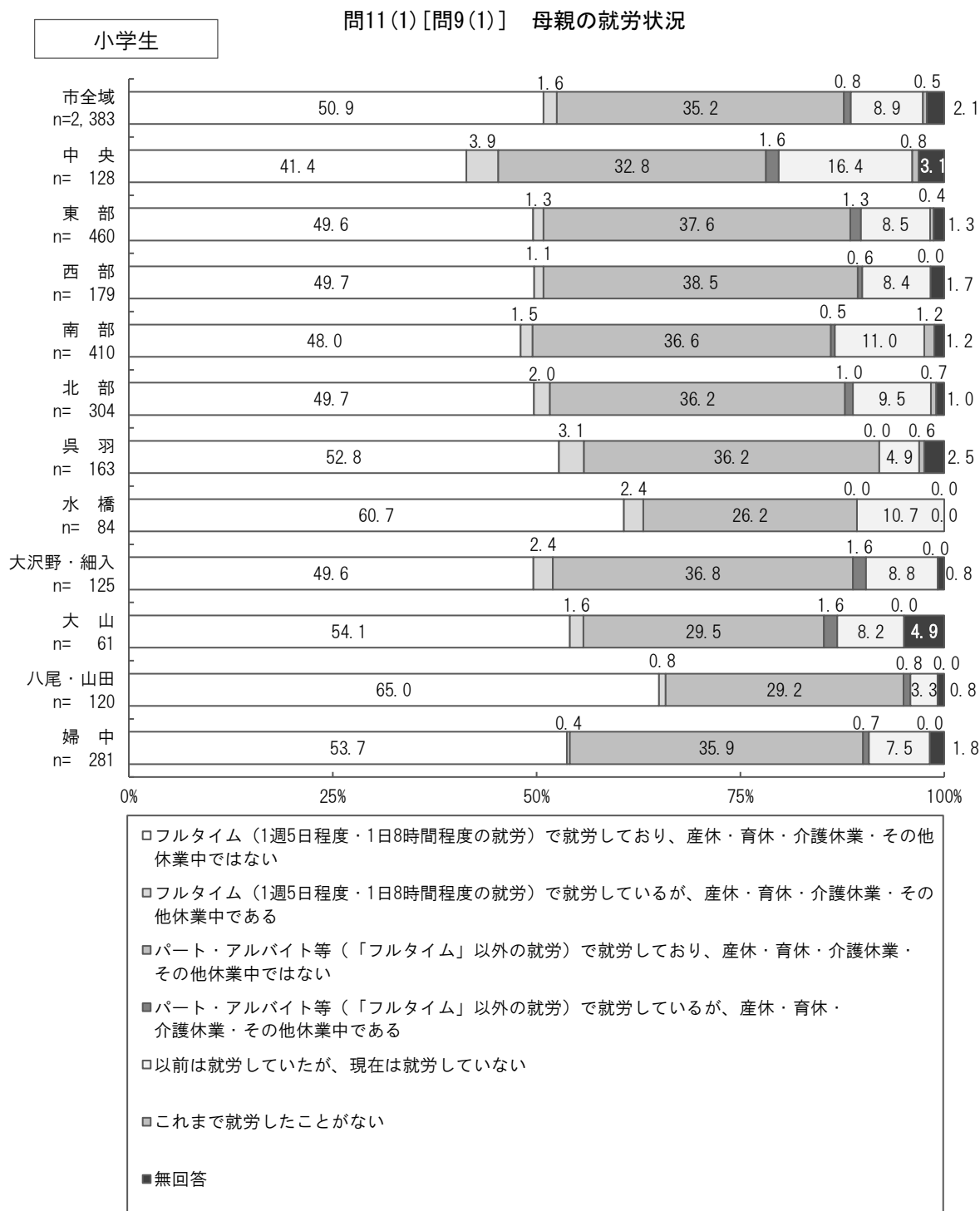
(1) 母親の就労状況

○就学前児童の母親の休業中も含めた就労状況を地域別にみると、八尾・山田地域（86.2%）が最も高く、次いで北部地域（86.1%）、水橋地域（86.0%）となっています。

○現在フルタイムで就労している方は、八尾・山田地域（45.0%）が最も高く、次いで水橋地域（44.0%）、西部地域（43.3%）となっています。



○小学生の母親の休業中も含めた就労状況を地域別にみると、八尾・山田地域(95.8%)が最も高く、次いで呉羽地域(92.1%)、婦中地域(90.7%)となっています。
 ○現在フルタイムで就労している方は、八尾・山田地域(65.0%)が最も高く、次いで水橋地域(60.7%)、大山地域(54.1%)となっています。

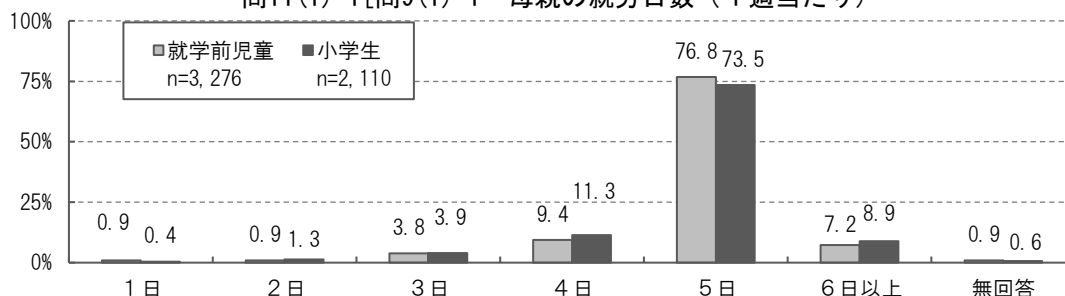


○母親の就労日数・就労時間について、就学前児童では「5日」(65.7~83.7%)、「8~9時間」(39.4~59.3%)が最も高い割合となっています。小学生では就労日数は「5日」(68.6~84.9%)、就労時間は「8~9時間」(40.6~55.7%)が最も高い割合となっています。

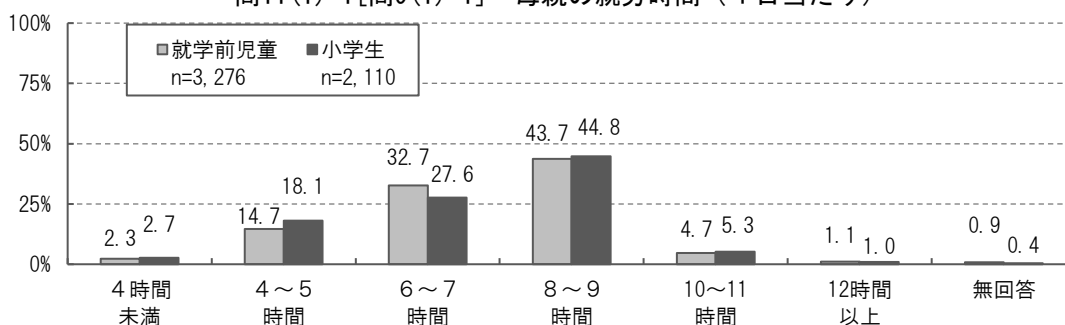
○就労日数が「6日以上」と回答した方をみると、就学前児童は大沢野・細入地域で9.5%、小学生では北部地域で11.1%が最も高い割合となっています。

《市全域》

問11(1)-1[問9(1)-1] 母親の就労日数(1週当たり)

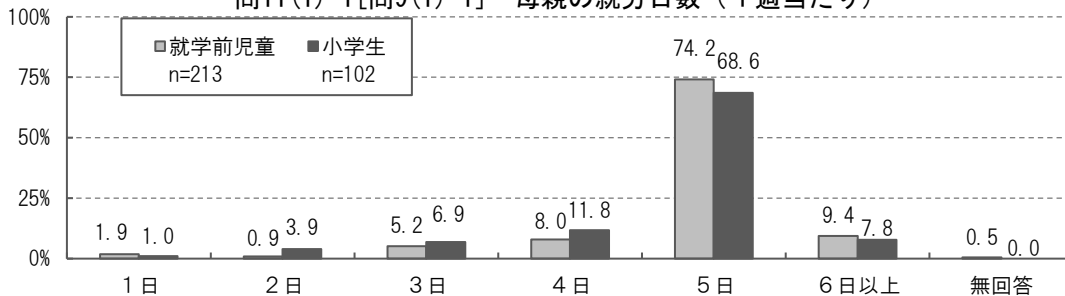


問11(1)-1[問9(1)-1] 母親の就労時間(1日当たり)

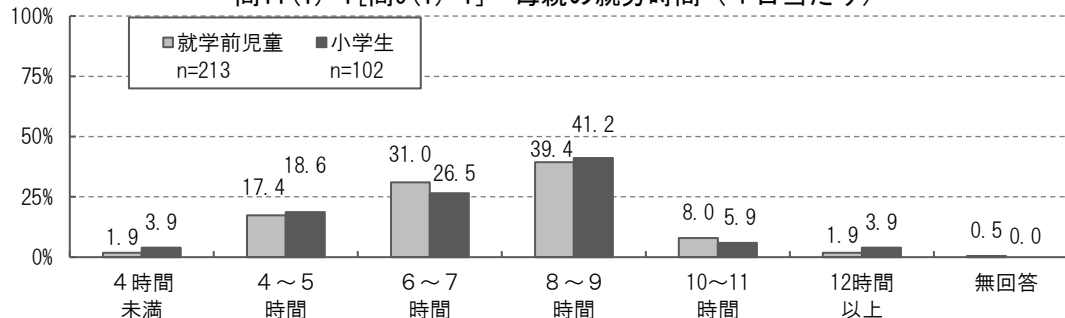


《中央》

問11(1)-1[問9(1)-1] 母親の就労日数(1週当たり)

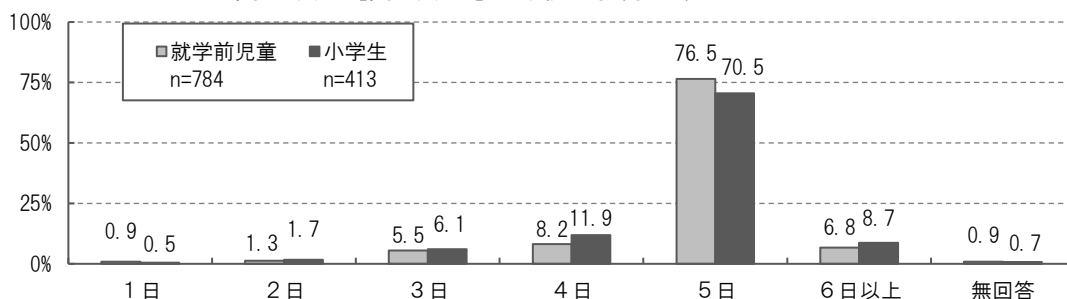


問11(1)-1[問9(1)-1] 母親の就労時間(1日当たり)

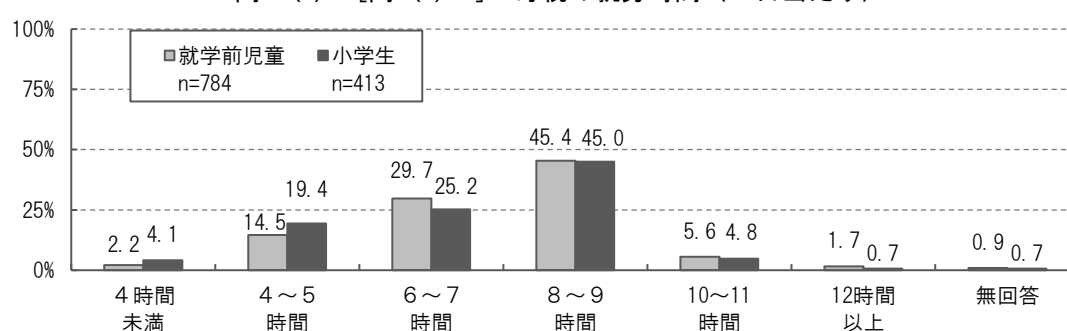


《東部》

問11(1)-1[問9(1)-1] 母親の就労日数（1週当たり）

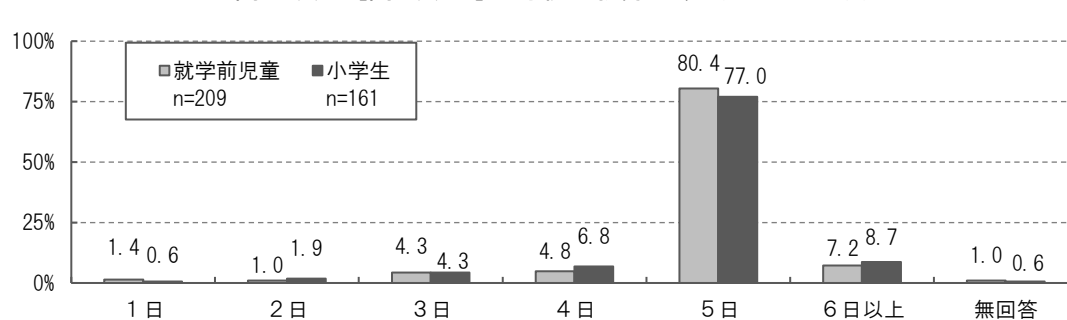


問11(1)-1[問9(1)-1] 母親の就労時間（1日当たり）

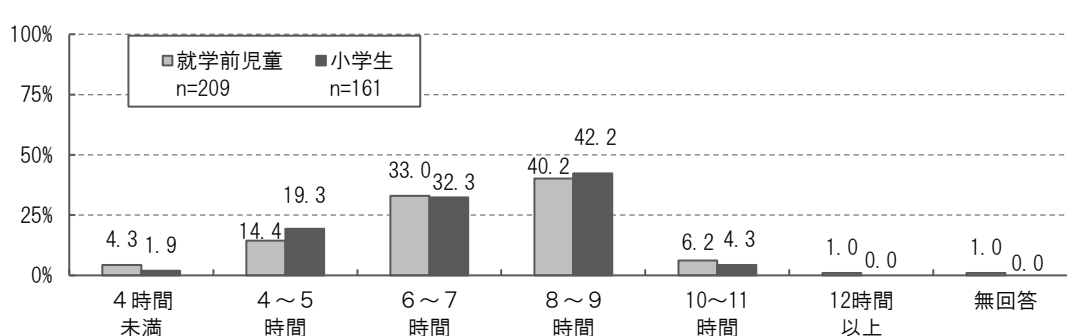


《西部》

問11(1)-1[問9(1)-1] 母親の就労日数（1週当たり）

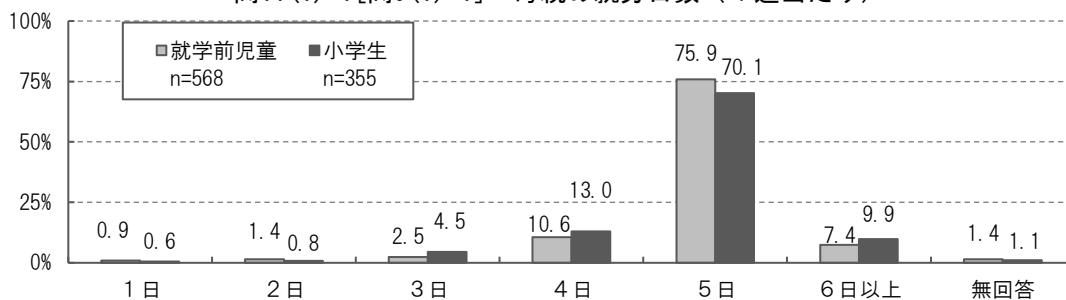


問11(1)-1[問9(1)-1] 母親の就労時間（1日当たり）

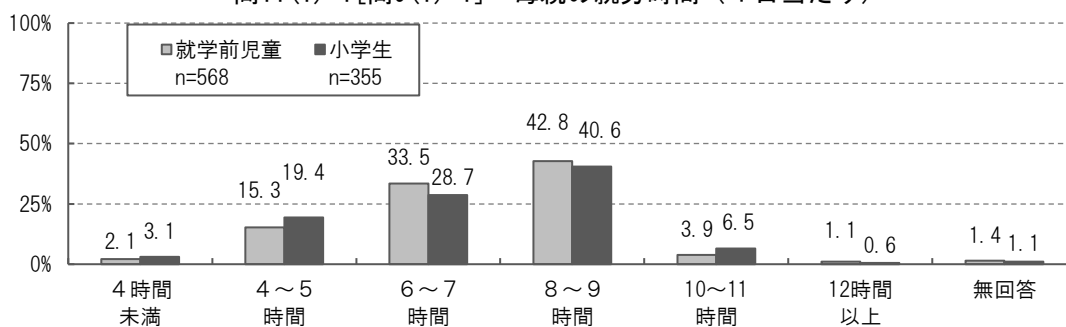


《南部》

問11(1)-1[問9(1)-1] 母親の就労日数（1週当たり）

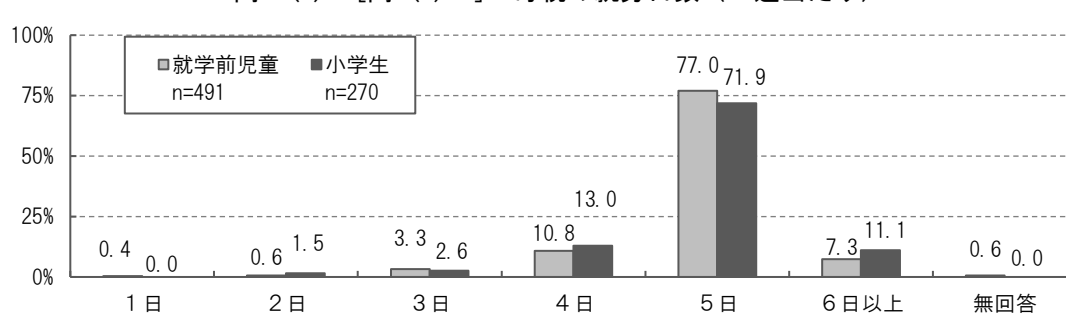


問11(1)-1[問9(1)-1] 母親の就労時間（1日当たり）

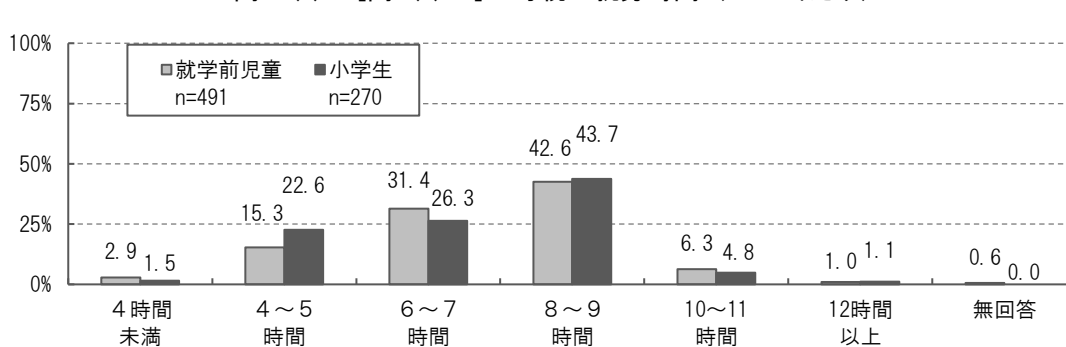


《北部》

問11(1)-1[問9(1)-1] 母親の就労日数（1週当たり）

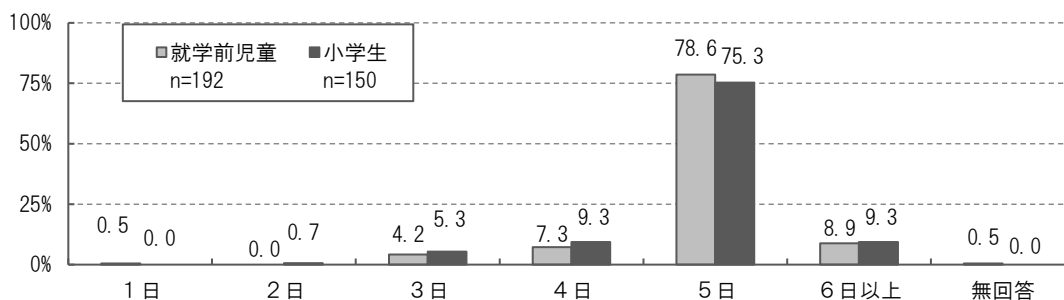


問11(1)-1[問9(1)-1] 母親の就労時間（1日当たり）

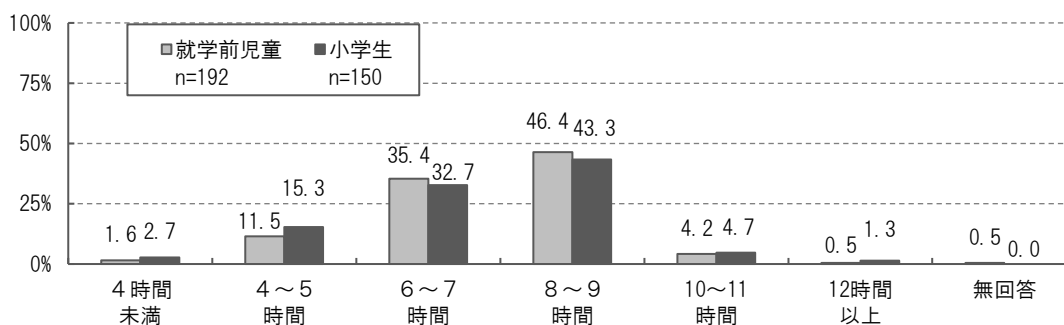


《呉羽》

問11(1)-1[問9(1)-1] 母親の就労日数（1週当たり）

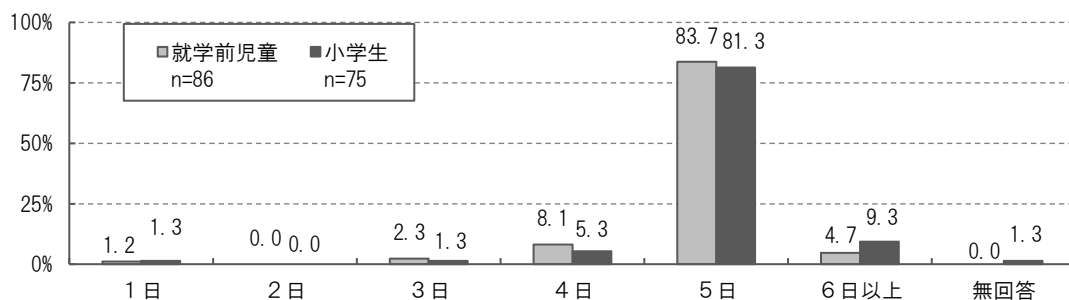


問11(1)-1[問9(1)-1] 母親の就労時間（1日当たり）

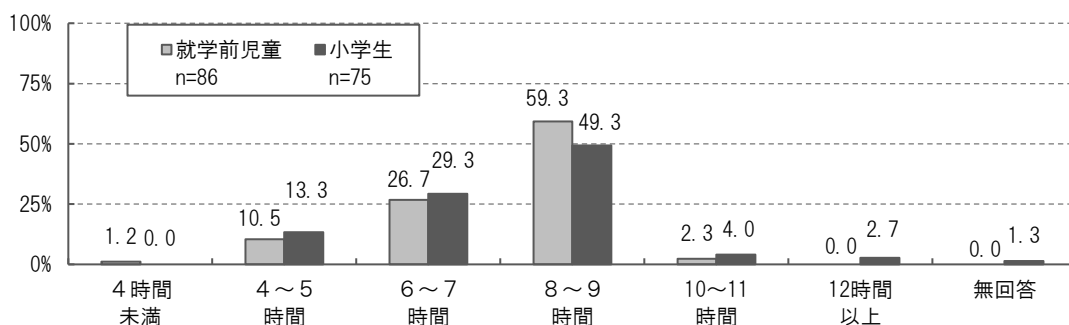


《水橋》

問11(1)-1[問9(1)-1] 母親の就労日数（1週当たり）

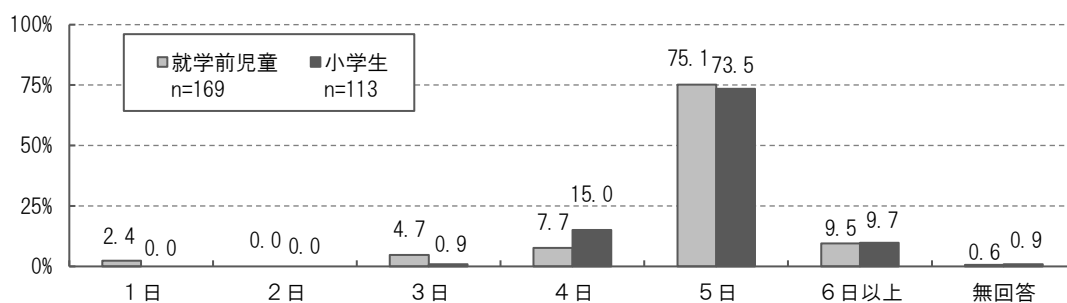


問11(1)-1[問9(1)-1] 母親の就労時間（1日当たり）

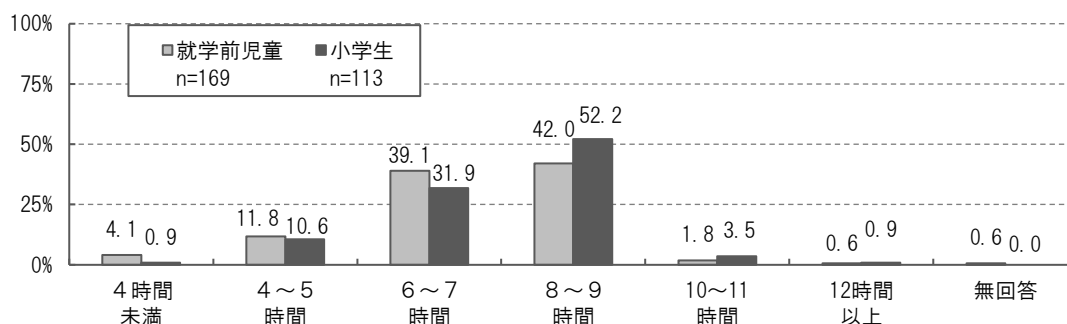


《大沢野・細入》

問11(1)-1[問9(1)-1] 母親の就労日数（1週当たり）

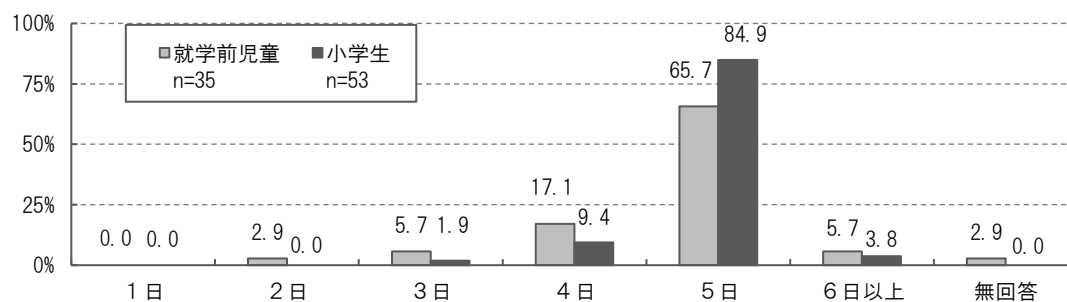


問11(1)-1[問9(1)-1] 母親の就労時間（1日当たり）

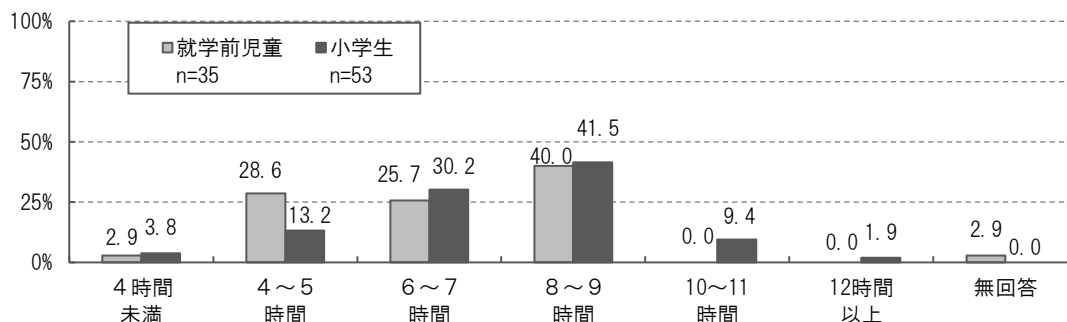


《大山》

問11(1)-1[問9(1)-1] 母親の就労日数（1週当たり）

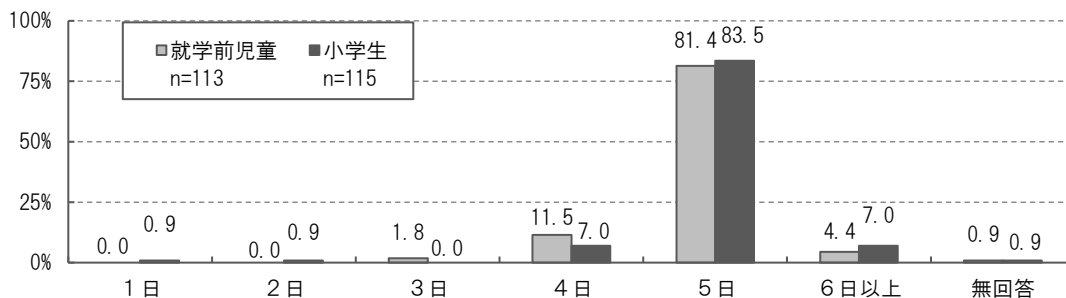


問11(1)-1[問9(1)-1] 母親の就労時間（1日当たり）

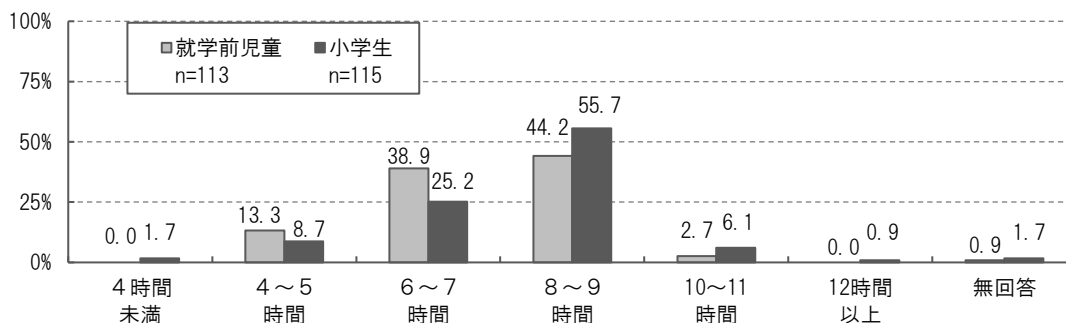


《八尾・山田》

問11(1)-1[問9(1)-1] 母親の就労日数（1週当たり）

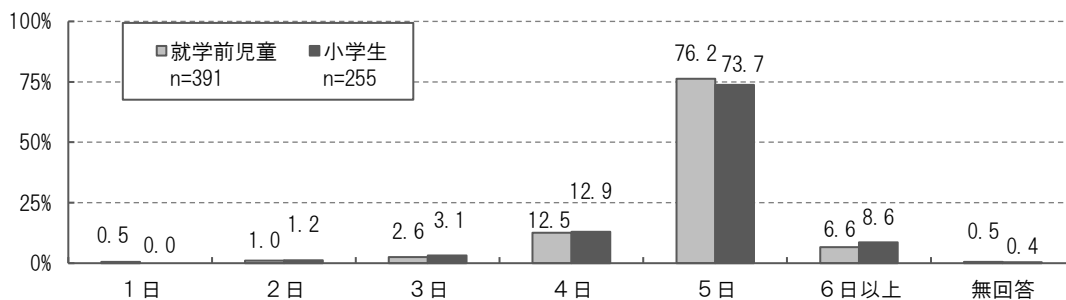


問11(1)-1[問9(1)-1] 母親の就労時間（1日当たり）

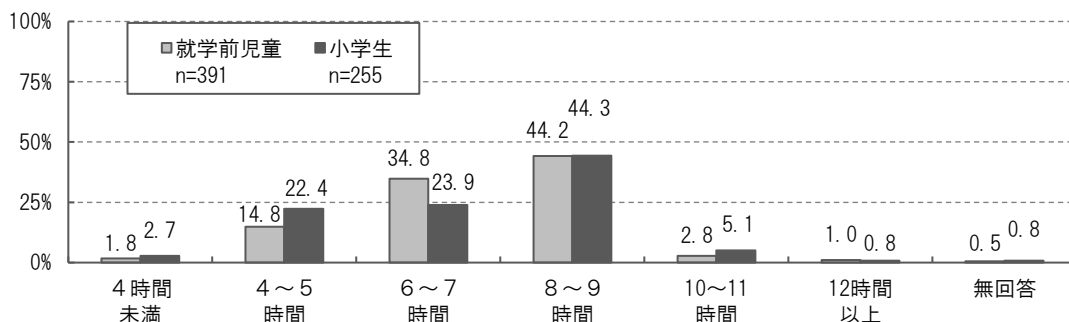


《婦中》

問11(1)-1[問9(1)-1] 母親の就労日数（1週当たり）

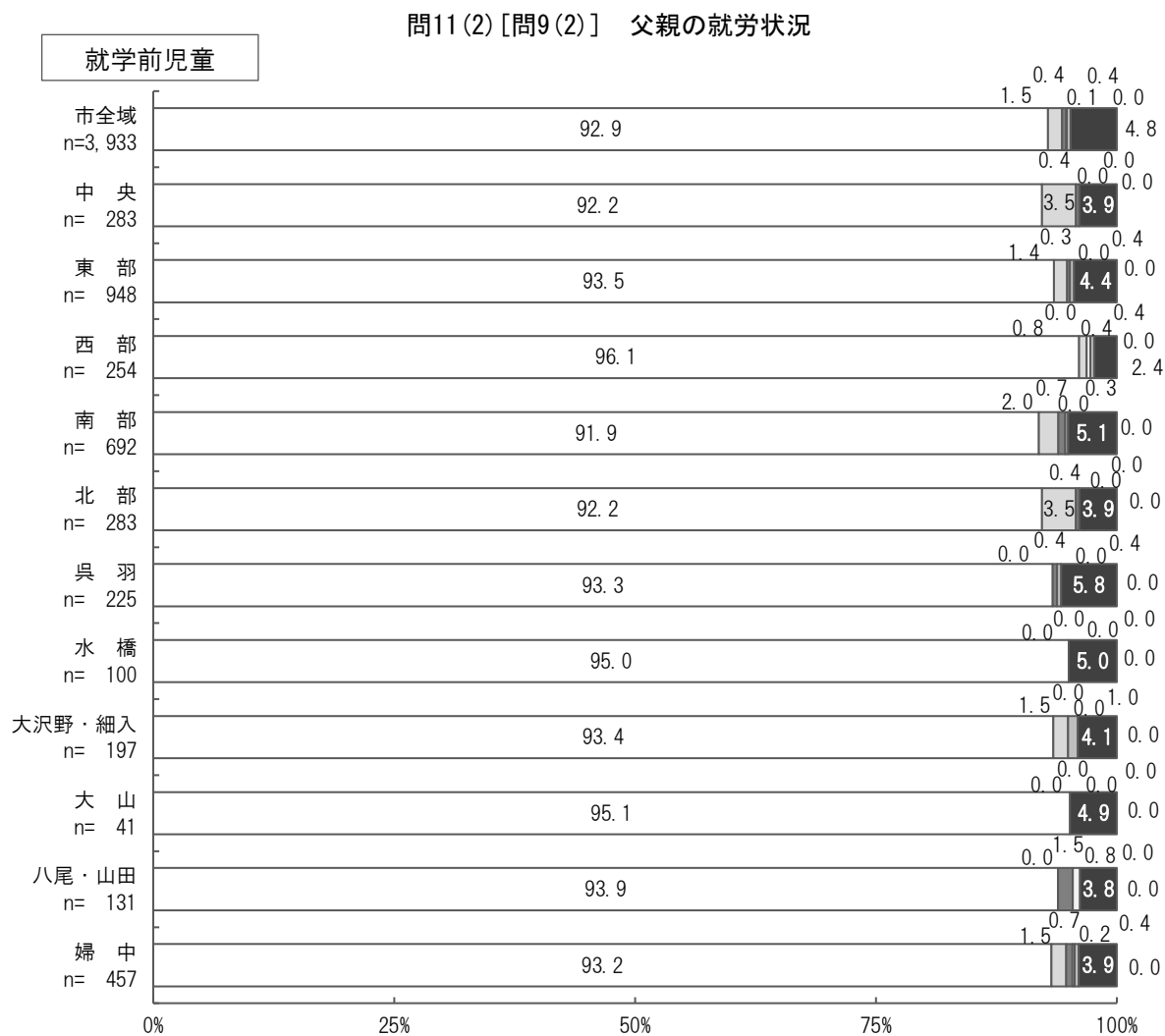


問11(1)-1[問9(1)-1] 母親の就労時間（1日当たり）



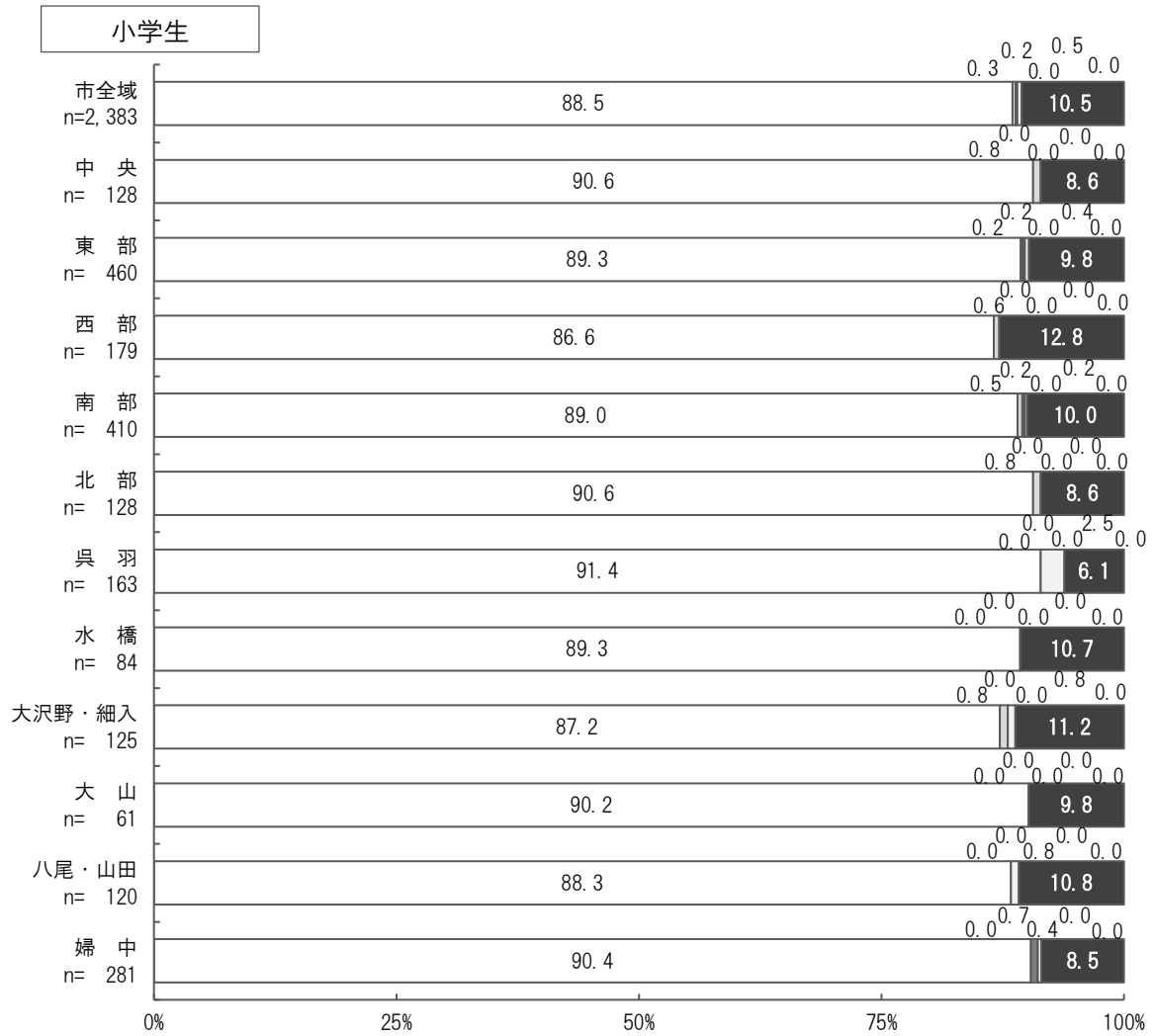
(2) 父親の就労状況

○父親の就労状況ついて、就学前児童・小学生ともに「フルタイムで就労しており、育休・介護休業・その他休業中ではない」(91.9~95.1%・86.6~91.4%)が最も高い割合となっています。



- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業・その他休業中ではない
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業・その他休業中である
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業・その他休業中ではない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業・その他休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

問11(2) [問9(2)] 父親の就労状況

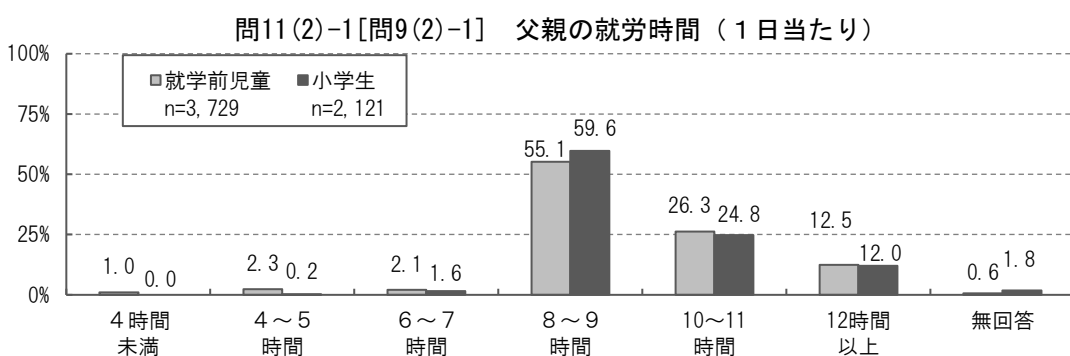
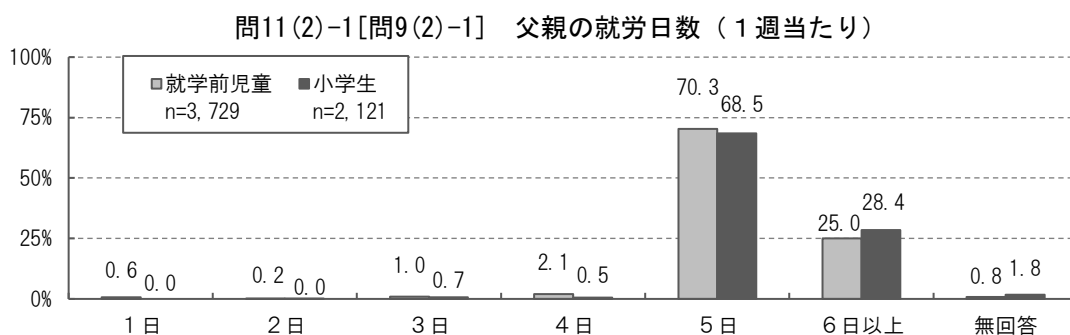


- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業・その他休業中ではない
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業・その他休業中である
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業・その他休業中ではない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業・その他休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

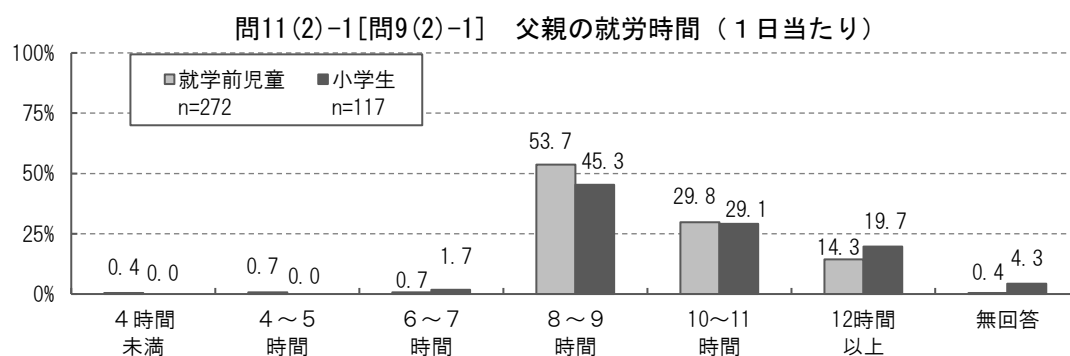
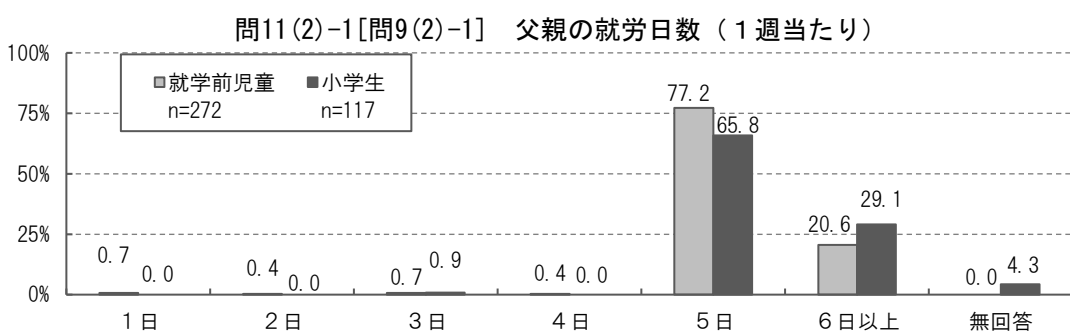
○父親の就労日数・就労時間について、就学前児童では「5日」(51.3~82.1%)、「8~9時間」(50.9~69.2%)、小学生でも「5日」(64.0~72.0%)、「8~9時間」(45.3~78.7%)で最も高くなっています。

○就労日数が「6日以上」と回答した方をみると、就学前児童は大山地域で38.5%、小学生では水橋地域で34.7%が最も高い割合となっています。

《市全域》

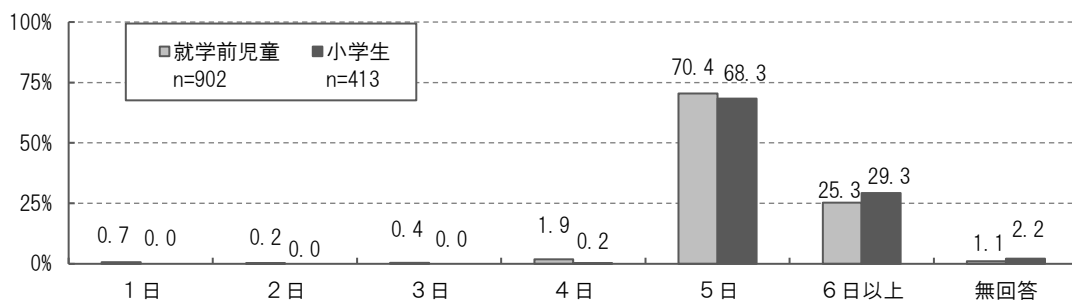


《中央》

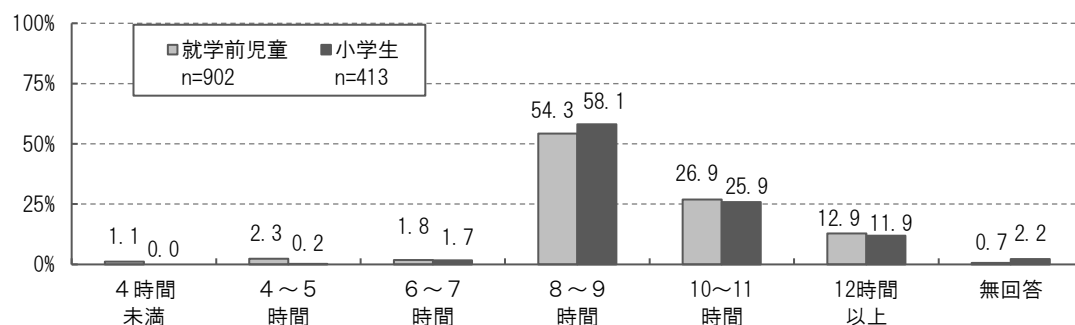


《東部》

問11(2)-1[問9(2)-1] 父親の就労日数（1週当たり）

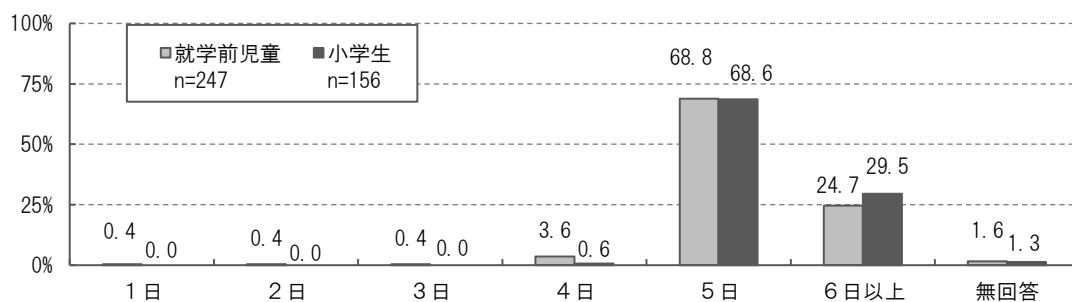


問11(2)-1[問9(2)-1] 父親の就労時間（1日当たり）

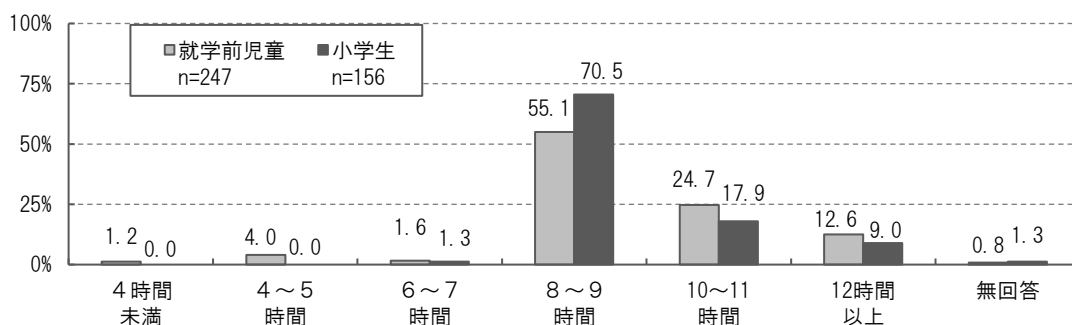


《西部》

問11(2)-1[問9(2)-1] 父親の就労日数（1週当たり）

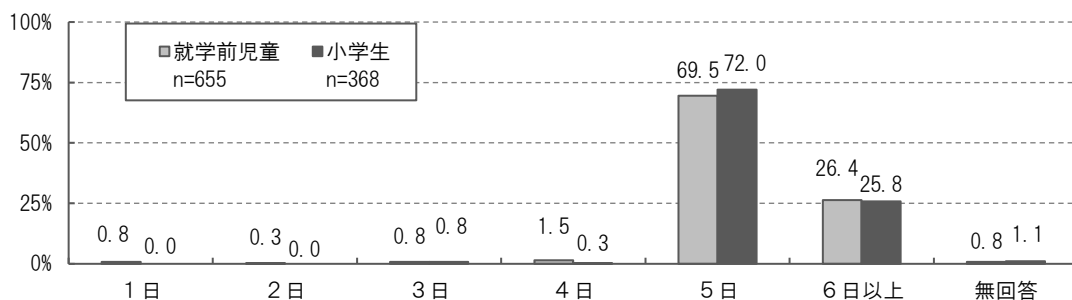


問11(2)-1[問9(2)-1] 父親の就労時間（1日当たり）

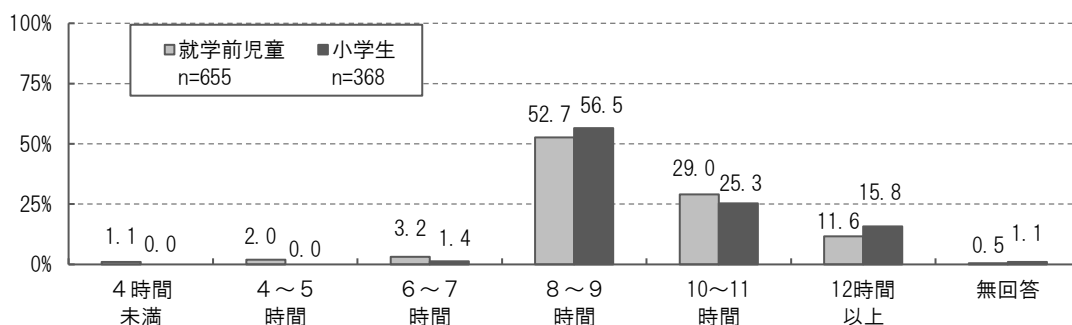


《南部》

問11(2)-1[問9(2)-1] 父親の就労日数（1週当たり）

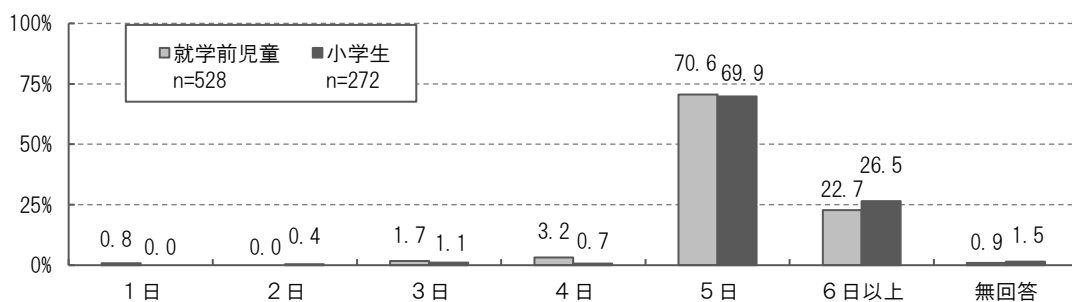


問11(2)-1[問9(2)-1] 父親の就労時間（1日当たり）

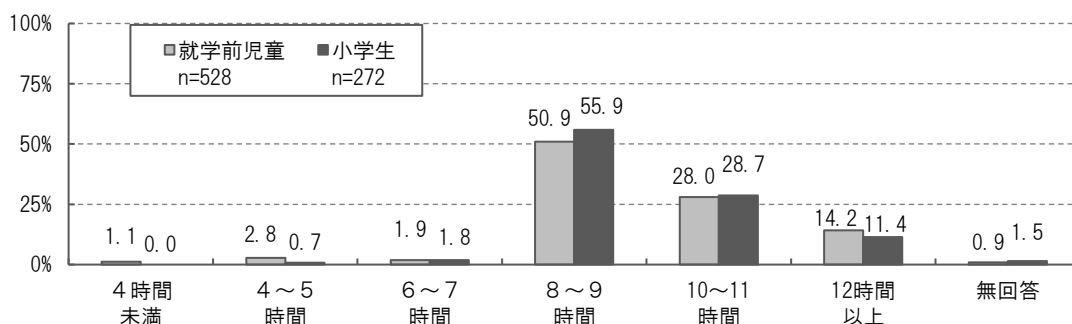


《北部》

問11(2)-1[問9(2)-1] 父親の就労日数（1週当たり）

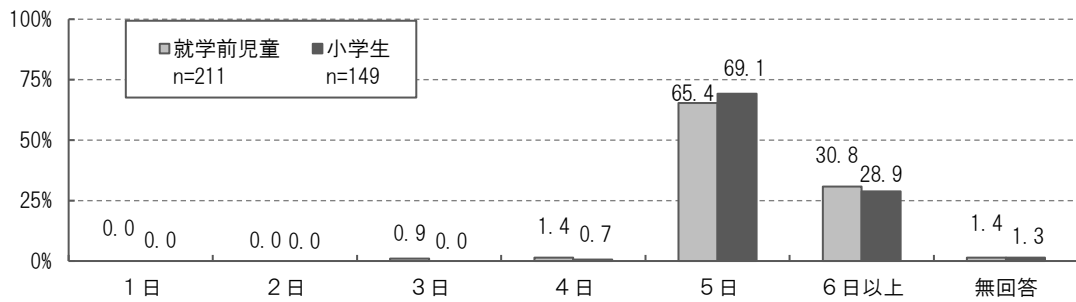


問11(2)-1[問9(2)-1] 父親の就労時間（1日当たり）

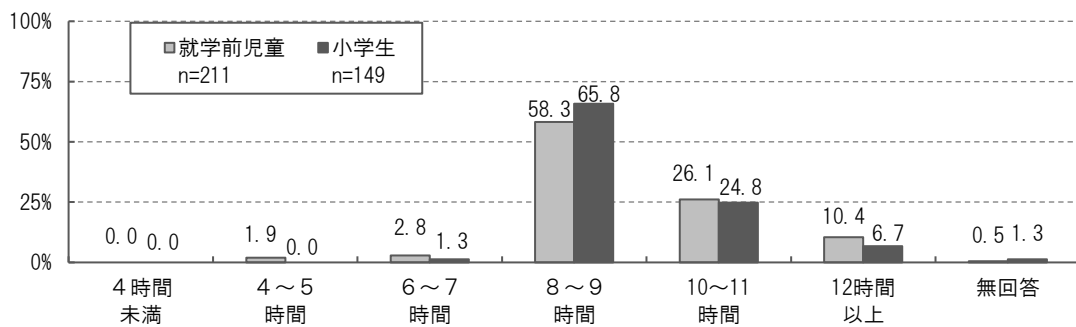


《呉羽》

問11(2)-1[問9(2)-1] 父親の就労日数（1週当たり）

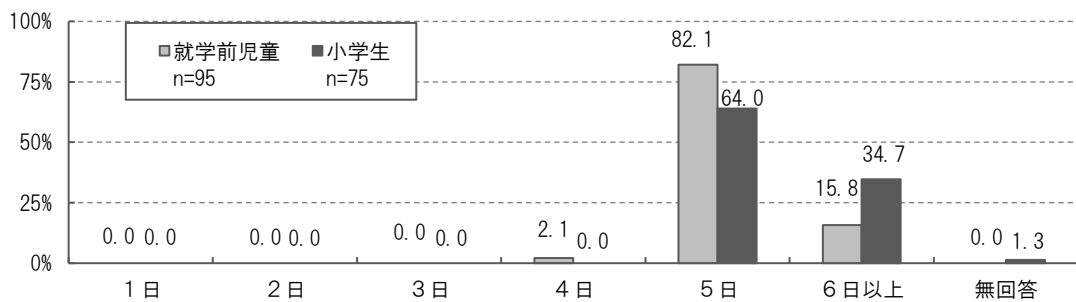


問11(2)-1[問9(2)-1] 父親の就労時間（1日当たり）

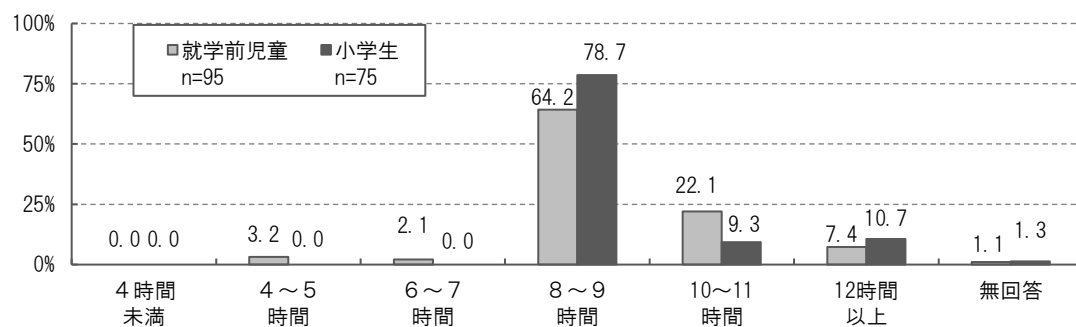


《水橋》

問11(2)-1[問9(2)-1] 父親の就労日数（1週当たり）

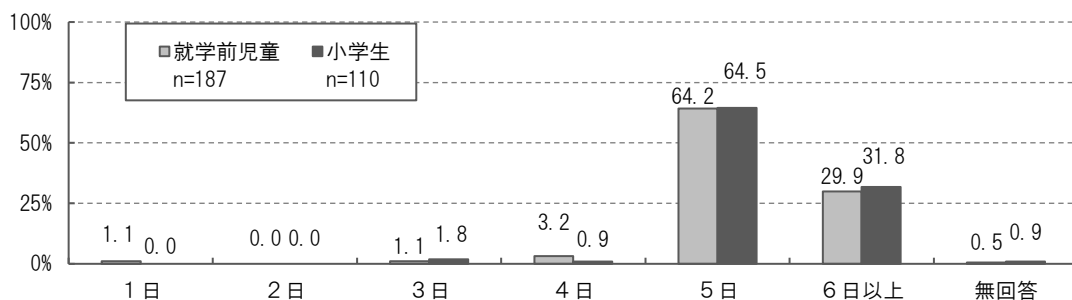


問11(2)-1[問9(2)-1] 父親の就労時間（1日当たり）

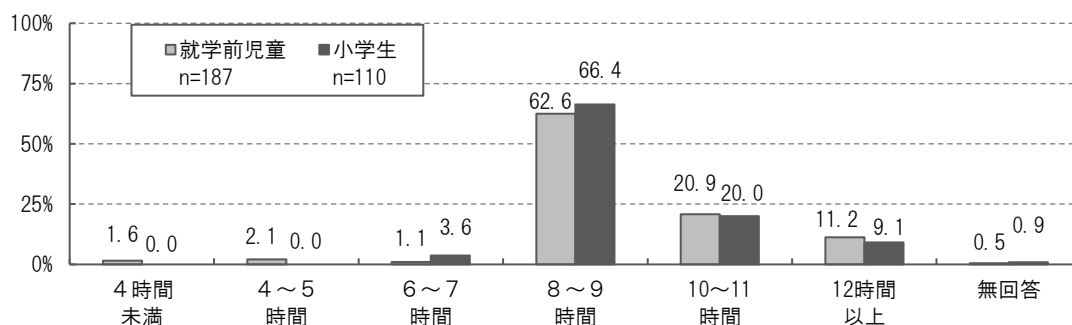


《大沢野・細入》

問11(2)-1[問9(2)-1] 父親の就労日数（1週当たり）

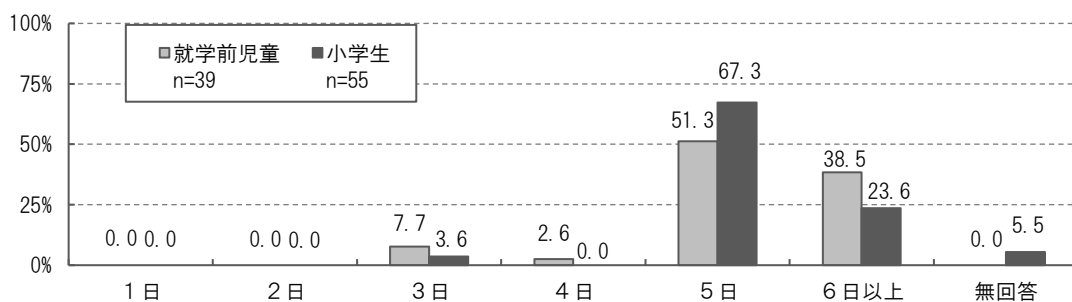


問11(2)-1[問9(2)-1] 父親の就労時間（1日当たり）

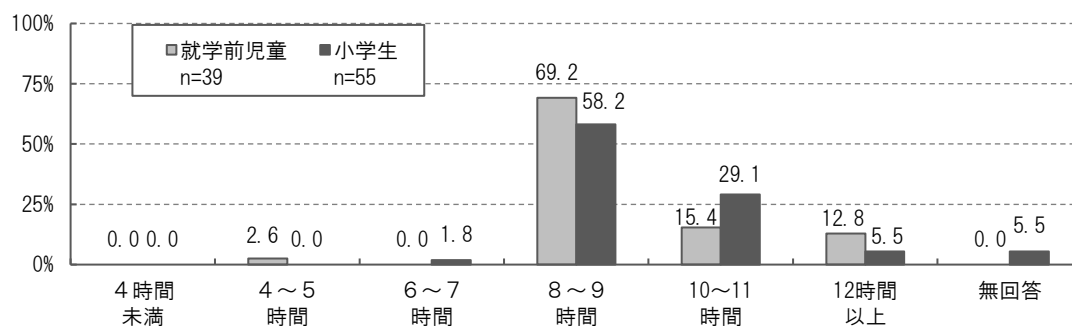


《大山》

問11(2)-1[問9(2)-1] 父親の就労日数（1週当たり）

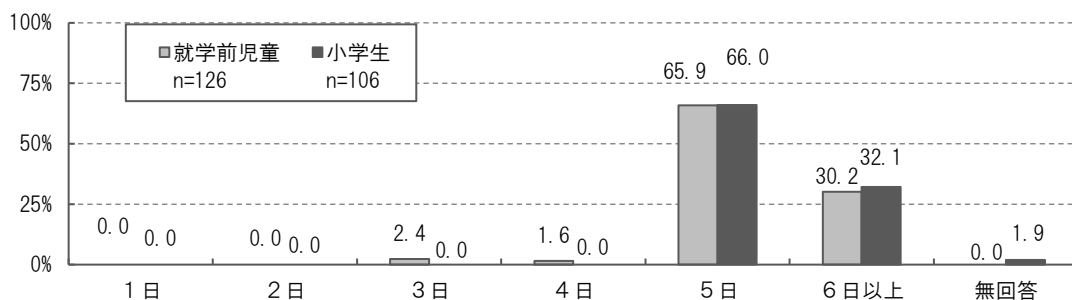


問11(2)-1[問9(2)-1] 父親の就労時間（1日当たり）

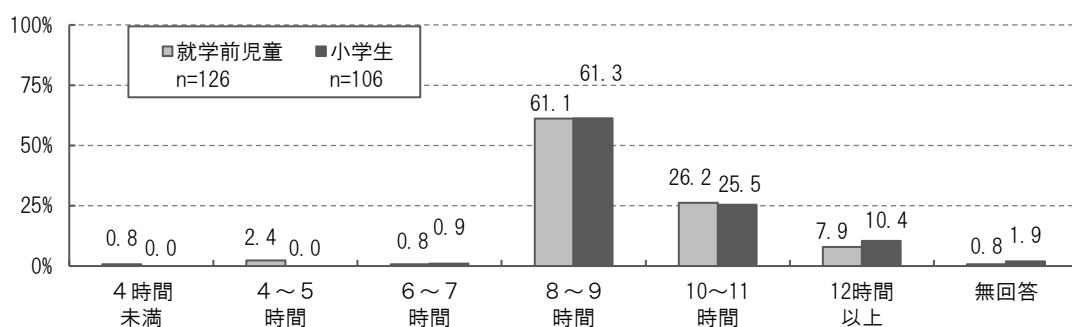


《八尾・山田》

問11(2)-1[問9(2)-1] 父親の就労日数（1週当たり）

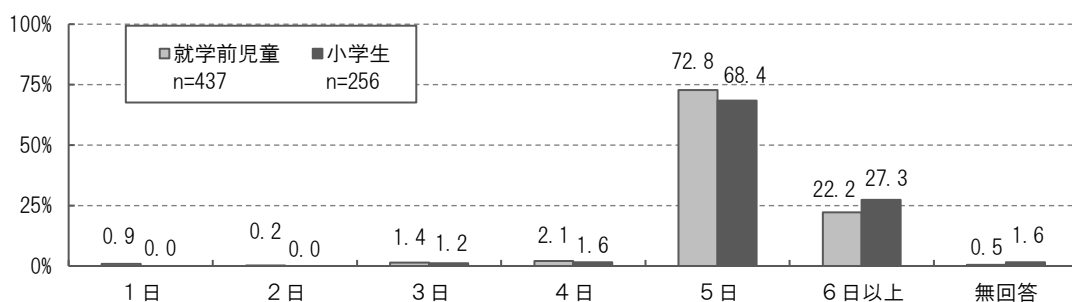


問11(2)-1[問9(2)-1] 父親の就労時間（1日当たり）

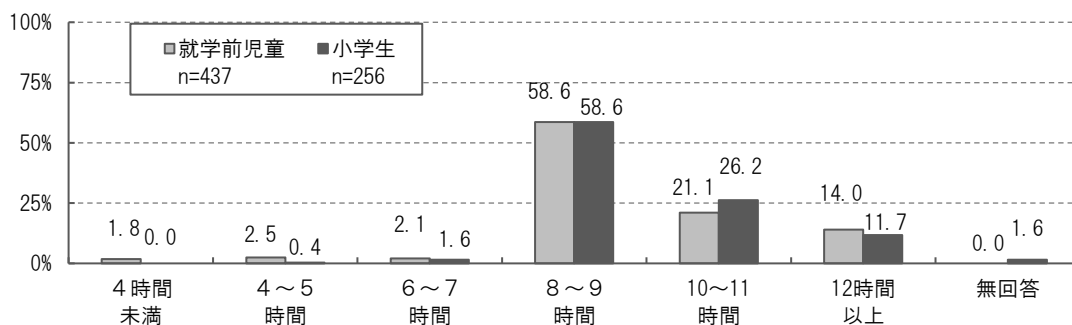


《婦中》

問11(2)-1[問9(2)-1] 父親の就労日数（1週当たり）



問11(2)-1[問9(2)-1] 父親の就労時間（1日当たり）



第2章
地域別の子育て支援サービスの
現状と今後の利用希望

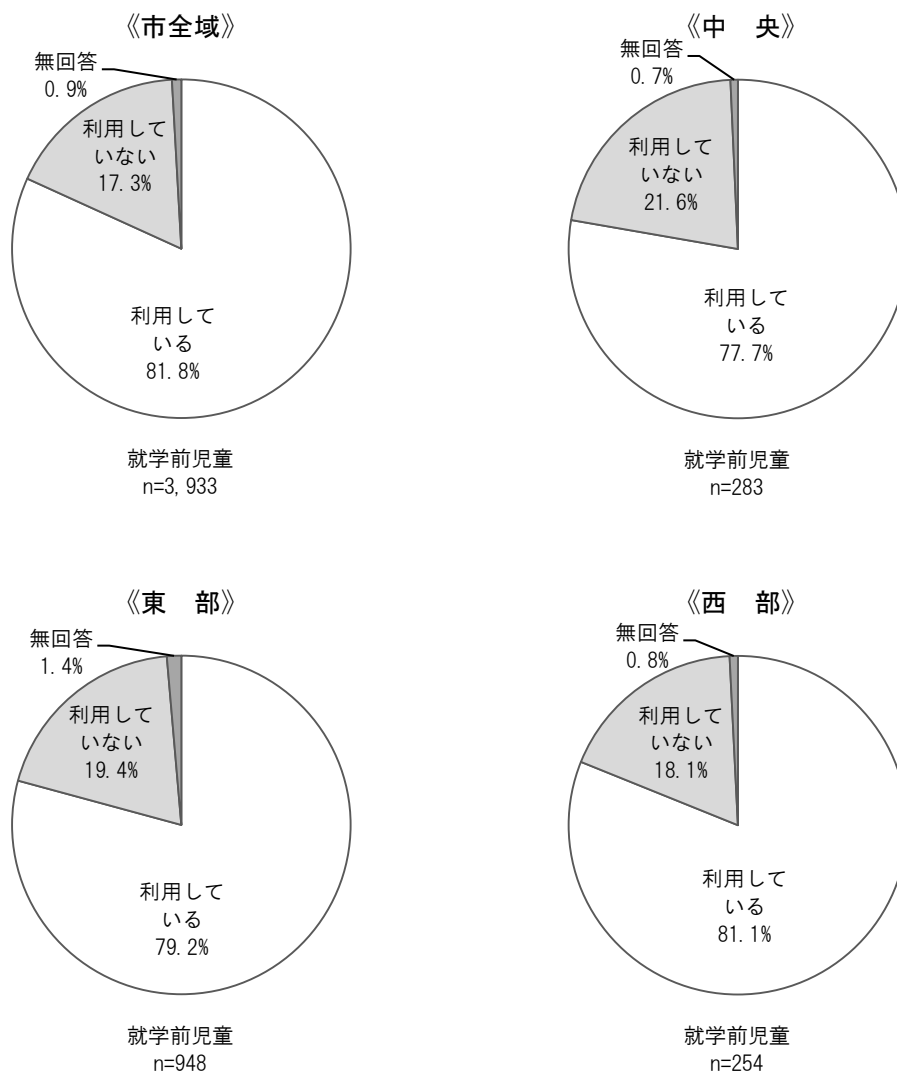
第2章 地域別の子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

1 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望

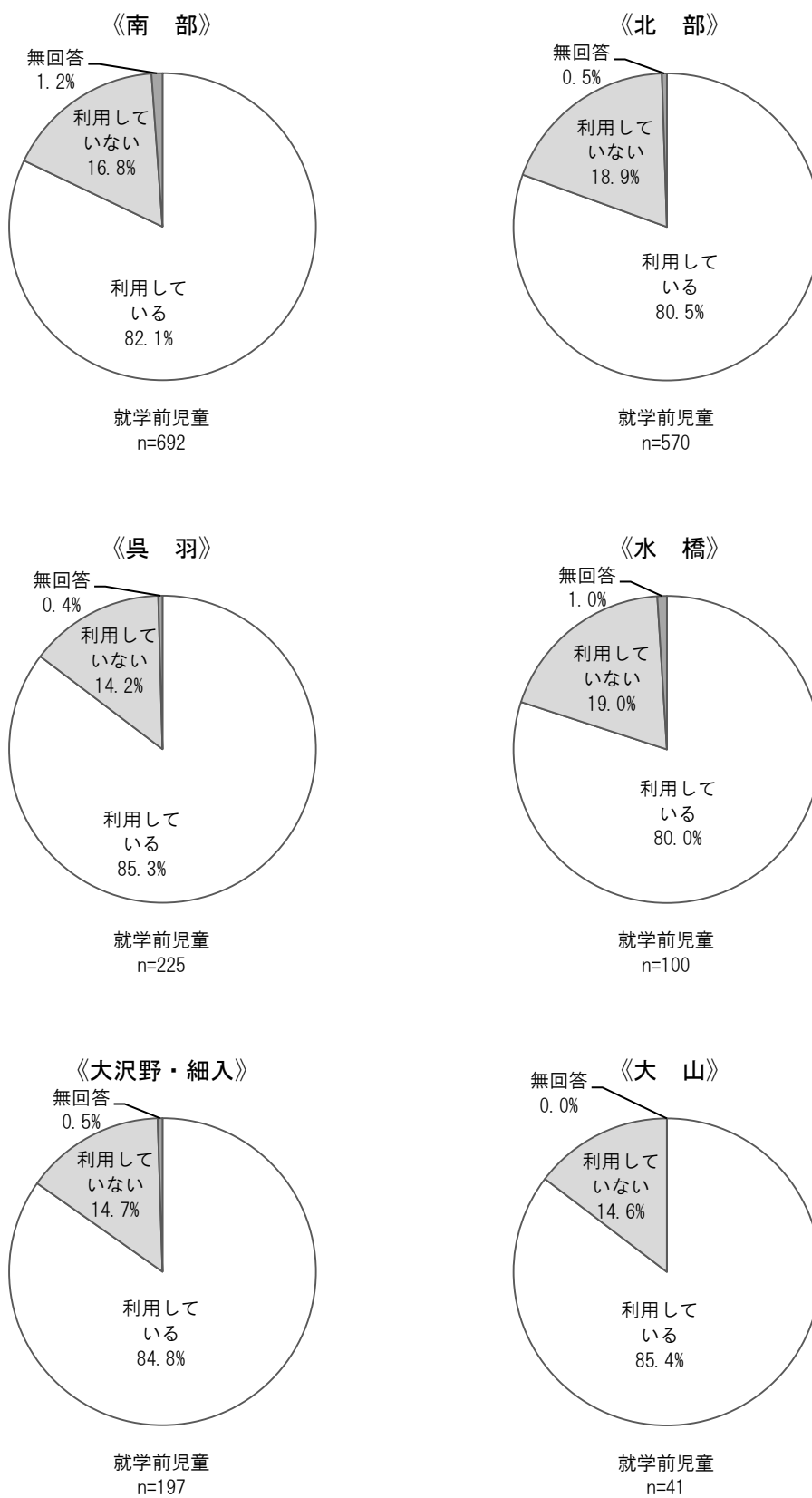
(1) 平日の定期的な教育・保育事業

○就学前児童の定期的な教育・保育事業の利用状況について、「利用している」割合は《八尾・山田》(90.1%)、《婦中》(86.4%)、《大山》(85.4%)で利用が多く、その他の地域で7割台後半から8割台の利用があり、《中央》(77.7%)で最も低くなっています。

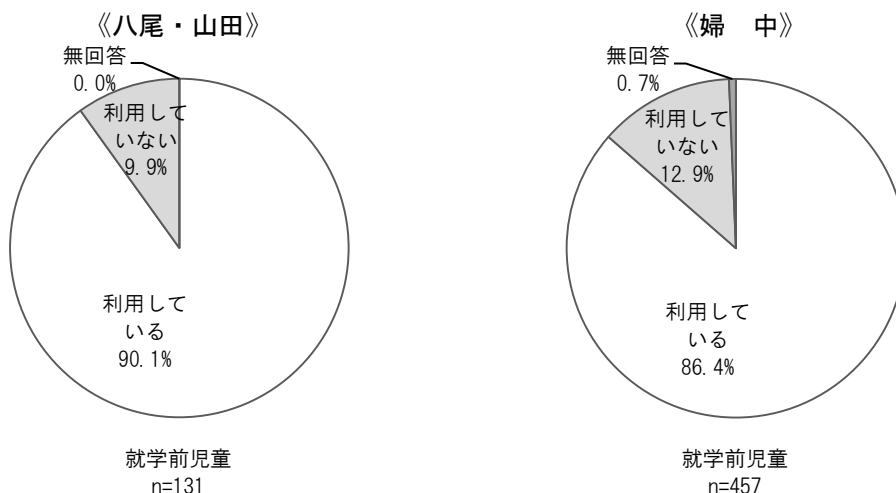
問14 定期的な教育・保育事業の利用状況



問14 定期的な教育・保育事業の利用状況



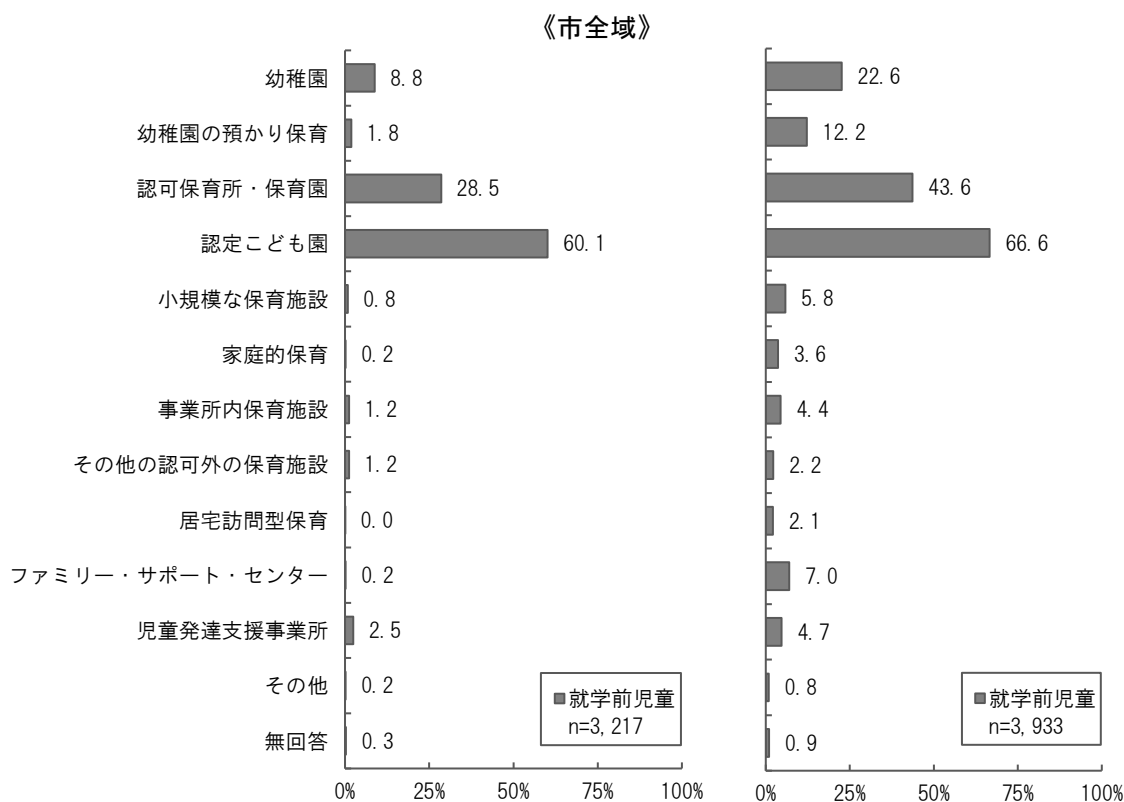
問14 定期的な教育・保育事業の利用状況



○利用中の事業を地域別にみると、《呉羽》《水橋》では「認可保育所・保育園」(順に57.3%・52.5%)の割合が最も高く、次いで「認定こども園」(順に36.5%・43.8%)、その他の地域では「認定こども園」(47.7~71.4%)の割合が最も高く、次いで「認可保育所・保育園」(19.0~35.7%)となっています。

○一方、今後の利用希望をみると、《呉羽》《水橋》では「認可保育所・保育園」(順に64.4%・63.0%)の割合が最も高く、次いで「認定こども園」(順に48.0%・57.0%)、その他の地域では「認定こども園」(56.5~78.0%)の割合が最も高く、次いで「認可保育所・保育園」(39.0~47.3%)となっています。

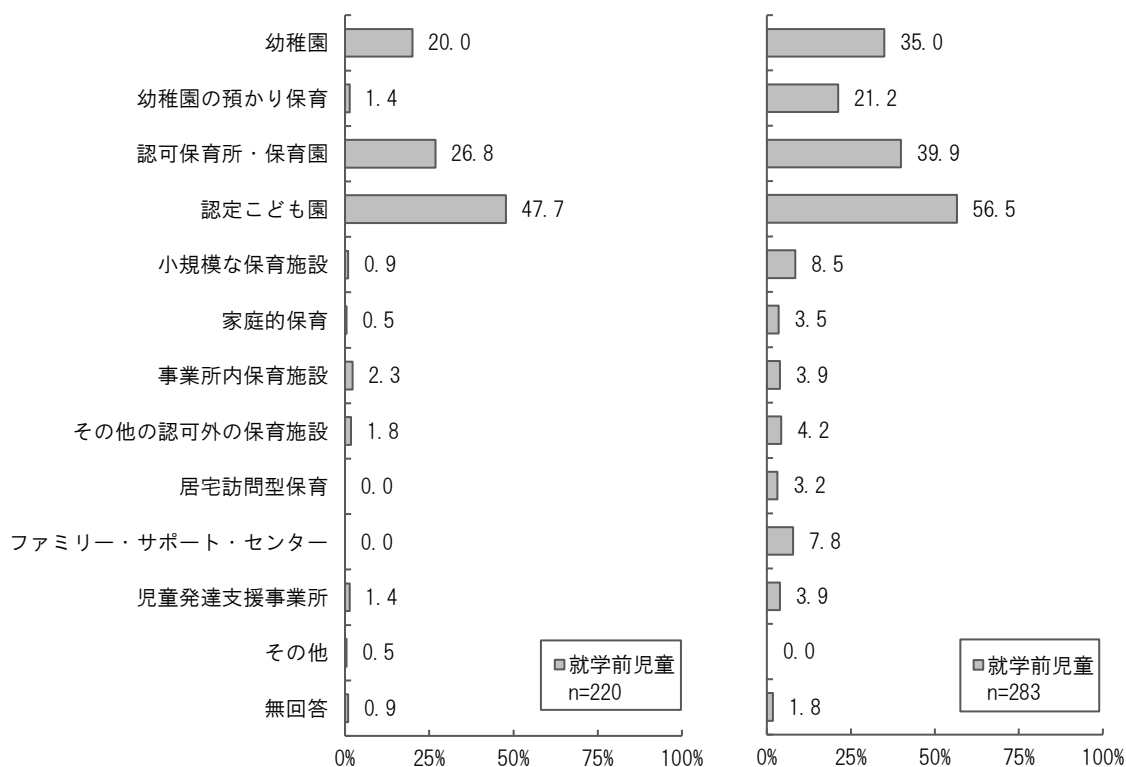
問14-1 定期的な教育・保育事業の利用状況 問15 希望する定期的な教育・保育事業



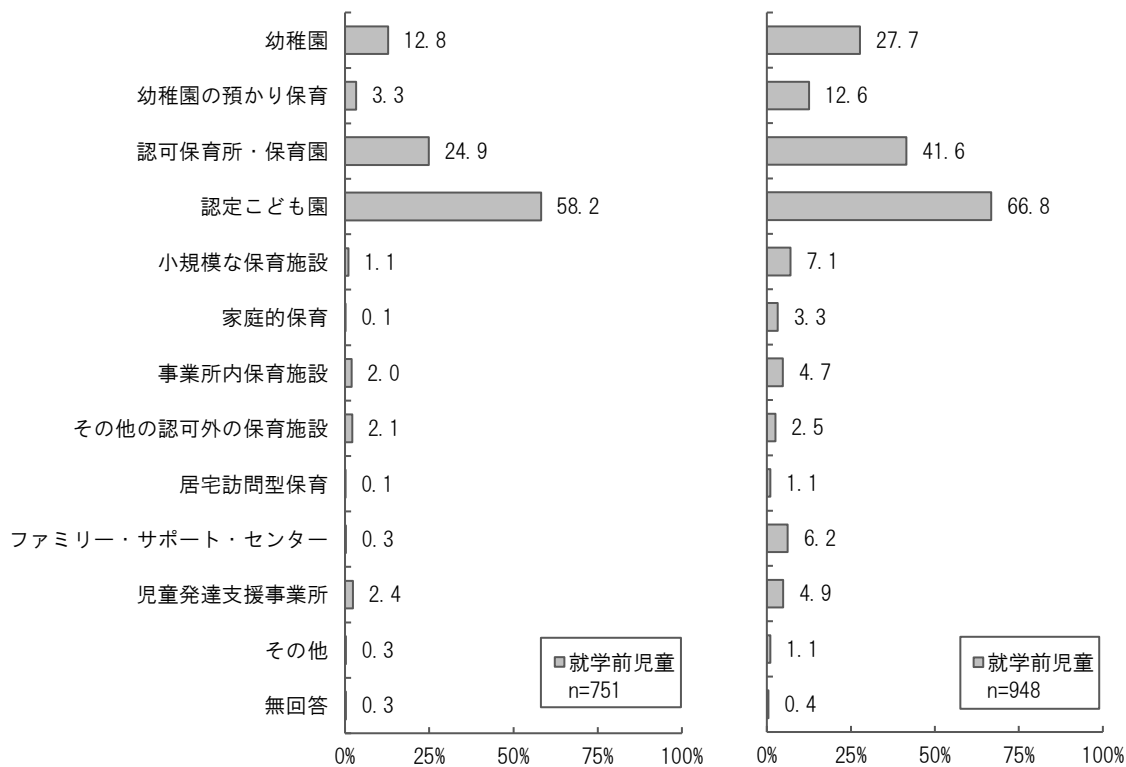
第2章 地域別の子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

問14-1 定期的な教育・保育事業の利用状況 問15 希望する定期的な教育・保育事業

《中央》



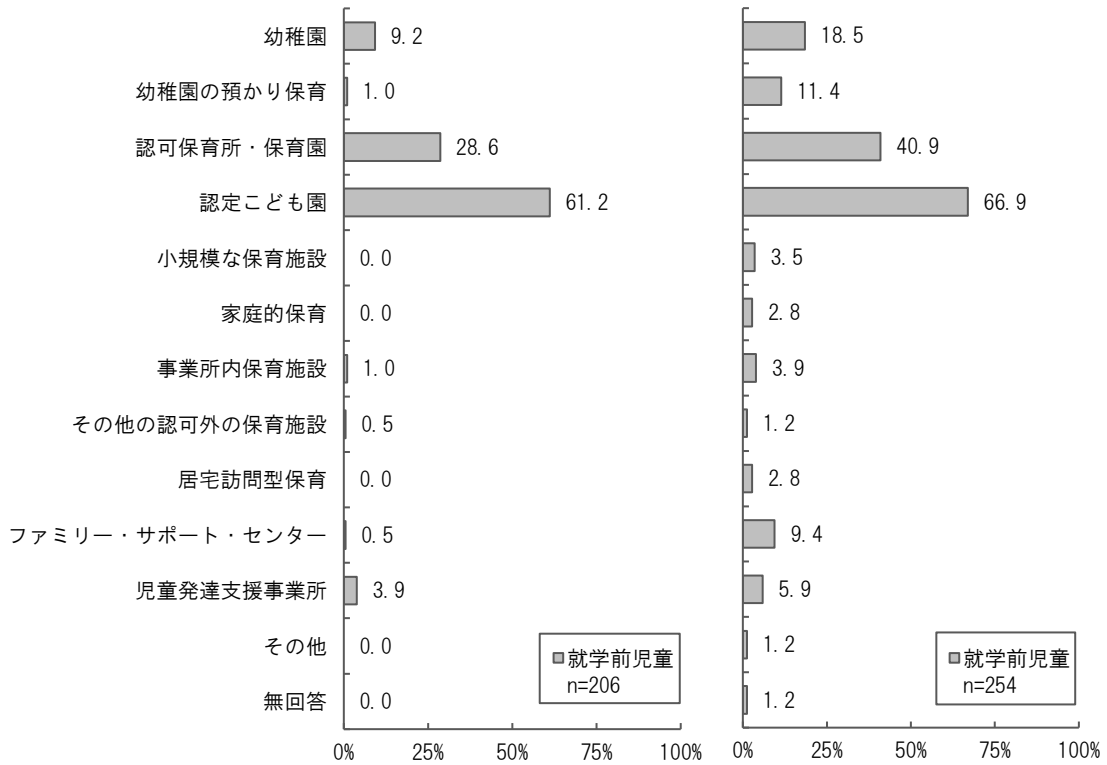
《東 部》



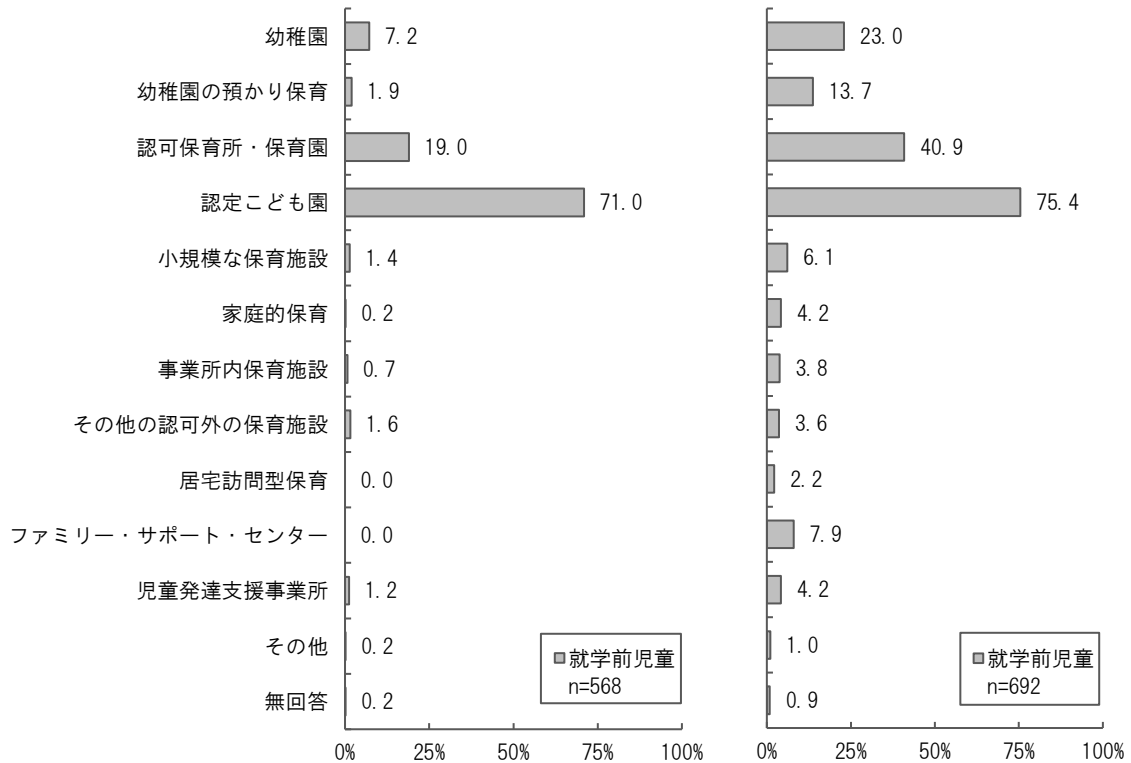
問14-1 定期的な教育・保育事業の利用状況

問15 希望する定期的な教育・保育事業

《西 部》



《南 部》

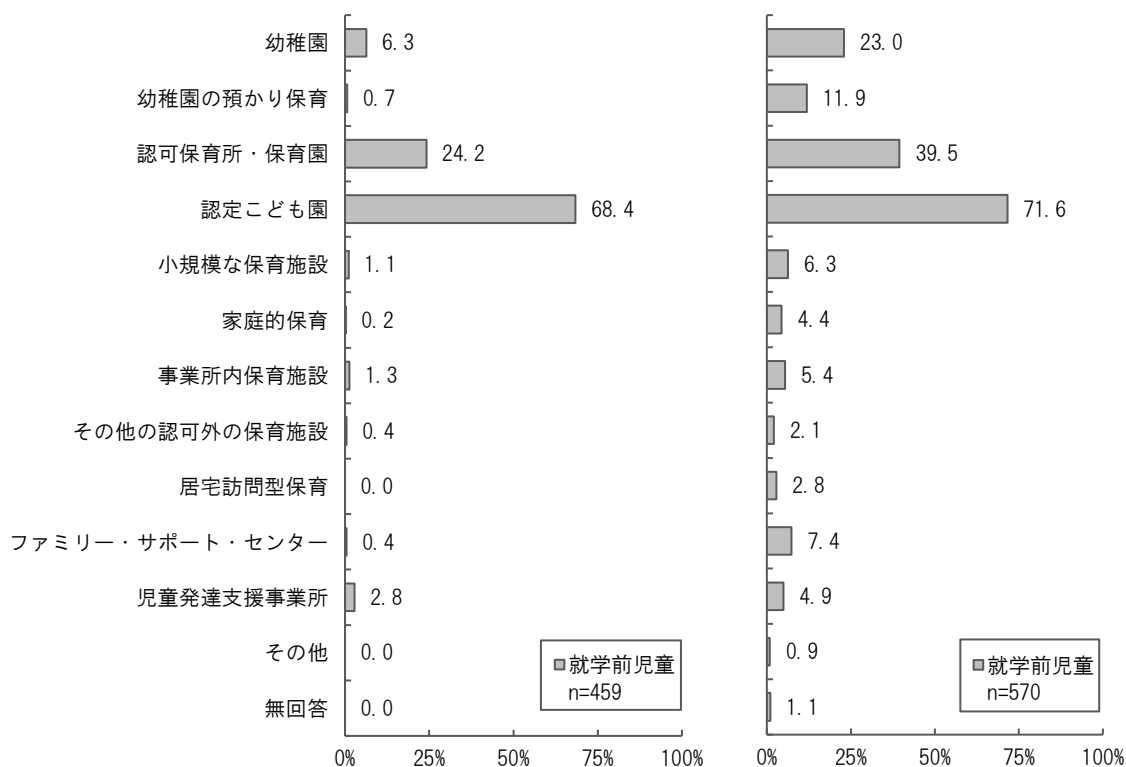


第2章 地域別の子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

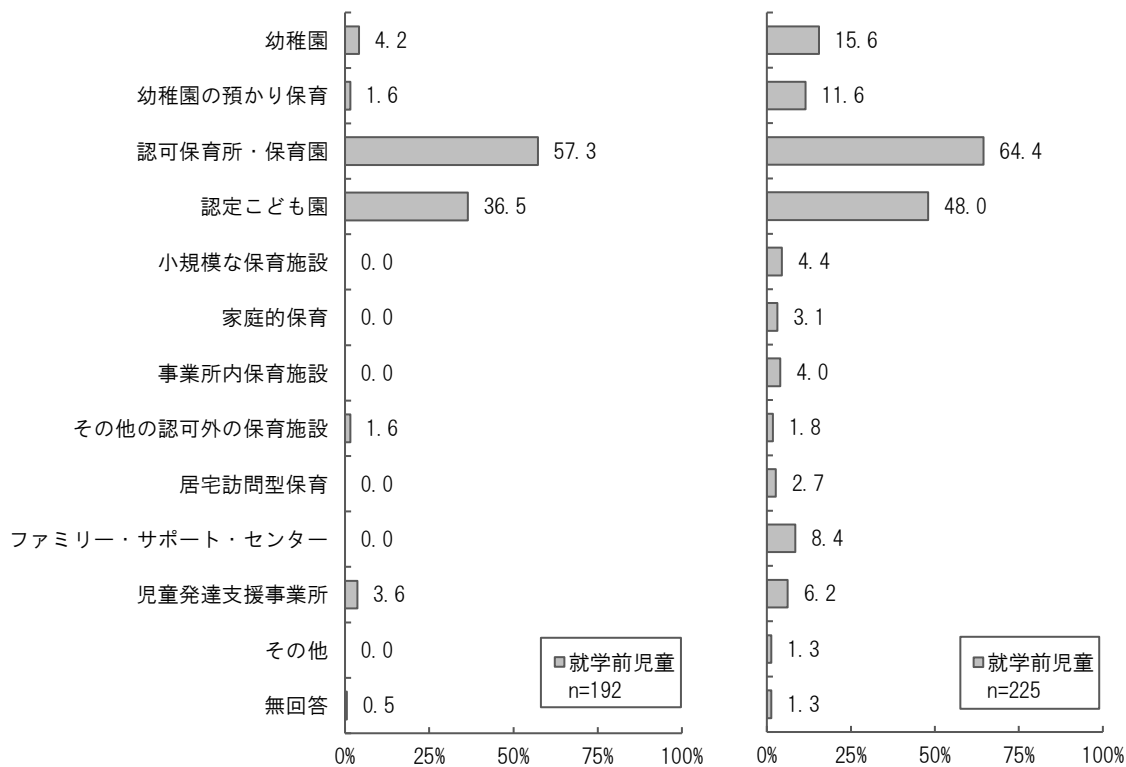
問14-1 定期的な教育・保育事業の利用状況

問15 希望する定期的な教育・保育事業

《北 部》



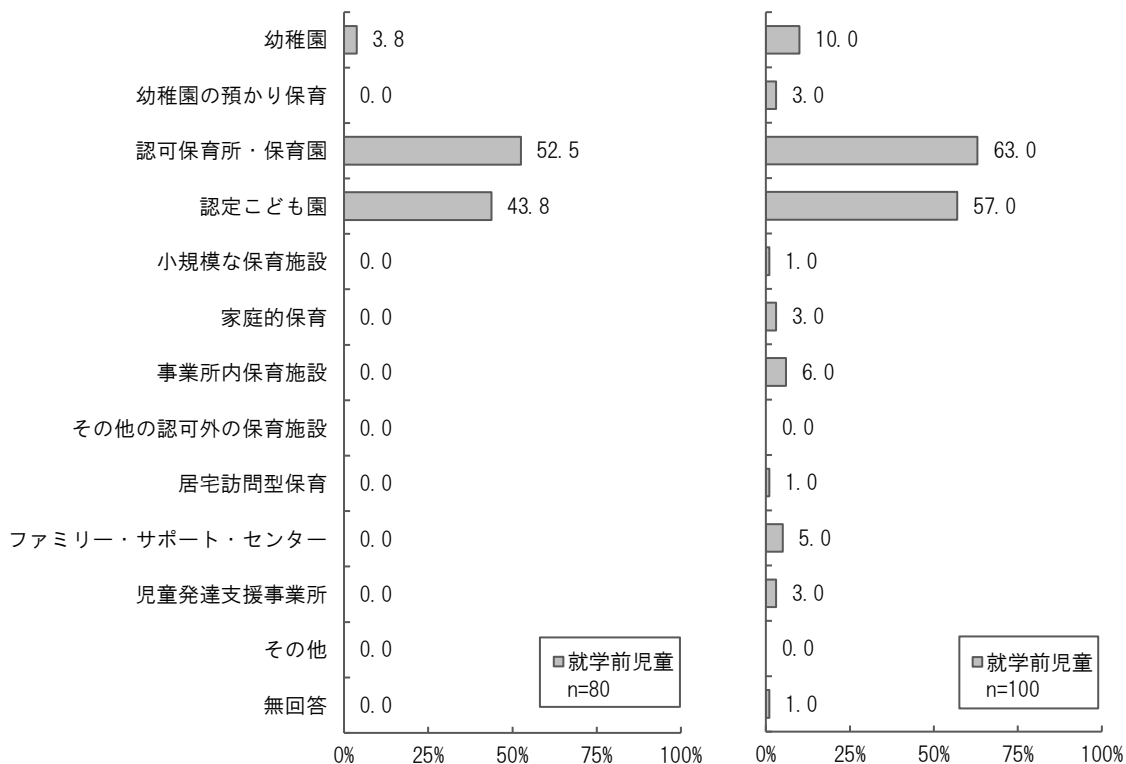
《呉 羽》



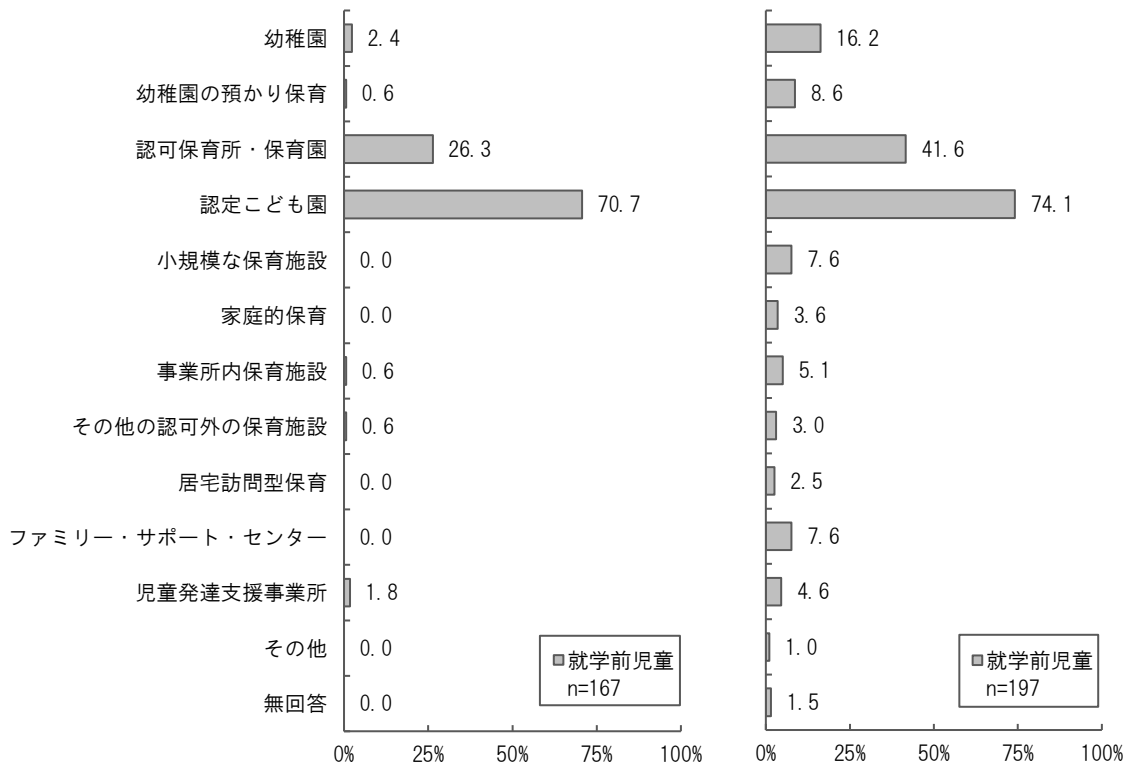
問14-1 定期的な教育・保育事業の利用状況

問15 希望する定期的な教育・保育事業

《水 橋》

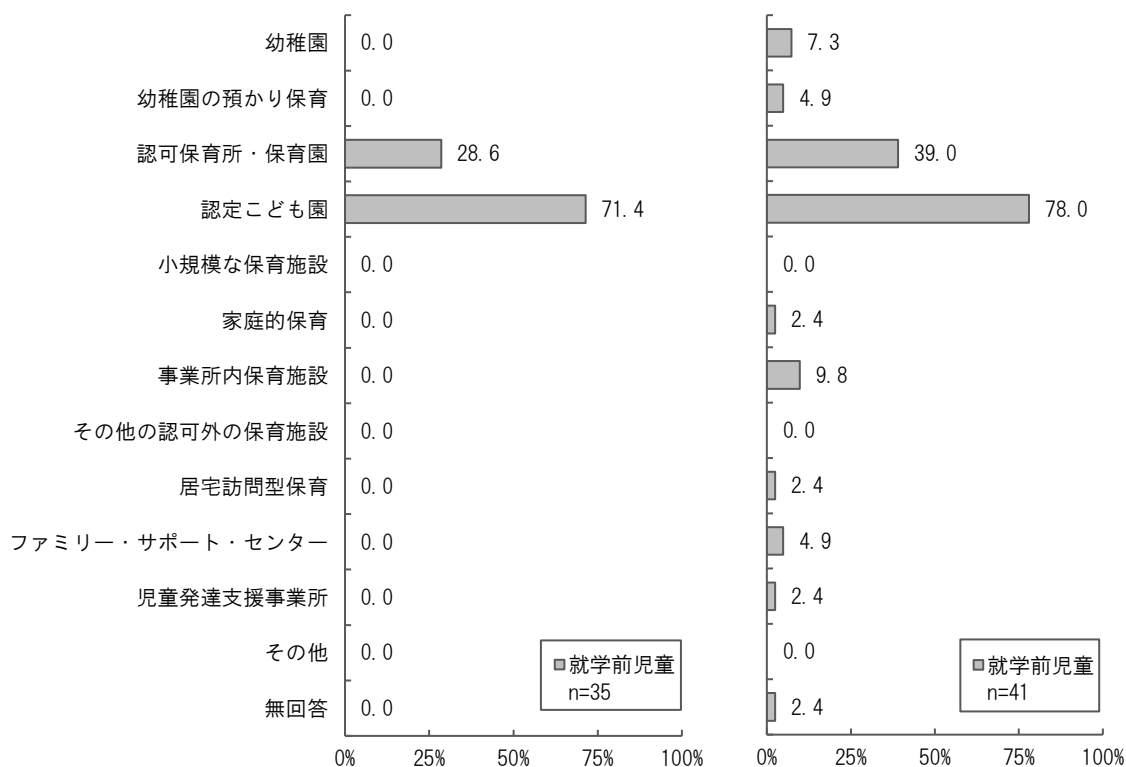


《大沢野・細入》

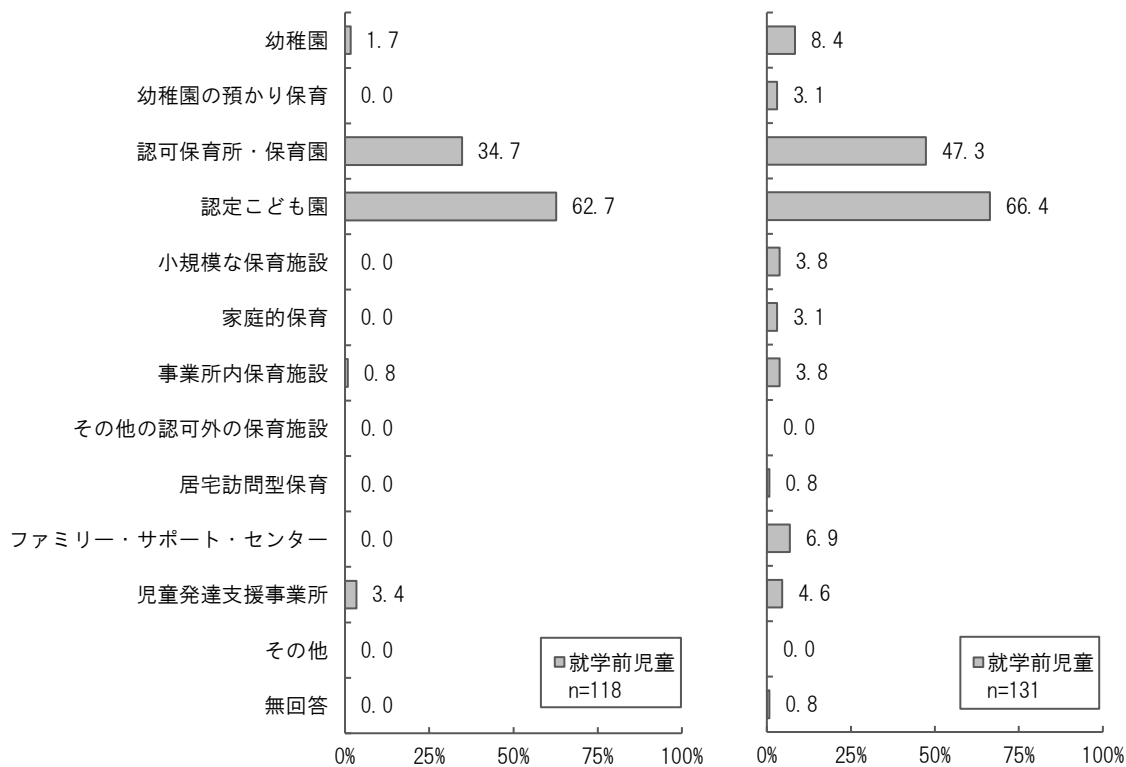


問14-1 定期的な教育・保育事業の利用状況 問15 希望する定期的な教育・保育事業

《大 山》



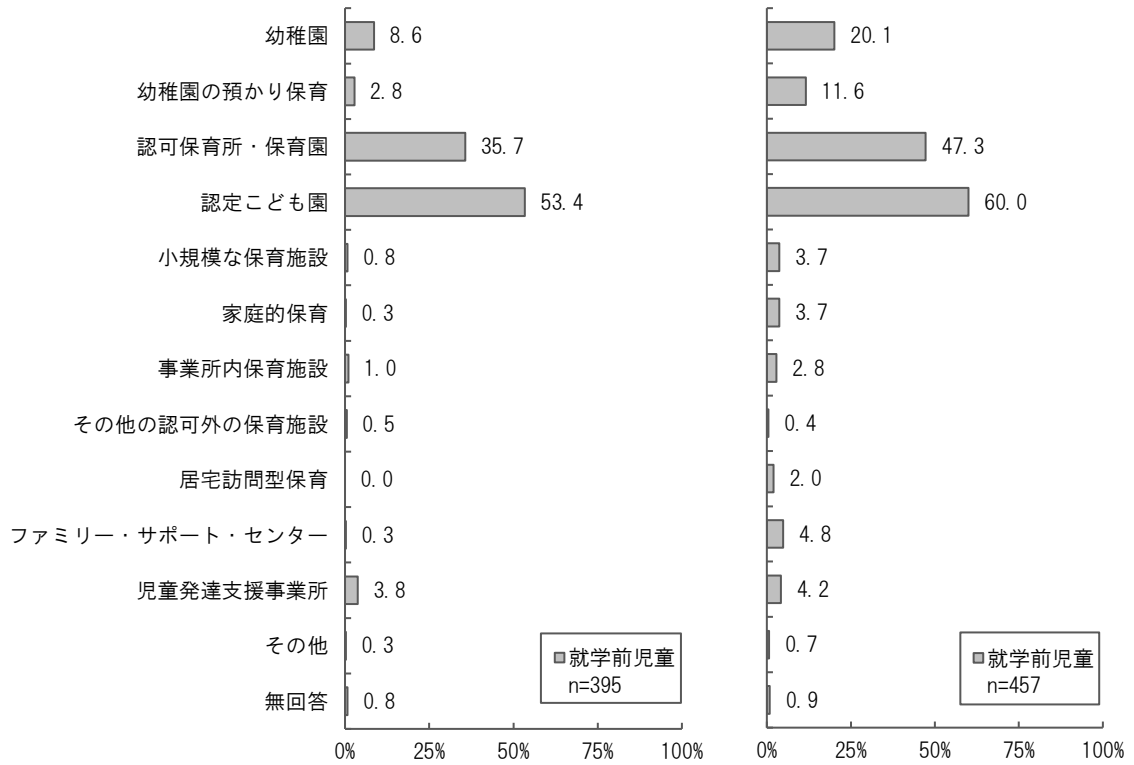
《八尾・山田》



問14-1 定期的な教育・保育事業の利用状況

問15 希望する定期的な教育・保育事業

《 婦 中 》

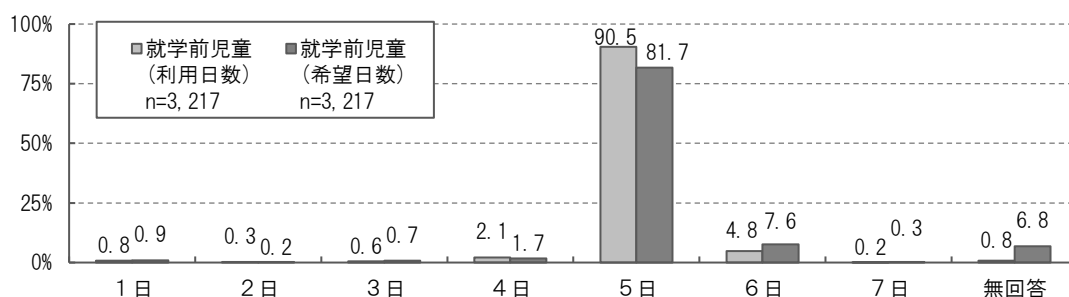


○地域別にみると、すべての地域で利用日数・希望日数ともに「5日」(利用日数88.9~93.8%・希望日数79.1~97.1%)の割合が最も高く、次いで「6日」(利用日数2.9~7.6%・希望日数2.9~9.6%)となります。

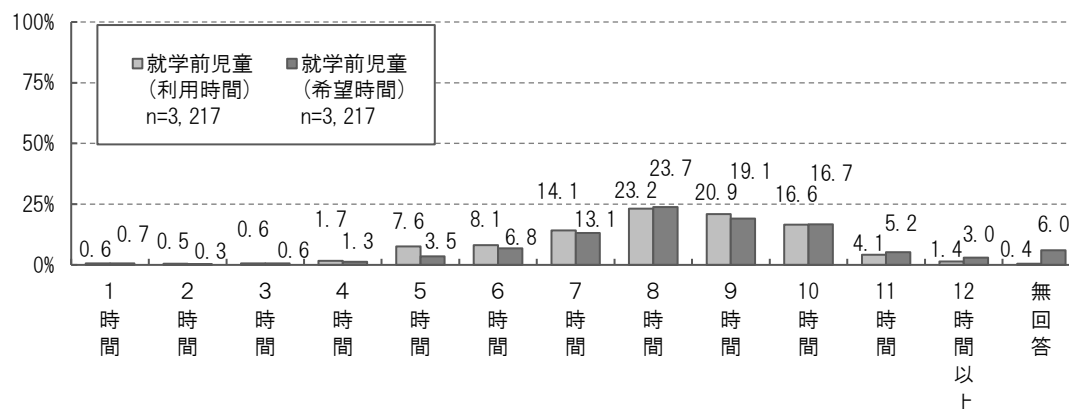
○利用時間・希望時間(1日当たり)について、すべての地域で「7~10時間」に占める割合が高く、利用時間(62.2~85.7%)、希望時間(67.3~91.5%)はそれぞれ7割程度となっています。

《市全域》

問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数(1週当たり)

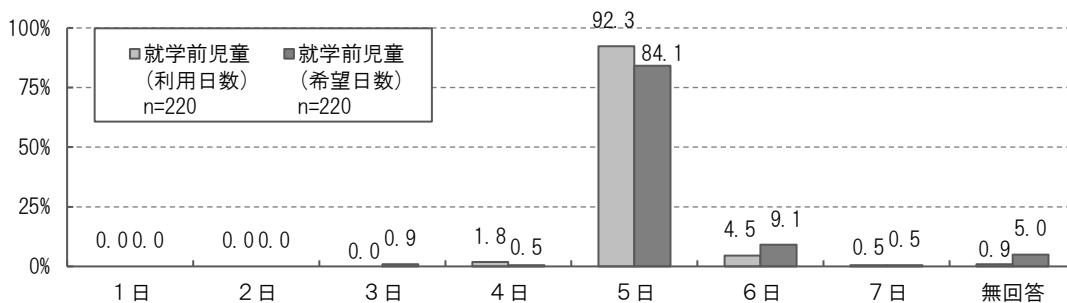


問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間(1日当たり)

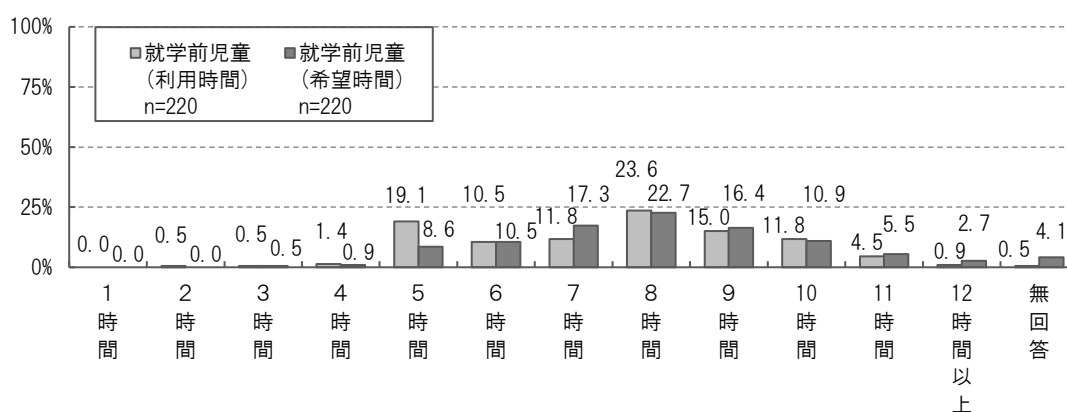


《 中 央 》

問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）

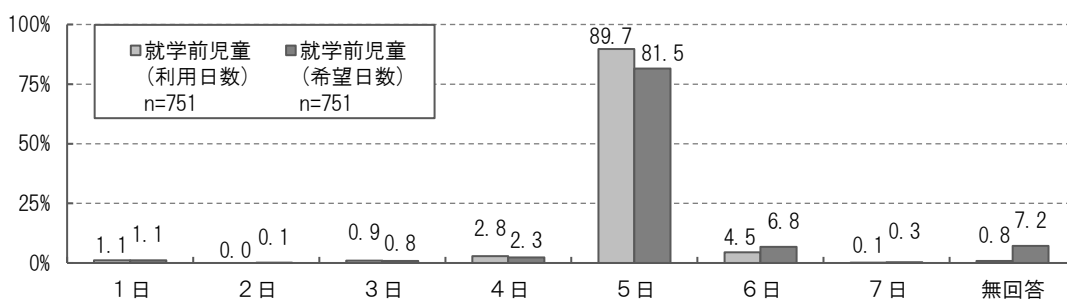


問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり）

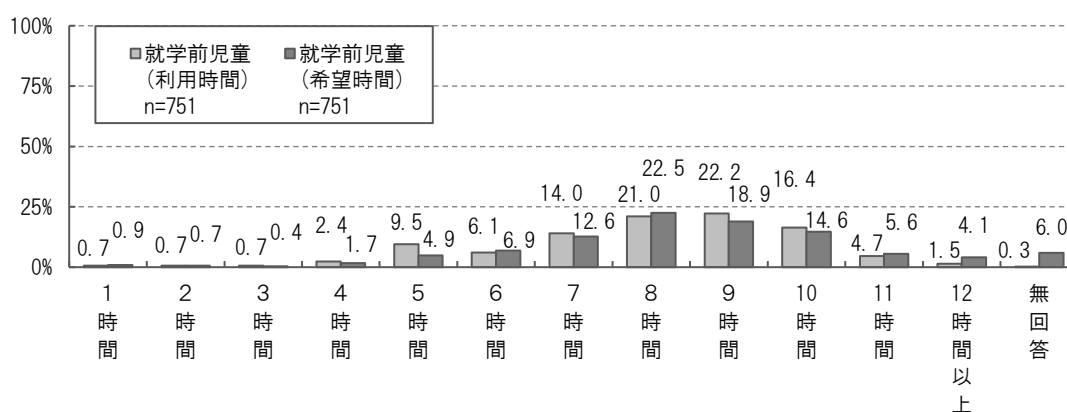


《 東 部 》

問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）

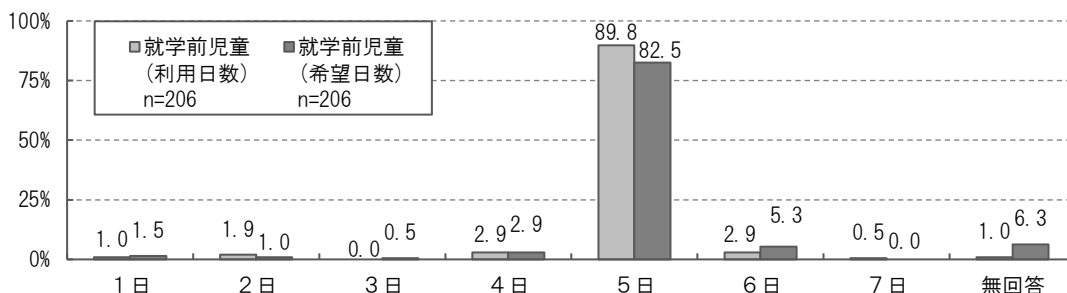


問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり）

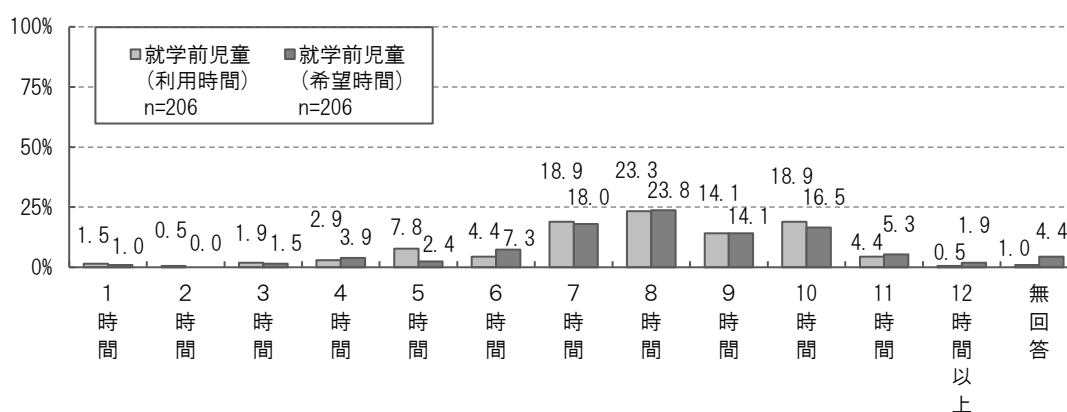


《西 部》

問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）

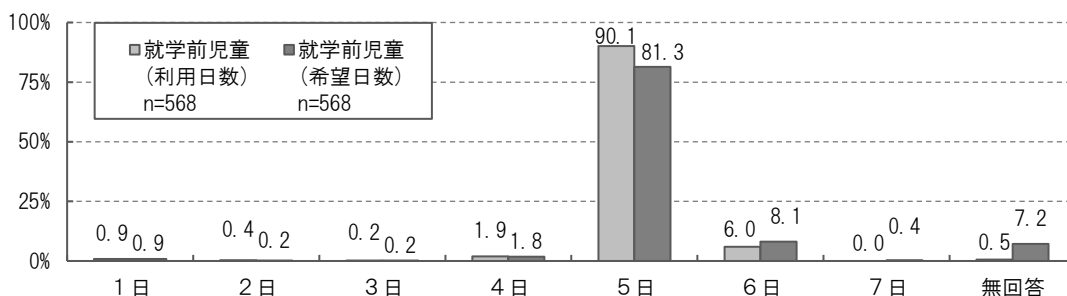


問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり）

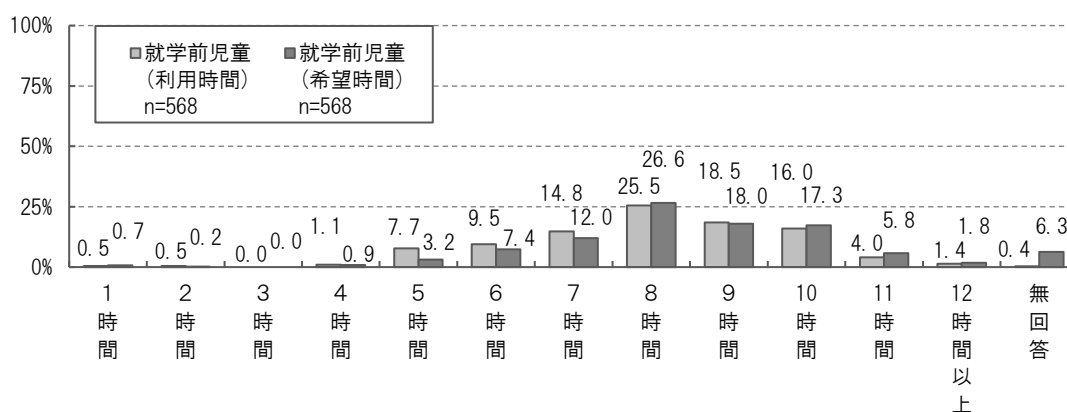


《南 部》

問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）

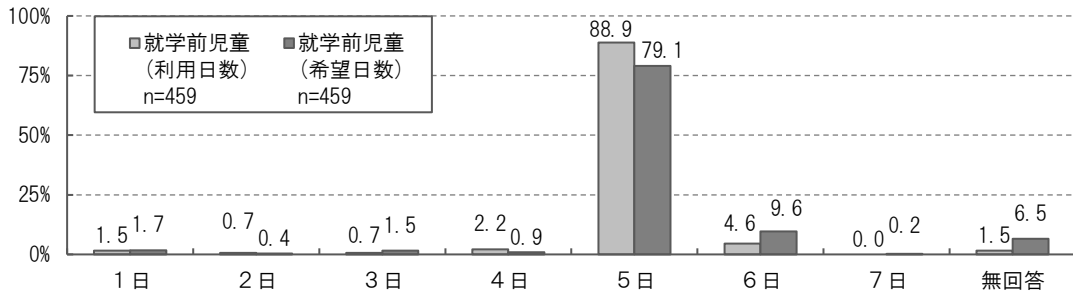


問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり）

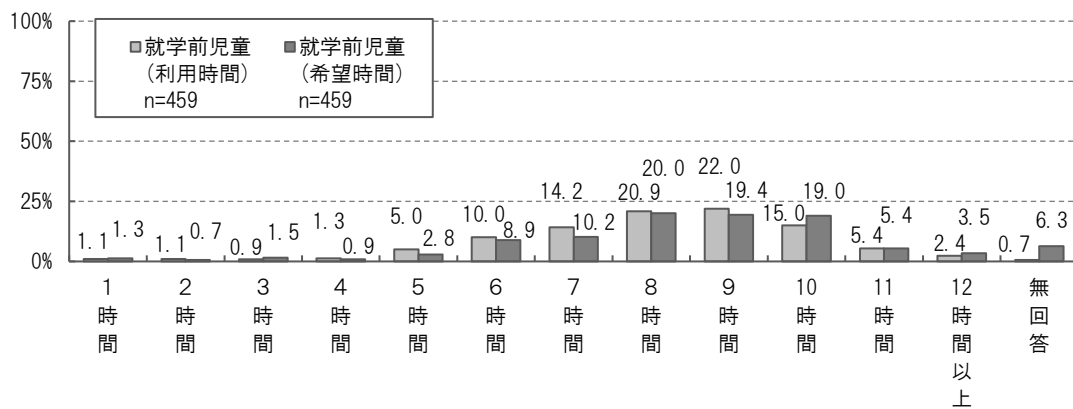


《北 部》

問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）

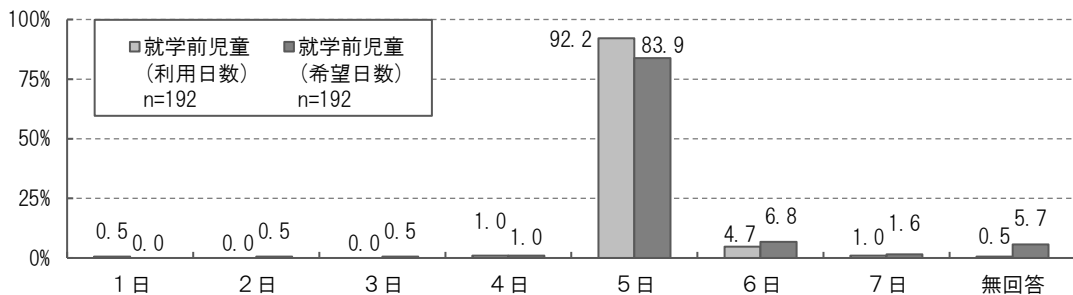


問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり）

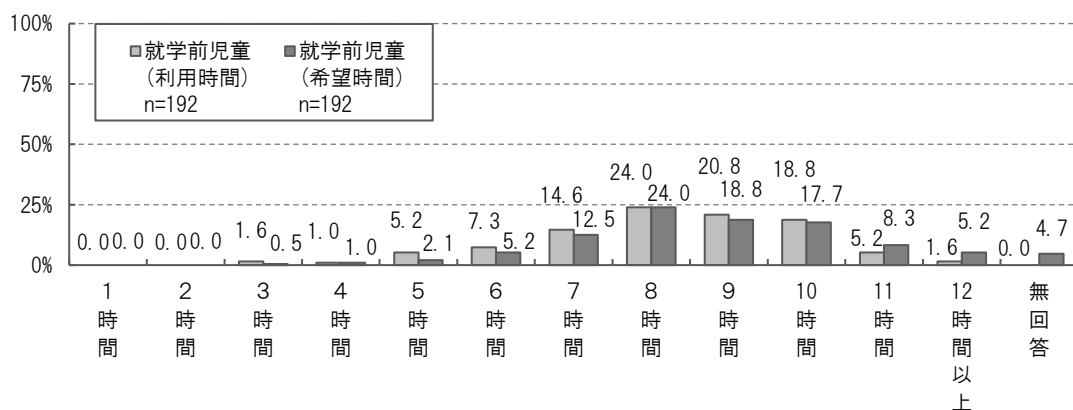


《呉 羽》

問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）

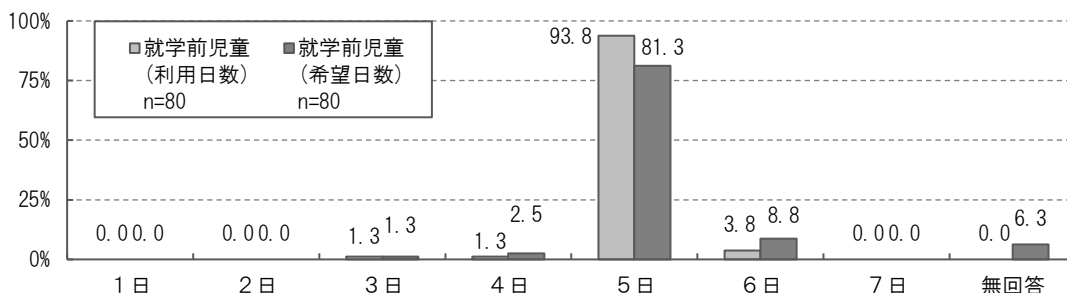


問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり）

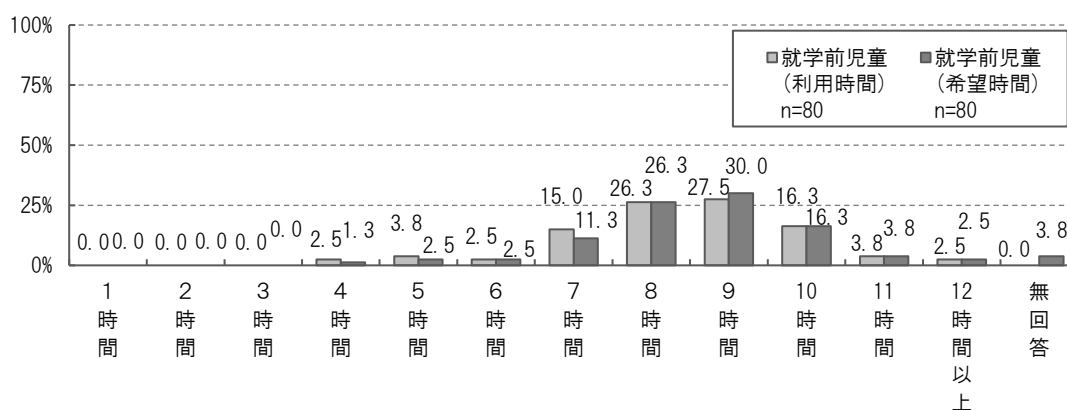


《水 橋》

問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）

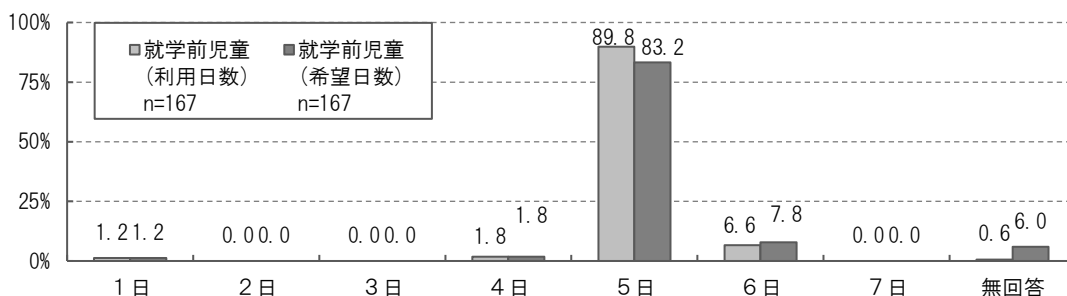


問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり）

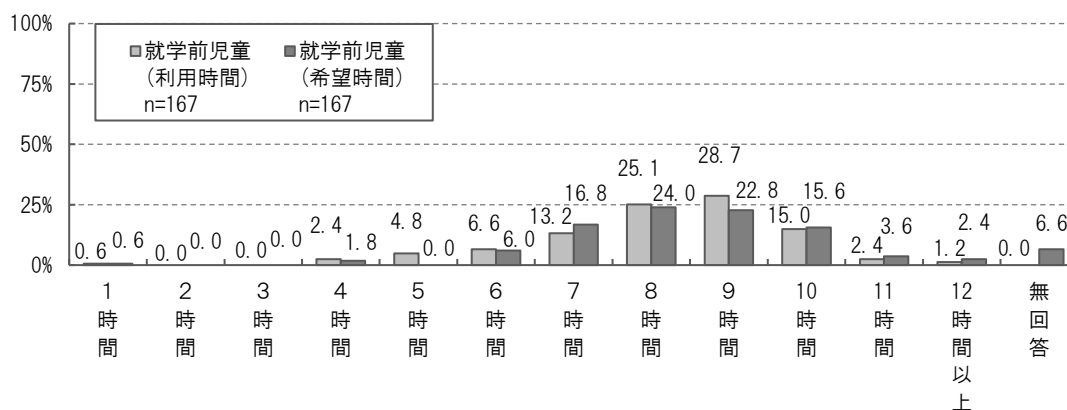


《大沢野・細入》

問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）

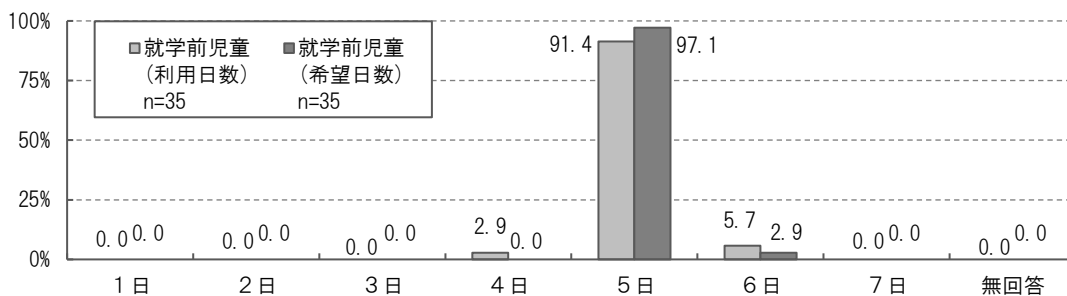


問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり）

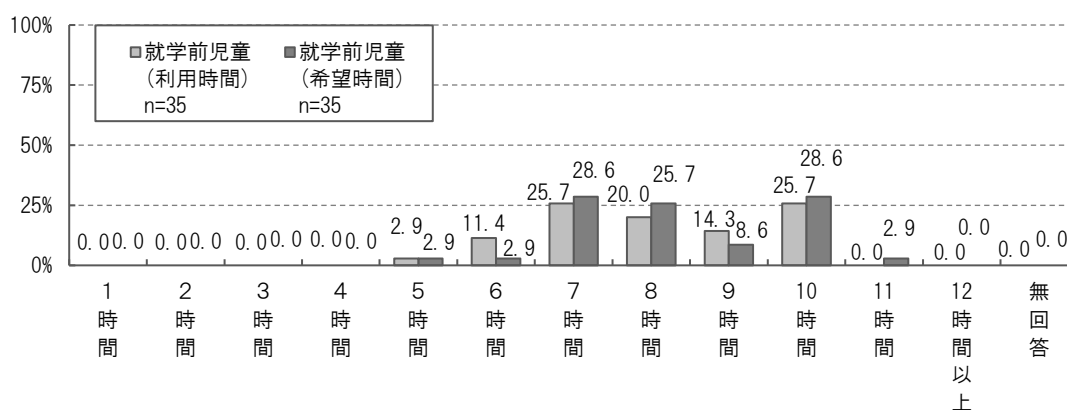


《大 山》

問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）

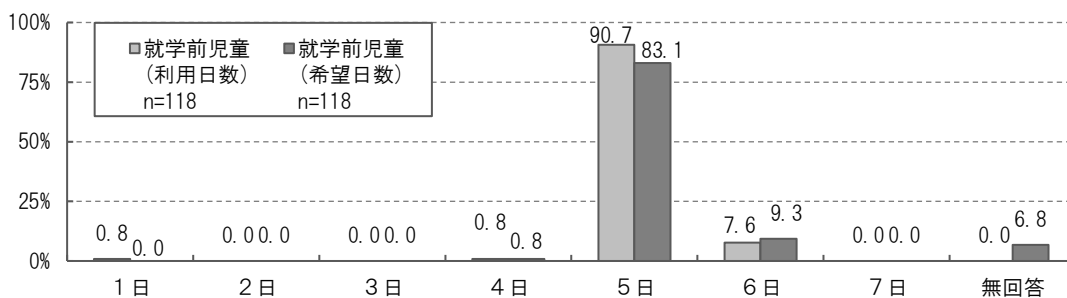


問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり）

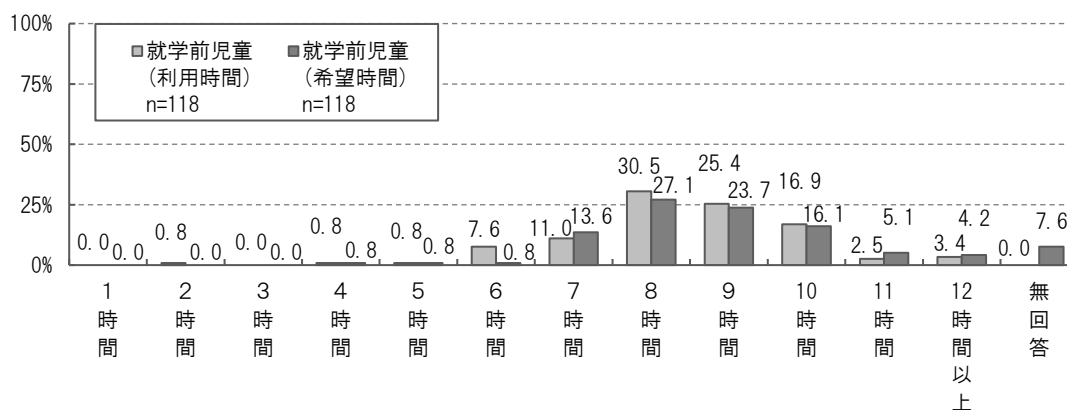


《八尾・山田》

問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）

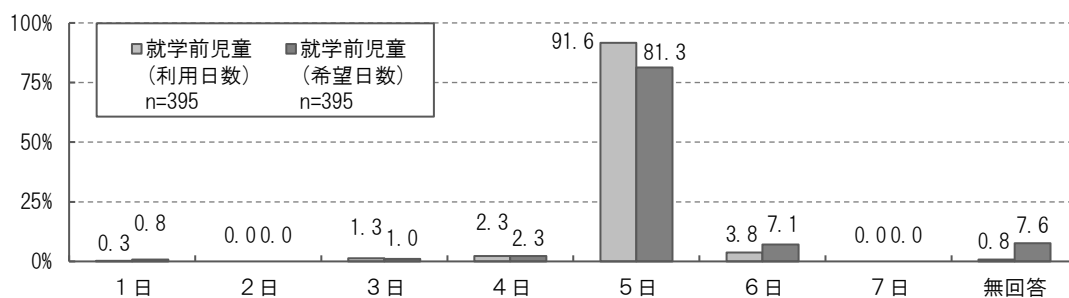


問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり）

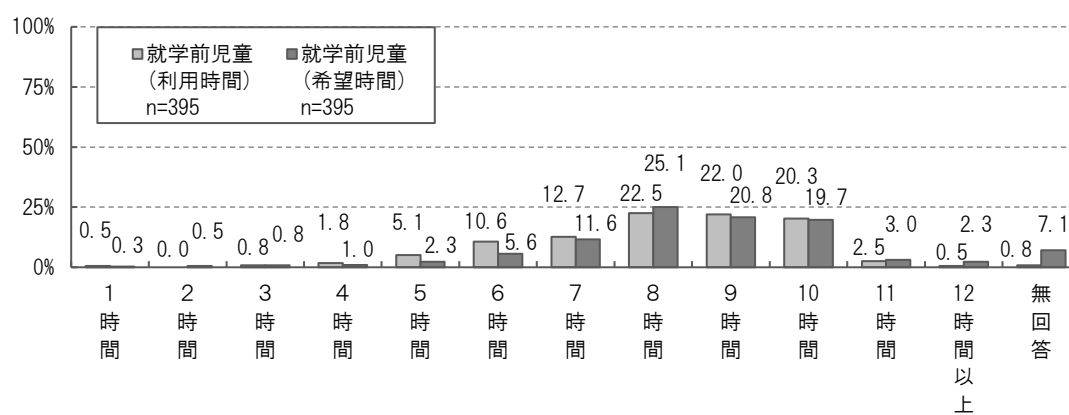


《婦 中》

問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）



問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり）

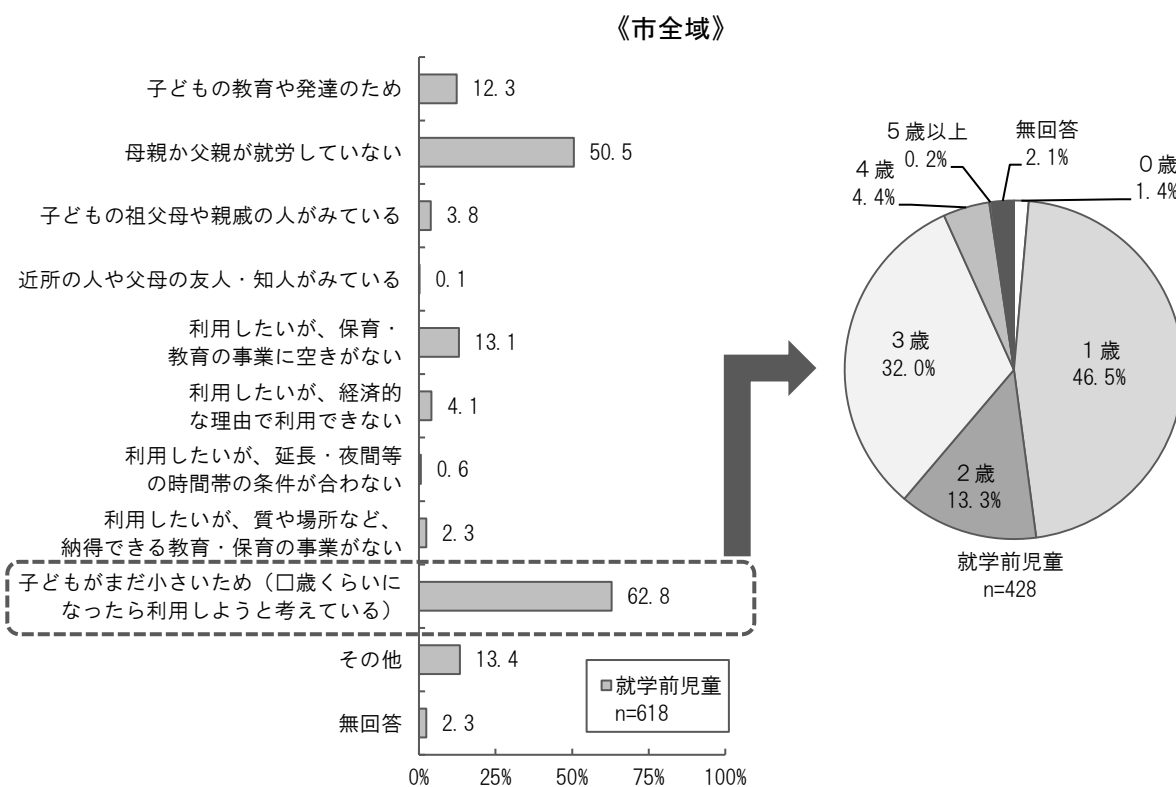


(2) 定期的な教育・保育事業の未利用の理由

- 平日に教育・保育事業を利用していない理由について、地域別にみると、《水橋》では「母親か父親が就労していない」「子どもがまだ小さいため（〇歳くらいになったら利用しようと考えている）」（73.7%・36.8%）となっているが、その他の地区では「母親か父親が就労していない」（33.3～58.7%）、「子どもがまだ小さいため（〇歳くらいになったら利用しようと考えている）」（53.8～83.3%）と最も高くなっている。
- 「子どもがまだ小さいため（〇歳くらいになったら利用しようと考えている）」と回答した方が、教育・保育事業の利用を希望する子供の年齢は、全ての地域で「0～3歳」（80.0～100.0%）、「4～5歳」（0.0～20.0%）となっています。

問14-4 教育・保育事業を利用していない理由

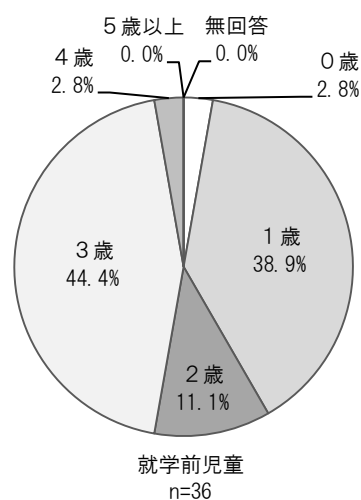
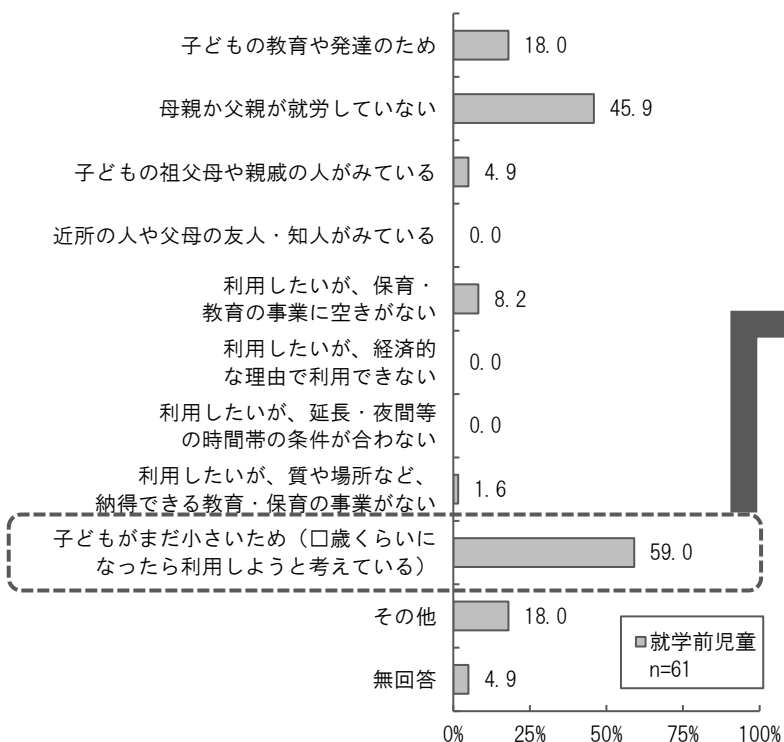
問14-4.9 利用を希望する子どもの年齢



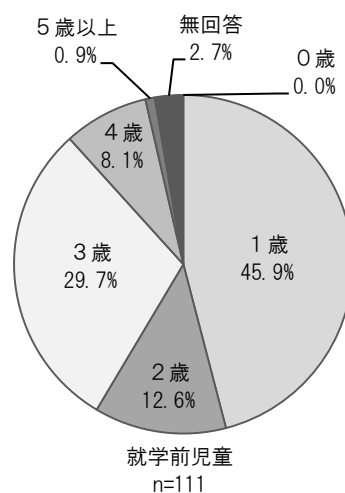
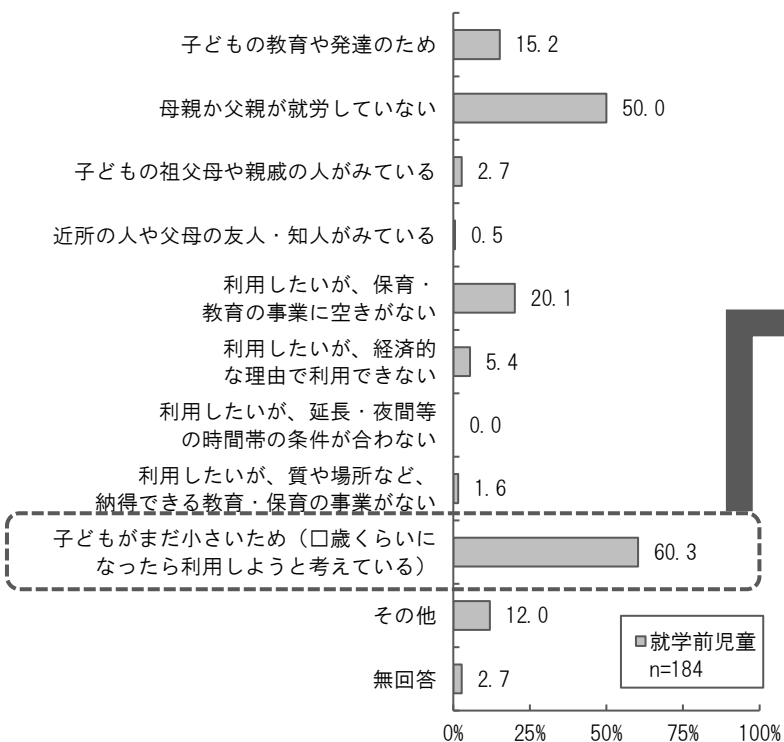
問14-4 教育・保育事業を利用していない理由

問14-4.9 利用を希望する子どもの年齢

《中央》



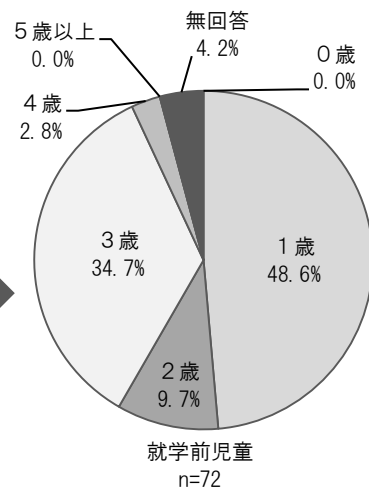
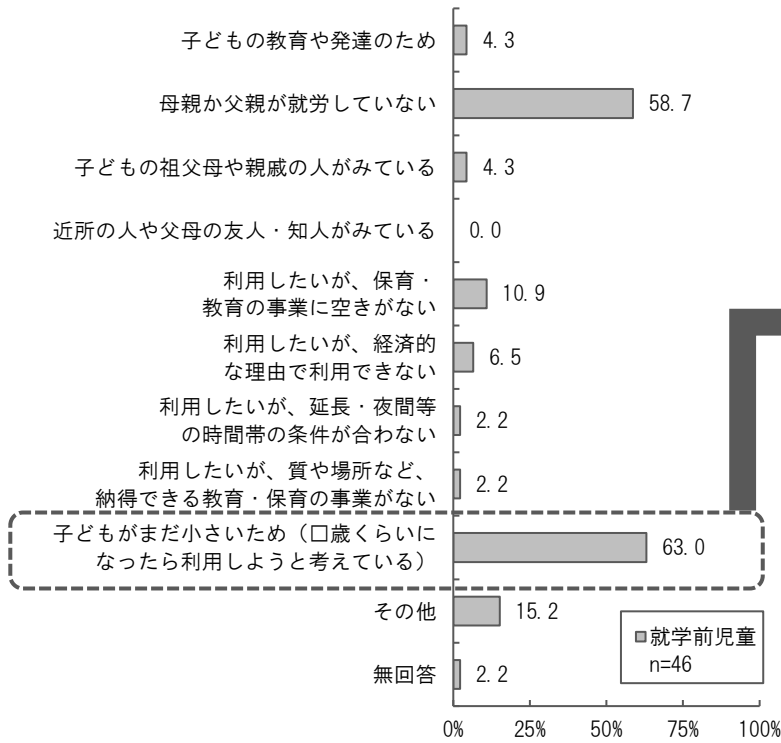
《東 部》



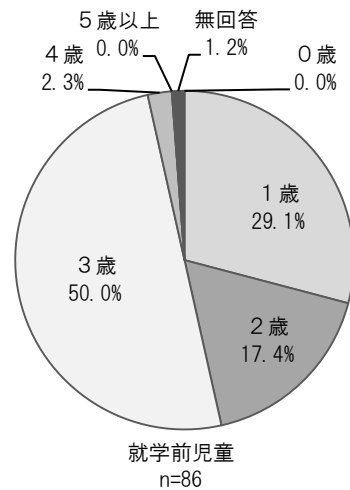
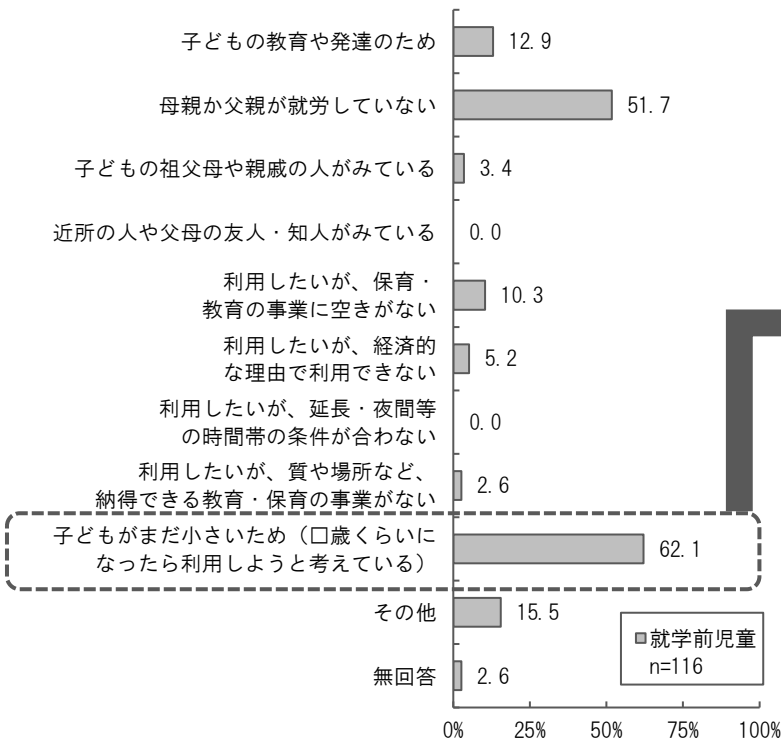
問14-4 教育・保育事業を利用していない理由

問14-4.9 利用を希望する子どもの年齢

《西部》



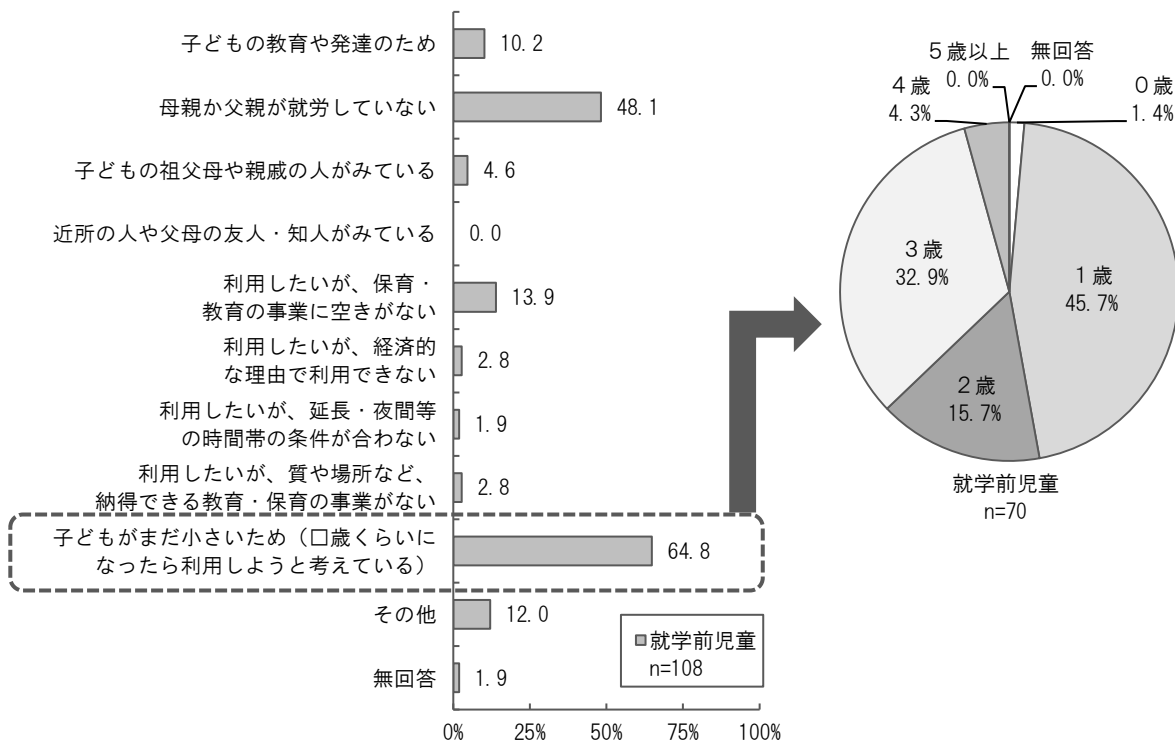
《南部》



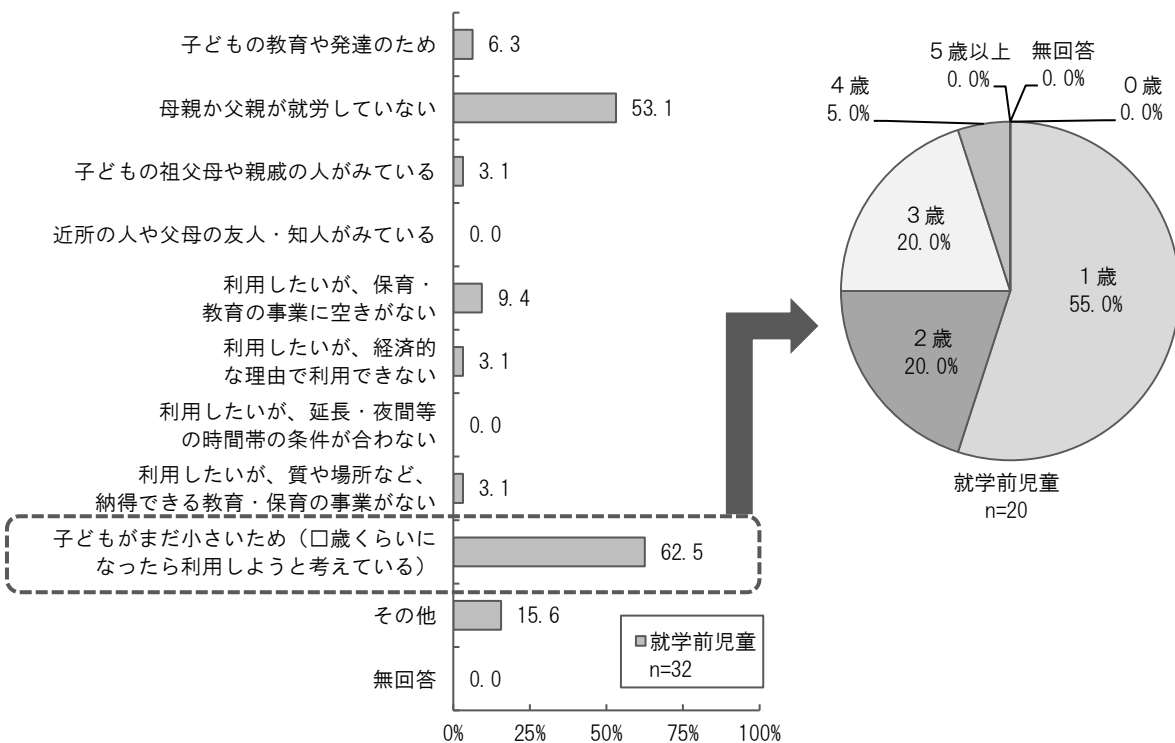
問14-4 教育・保育事業を利用していない理由

問14-4.9 利用を希望する子どもの年齢

《北 部》



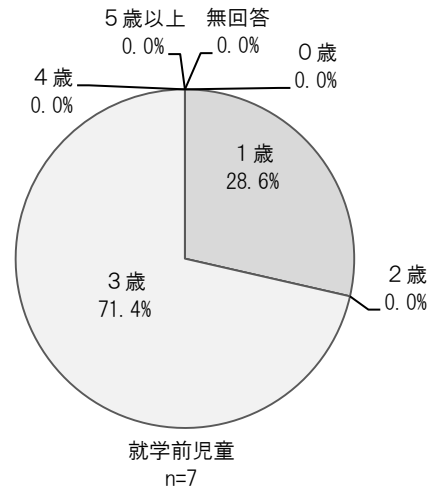
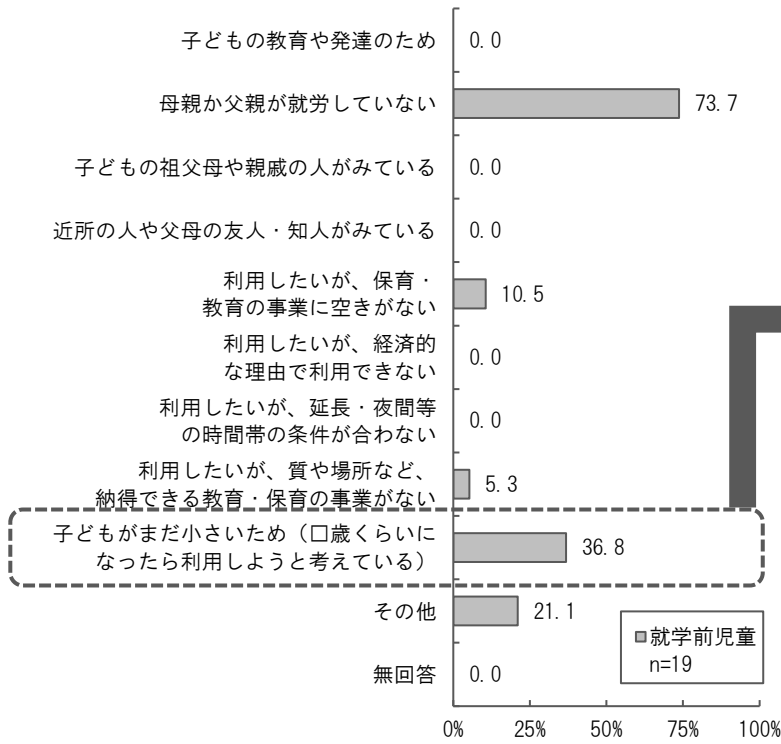
《呉 羽》



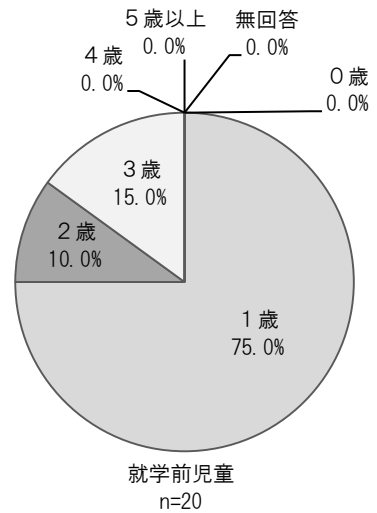
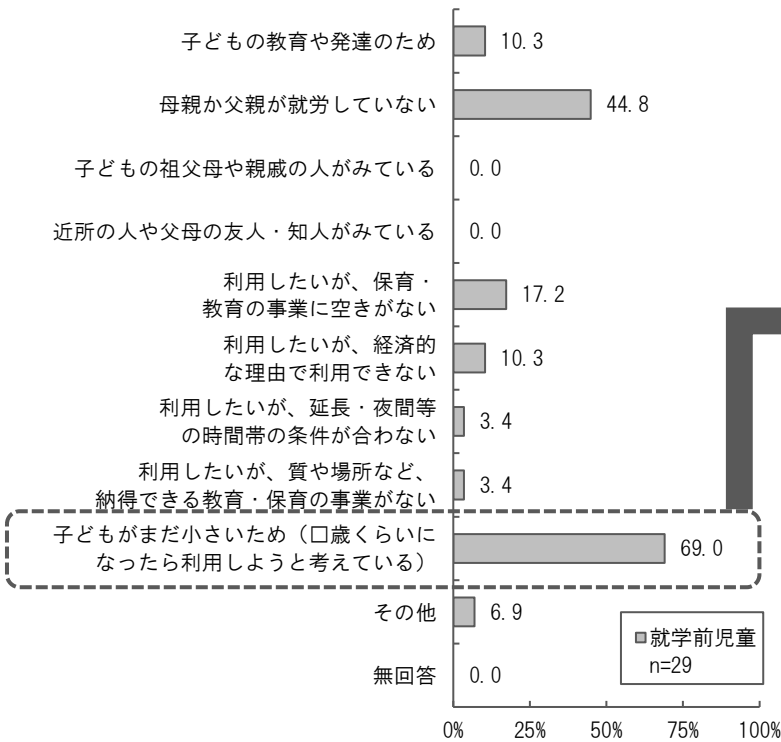
問14-4 教育・保育事業を利用していない理由

問14-4.9 利用を希望する子どもの年齢

《水 橋》



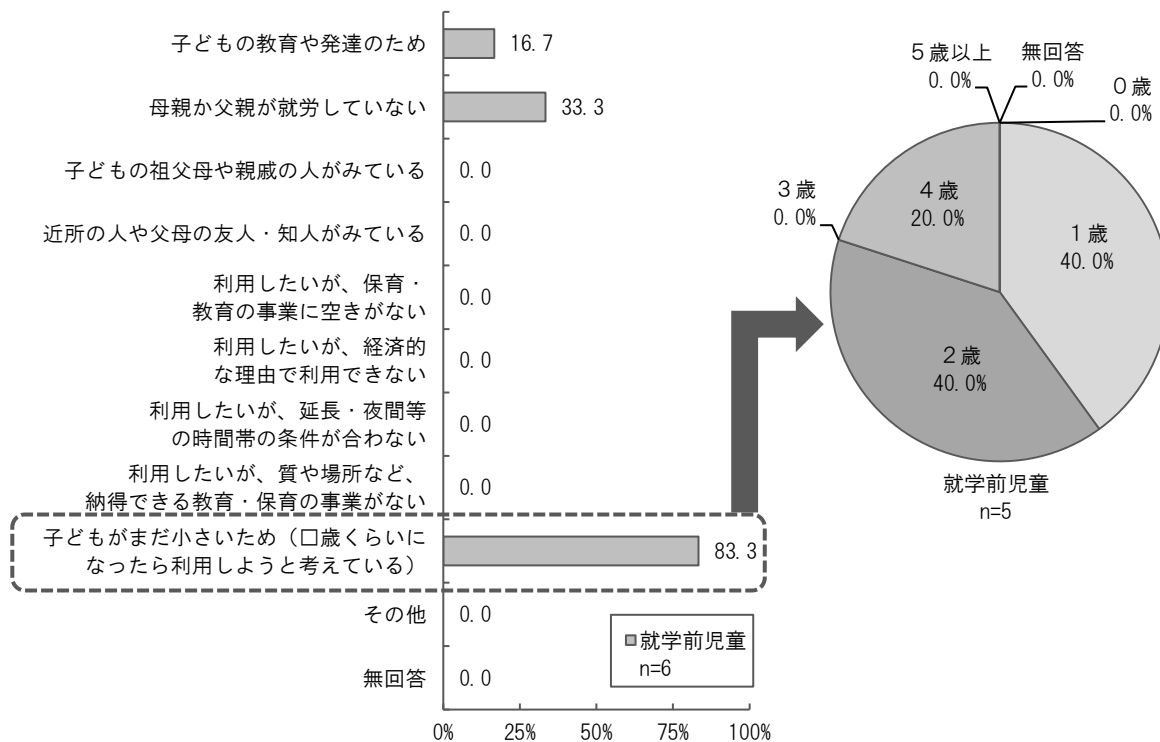
《大沢野・細入》



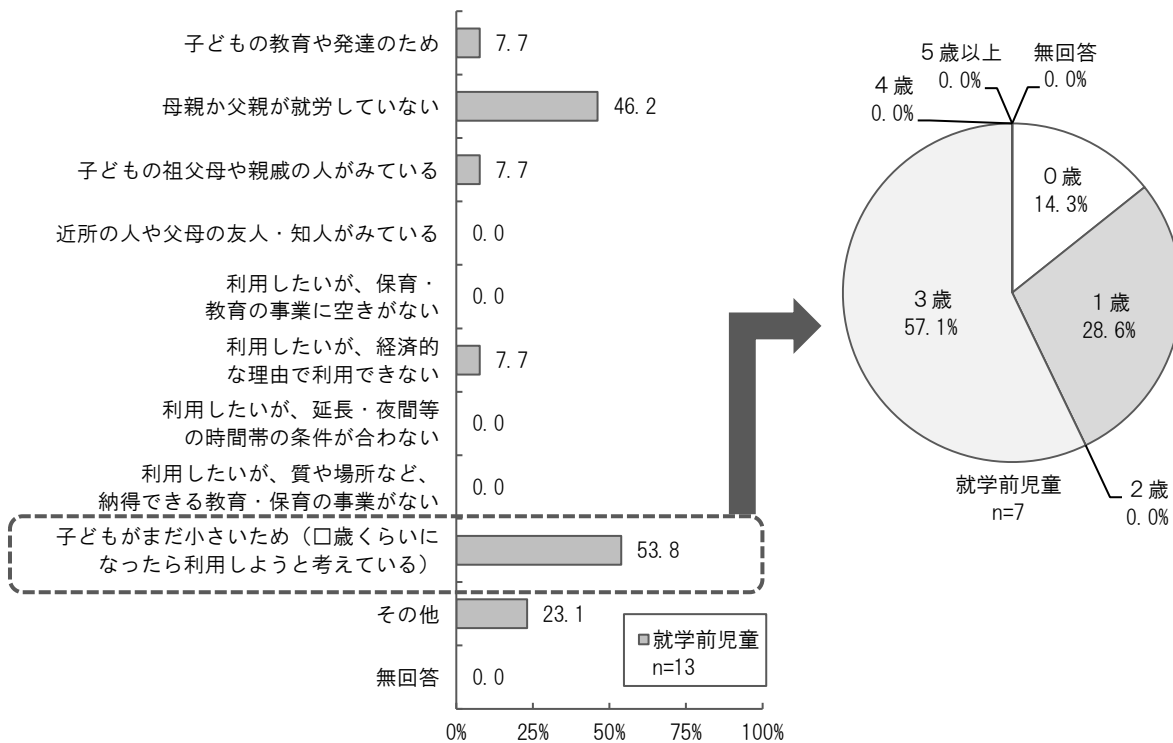
問14-4 教育・保育事業を利用していない理由

問14-4.9 利用を希望する子どもの年齢

《大 山》



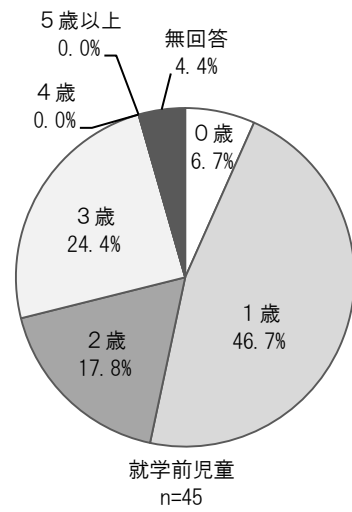
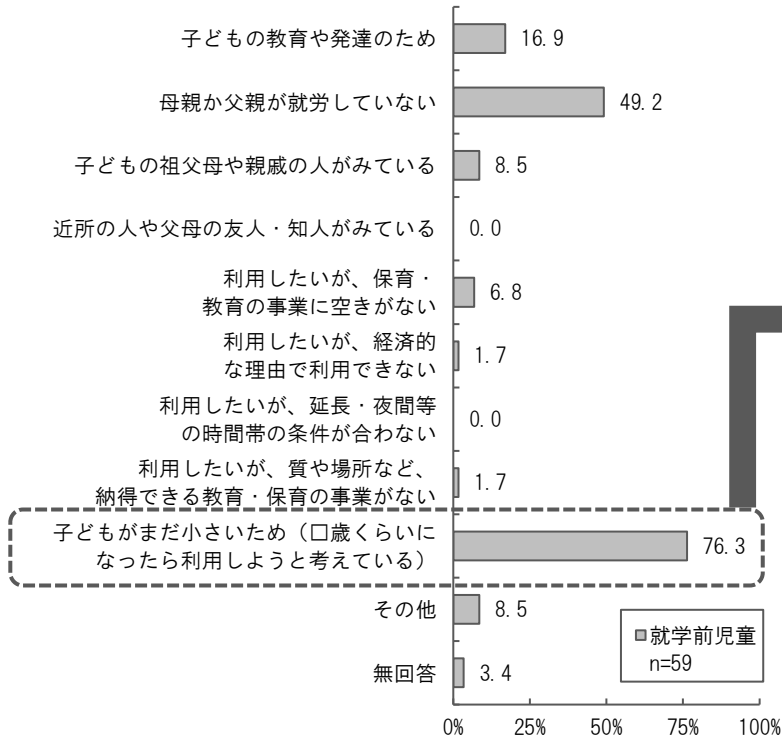
《八尾・山田》



問14-4 教育・保育事業を利用していない理由

問14-4.9 利用を希望する子どもの年齢

《婦 中》

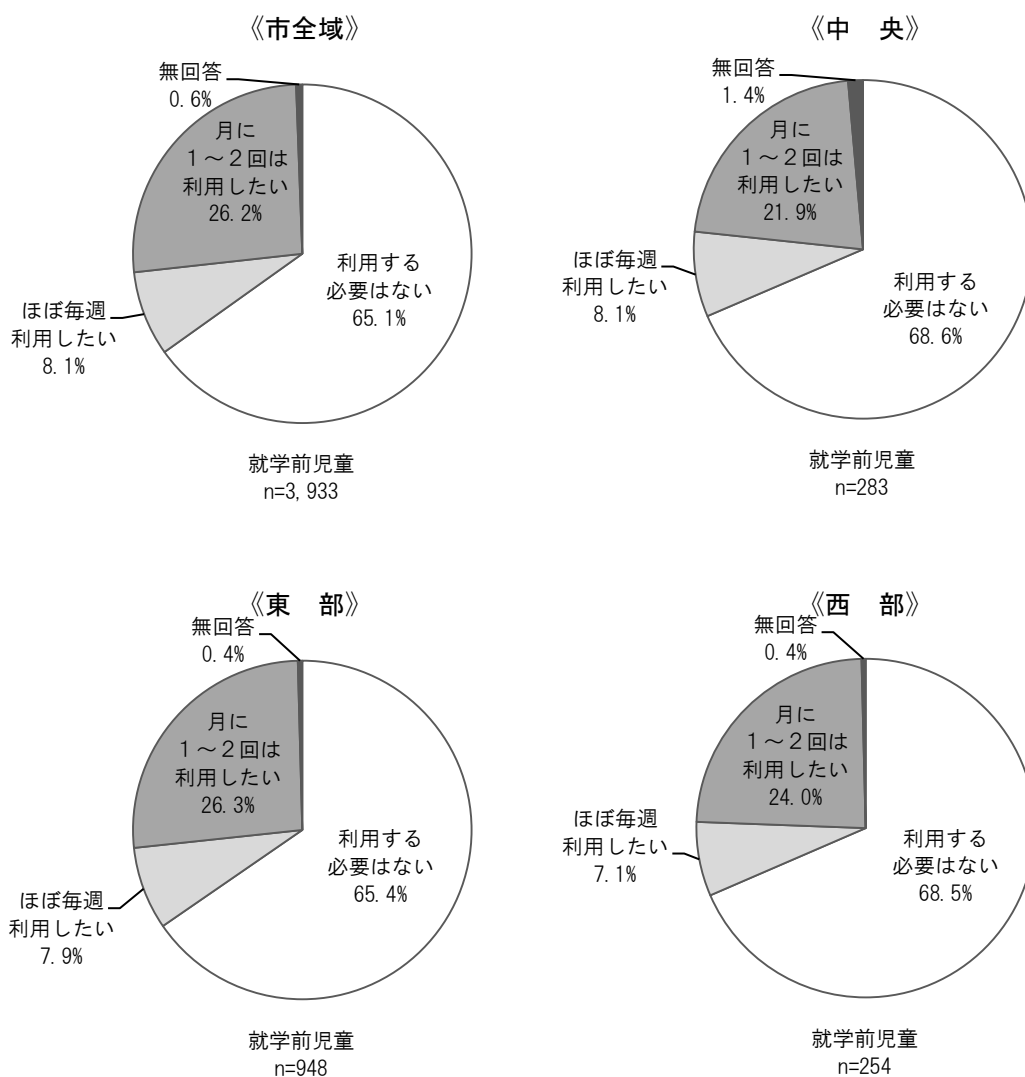


2 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望

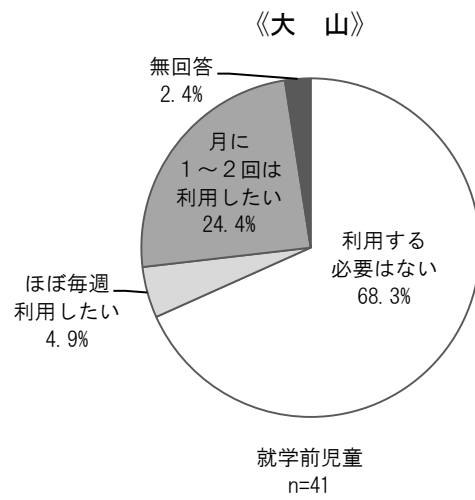
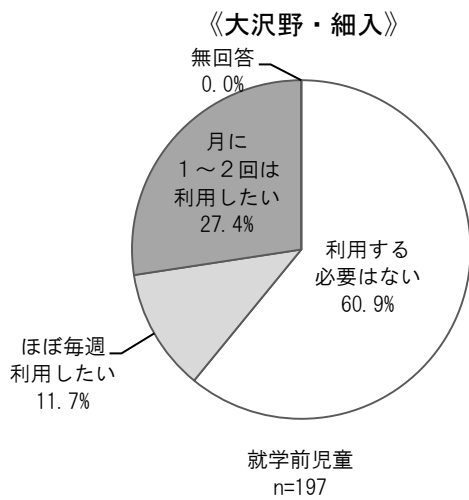
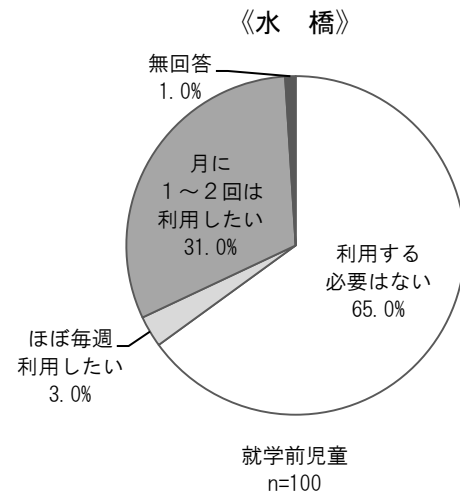
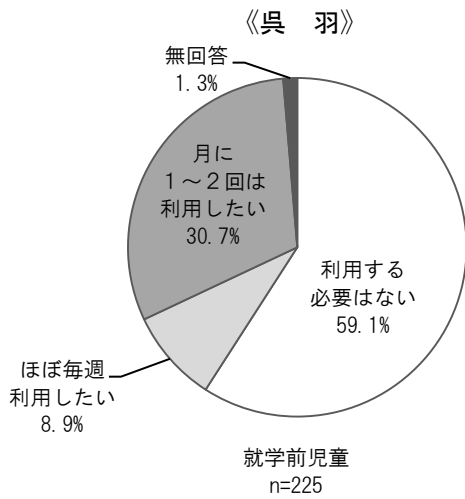
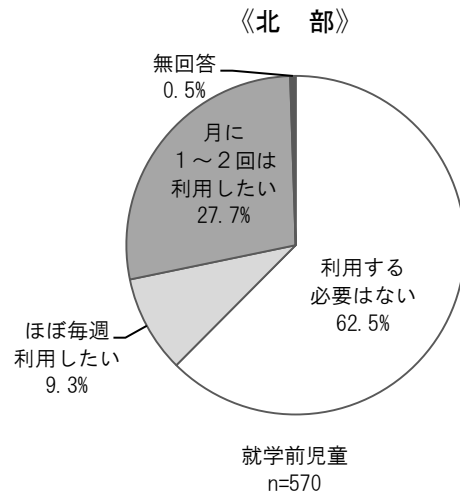
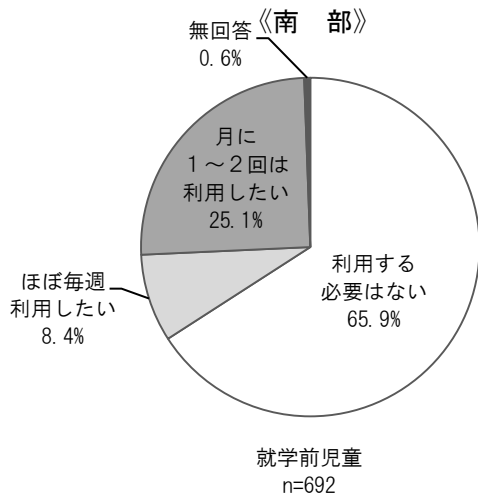
(1) 土曜日と日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

○土曜日の教育・保育事業の利用希望を地域別にみると、全ての地域で「利用する必要はない」(59.1~68.6%)が6割前後で最も高くなっていますが、「月に1~2回は利用したい」(21.9~31.0%)、「ほぼ毎週利用したい」(3.0~11.7%)となり、《呉羽》では「月に1~2回は利用したい」(30.7%)、「ほぼ毎週利用したい」(8.9%)となっています。

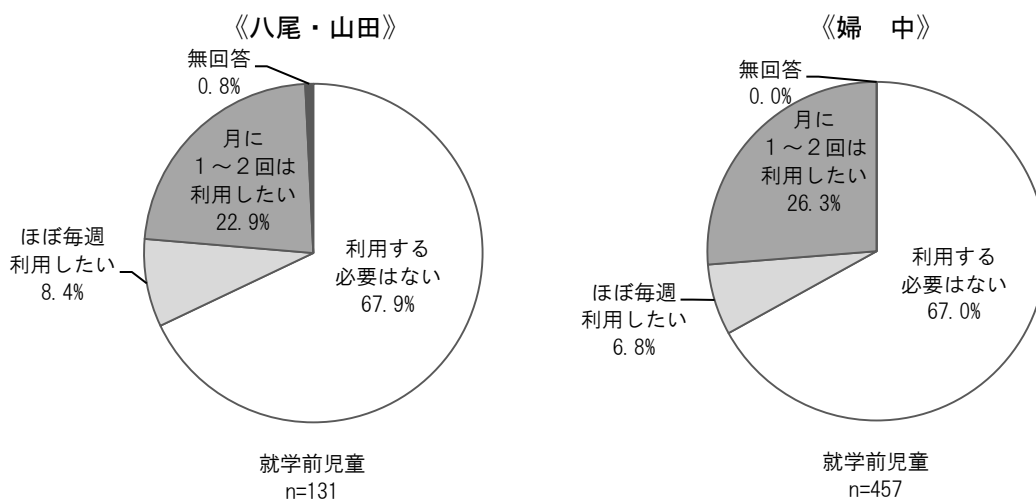
問19(1) 土曜日の利用希望



問19(1) 土曜日の利用希望

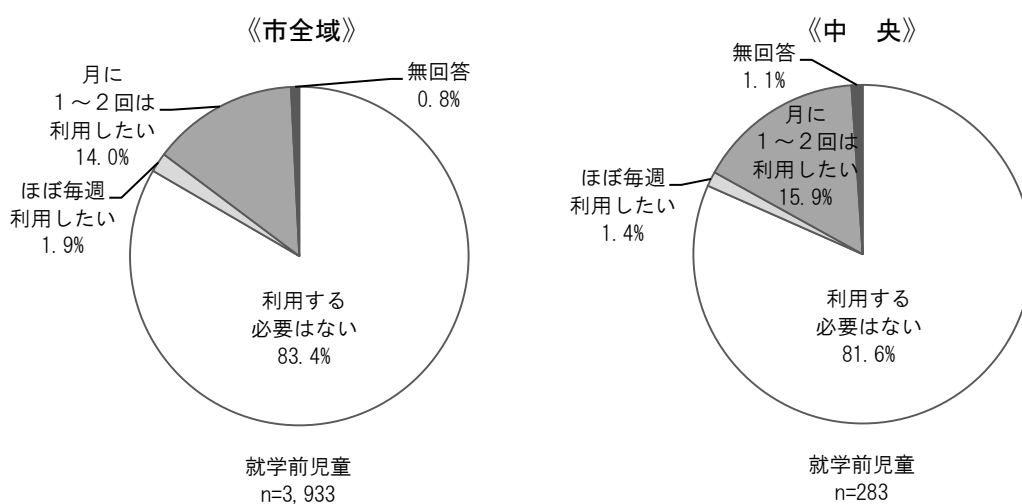


問19(1) 土曜日の利用希望

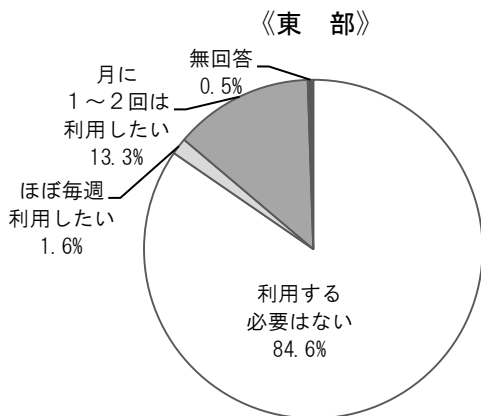


○日曜・祝日の利用希望を地域別にみると、全ての地域で「利用する必要はない」(77.9~90.2%)が8割前後で最も高くなっていますが、「月に1~2回は利用したい」(7.3~19.8%)、「ほぼ毎週利用したい」(0.0~3.3%)となり、《八尾・山田》では「月に1~2回は利用したい」(19.8%)、「ほぼ毎週利用したい」(1.5%)で割合が最も高くなっています。

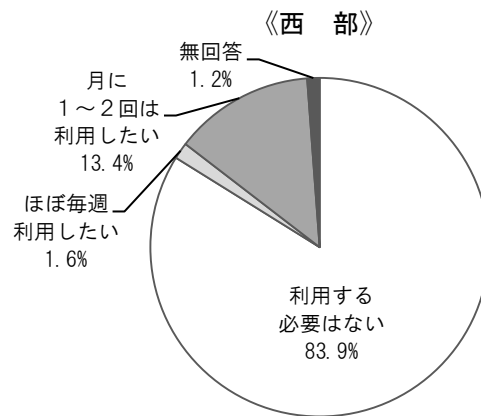
問19(2) 日曜・祝日の利用希望



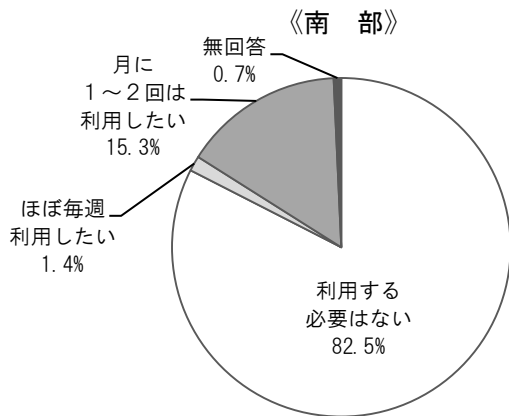
問19(2) 日曜・祝日の利用希望



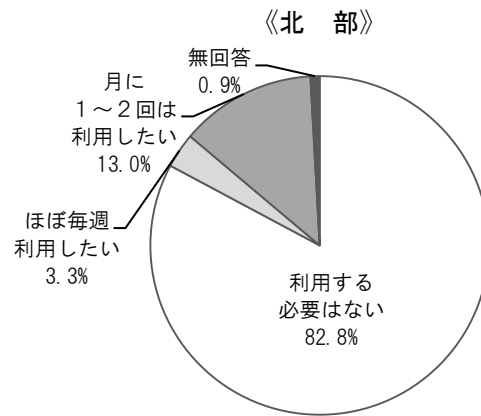
就学前児童
n=948



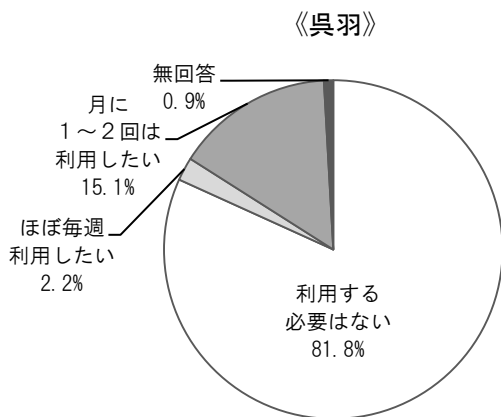
就学前児童
n=254



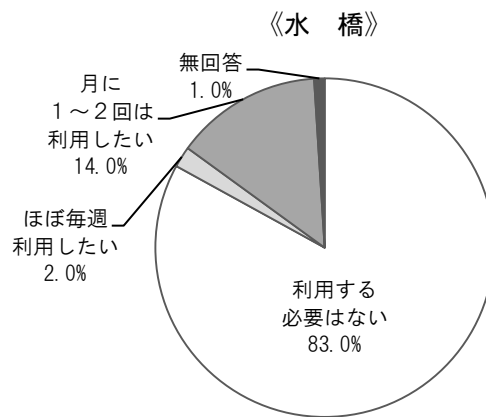
就学前児童
n=692



就学前児童
n=570

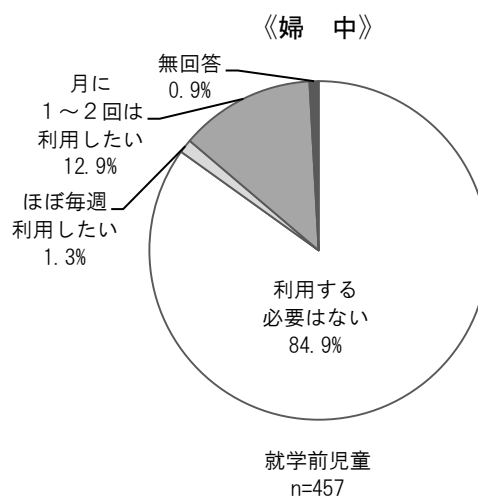
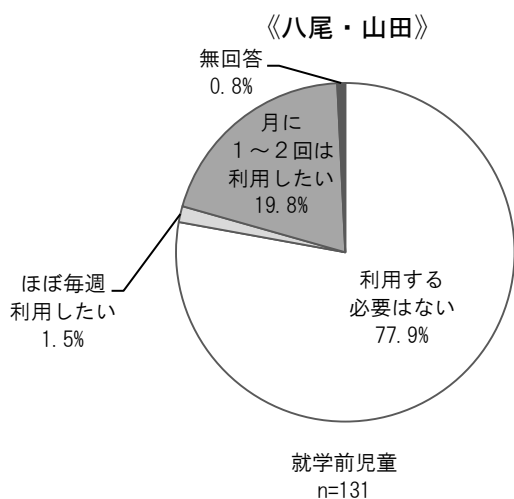
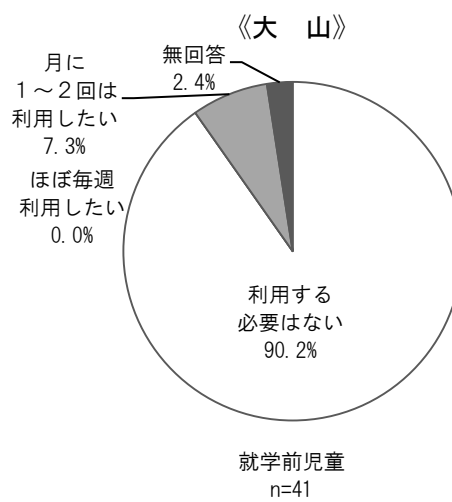
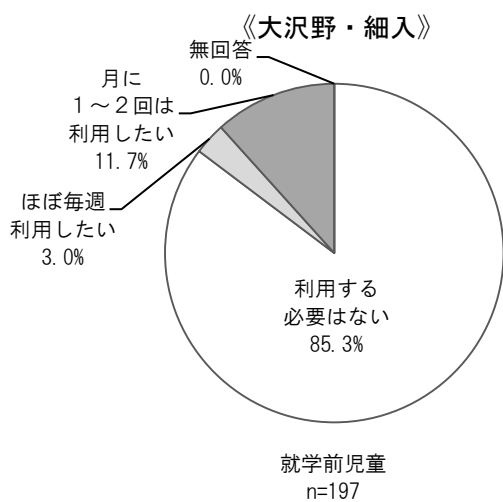


就学前児童
n=225



就学前児童
n=100

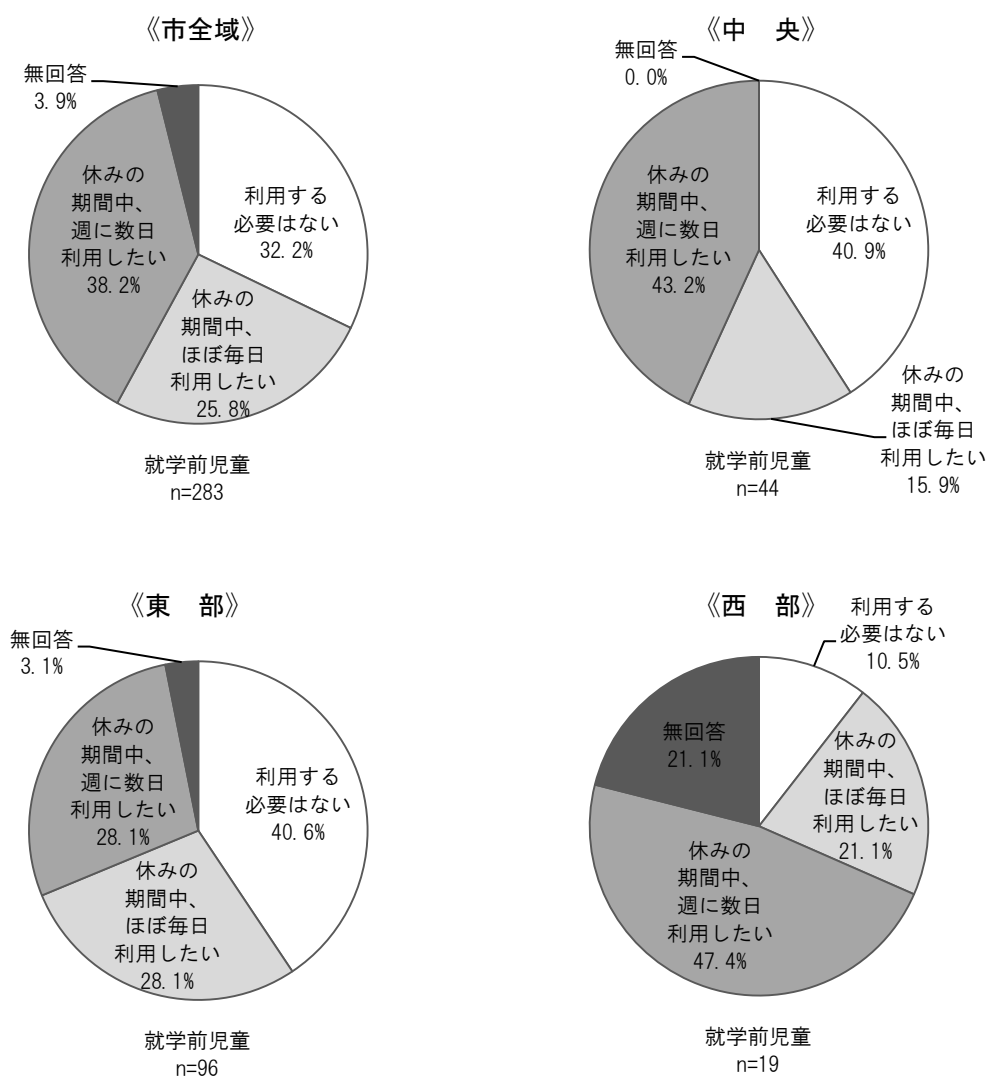
問19(2) 日曜・祝日の利用希望



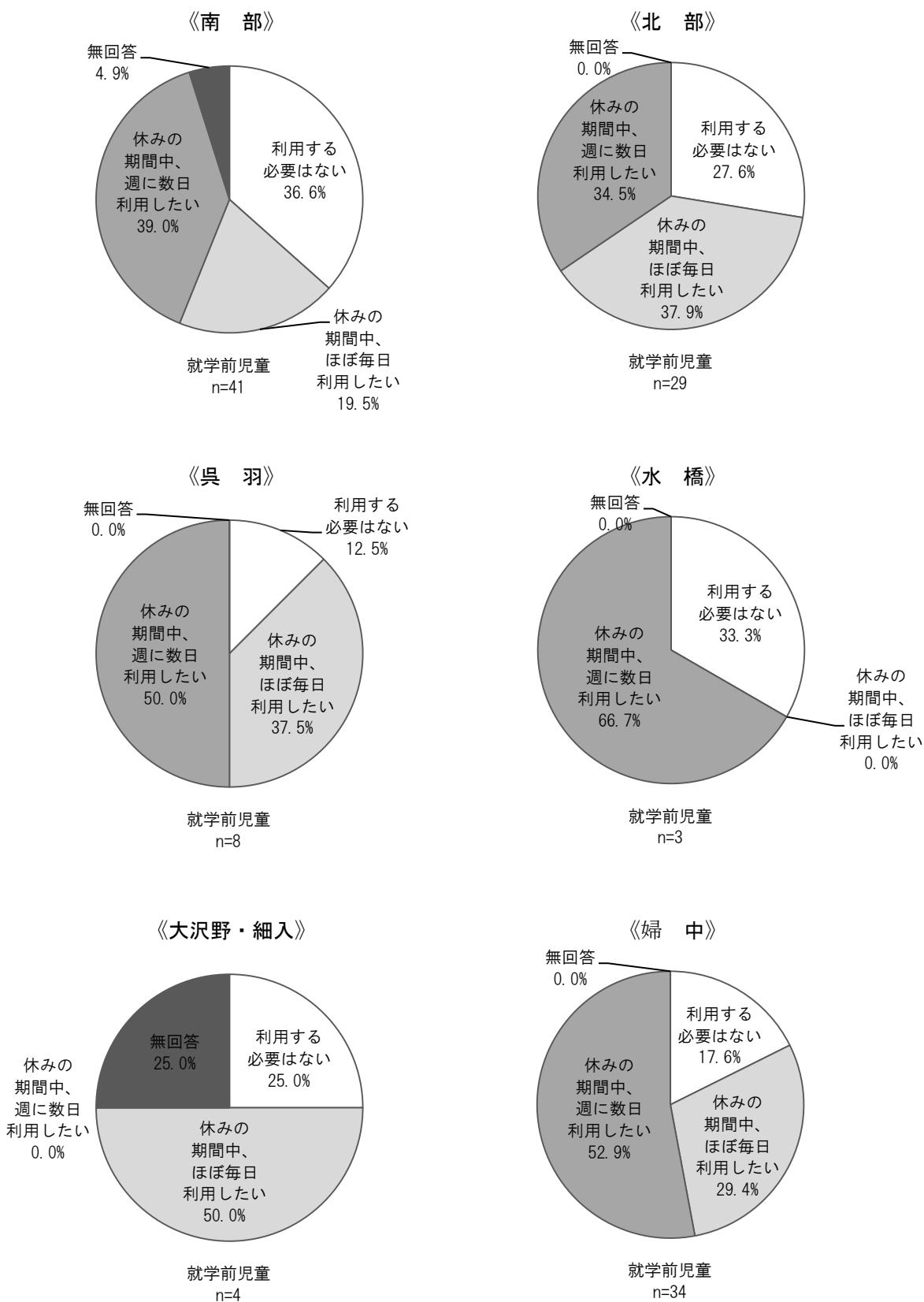
(2) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

- 幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業の利用希望を地域別にみると、「休みの期間中、週に数日利用したい」は《呉羽》《婦中》(50.0%・52.9%)が5割台、《水橋》(66.7%)が6割台となり、市全域より高くなっています。
- 「利用する必要はない」と回答した方は10.5~40.9%となっています。
(《大山》、《八尾・山田》は対象者が0だったため、コメントを省略)

問20 長期休暇中の利用希望（幼稚園利用者）



問20 長期休暇中の利用希望（幼稚園利用者）



※《大山》、《八尾・山田》は対象者が0の為、記載していません。

3 子育て支援事業の現状と今後の利用希望

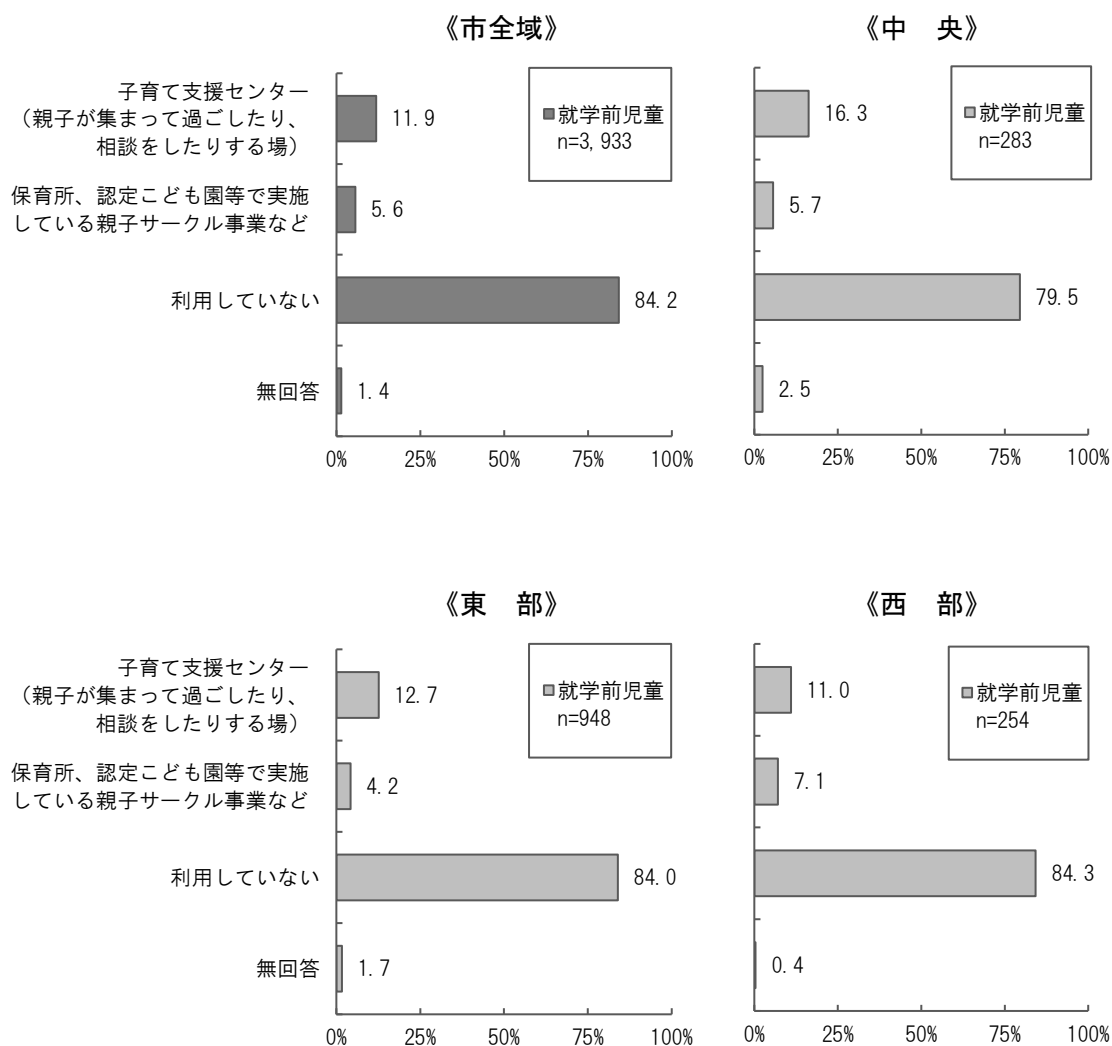
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

○地域子育て支援拠点事業の利用状況をみると、《中央》(16.3%)、《北部》(13.7%)、《水橋》(13.0%)、《東部》(12.7%)、《大山》(12.2%) で市全域を上回り高い割合となっていますが、《八尾・山田》(9.2%) は最も低い割合となっています。

○保育所、認定こども園等で実施している親子サークル事業などでは、全ての地域で3.1～9.3%と利用者が少ない状況ですが、《北部》(9.3%)、《西部》(7.1%)、《呉羽》(6.7%)、《大沢野・細入》(6.1%)、《中央》(5.7%) で市全域を上回り高い割合となり、《八尾・山田》(3.1%) は最も低い割合となっています。

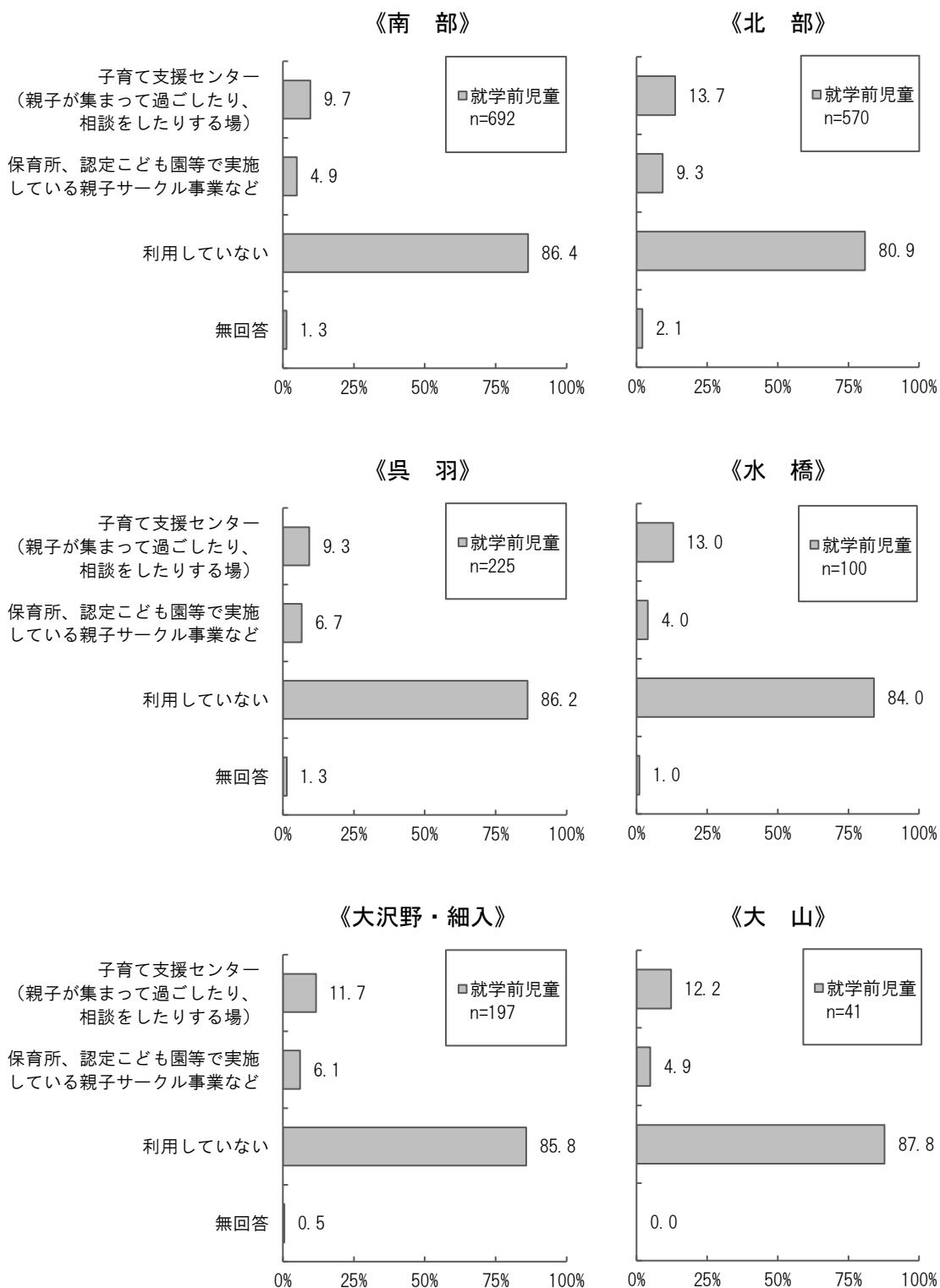
※地域子育て支援拠点事業＝子育て支援センターにおける各種事業

問16 地域子育て支援拠点事業の利用状況

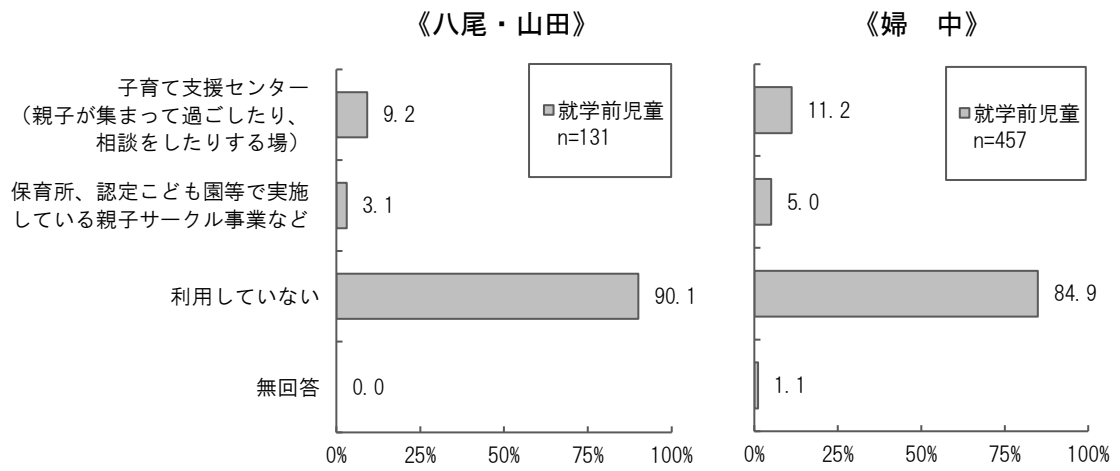


第2章 地域別の子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

問16 地域子育て支援拠点事業の利用状況

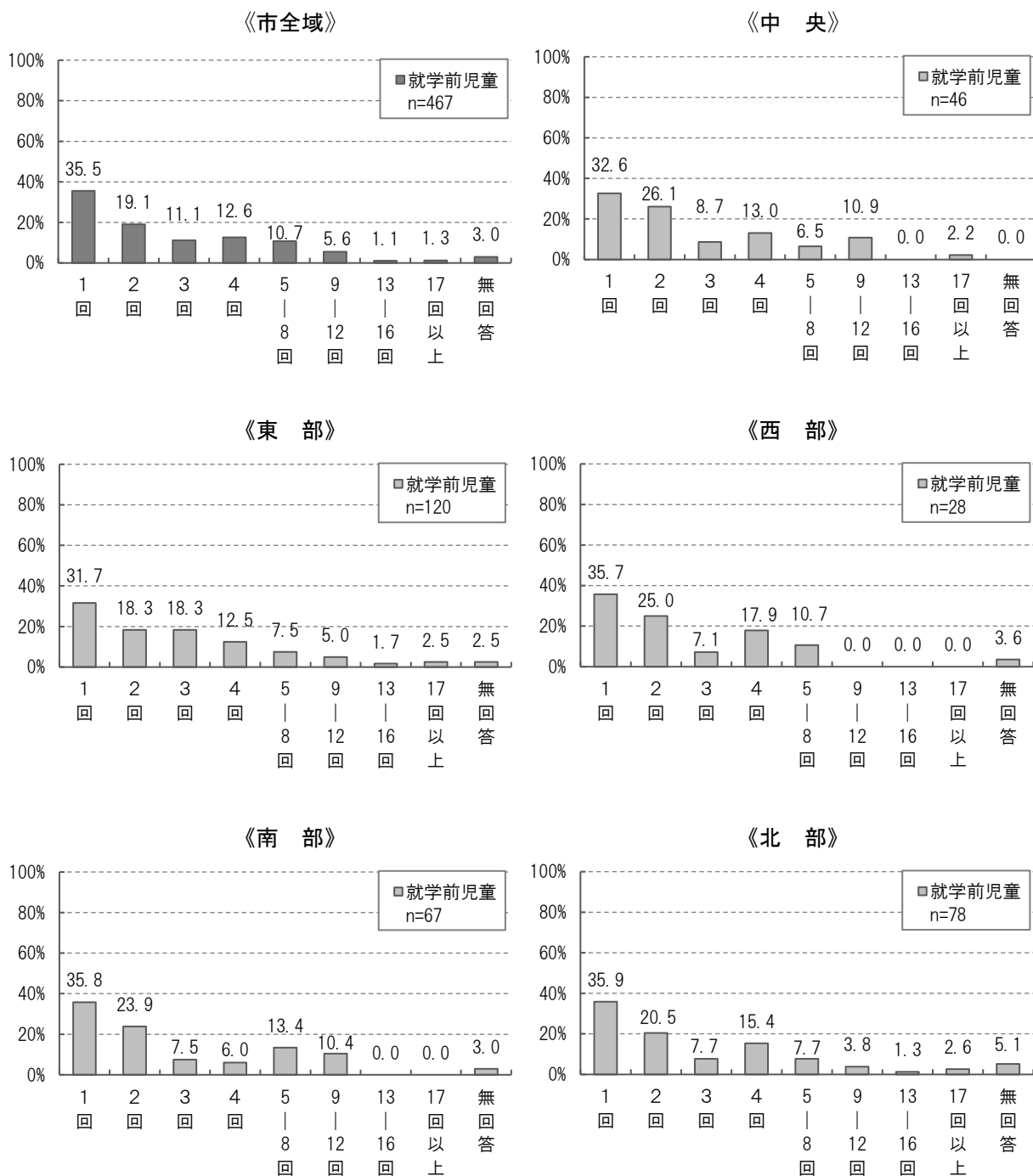


問16 地域子育て支援拠点事業の利用状況



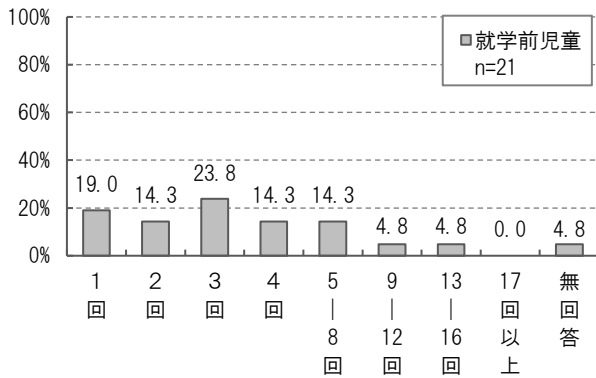
○地域子育て支援拠点事業の1ヶ月当たりの利用回数をみると、《呉羽》、《水橋》を除く地域で「1回」(31.7~83.3%)と回答した割合が最も高くなっています。また、《呉羽》では「3回」(23.8%)、《水橋》では「5-8回」(38.5%)と回答した割合が最も高くなっています。

問16.1 子育て支援センター（親子が集まって過ごしたり、相談をしたりする場）（1ヶ月当たり）

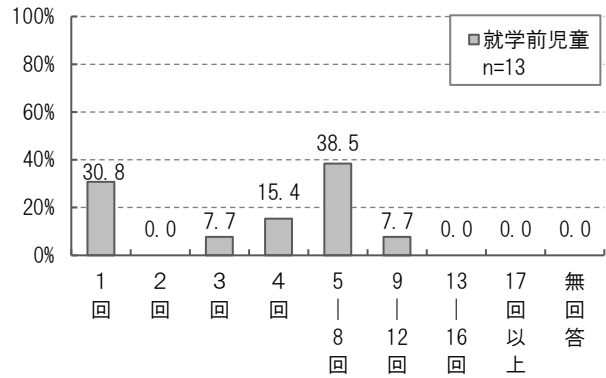


問16.1 子育て支援センター（親子が集まって過ごしたり、相談をしたりする場）（1ヶ月当たり）

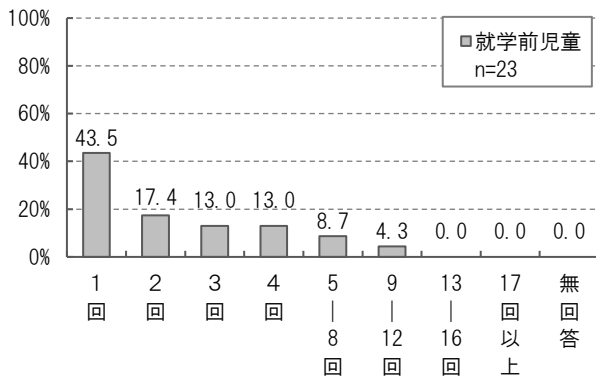
《呉 羽》



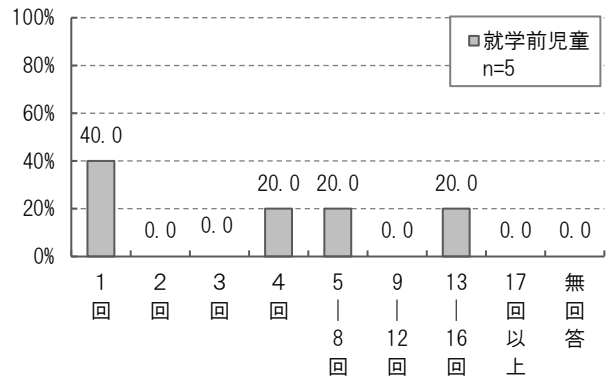
《水 橋》



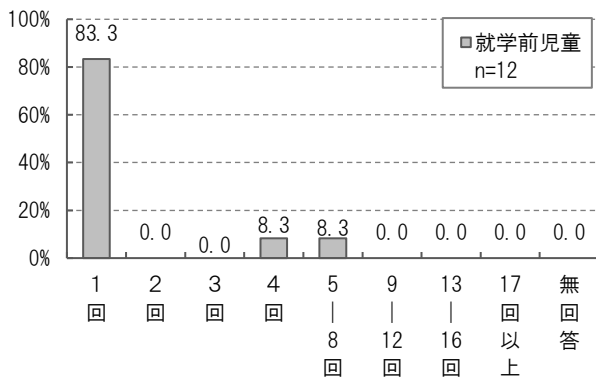
《大沢野・細入》



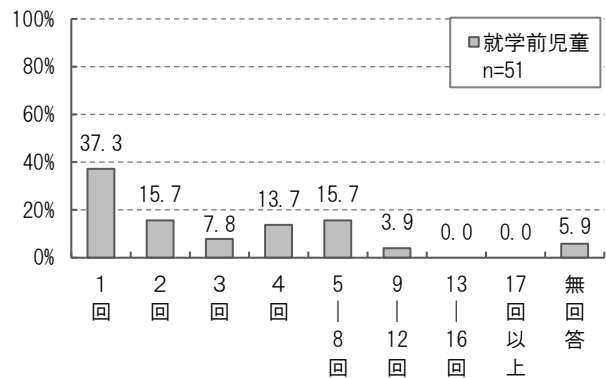
《大 山》



《八尾・山田》

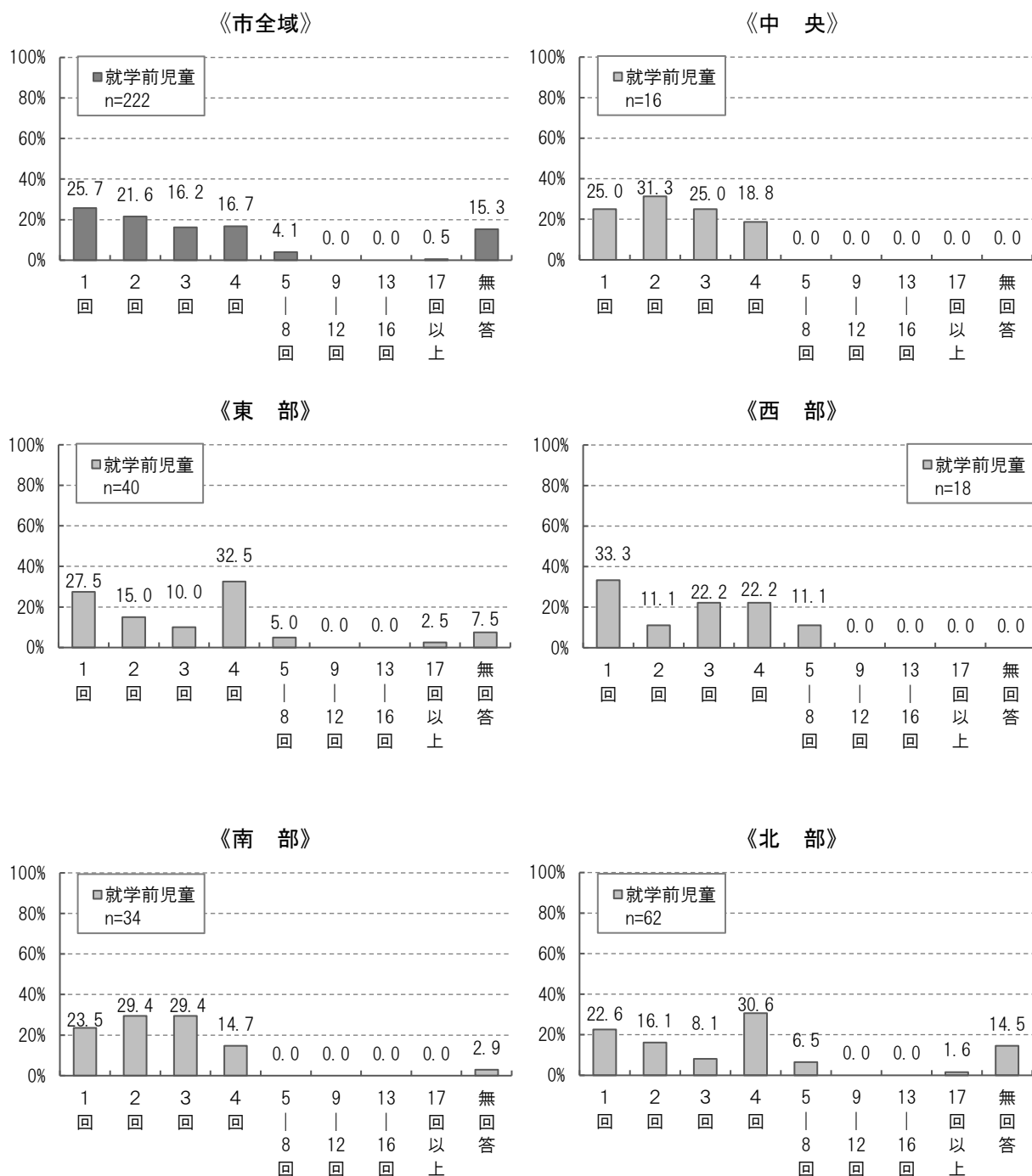


《婦 中》



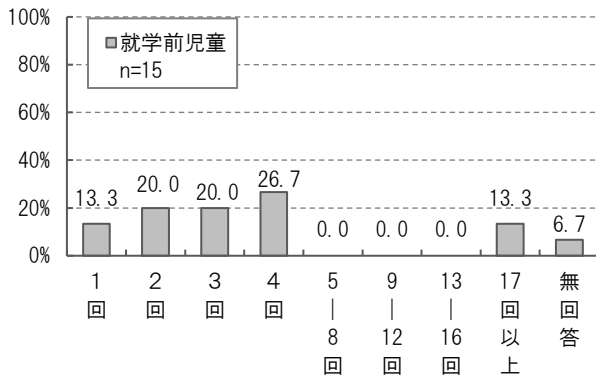
○保育所、認定こども園等で実施している親子サークル事業などの1ヶ月当たりの利用回数は、《西部》《大沢野・細入》で「1回」(33.3%、41.7%)、《中央》《婦中》で「2回」(31.3%、43.5%)、《東部》《北部》《呉羽》で「3回」(26.7~32.5%)と回答した割合が最も高くなっています。また《南部》では「2回」「3回」(ともに29.4%)と回答した割合が最も高くなっています。

問16.2 保育所、認定こども園等で実施している親子サークル事業など(1ヶ月当たり)

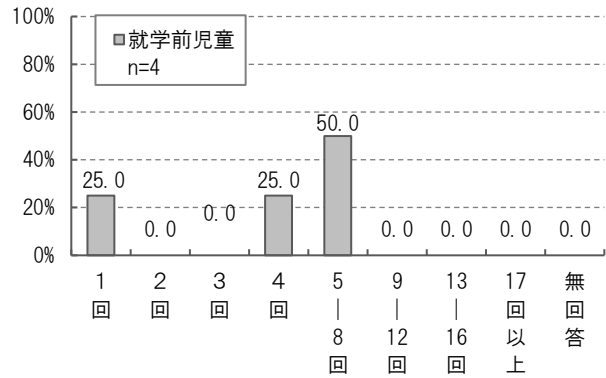


問16.2 保育所、認定こども園等で実施している親子サークル事業など（1ヶ月当たり）

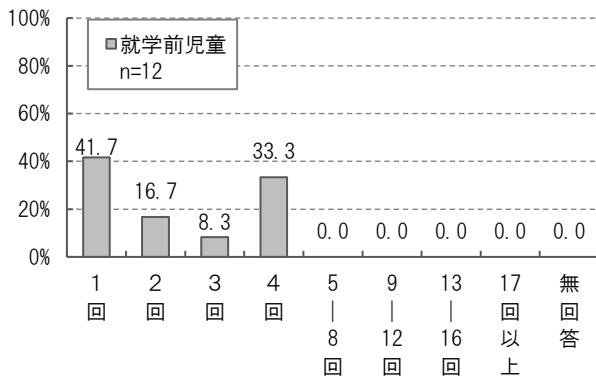
《呉羽》



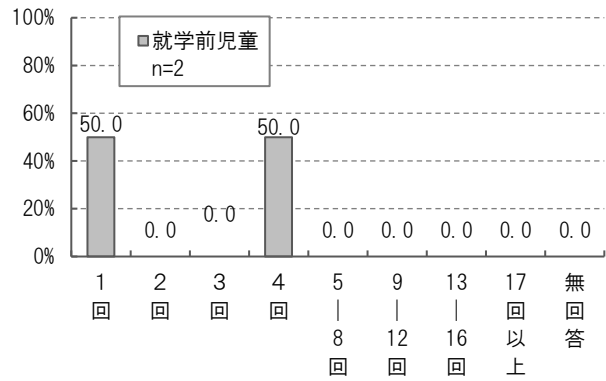
《水橋》



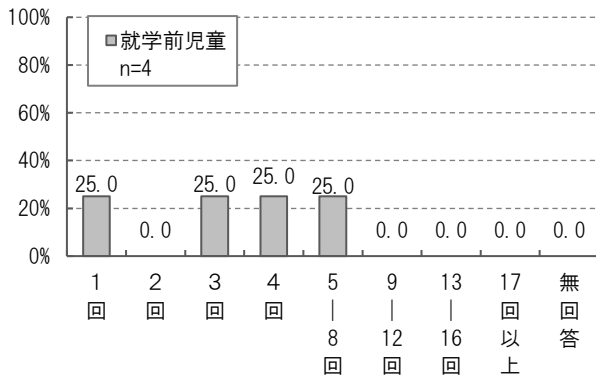
《大沢野・細入》



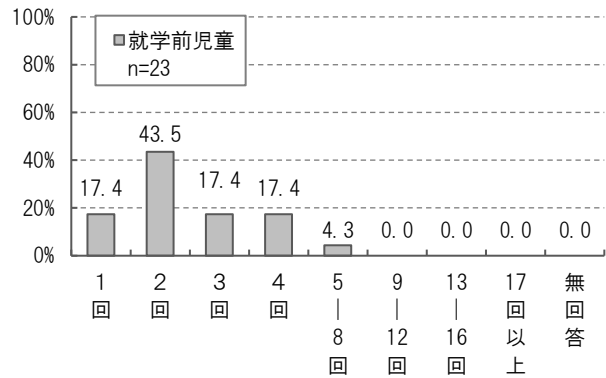
《大山》



《八尾・山田》



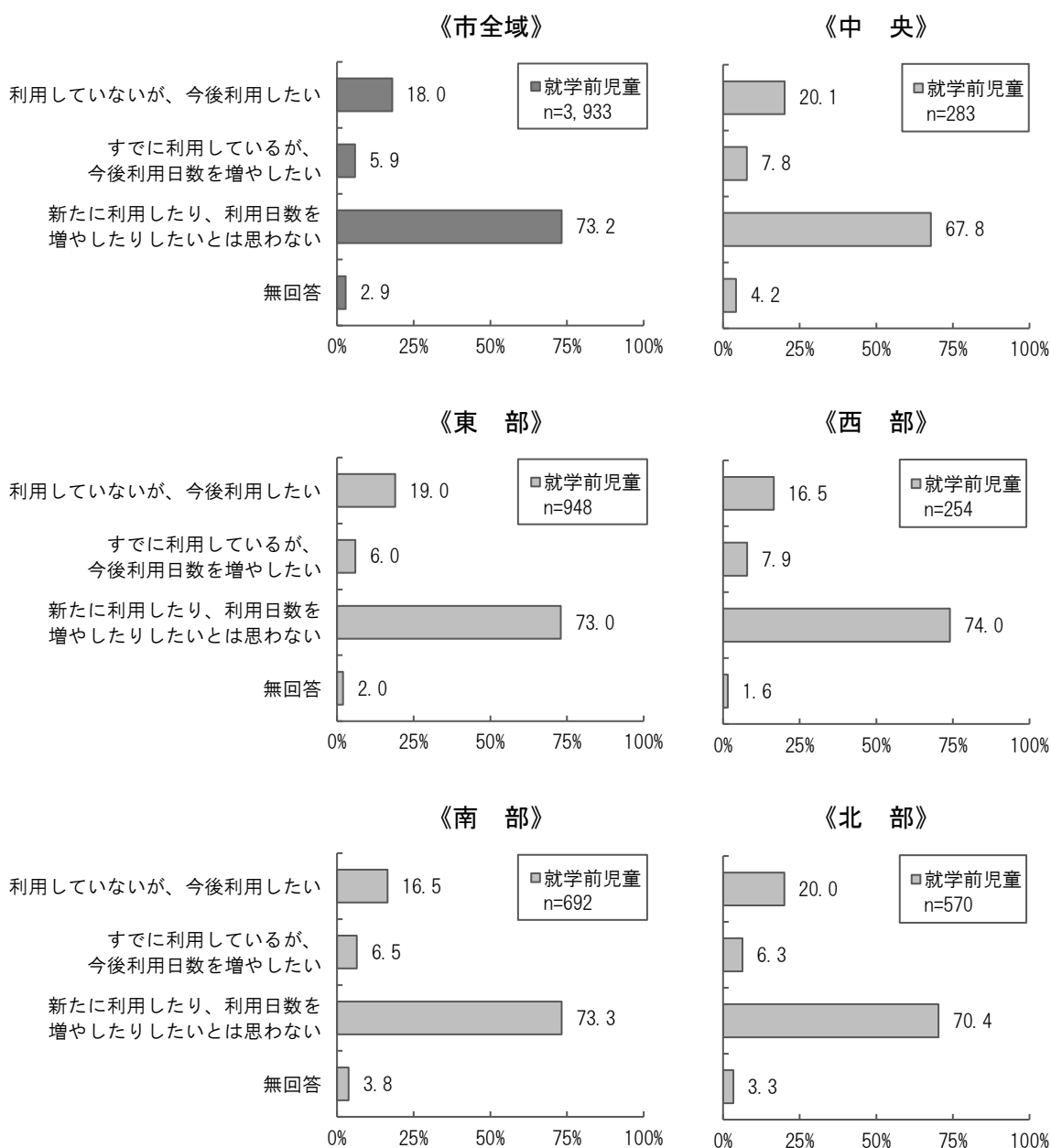
《婦中》



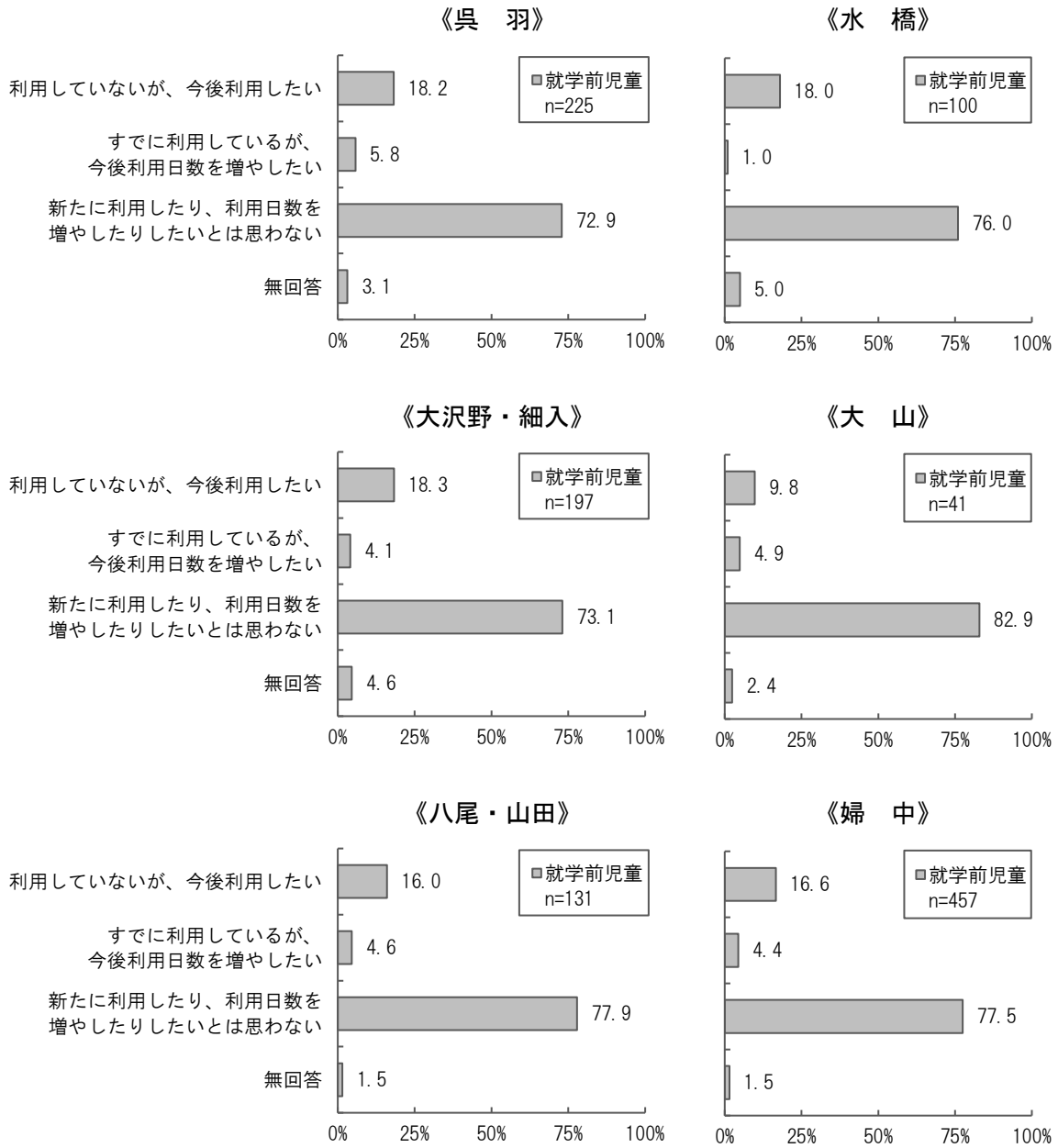
(2) 今後の利用希望

○地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望をみると、全ての地域で「新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない」(67.8~82.9%)が6~8割台で最も高くなっています。一方、「利用していないが、今後利用したい」「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と利用希望がある割合は、《中央》(27.9%)、《北部》(26.3%)で2割後半と高くなっています。

問17 地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望



問17 地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望

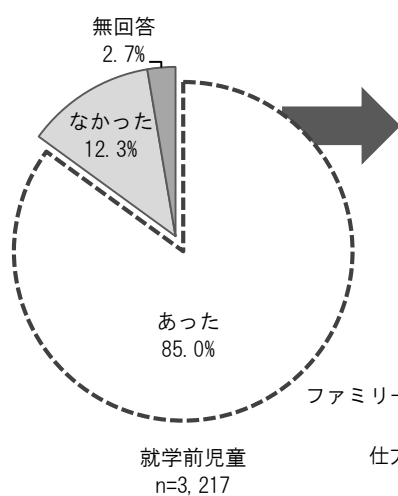


4 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ

(1) 病気やケガで保育所や幼稚園が利用できない時の対処

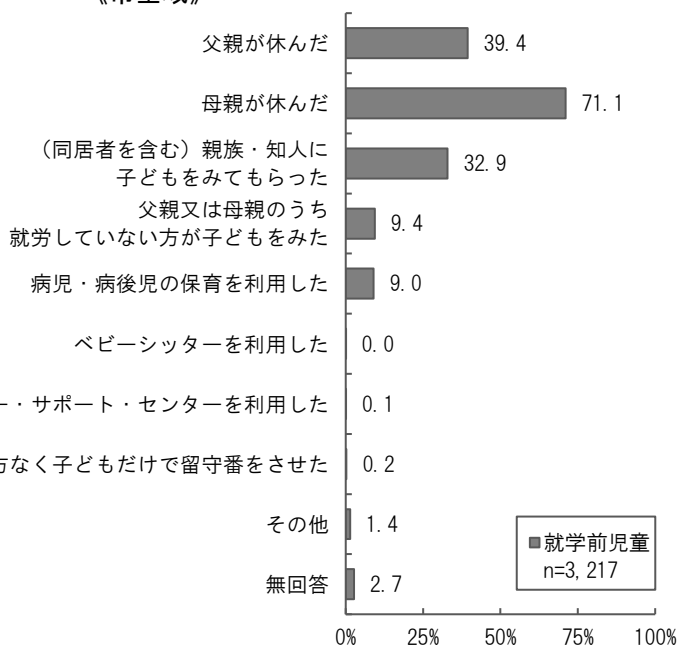
- 病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかったことが、「あった」方は各地域ともに8割台（80.0～88.2%）となっています。
- その際の対処方法について、各地域ともに「母親が休んだ」割合が最も高く（67.7～77.1%）となっています。
- 「父親が休んだ」割合は、《水橋》（43.8%）、《呉羽》（43.2%）、《北部》《婦中》（各41.8%）、《南部》（40.7%）と4割超えと高い一方、《大山》（25.7%）で低くなっています。
- また、「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」割合は、《八尾・山田》（42.4%）、《水橋》（38.8%）で4割前後と高い一方、《中央》（27.7%）で低くなっています。

問21 病気やケガで保育所や幼稚園が利用できなかったことの有無

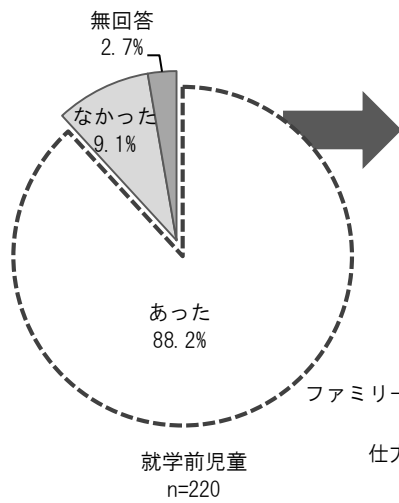


問21-1 この1年間の対処方法

《市全域》

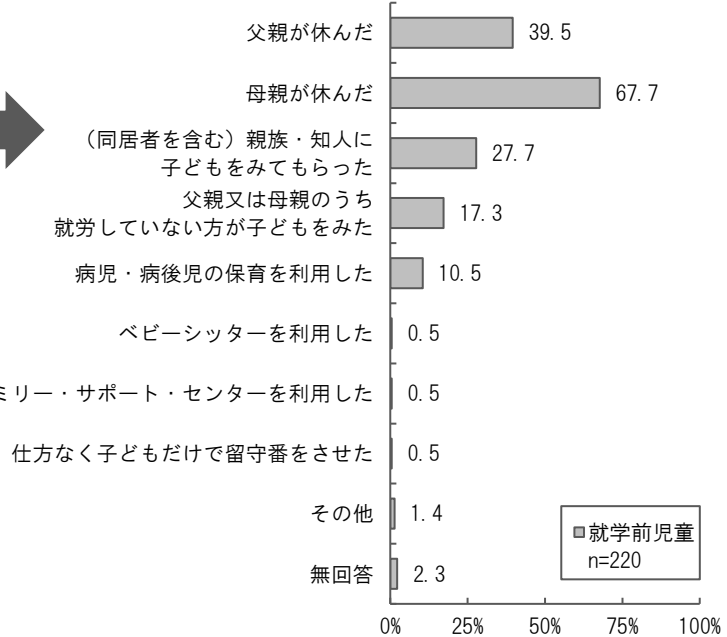


問21 病気やケガで保育所や幼稚園が
利用できなかったことの有無

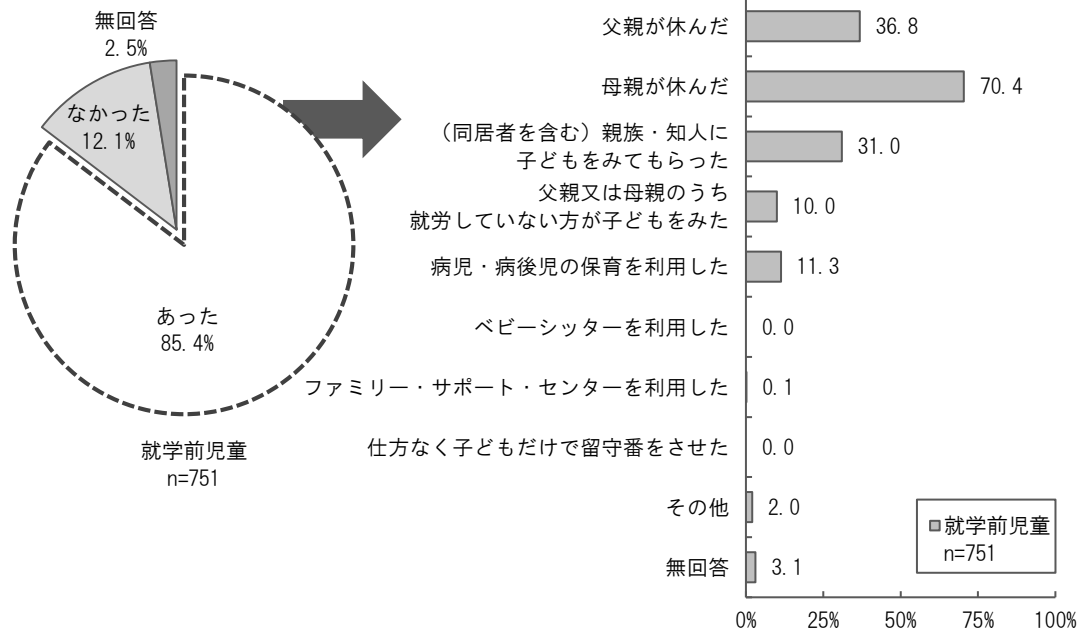


問21-1 この1年間の対処方法

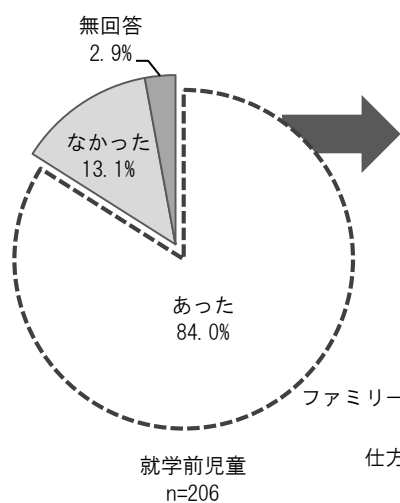
《中央》



《東 部》

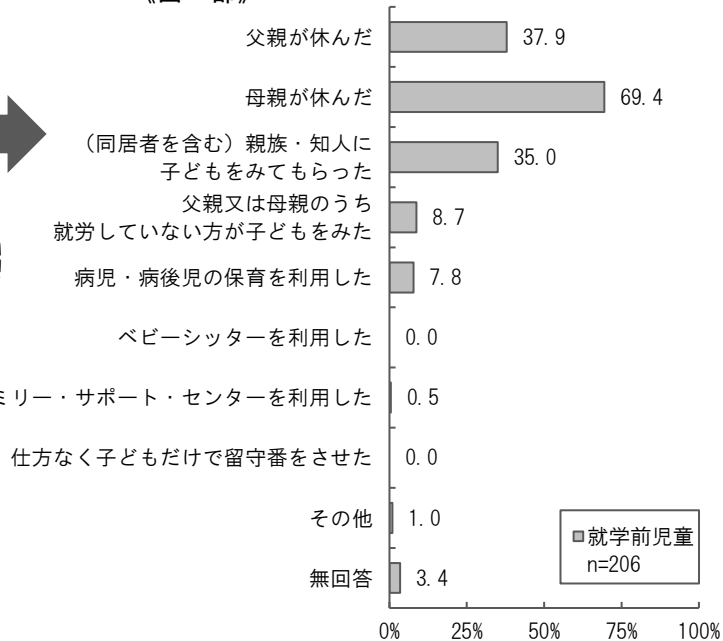


問21 病気やケガで保育所や幼稚園が
利用できなかったことの有無

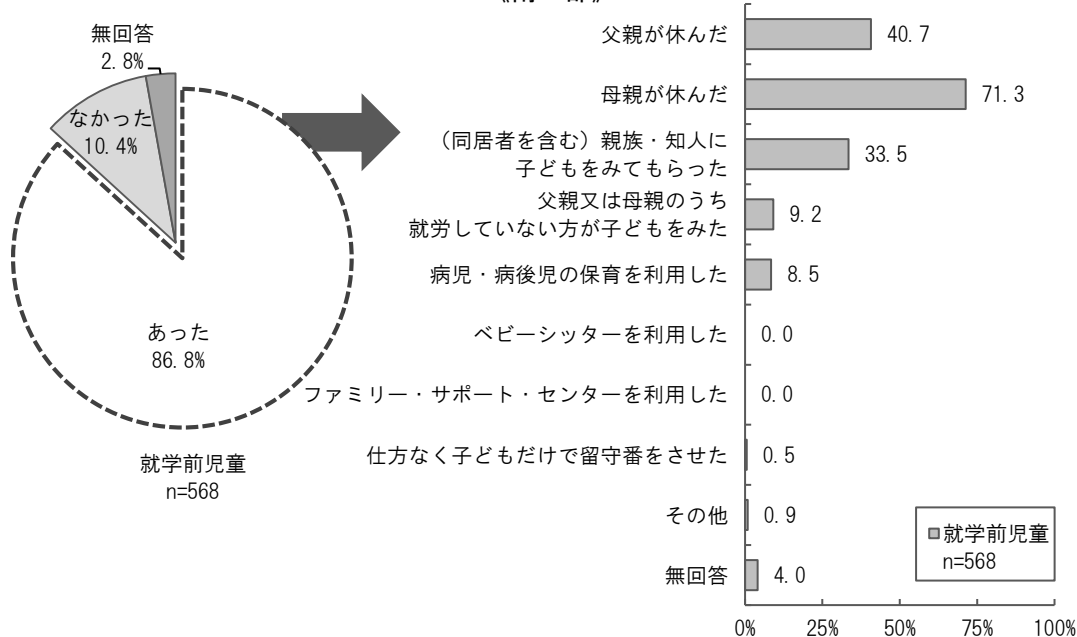


問21-1 この1年間の対処方法

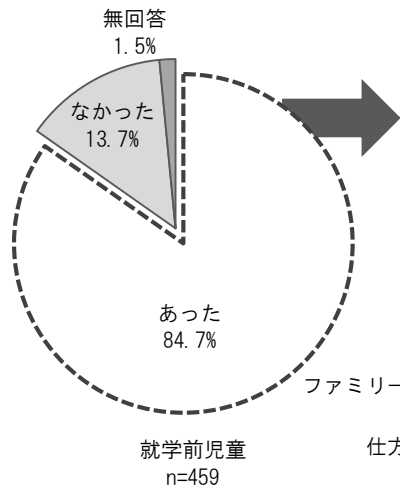
《西部》



《南部》

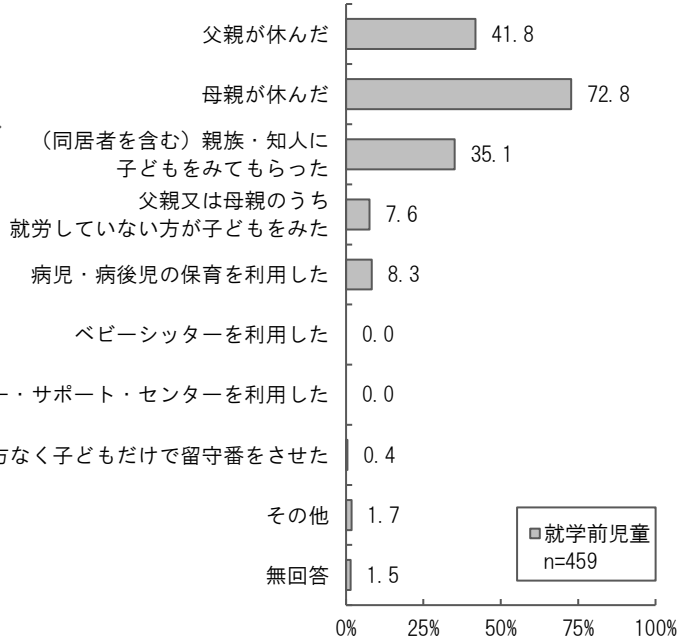


問21 病気やケガで保育所や幼稚園が
利用できなかったことの有無

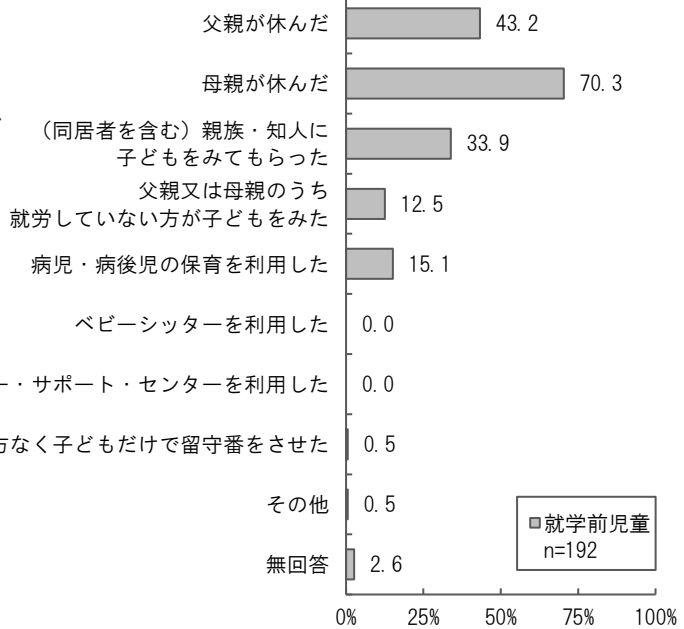
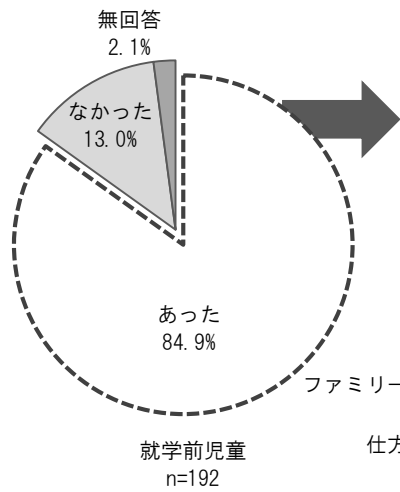


問21-1 この1年間の対処方法

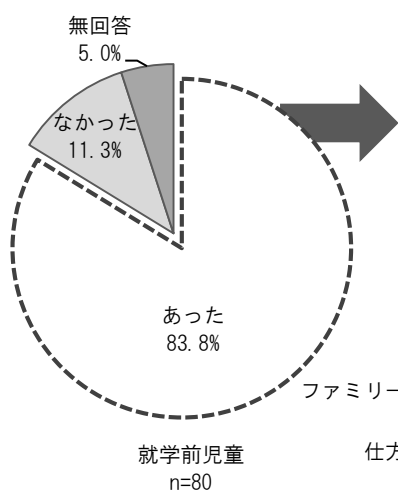
《北 部》



《呉 羽》

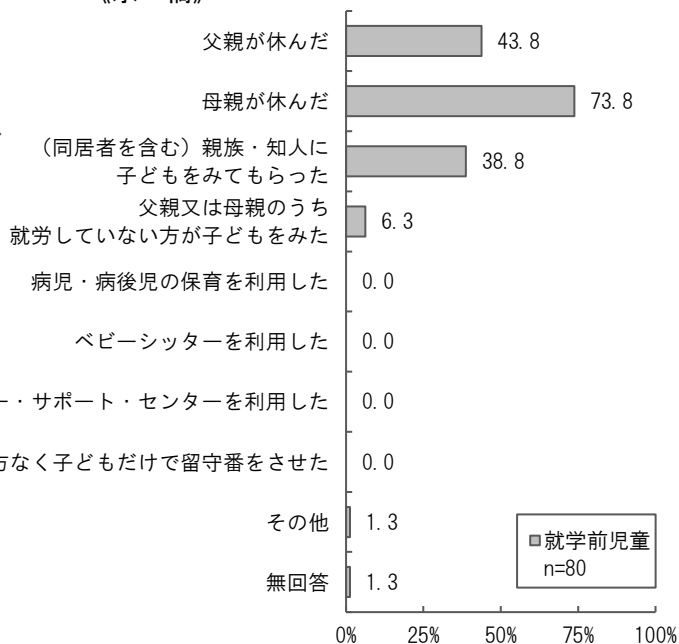


問21 病気やケガで保育所や幼稚園が
利用できなかったことの有無

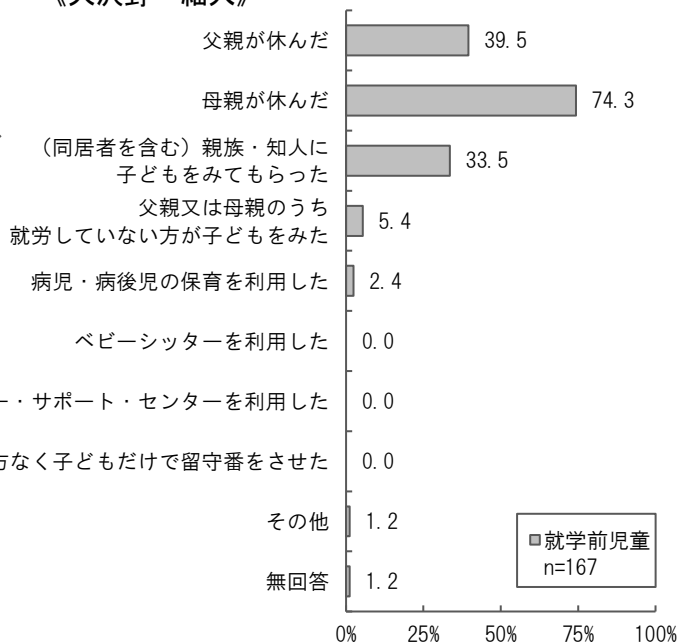
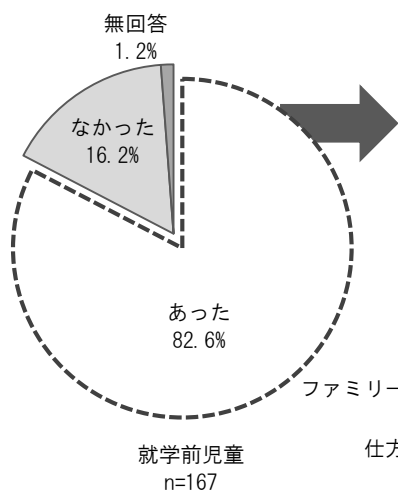


問21-1 この1年間の対処方法

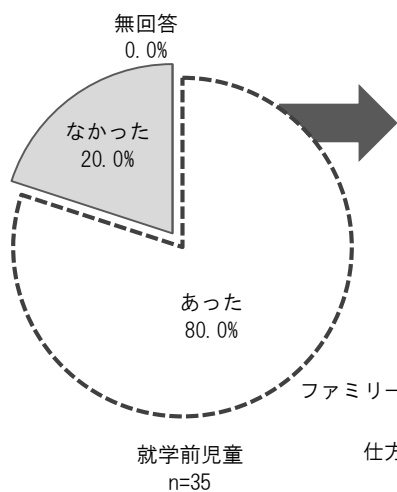
《水 橋》



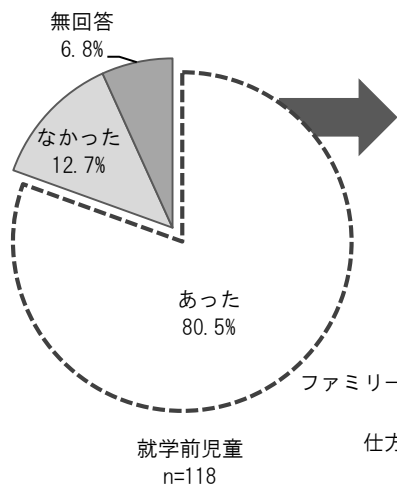
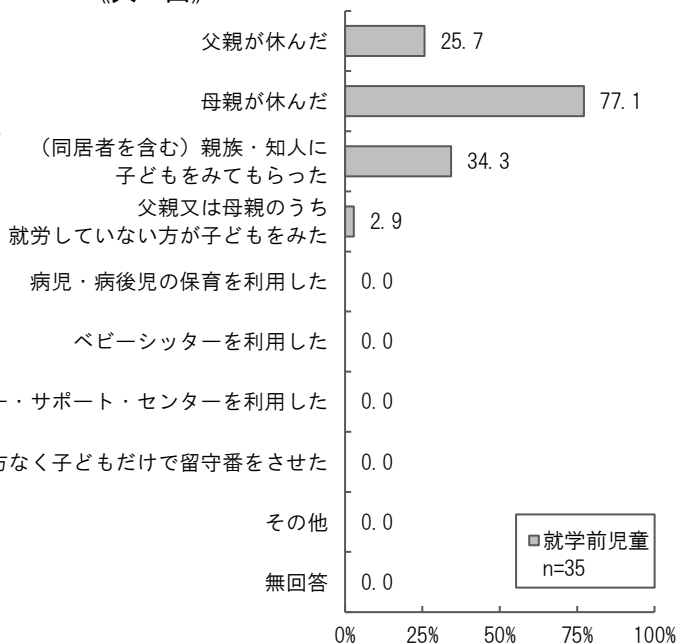
《大沢野・細入》



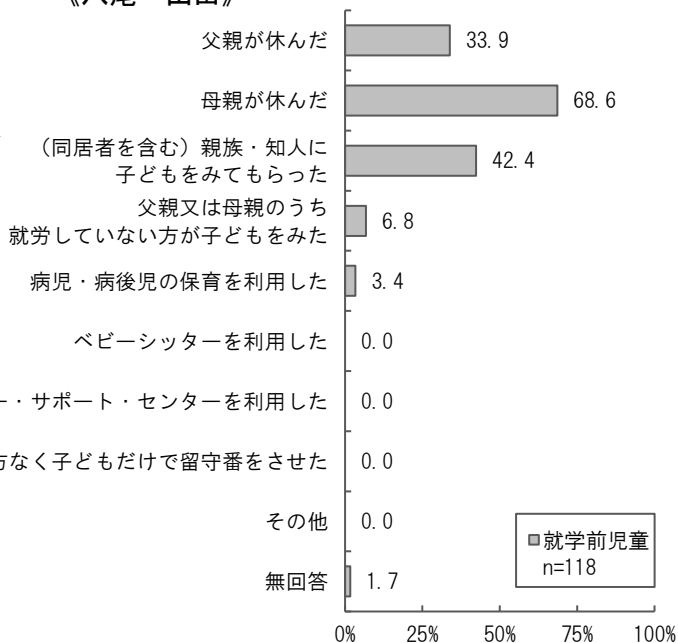
問21 病気やケガで保育所や幼稚園が
利用できなかったことの有無



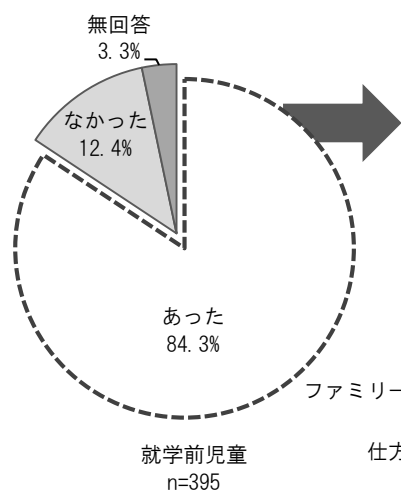
《大山》



《八尾・山田》

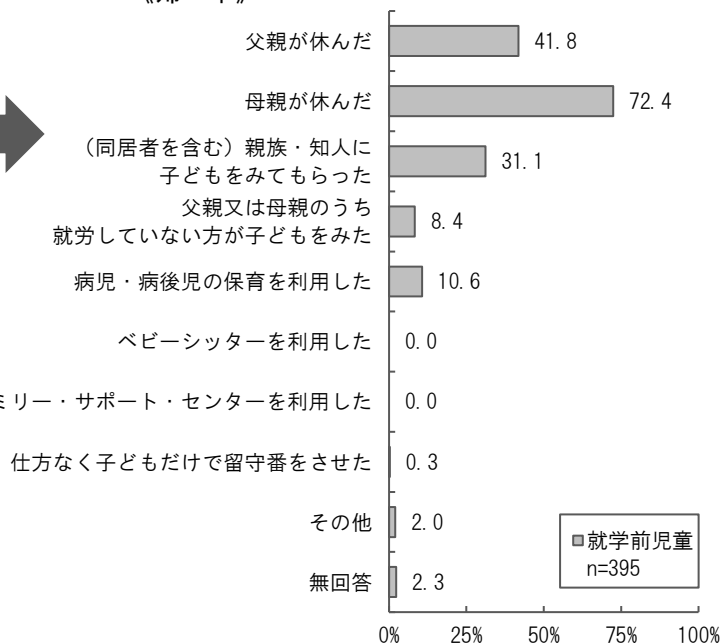


問21 病気やケガで保育所や幼稚園が
利用できなかったことの有無



問21-1 この1年間の対処方法

《婦 中》

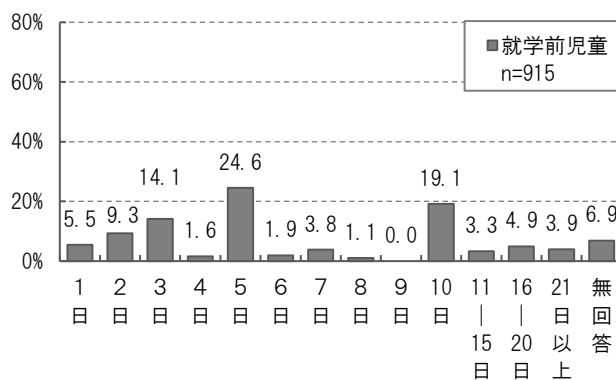
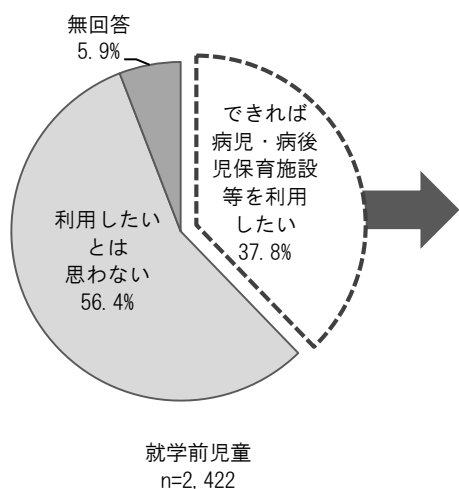


○父親・母親が休んだ方の病児・病後児保育施設の利用希望は、《中央》（44.9%）、《八尾・山田》（40.0%）で4割越えと高く、一方《大山》では（18.5%）と他の地域と比べて大幅に低くなっています。

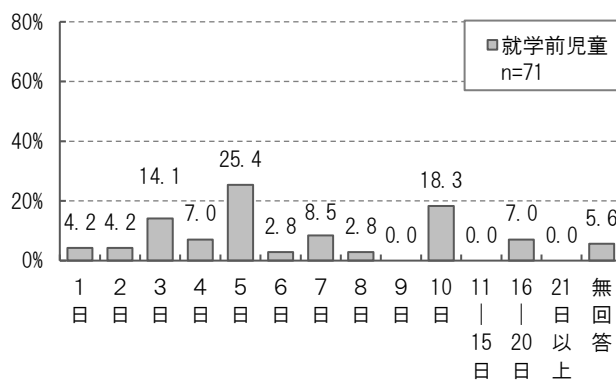
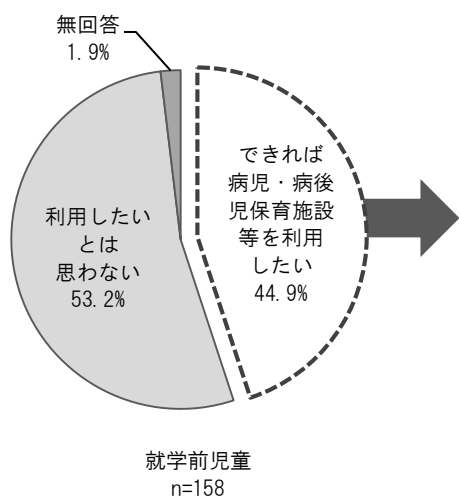
○利用日数をみると、「1日」～「5日」を希望するか「10日」と長く希望する割合が高く、「1日」～「5日」の地域別では《大山》（80.0%）で最も高く、次いで《婦中》で（71.7%）となった。「10日」を希望すると回答した割合は、《北部》（28.9%）、《呉羽》（28.1%）と2割後半の方が希望すると回答しています。

問21-2 父親・母親が休んで対処した方の病児・病後児保育施設の利用希望
問21-2.1 病児・病後児保育施設の利用希望日数

《市全域》



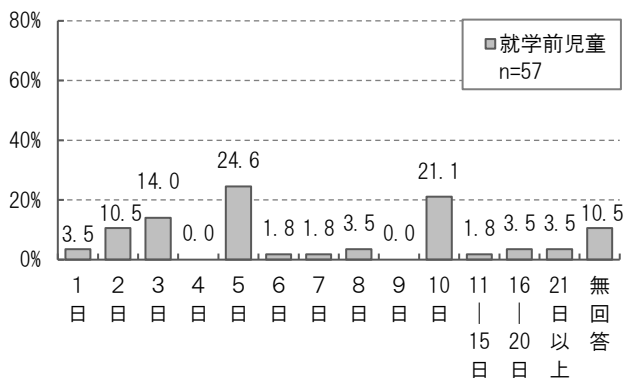
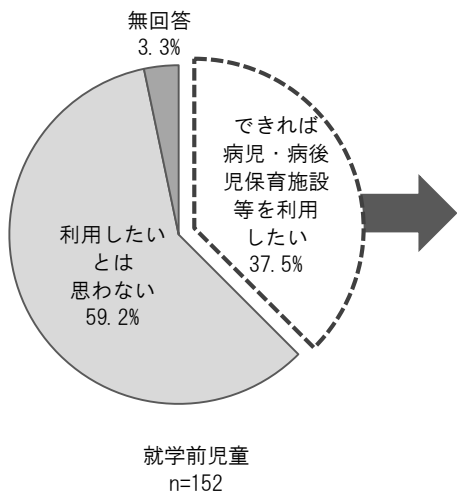
《中央》



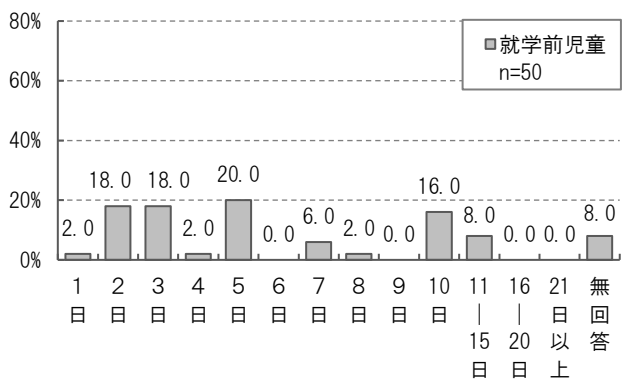
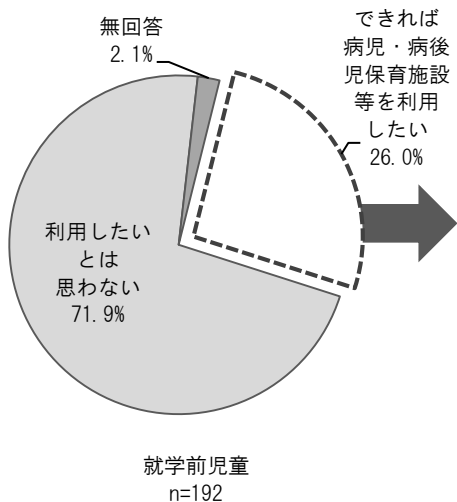
問21-2 父親・母親が休んで対処した方の
病児・病後児保育施設の利用希望

問21-2.1 病児・病後児保育施設の利用希望日数

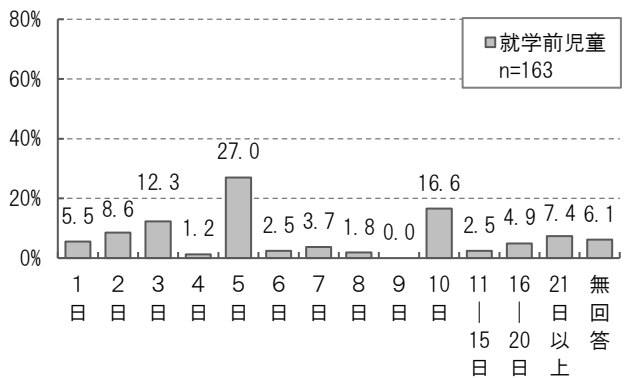
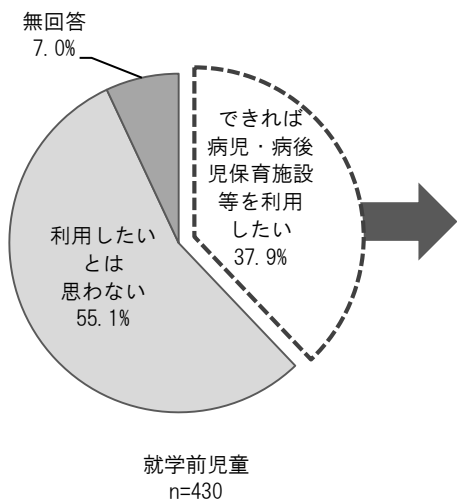
《東 部》



《西 部》



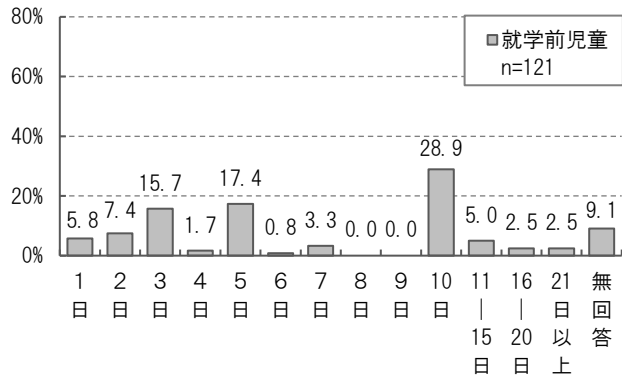
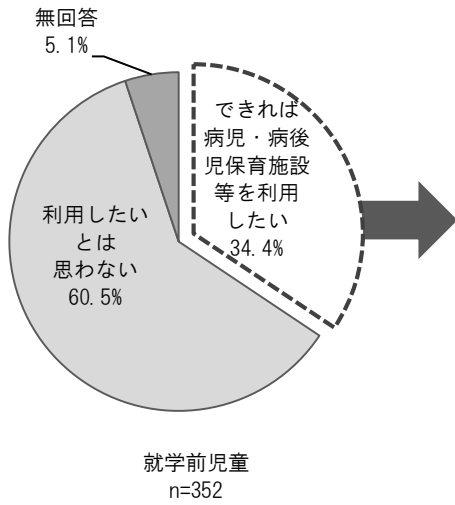
《南 部》



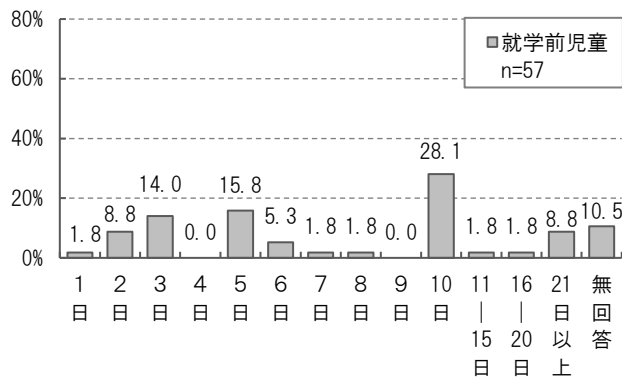
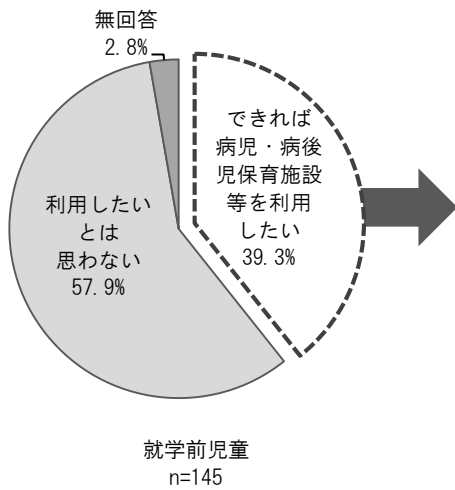
問21-2 父親・母親が休んで対処した方の
病児・病後児保育施設の利用希望

問21-2.1 病児・病後児保育施設の利用希望日数

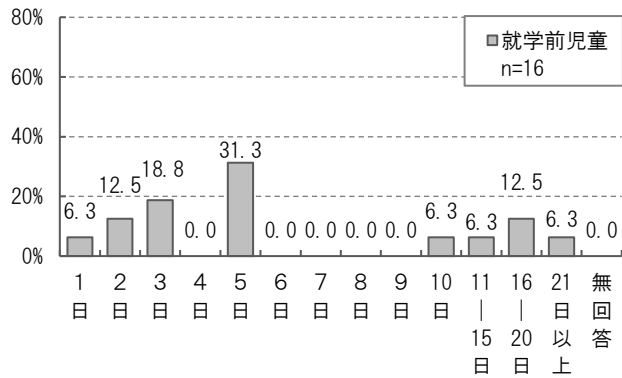
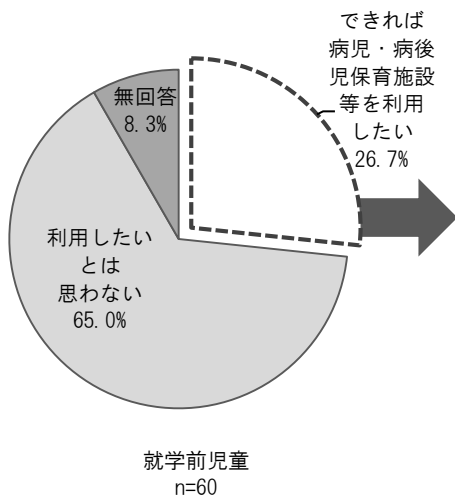
《北 部》



《呉 羽》

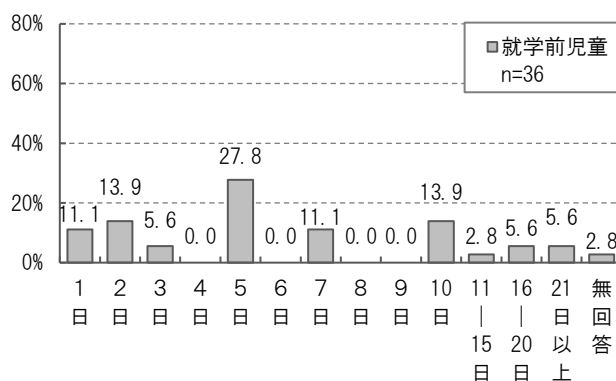
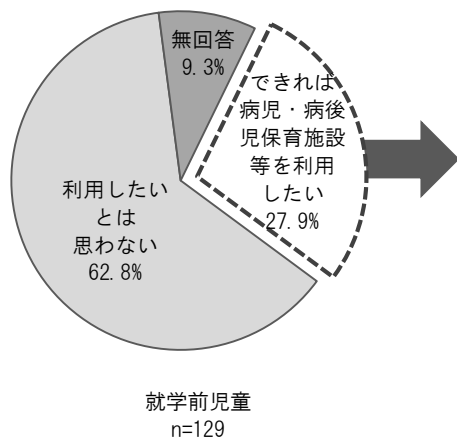


《水 橋》

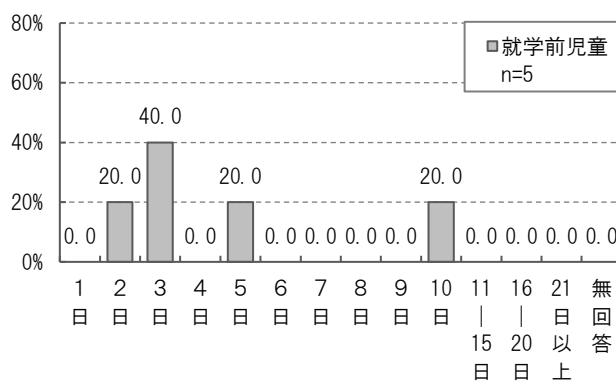
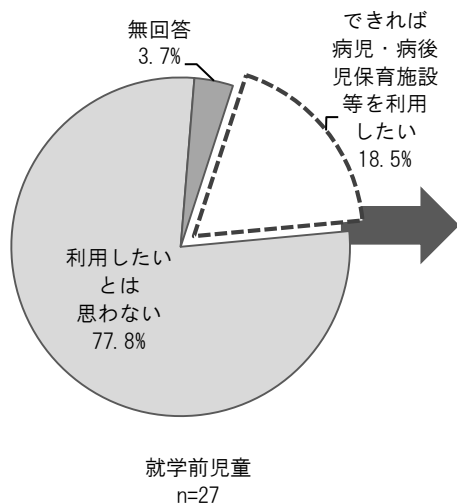


問21-2 父親・母親が休んで対処した方の 病児・病後児保育施設の利用希望
 問21-2.1 病児・病後児保育施設の利用希望日数

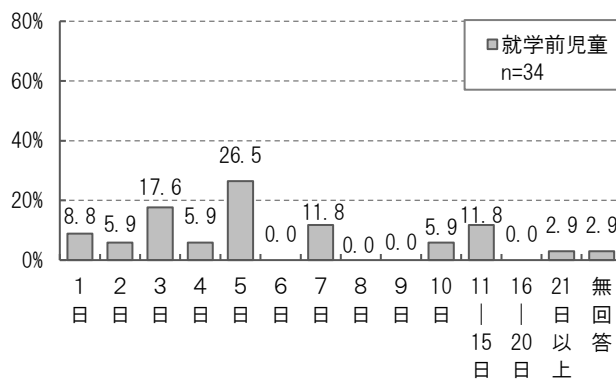
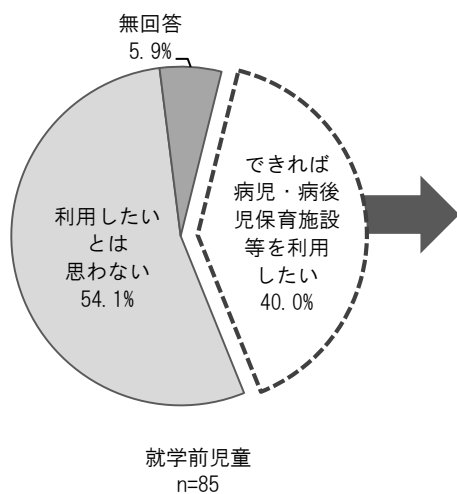
《大沢野・細入》



《大山》



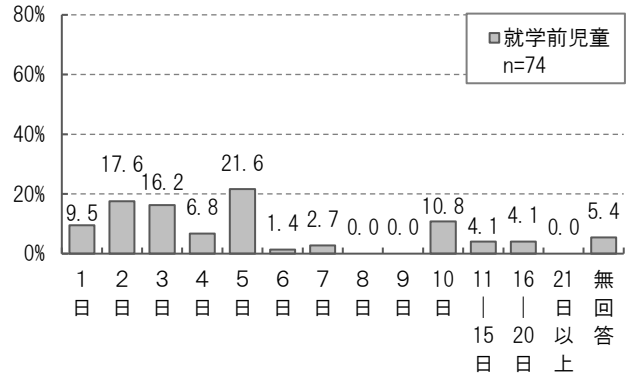
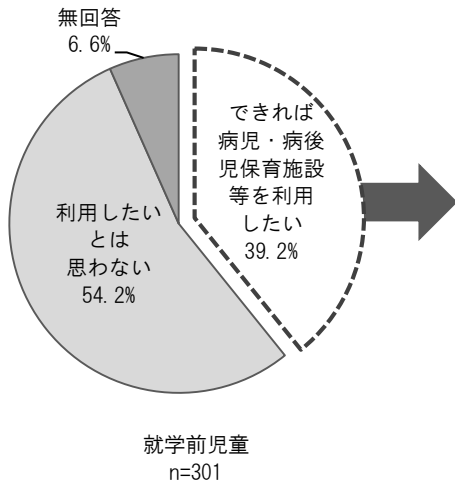
《八尾・山田》



問21-2 父親・母親が休んで対処した方の
病児・病後児保育施設の利用希望

問21-2.1 病児・病後児保育施設の利用希望日数

《婦 中》

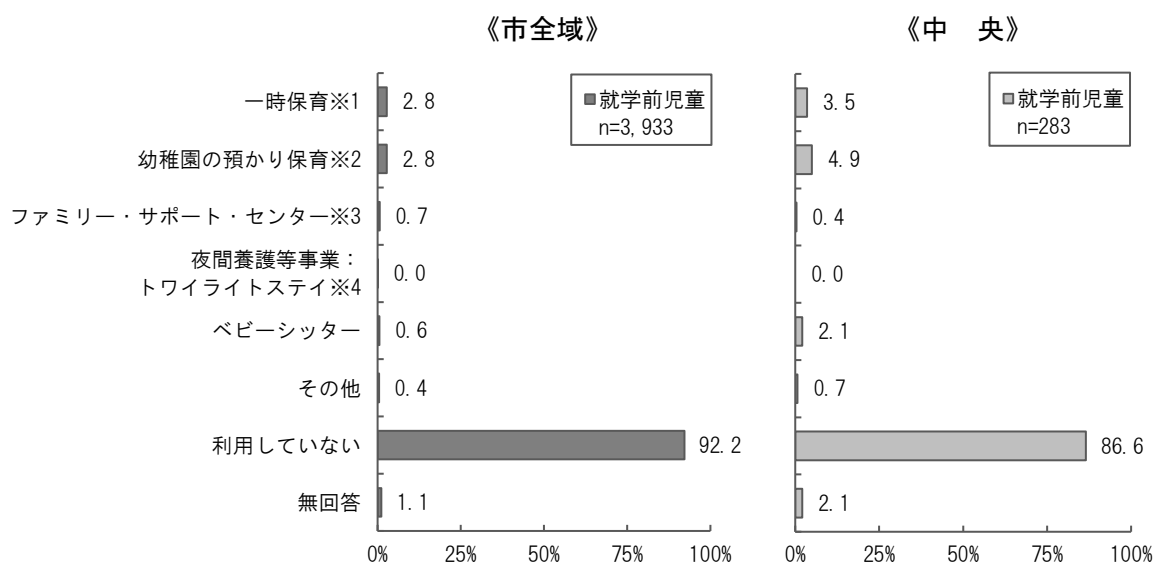


5 不定期的に利用している教育・保育事業や一時保育等について

(1) 不定期的に利用している教育・保育事業や一時保育等の状況

- 各事業とも、全ての地域で「利用していない」(86.6~100.0%) 割合が高く、事業の利用状況は、「一時保育」(0.0~4.1%)、「幼稚園の預かり保育」(0.0~5.7%) の利用比率が《市全域》で同割合となっています。
- 「一時保育」の利用者割合(0.0~4.1%) となっており、地域別では一番多い地域では《大沢野・細入》(4.1%) となっています。
- 「幼稚園の預かり保育」の利用者割合(0.0~5.7%) となっており、地域別では一番多い地域では、《婦中》(5.7%) となっています。「一時保育」と同じく、どちらの利用状況も大変低くなっています。

問22 不定期的に利用している教育・保育事業



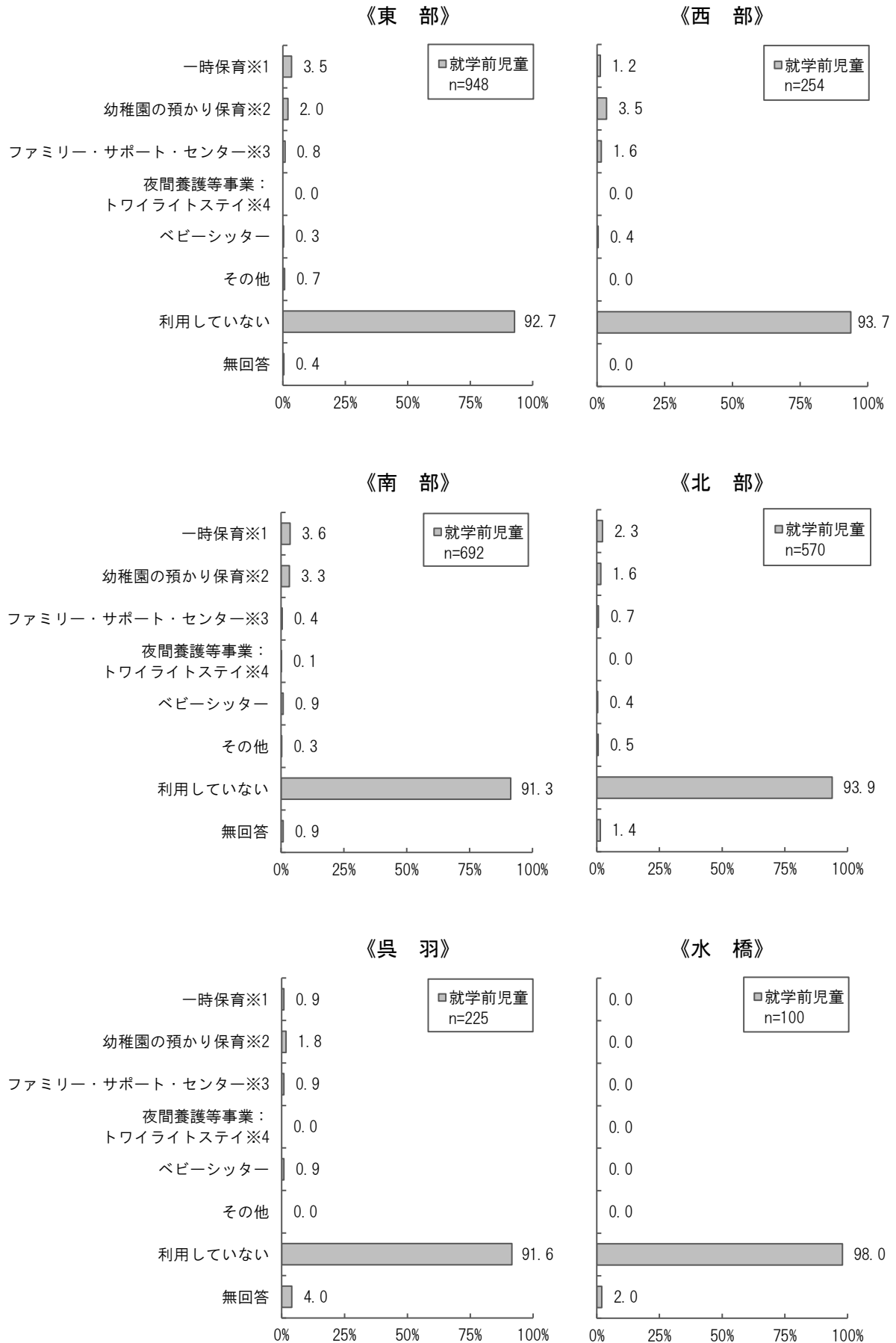
※1 一時保育：私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業

※2 通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期的に利用する場合のみ子どもを預かる事業

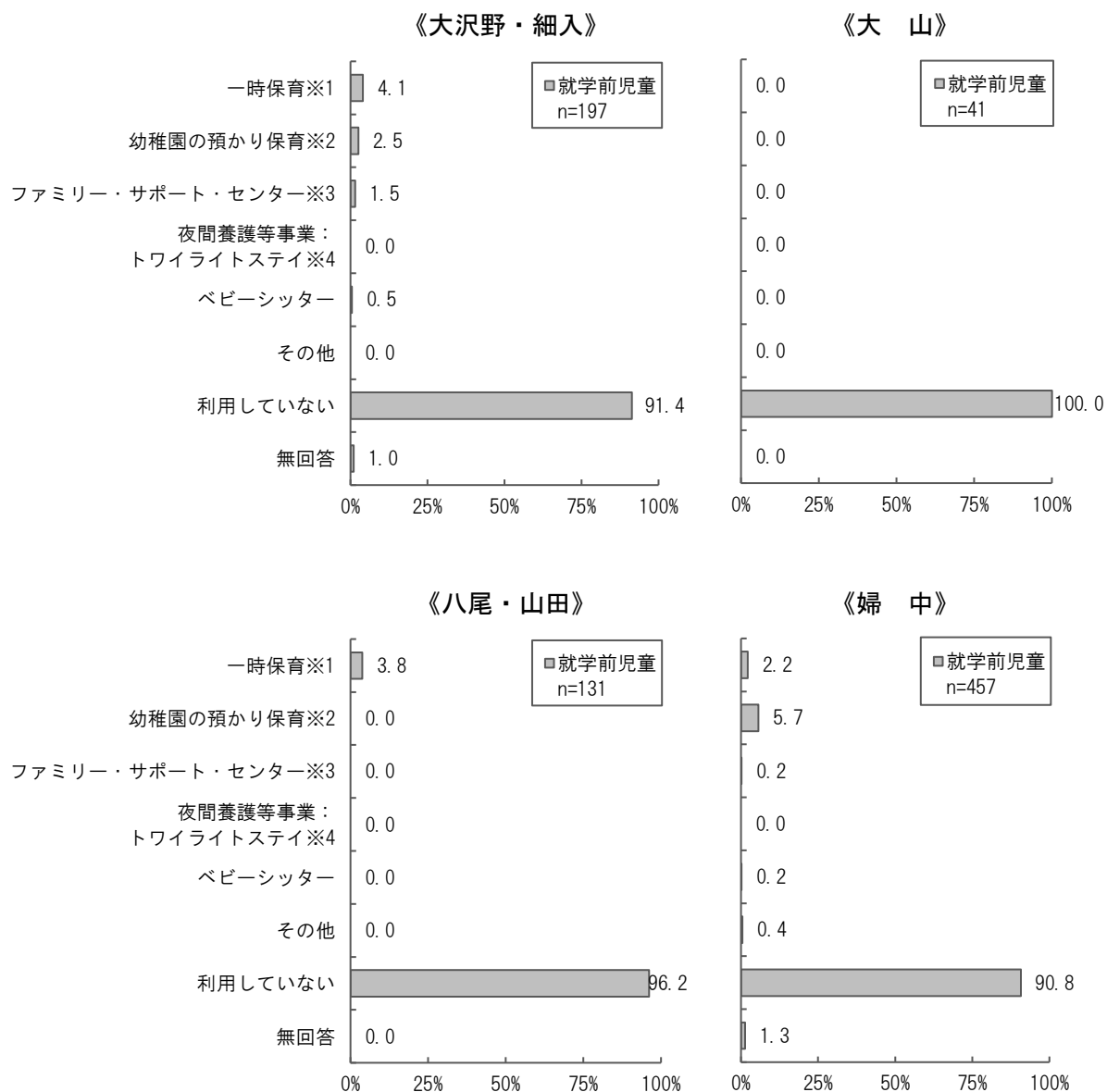
※3 子育てのお手伝いができる方(協力会員)が、子育てを手伝ってほしい方(依頼会員)の子育てをサポートする事業

※4 児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業

問22 不定期に利用している教育・保育事業

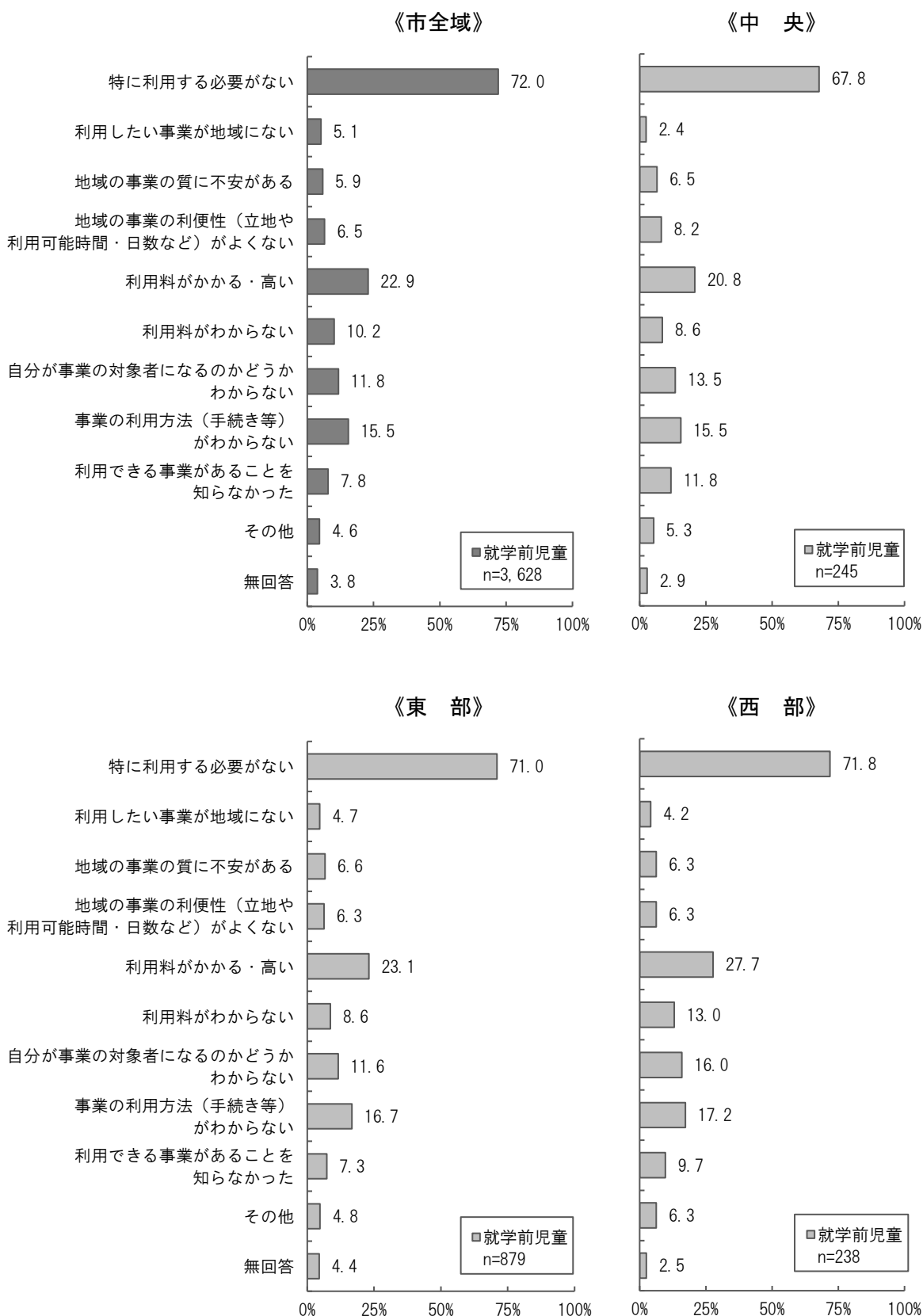


問22 不定期に利用している教育・保育事業

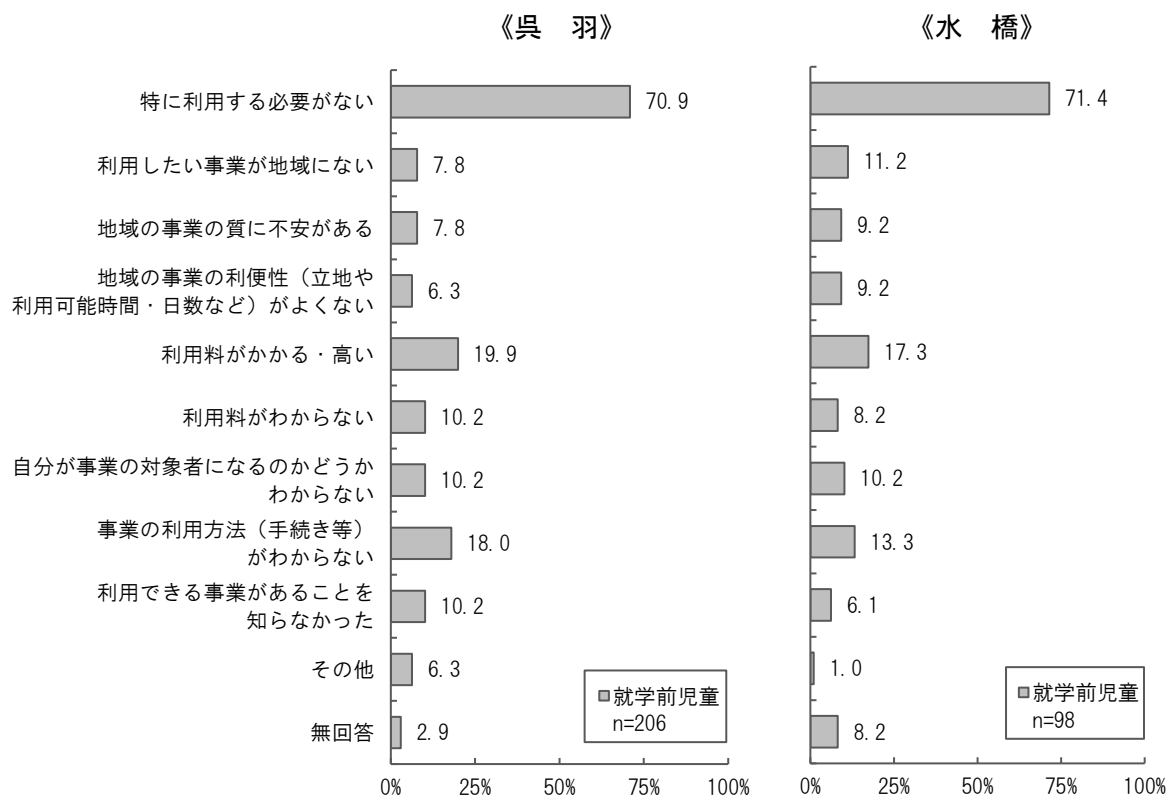
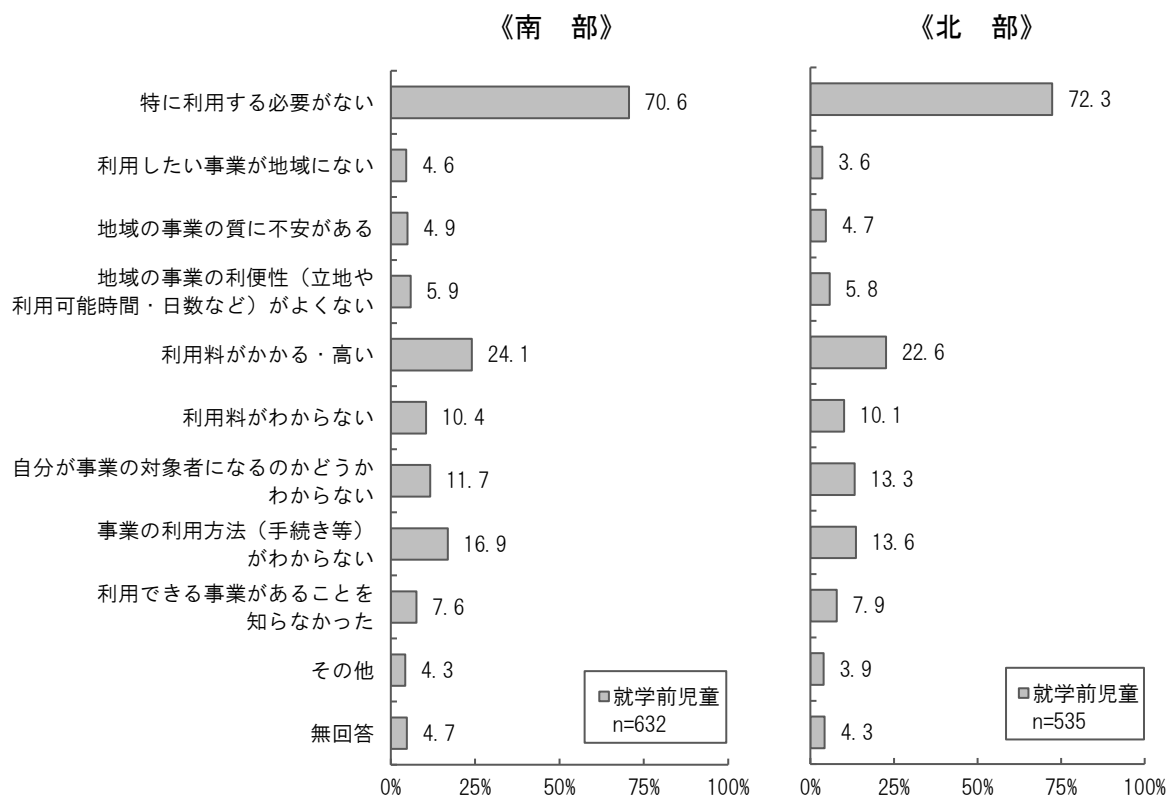


○事業を利用していない理由をみると、全ての地域で「特に利用する必要がない」(67.8～82.5%)と回答した割合が最も高くなっています。地域別では《八尾・山田》(82.5%)と最も高くなっています。

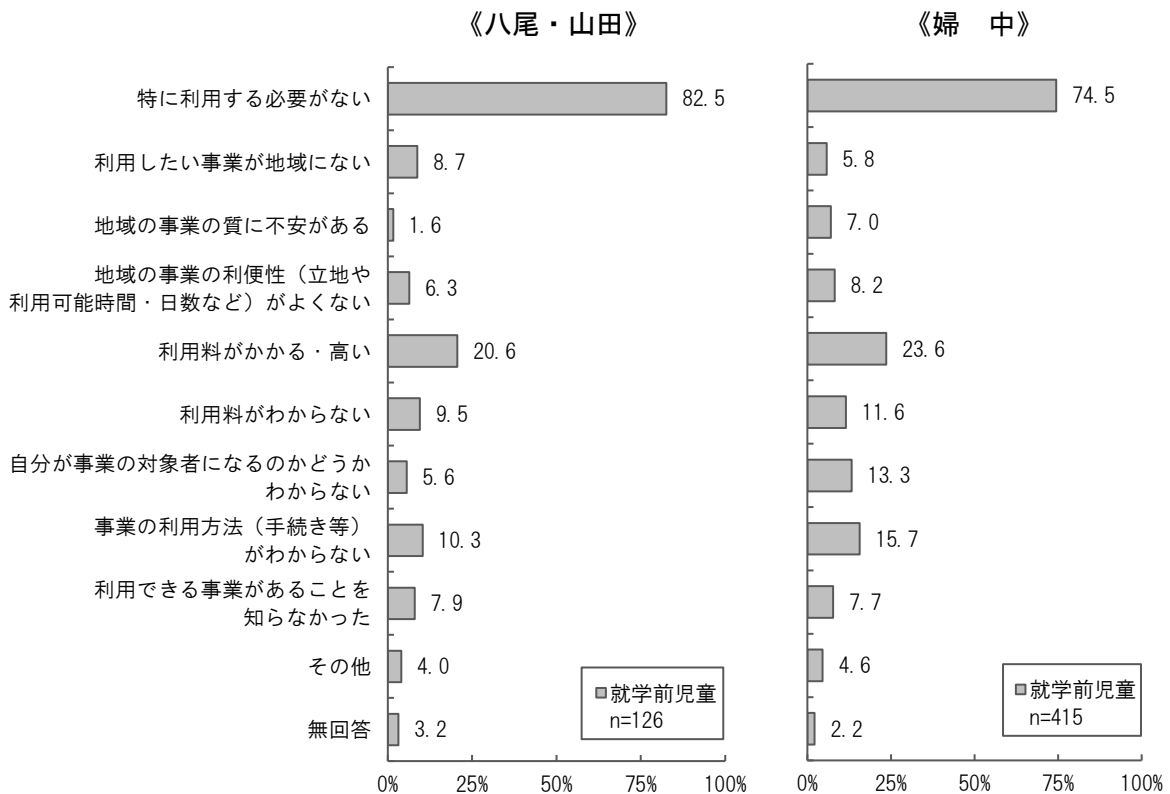
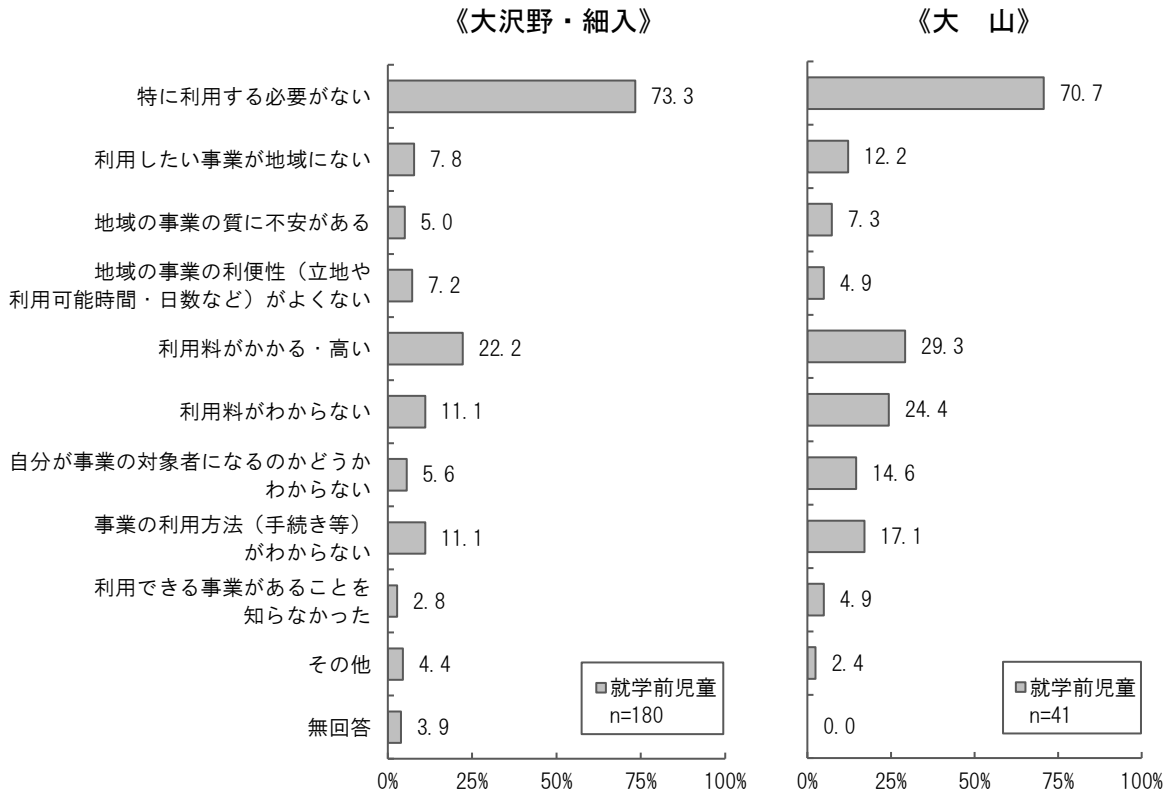
問22-1 現在利用していない理由



問22-1 現在利用していない理由



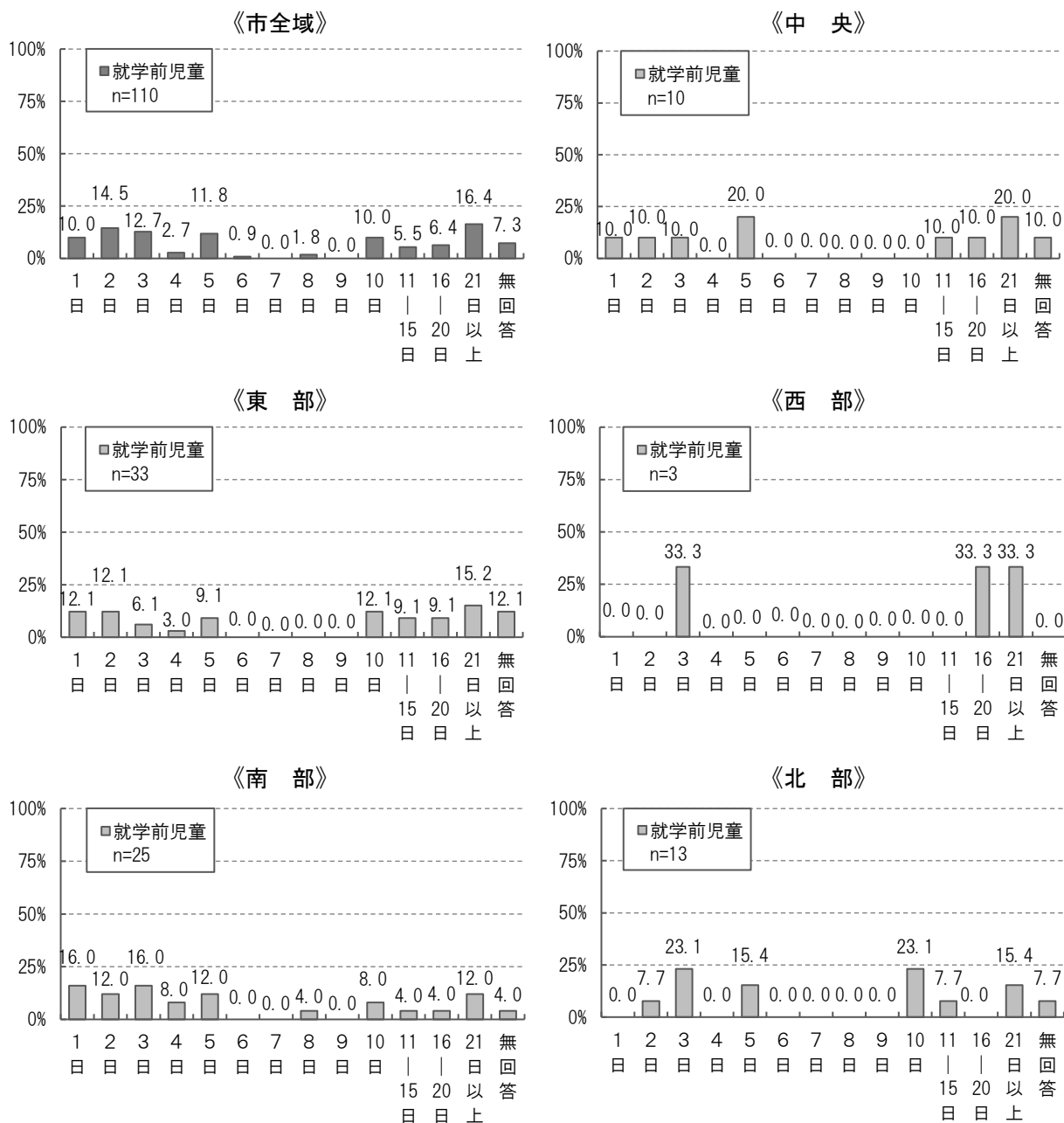
問22-1 現在利用していない理由



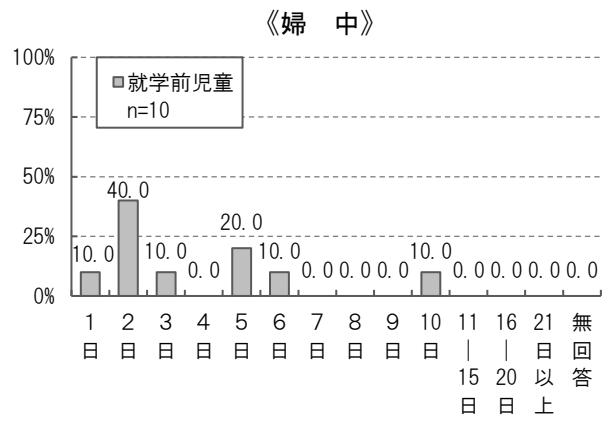
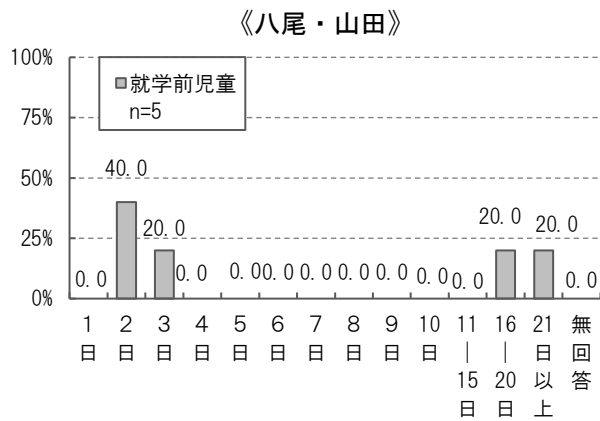
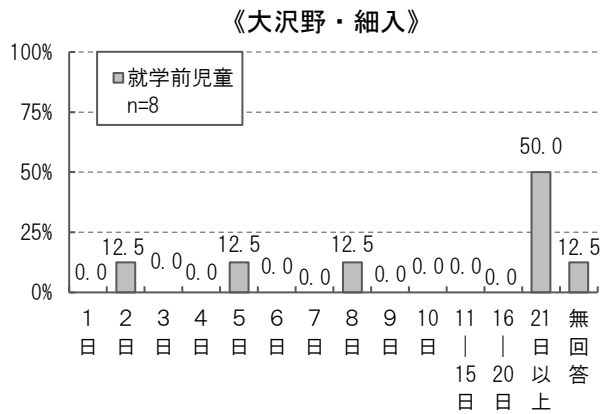
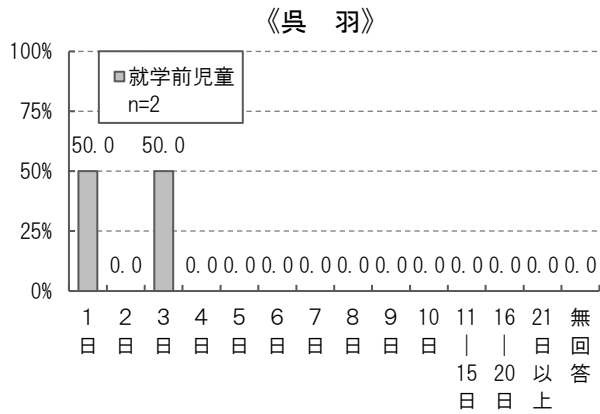
〇一時保育の年間利用日数をみると、全ての地域で「1日」～「5日」(25.0～80.0%)、「21日以上」の利用が多くなっています。「21日以上」の地域別では、《大沢野・細入》で(50.0%)と高くなっています。

(《水橋》、《大山》は対象者が0のため、コメントを省略します。)

問22.1 「一時保育」年間利用日数



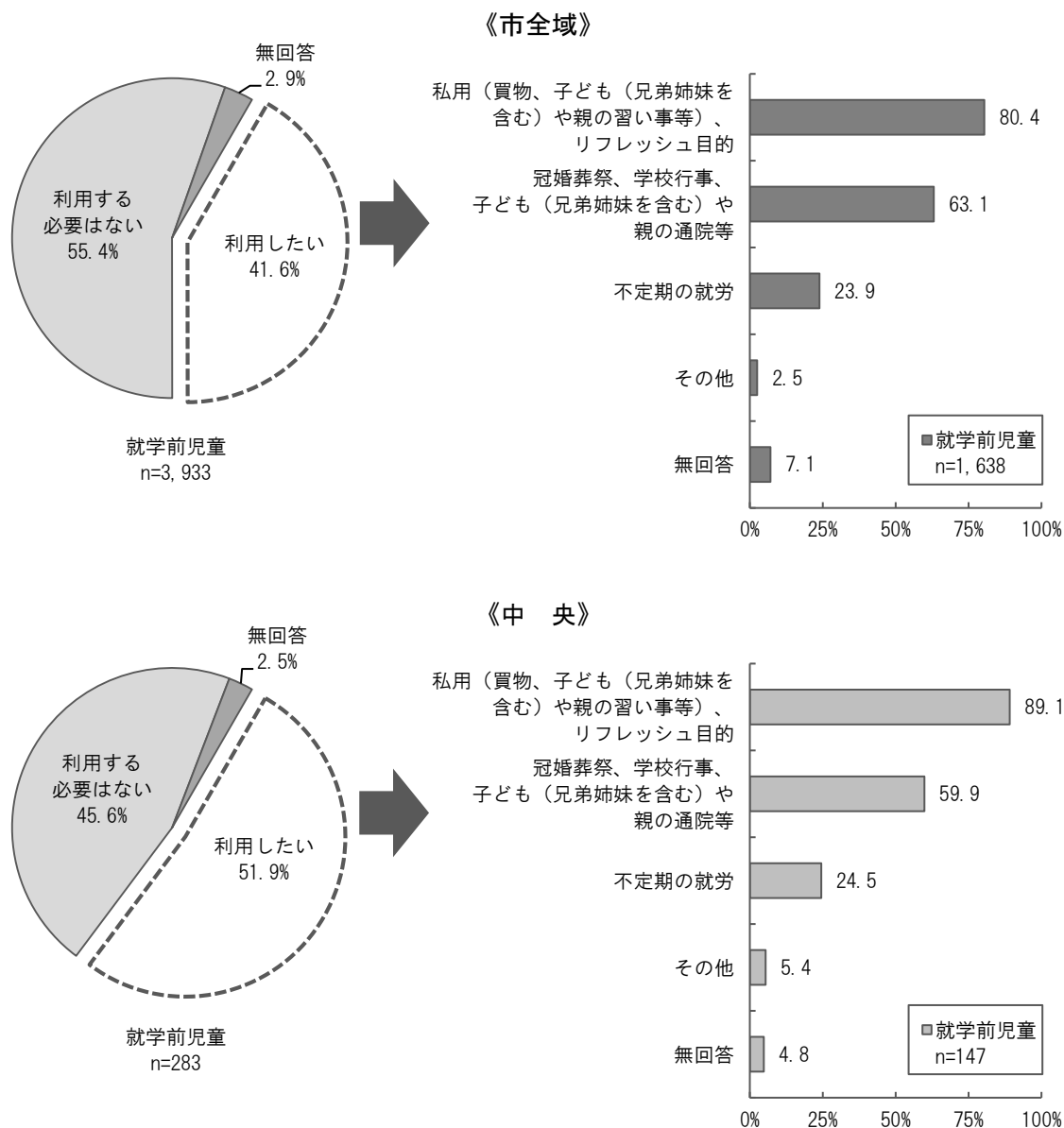
問22.1 「一時保育」年間利用日数



※《水橋》、《大山》は対象者が0の為、記載していません。

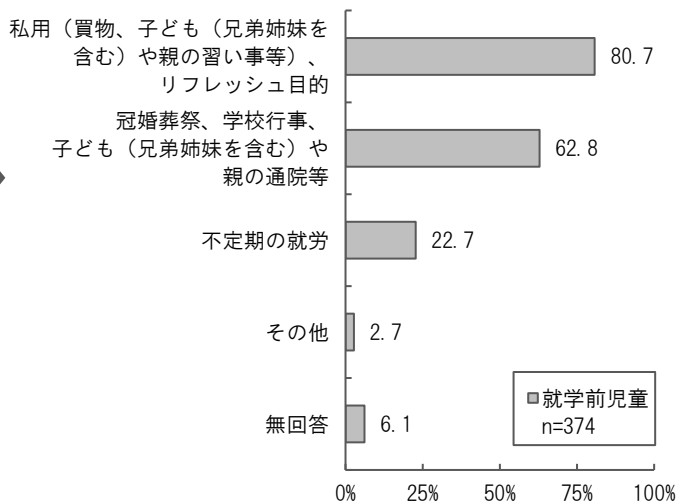
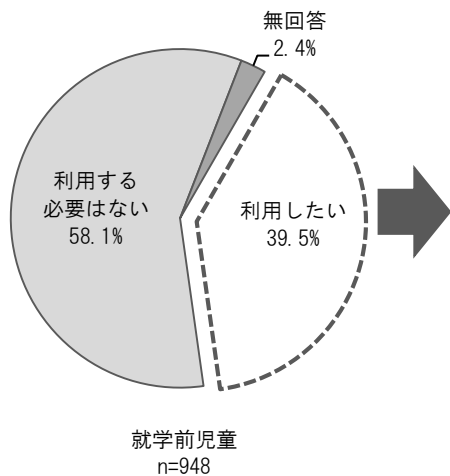
- 不定期に利用する事業の利用希望について、「利用したい」割合は《中央》(51.9%)、《婦中》(44.2%)、《南部》(44.1%)で高く、《水橋》(25.0%)を除いて、その他の地域においても3割以上となっています。
- 「利用したい」と回答した方の利用目的をみると、「私用、リフレッシュ目的」(72.2～89.1%)が最も高い割合となっています。《大山》では「私用、リフレッシュ目的」、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」(76.9%)と、同比率となっています。

問23.1 不定期に利用する事業の利用希望とその目的

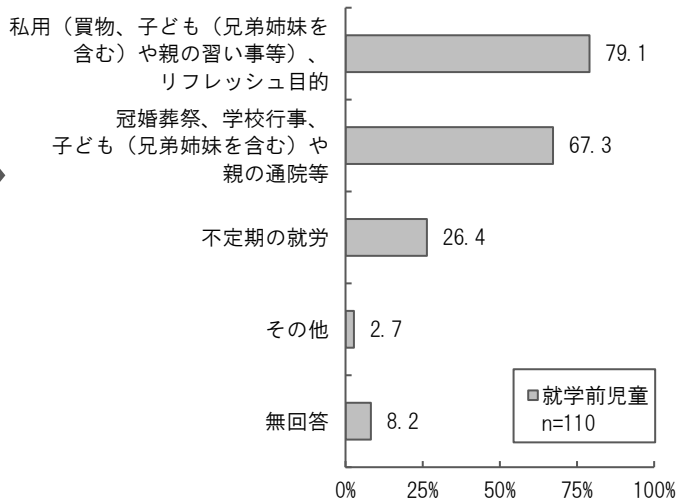
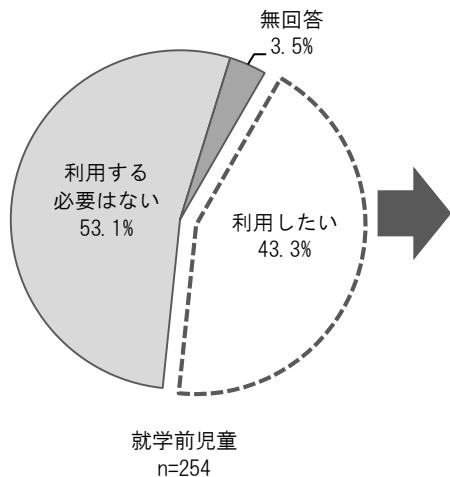


問23.1 不定期に利用する事業の利用希望とその目的

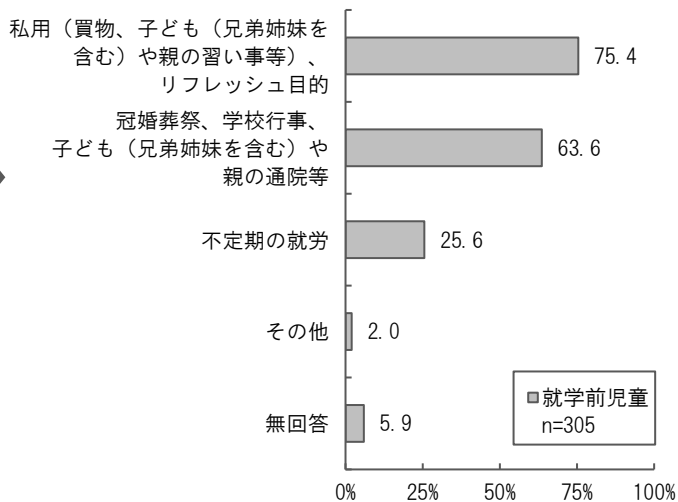
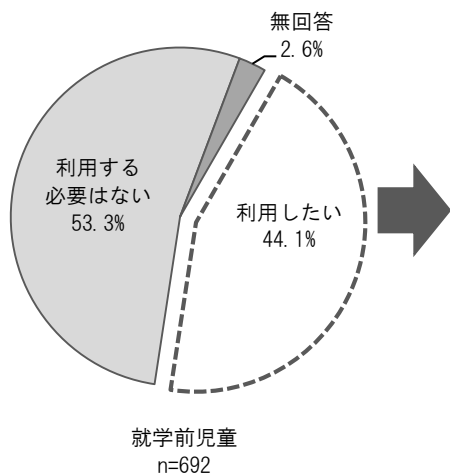
《東 部》



《西 部》

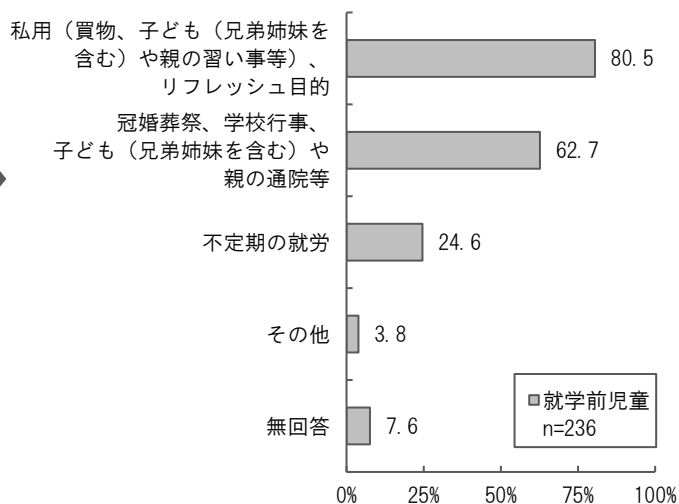
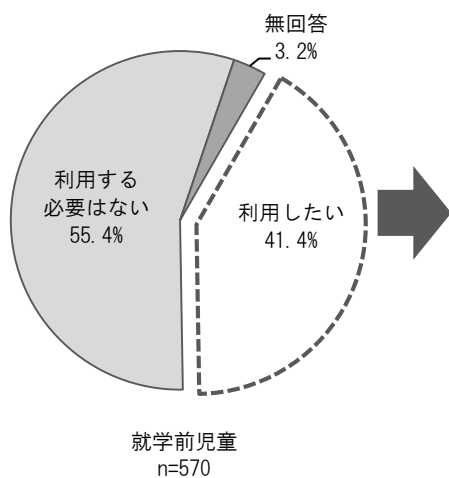


《南 部》

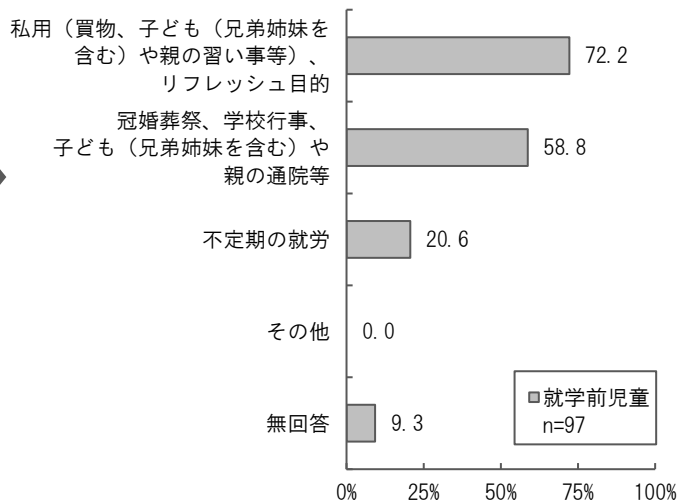
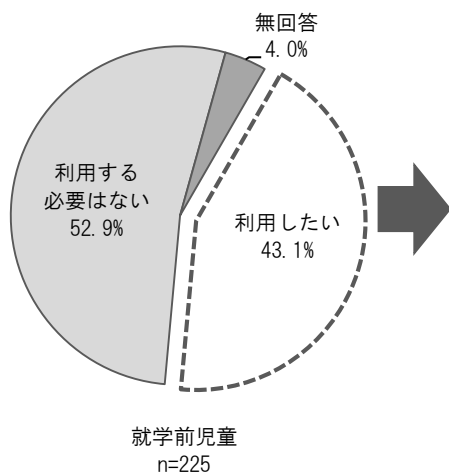


問23.1 不定期に利用する事業の利用希望とその目的

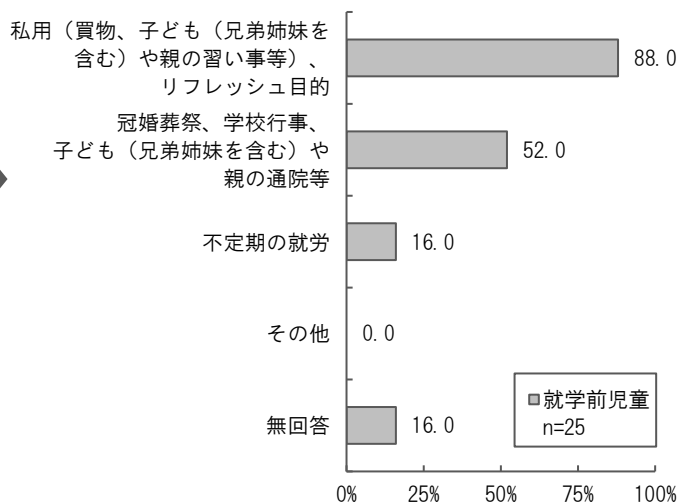
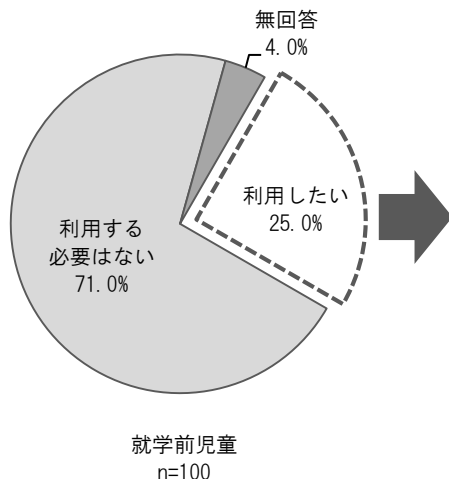
《北 部》



《呉 羽》

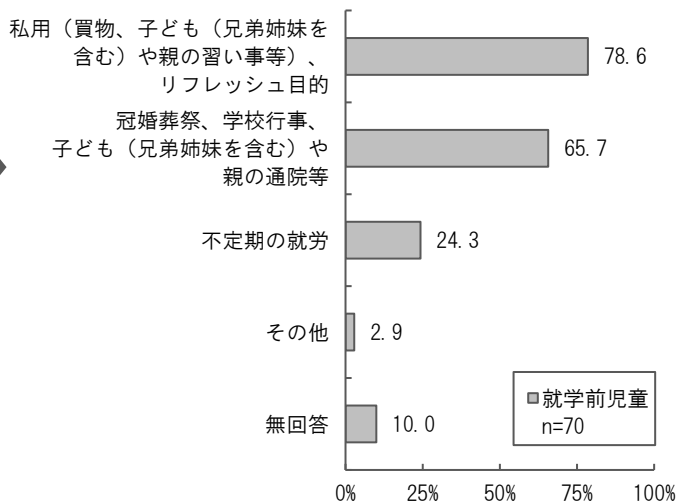
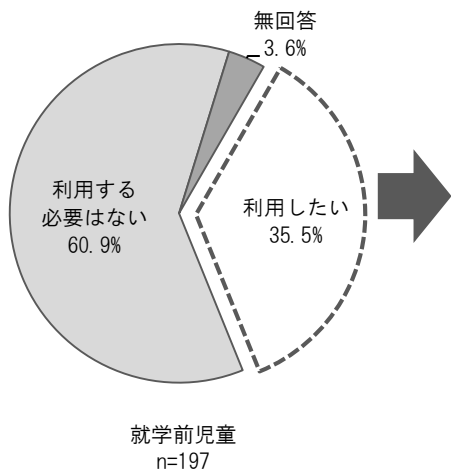


《水 橋》

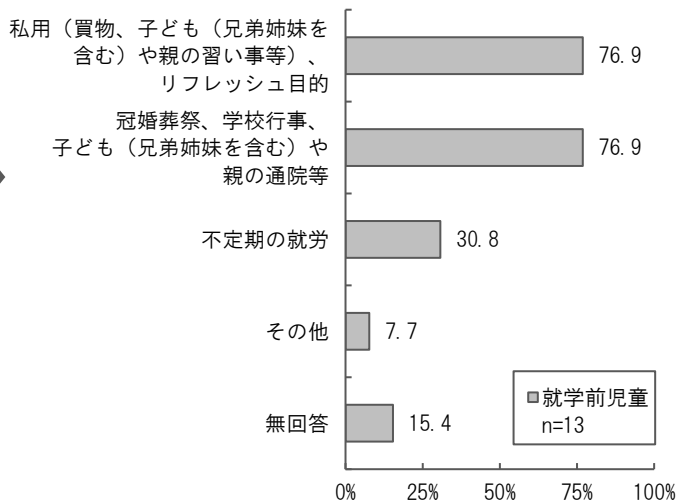
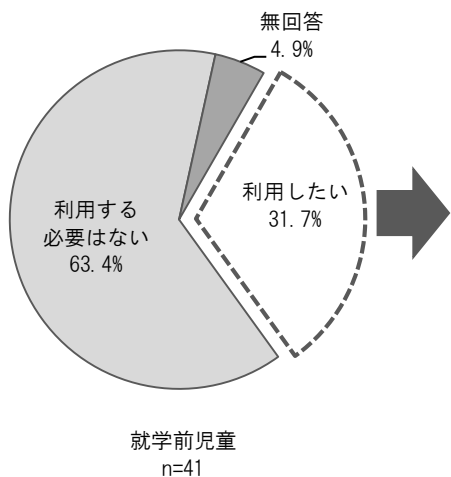


問23.1 不定期に利用する事業の利用希望とその目的

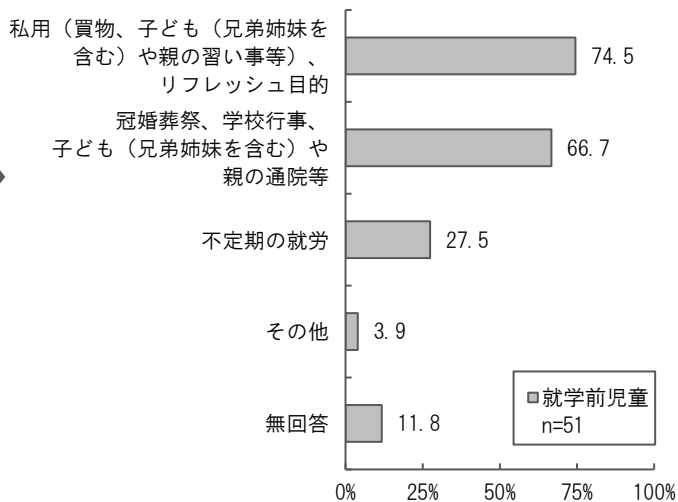
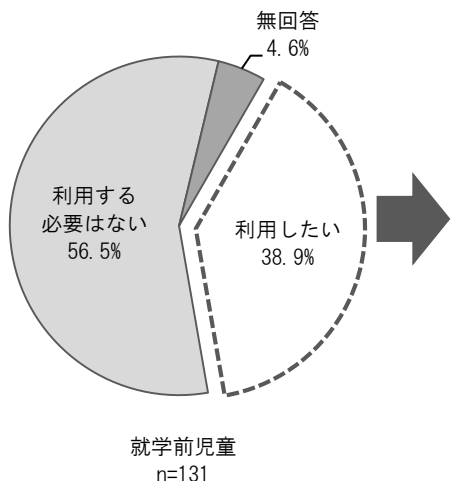
《大沢野・細入》



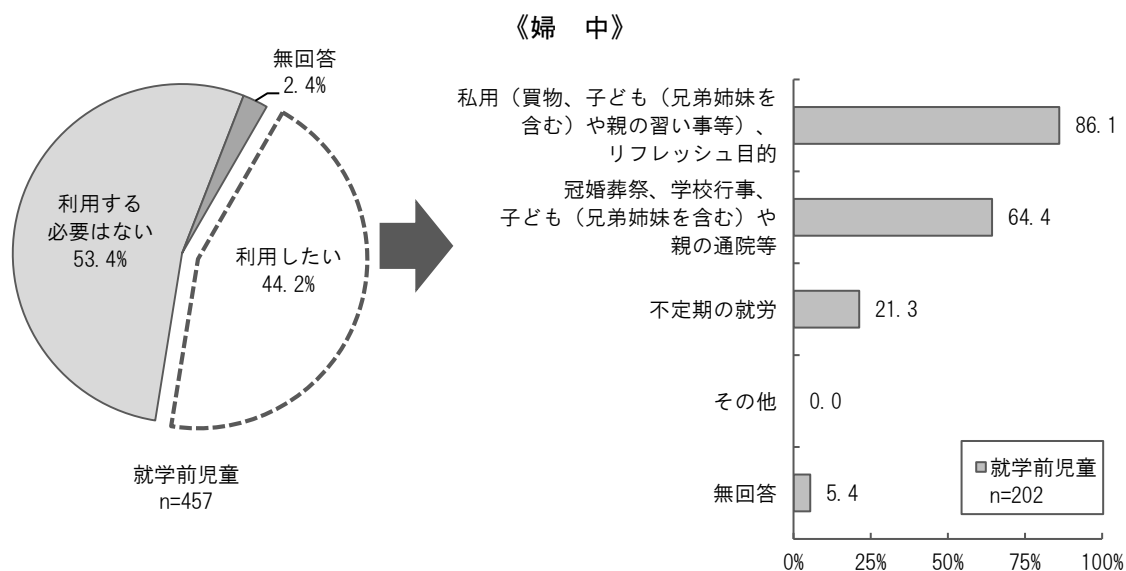
《大 山》



《八尾・山田》



問23.1 不定期に利用する事業の利用希望とその目的

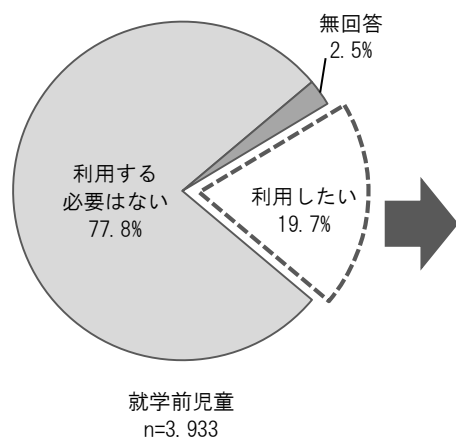


(2) 宿泊を伴う保育の利用状況

○この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族（同居）以外に預ける利用希望について、「利用したい」割合は（9.0～24.0%）となっています。

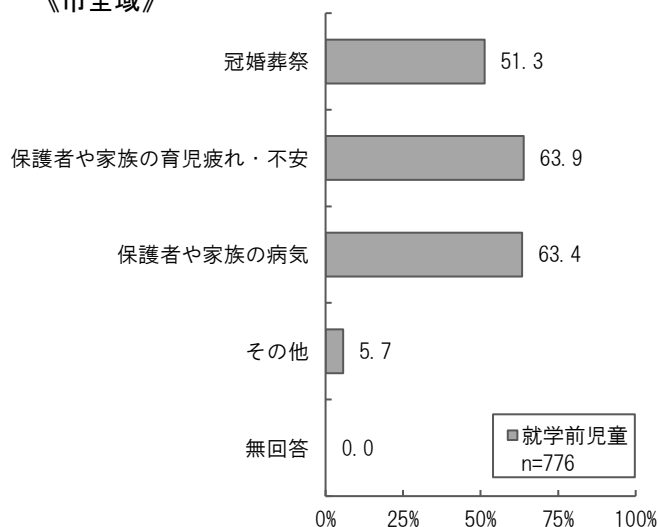
○「利用したい」と回答した方の利用目的を地域別でみると「保護者や家族の育児疲れ・不安」では、《中央》（72.1%）が最も高く、《水橋》（44.4%）が最も低い割合となっています。「保護者や家族の病気」では、《大山》（83.3%）が最も高く、《呉羽》（46.2%）が最も低い割合となっています。

問24 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望

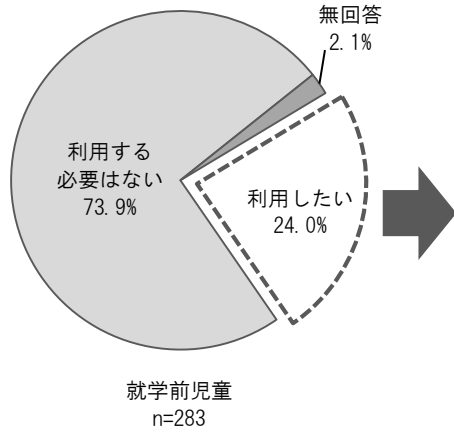


問24.1 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用目的

《市全域》

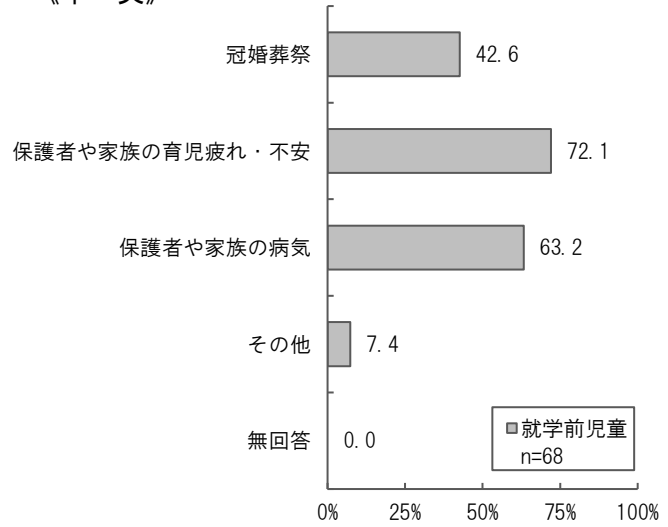


問24 短期入所生活援助事業
(ショートステイ)の利用希望

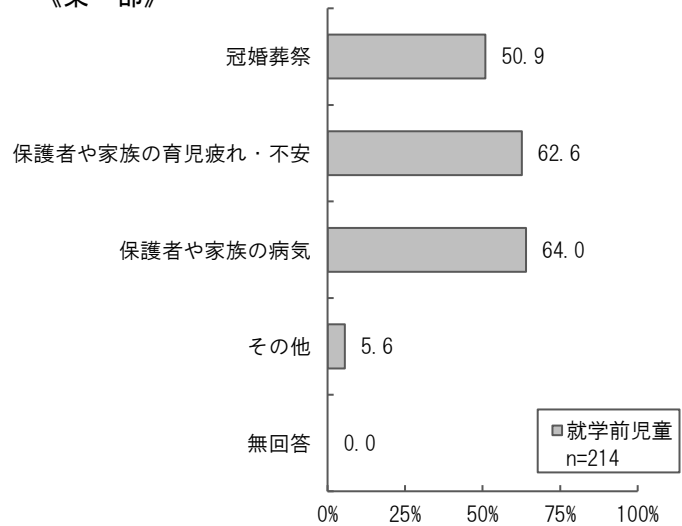
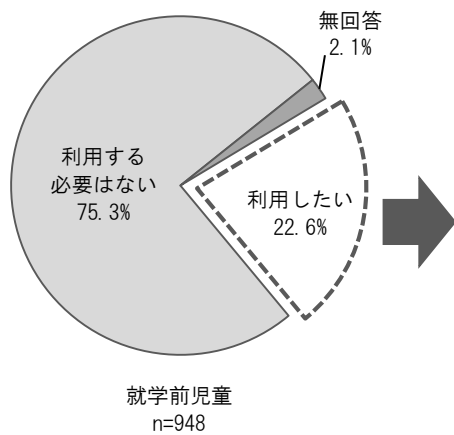


問24.1 短期入所生活援助事業
(ショートステイ)の利用目的

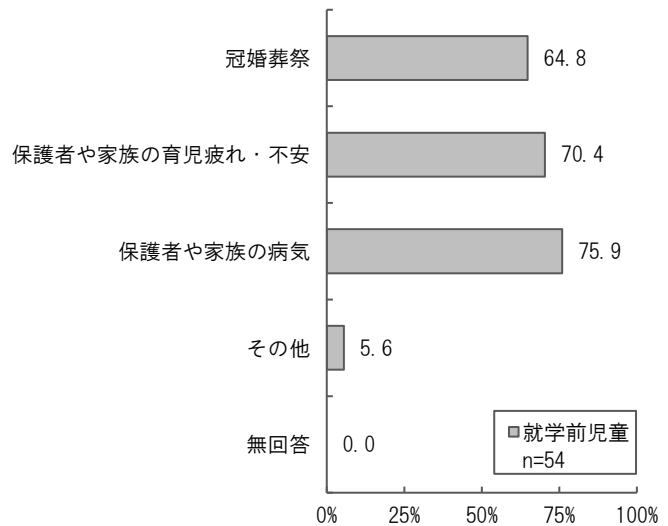
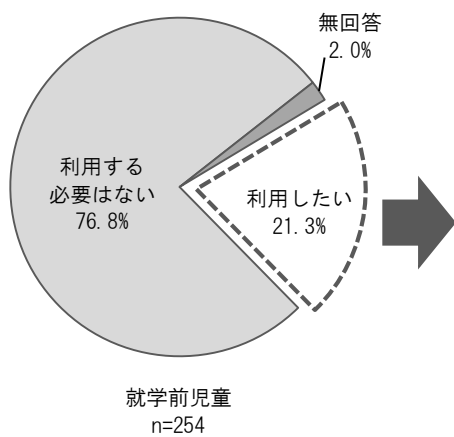
《中央》



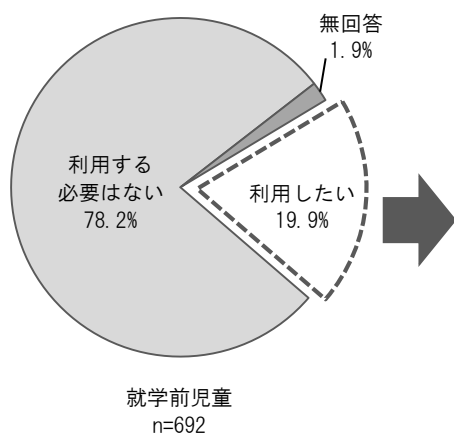
《東 部》



《西 部》

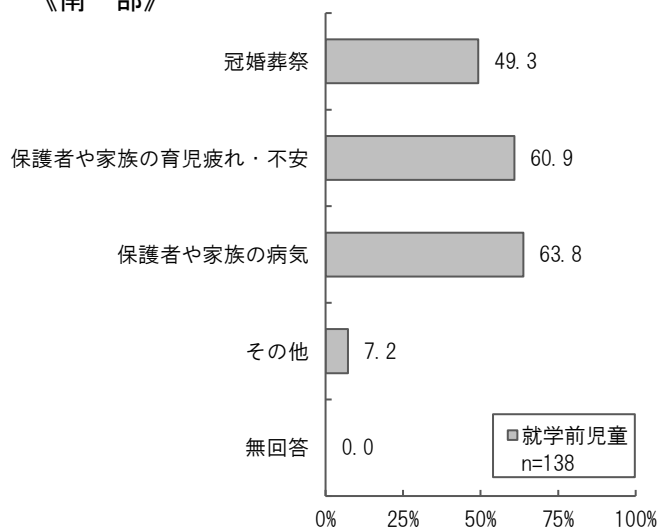


問24 短期入所生活援助事業
(ショートステイ)の利用希望

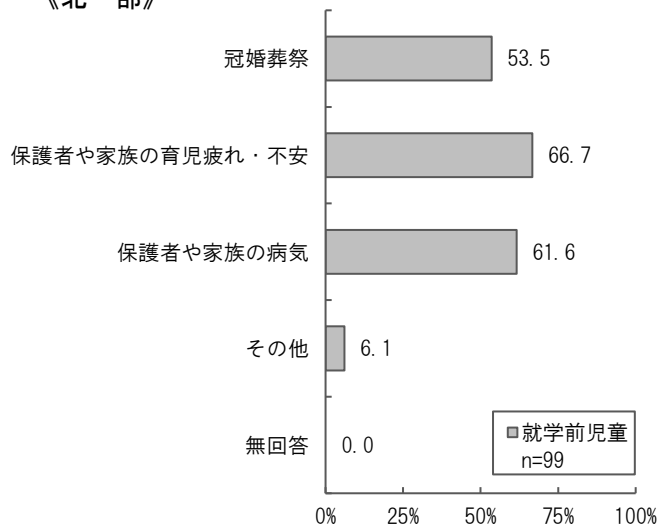


問24.1 短期入所生活援助事業
(ショートステイ)の利用目的

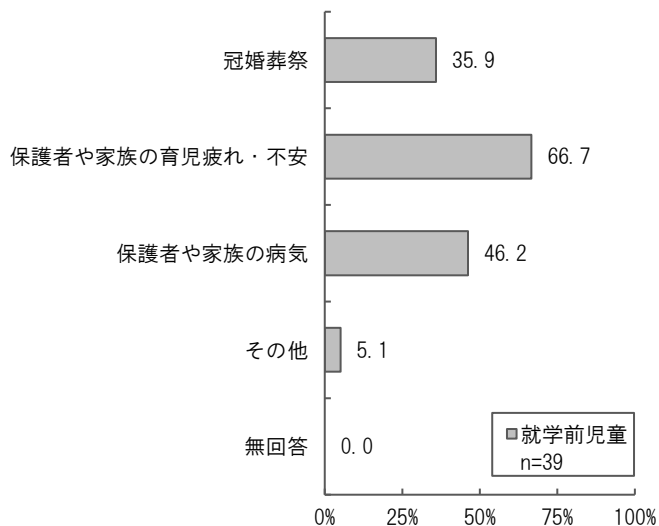
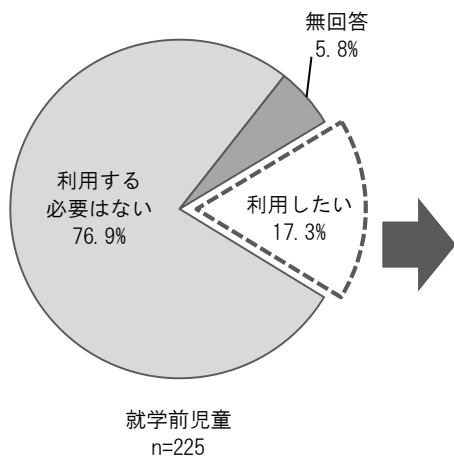
《南部》



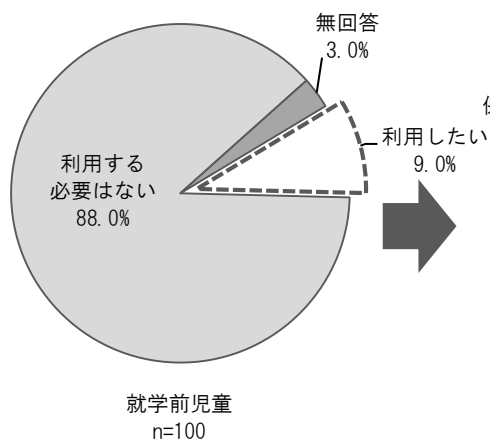
《北部》



《呉羽》

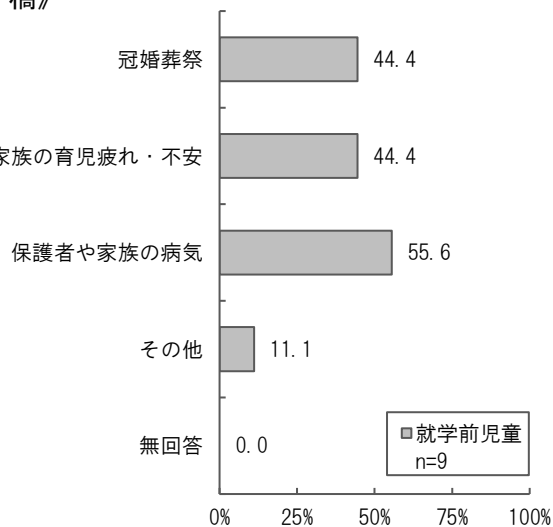


問24 短期入所生活援助事業
(ショートステイ)の利用希望

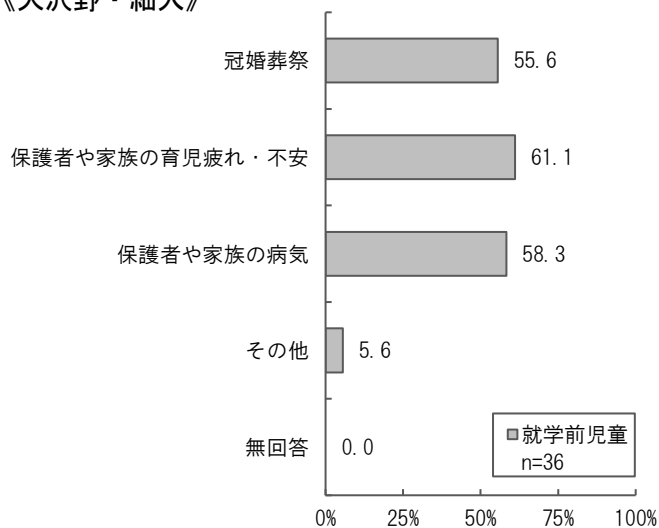
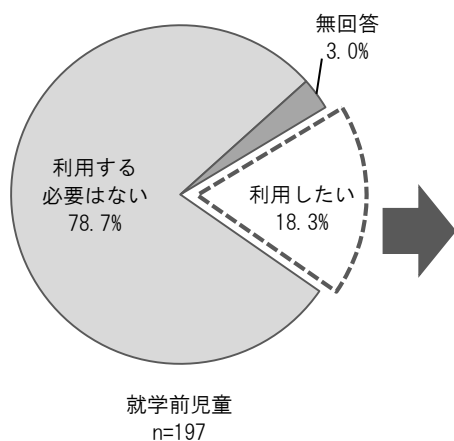


問24.1 短期入所生活援助事業
(ショートステイ)の利用目的

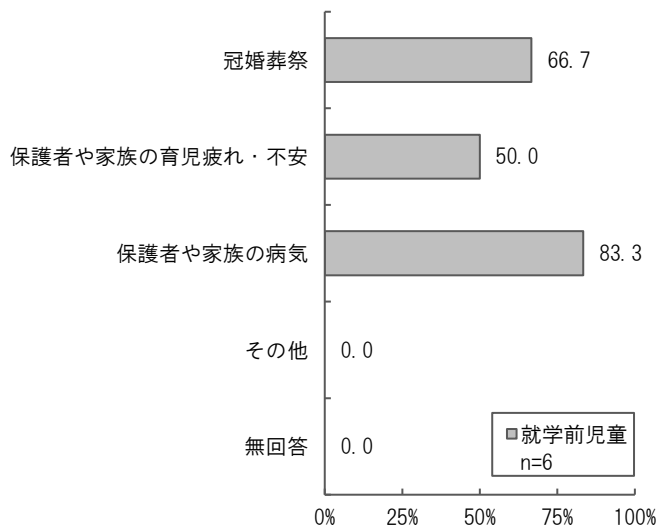
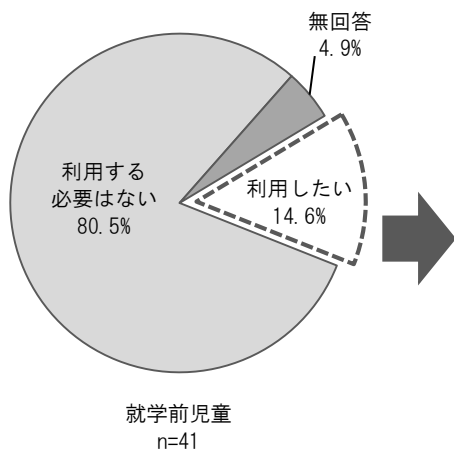
《水 橋》



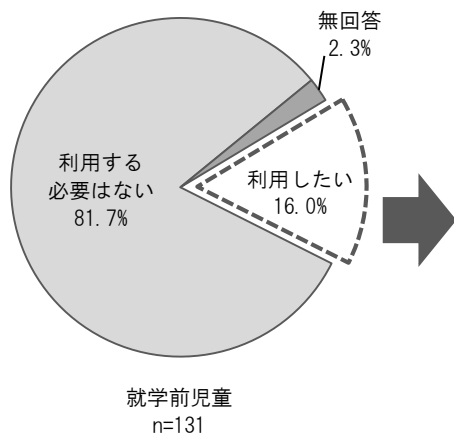
《大沢野・細入》



《大 山》

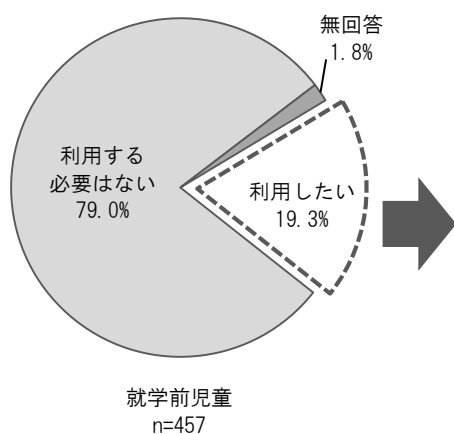
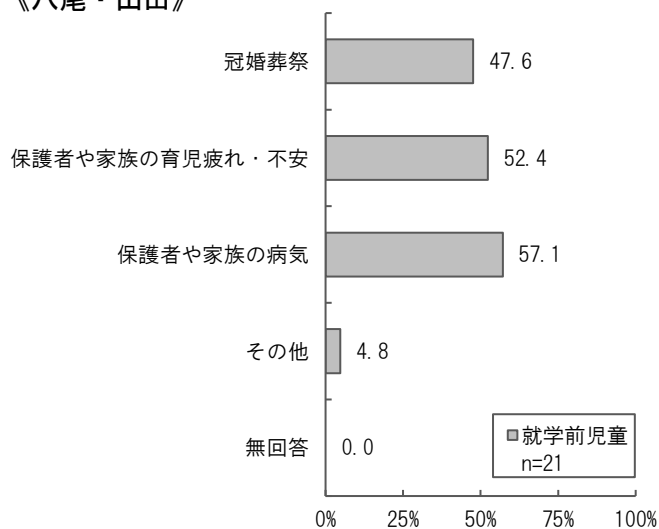


問24 短期入所生活援助事業
(ショートステイ)の利用希望

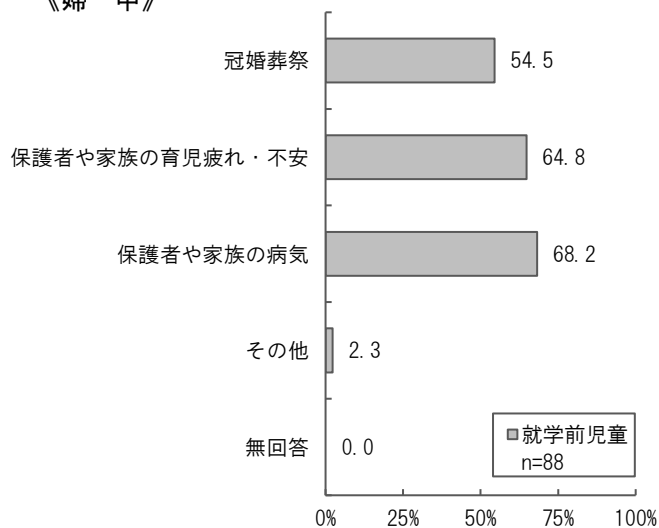


問24.1 短期入所生活援助事業
(ショートステイ)の利用目的

《八尾・山田》



《婦 中》



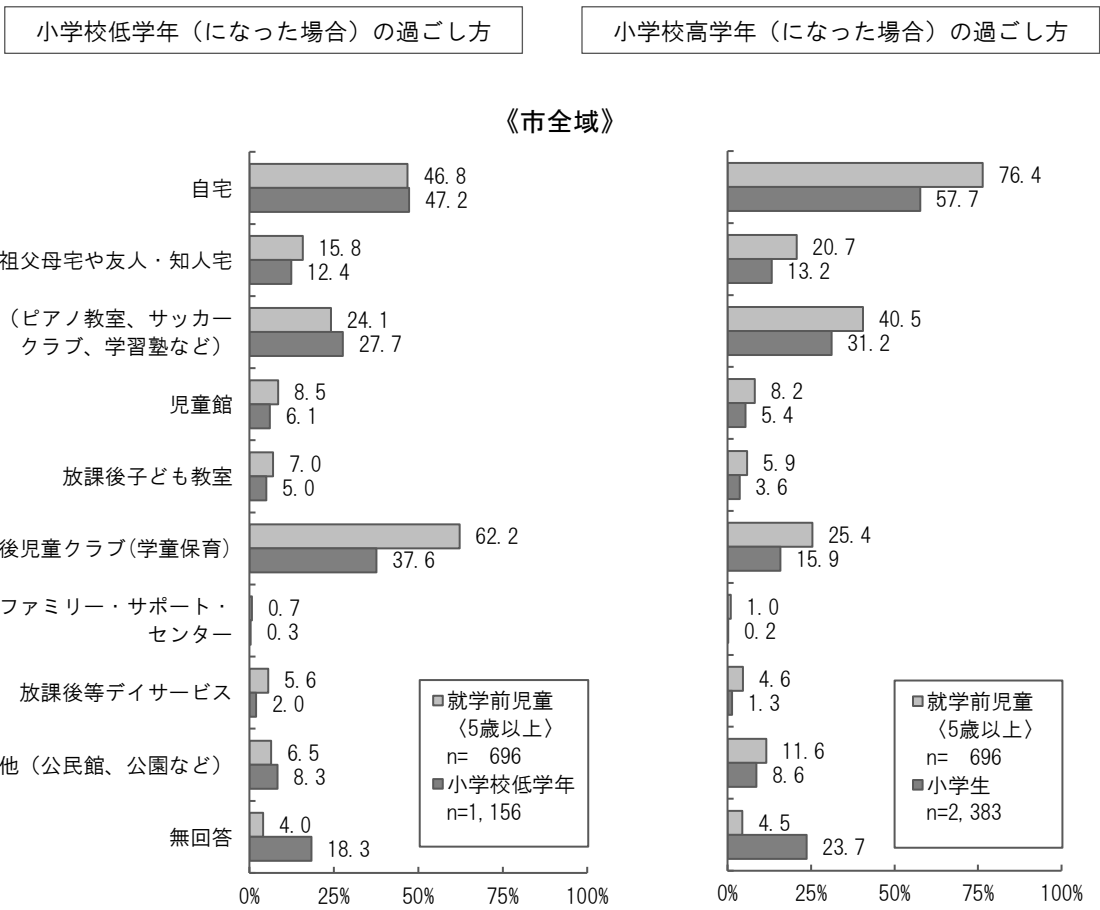
6 放課後の過ごし方について

(1) 平日の放課後の過ごし方

○低学年時期における放課後の過ごし方の希望については、就学前児童では、《大沢野・細入》を除いた地域で、「放課後児童クラブ」(54.2~84.2%)が最も高い割合となっています。小学校低学年では、《呉羽》《大山》《八尾・山田》を除いた地域で「自宅」(43.6~58.1%)、《呉羽》《大山》《八尾・山田》では「放課後児童クラブ(学童保育)」(49.1~53.3%)が最も高くなっています。

○高学年時期における放課後の過ごし方の希望については、就学前児童では、全地域で「自宅」(55.9~85.5%)が最も高く、《水橋》、《八尾・山田》を除いた地域で、2位に「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(32.4~58.0%)となっています。小学生では、全地域で「自宅」(51.5~64.3%)が最も高く、《大山》《八尾・山田》を除いた地域で、2位に「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(24.5~41.4%)となっています。《大山》では、2位に「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」と「放課後児童クラブ(学童保育)」(ともに29.5%)、《八尾・山田》では、2位が「放課後児童クラブ(学童保育)」(27.5%)となっています。

問25[問12]・問26[問13] 放課後の過ごし方の希望

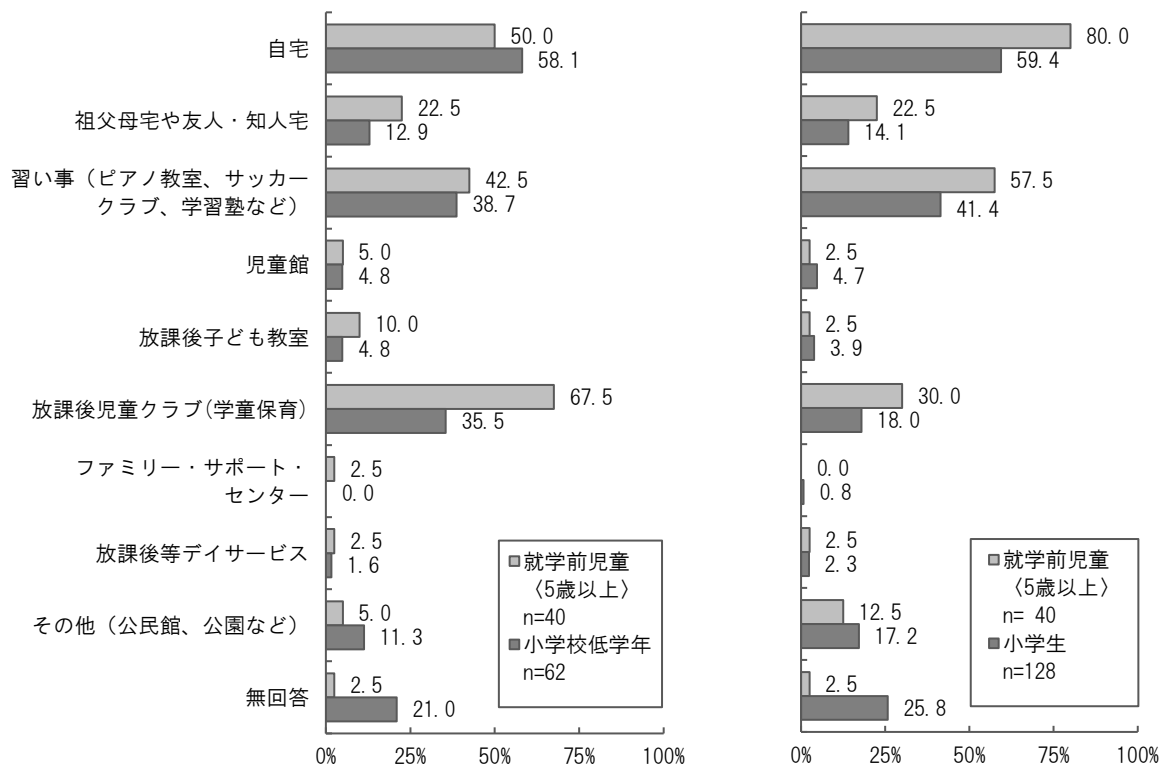


問25[問12]・問26[問13] 放課後の過ごし方の希望

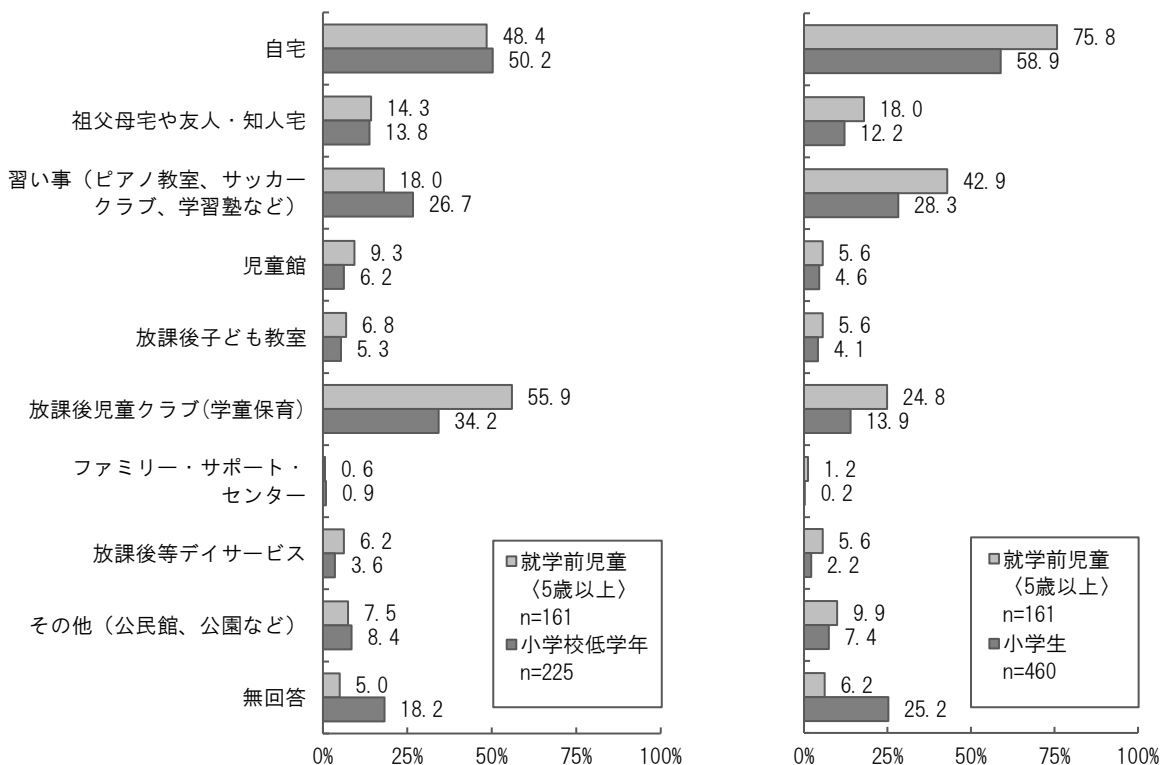
小学校低学年（になった場合）の過ごし方

小学校高学年（になった場合）の過ごし方

《中央》



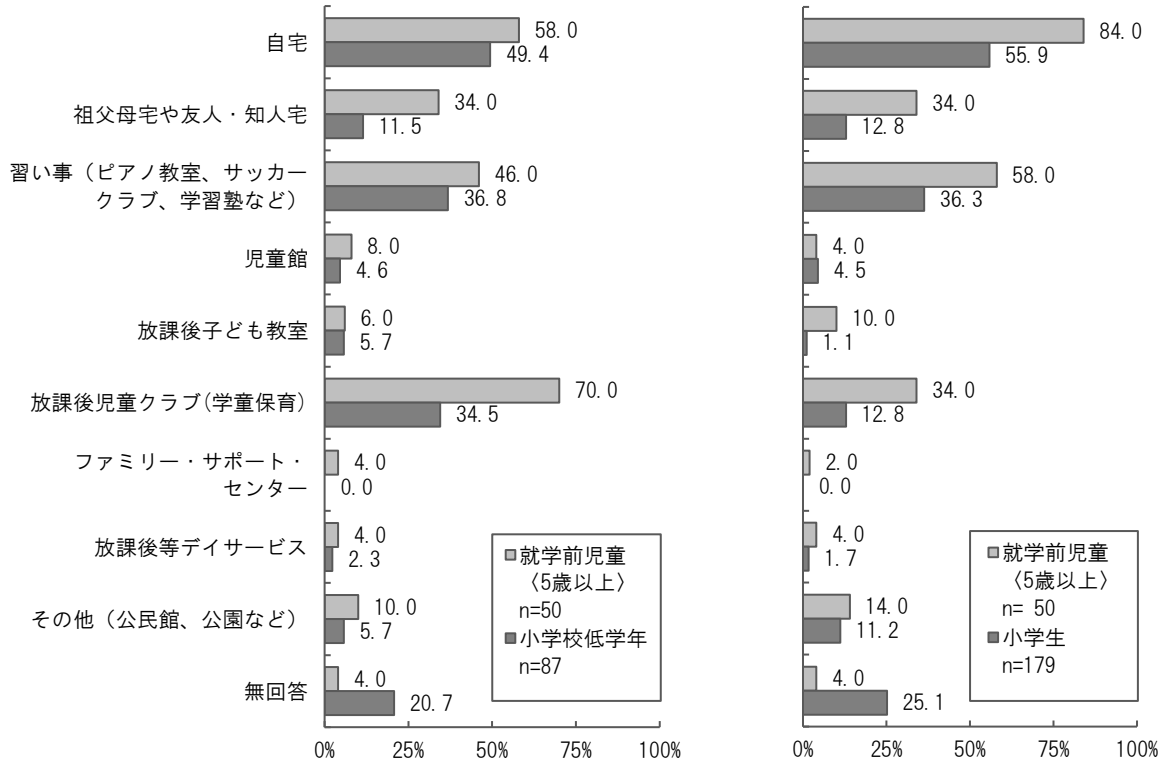
《東 部》



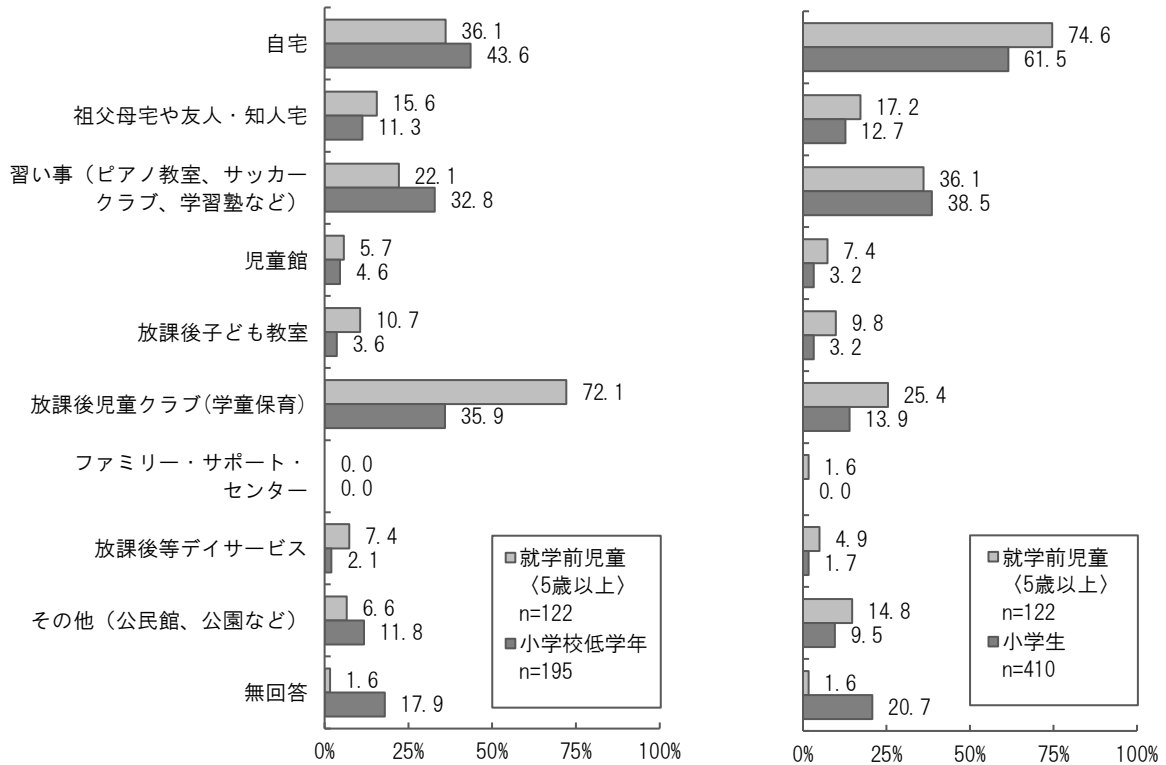
問25[問12]・問26[問13] 放課後の過ごし方の希望

小学校低学年（になった場合）の過ごし方 小学校高学年（になった場合）の過ごし方

《西 部》



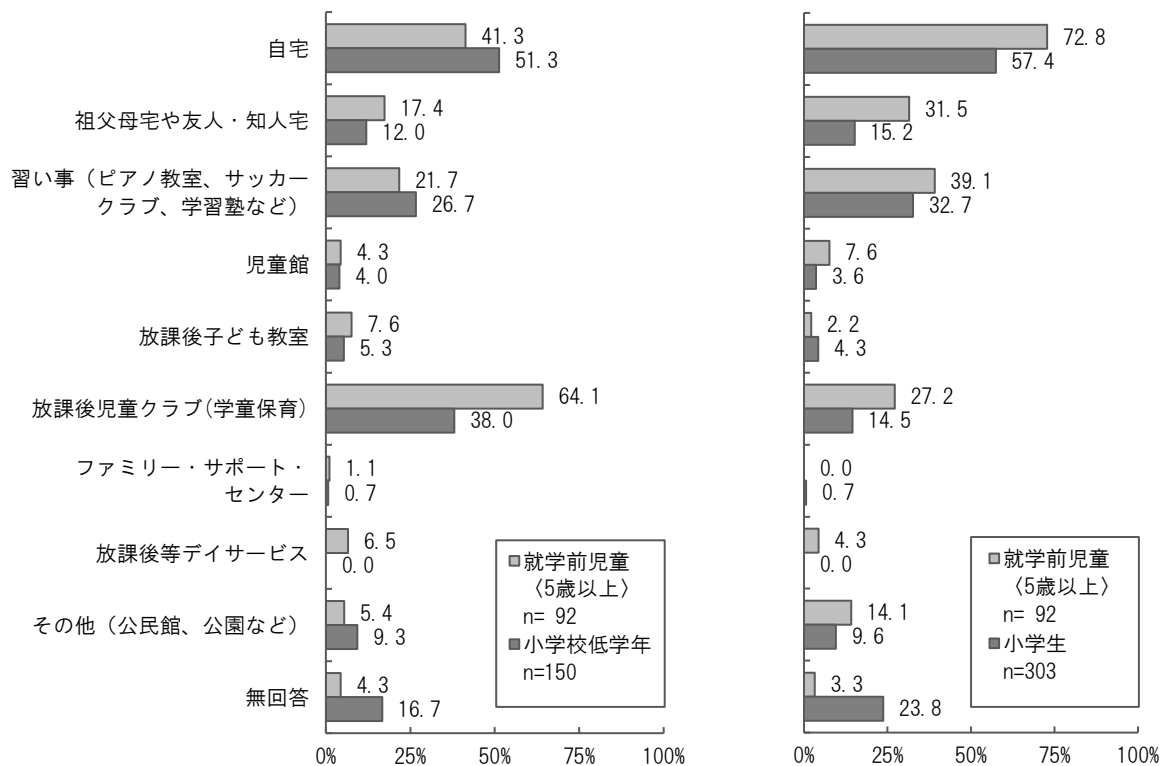
《南 部》



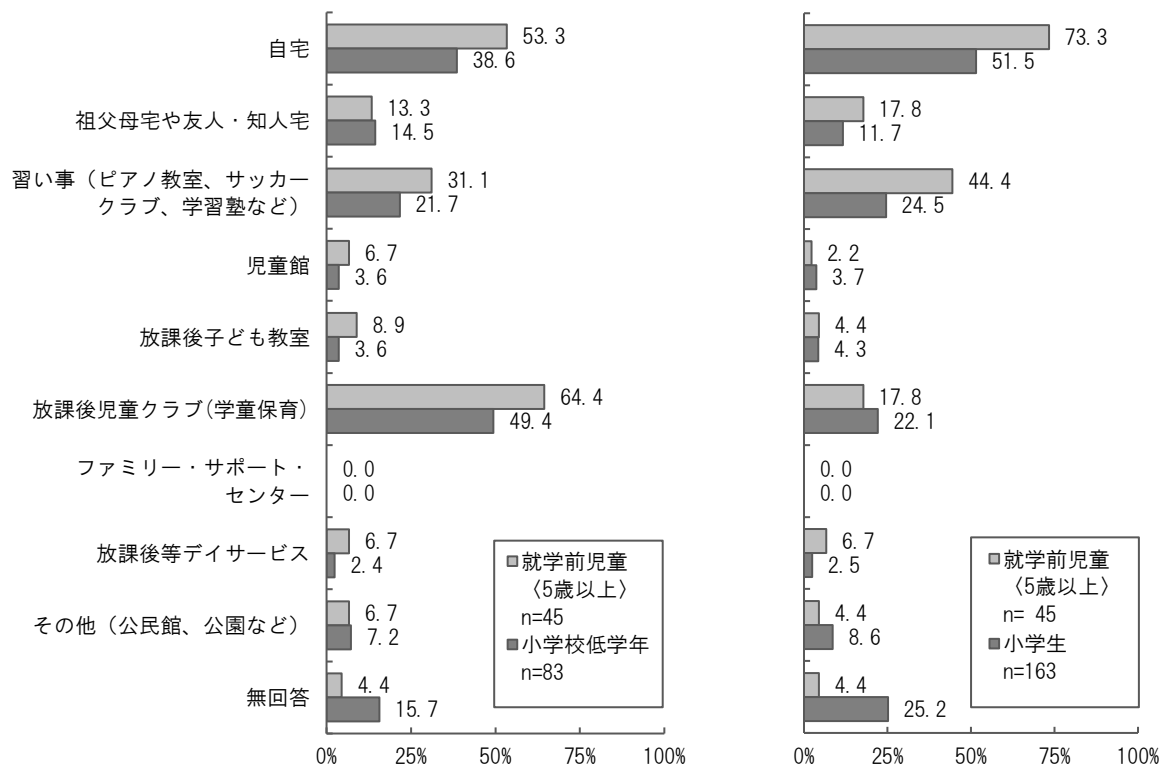
問25[問12]・問26[問13] 放課後の過ごし方の希望

小学校低学年（になった場合）の過ごし方 小学校高学年（になった場合）の過ごし方

《北 部》



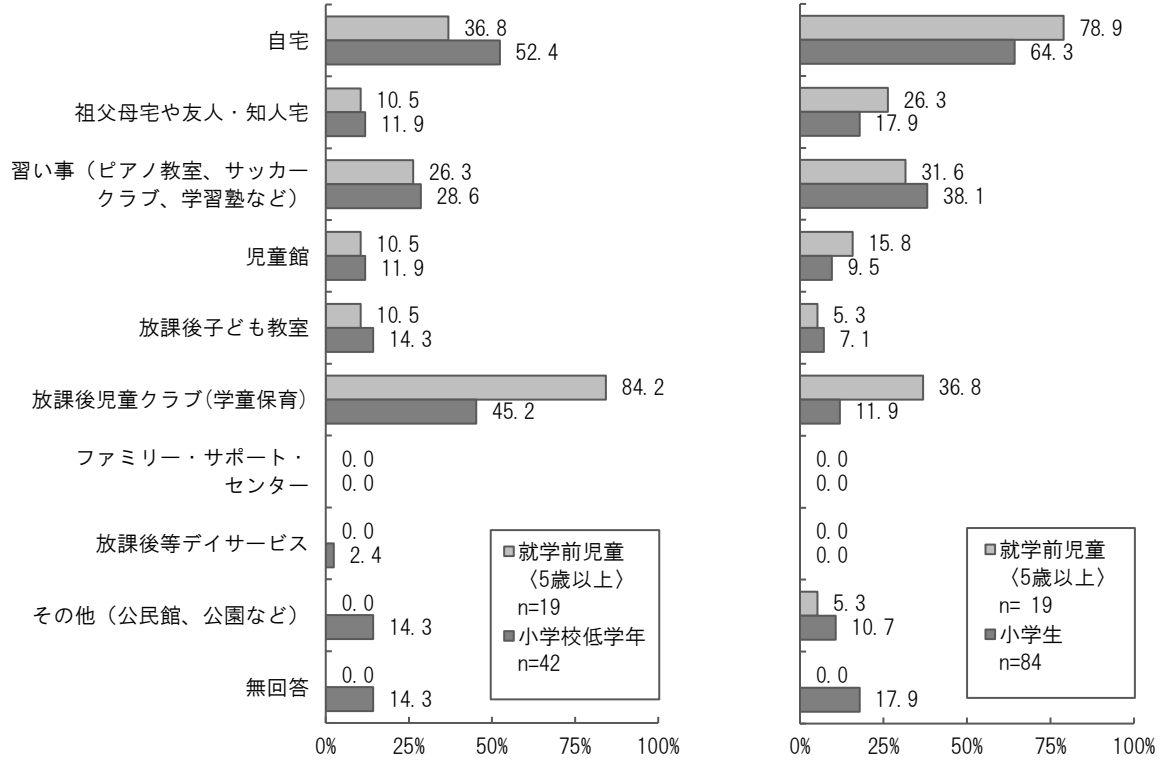
《呉 羽》



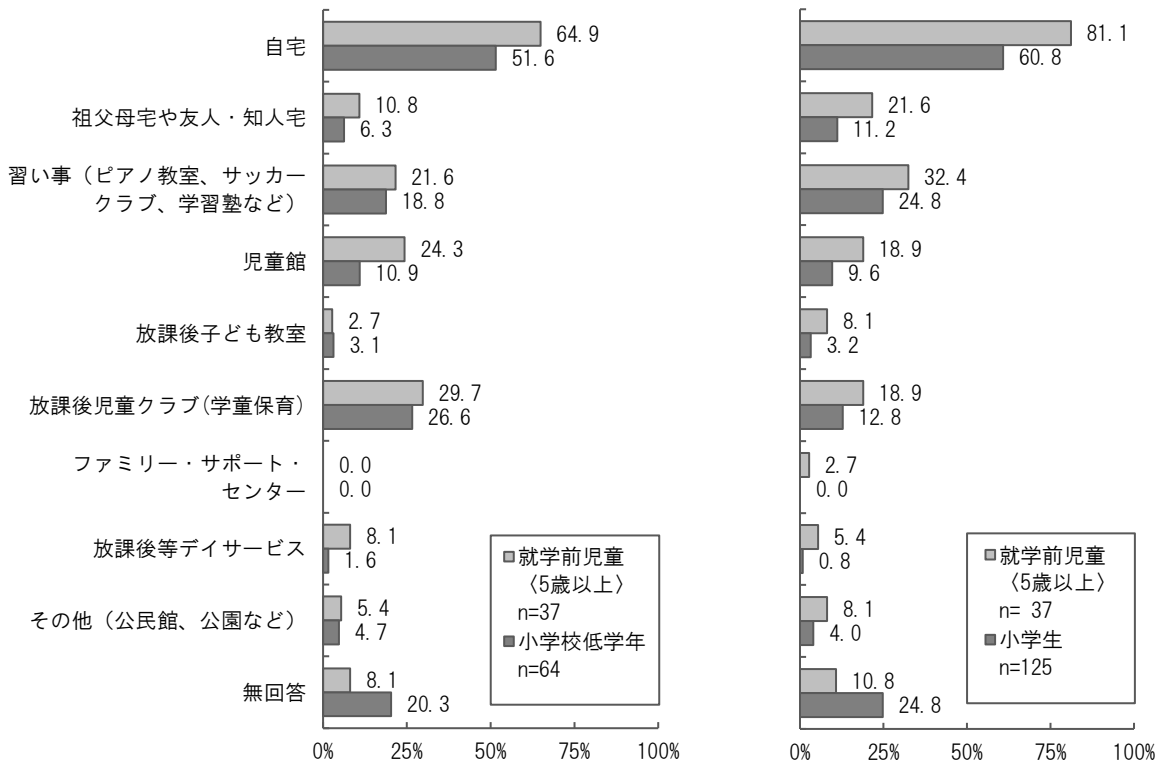
問25[問12]・問26[問13] 放課後の過ごし方の希望

小学校低学年（になった場合）の過ごし方 小学校高学年（になった場合）の過ごし方

《水 橋》



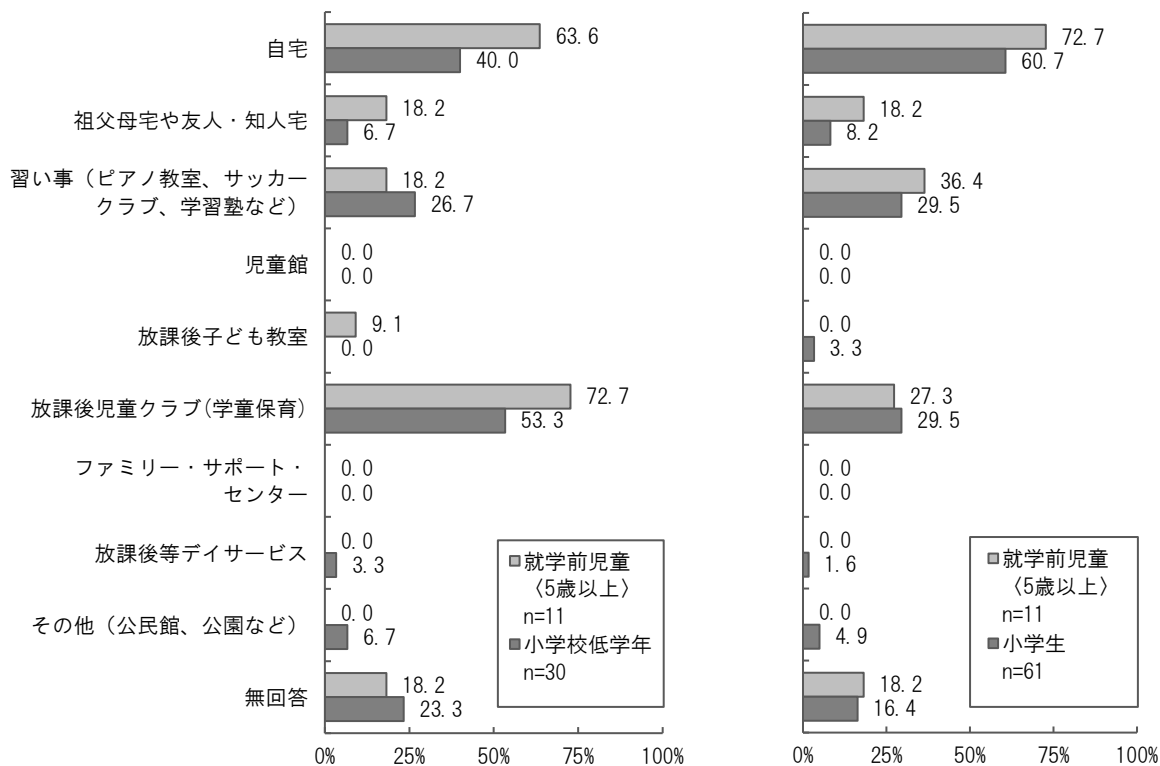
《大沢野・細入》



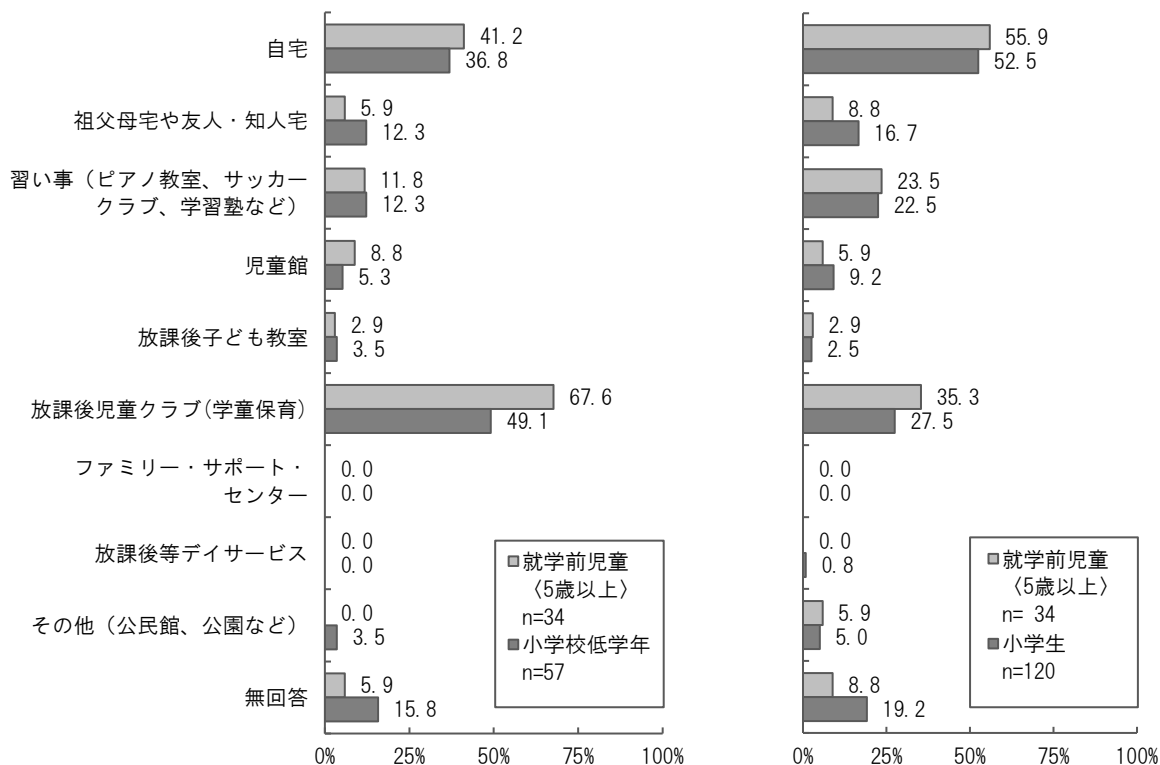
問25[問12]・問26[問13] 放課後の過ごし方の希望

小学校低学年（になった場合）の過ごし方 小学校高学年（になった場合）の過ごし方

《大 山》



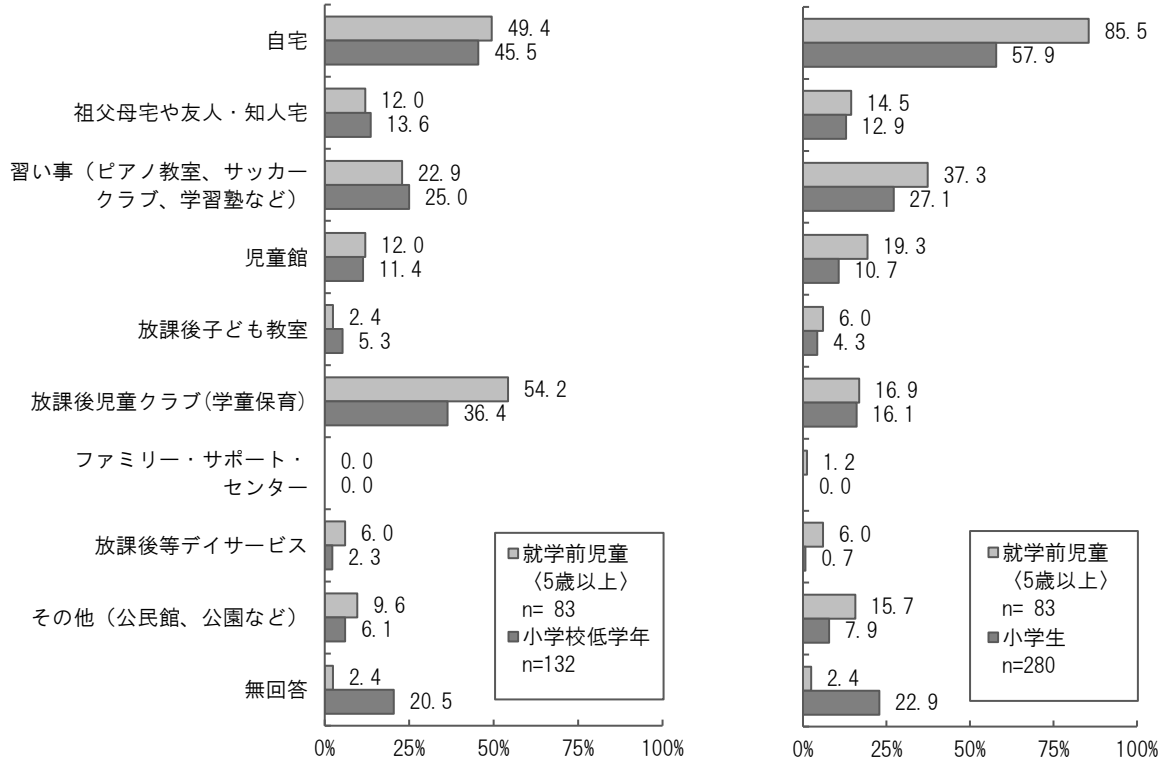
《八尾・山田》



問25[問12]・問26[問13] 放課後の過ごし方の希望

小学校低学年（になった場合）の過ごし方 小学校高学年（になった場合）の過ごし方

《婦 中》



資料編
自由意見のまとめ
調査票見本

資料編

1 子ども・子育て環境や支援に関する自由意見

(1) 就学前児童の保護者の自由意見

①外出した際などにおいて、ちょっとした気遣い・配慮があっうれしかったことや助かったこと、あるいは困ったことなどについて、アンケート調査の自由意見内容を分類し、抽出が多かった主な単語を示した結果は以下の通りです。

■抽出語件数

抽出語	トイレ	おむつ	スーパー	授乳	ベビーカー
件数	392	293	220	166	137

■就学前児童の保護者の自由意見

抽出語	総件数	分類	件数	代表的な自由意見
トイレ	392	ポジティブ	188	子どもと一緒に入れる <u>トイレ</u> (広い、おむつ替え台がある)があると助かる。荷物も多いので。低い手洗い場がある方が助かる。 おしり拭きが置いてある <u>トイレ</u> 、オムツを捨てられる場所があるのが嬉しい。子供用の <u>トイレ</u> がある場所が嬉しい。
		ネガティブ	140	外出先のお手洗いには困ることがある。 <u>トイレ</u> 内に子供を座らせることができても、手を洗う時に座らせるところがないとか。 子供用 <u>トイレ</u> を増やしてほしい。服を脱ぎ着できるようなスペースを <u>トイレ</u> 内にほしい。大きい子だとベビーベッドで立ってしまい危ないし、靴下のまま汚い床に立ってしまうから。
		両方	64	子供2人を連れて <u>トイレ</u> に入る時にベビーカーが入れる <u>トイレ</u> はありがたい。女性 <u>トイレ</u> に男子用の小便器は助かる。男性 <u>トイレ</u> にも必ずオムツ交換台やベビーカーが入る <u>トイレ</u> など女性用と同じ設備にすべき。
おむつ(オムツ)	293	ポジティブ	146	子供のおむつ替えのスペースに使い捨てシートが置いてあり助かった。

				<u>オムツ</u> 替えスペースや <u>オムツ</u> 替えの環境が整っている所はとても助かった。 <u>オムツ</u> を捨てる際のゴミ袋を忘れた時、ゴミ袋が設置してあり、 <u>オムツ</u> を捨てるゴミ箱が設置してあるとありがたかった。
		ネガティブ	93	男性トイレに <u>オムツ</u> 交換のできるスペースがなく困ったことがある。トイレの手洗い場が高すぎて幼児が利用できない施設が多い、授乳室の無い施設があり困ったことがある。 公園などで <u>オムツ</u> 替えをしたくても、トイレの衛生面や防犯面を考えると利用しにくかったりします。
		両方	54	<u>オムツ</u> 替え台の近くに <u>オムツ</u> 替えシートやゴミ箱がある時は嬉しく、助かります。一方、 <u>オムツ</u> 替え台が女性トイレにしかない場合や、男性立ち入り禁止の授乳室にミルク調製用のお湯や <u>オムツ</u> 替え台があり、父親が入れない場合は困りました。
スーパー	220	ポジティブ	129	<u>スーパー</u> などでお店の方が、袋に商品を入れてくれたこと。子供を連れての袋詰めは地味に大変なので助かった。 <u>スーパー</u> などでよく顔を覚えてもらって、声をかけてもらえると嬉しいなと思います。重い荷物を運ぶのを手伝ったりして下さったこともあり、店員さんの心遣いが嬉しかったです。 子供の遊ぶ場所や遊べる物がある、飲食店は安心です。 <u>スーパー</u> 等カートも楽しいものがあると、子供が喜びます。子供を連れていて、買物ひとつ食事ひとつが大変と思うことがあるので、配慮があると嬉しいし親子で楽しめてありがたい。
		ネガティブ	37	<u>スーパー</u> 等に行った時に駐車場が遠い。入口の近くに子供連れ専用の駐車場があれば嬉しい。
		両方	54	子連れで外出すると、急に暴れたり泣いたりする事があるが、温かい目を向けてくれるだけで救われます。 <u>スーパー</u> には子連れで行く家庭がほとんどだと思いますが、子供がぐずると買い物すら満足にできません。 <u>スーパー</u> にちょっとしたキッズスペースと保育士さんがいて、子供をちょっと預かってくれるとママも助かります。 <u>スーパー</u> すら行けないのは辛いです。抱っこひもで抱っこして、 <u>スーパー</u> は大変です。

授乳	166	ポジティブ	79	授乳室にお湯があるととても助かる。授乳室のまわりにベンチなどがあれば男性でもミルクをあげられるのでいいと思う。
		ネガティブ	49	清潔なおむつ交換台、授乳スペースがある施設、遊び場。子連れ優先の駐車スペースがあると嬉しい。行政センターや市役所など子連れ優先だと助かる。予約できない場合や予約時間から大幅にずれると子供の機嫌が悪くなる。
		両方	38	飲食店内に授乳室がない所が多くて困る。親戚のお祝いでも食事会があり参加したが、授乳室やオムツ換えの部屋がなくて困った。
ベビーカー	137	ネガティブ	67	外出先に授乳室がなく、多目的トイレで授乳をした。駅など授乳室の案内を大きく書いてほしい。
				施設内に綺麗な授乳室やオムツ交換場所、乳幼児に対応した座席等がある施設は嬉しい。子が父親と外出した際に、男性用トイレにおむつ交換台がない施設は困った。おむつ交換台は出来れば授乳室のように他者の視線が気にならない個室または仕切りがあると嬉しい。
		ポジティブ	42	ベビーカーやカートの貸し出しがあると荷物が少なく助かる。大きい病院は車椅子があっても、子供のベビーカーやカートが無い事が多く長時間抱っこをすると大変である。また、一時的に寝かせるスペース(ベッド)があると助かるのではないかなと思う。
				赤ちゃんの時にベビーカーで散歩していたら、歩道が狭かったり、斜めになっていたり、雑草ばかりで通れなかったり、車道においてベビーカーを押すような大変な思いをした。街中ばかり整備するのではなく、普通の住宅がある場所の歩道の整備もしっかりやって欲しい。ベビーカーや車椅子で通れるかしっかり検証して、みんなが過ごしやすい所にして欲しい。
				ベビーカーで出かけた時、バスなどの公共の乗り物に乗った際、乗り降りを手伝ってもらった時は一番嬉しいです。
				ベビーカーをおしているとコンビニの店員がドアを開けてくれた。スーパーのレジで購入した商品を運んでくれた。

		両方	28	譲り合いパーキング利用証制度が妊娠中から産後1年まで利用できるのがとても嬉しく助かりました。 <u>ベビーカー</u> で買い物している時にレジから詰める所へのカゴの移動をして貰えると、とても助かった。逆に自分で持って行くとなると、 <u>ベビーカー</u> もカゴもあり少しの距離でも人が多いと大変だった。
--	--	----	----	--

(1) 就学前児童の保護者の自由意見

②子育てや教育をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいか、また、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援について、アンケート調査の自由意見内容を分類し、抽出が多かった主な単語を示した結果は以下の通りです。

■抽出語件数

抽出語	保育	子育て	支援	親	学童
件数	576	341	322	308	177

■就学前児童の保護者の自由意見

抽出語	総件数	分類	件数	代表的な自由意見
保育	576	ネガティブ	447	希望の <u>保育所</u> に入れない。遠い <u>保育所</u> になったり兄弟別々の <u>保育所</u> になったりなど。親がもっと働きやすい環境にしてほしい。 <u>保育園</u> の継続の書類デジタル化を早くしてほしい。兄弟が多いと何枚も同じ事を書く手間がある。マイナンバーなど色々活用して少しでも書類に対する手間が減らせるようにしてほしい。校区内の <u>保育園</u> の待機児童が減れば良いと思う。 子供が熱を出したら預けるところがない。病児 <u>保育</u> もお金がかかるし利用したいとあまり思わない。 <u>保育料</u> が高すぎる。
		ポジティブ	78	子供が <u>保育所</u> へ行けない時は病児 <u>保育</u> を利用しました。その時の病児 <u>保育</u> の先生(<u>保育士さん</u>)が日々の生活の事や子供の事を親身に聞いてくださって私の心のケアまでして下さいました。子供だけでなく親の事まで気にかけてくださったのがとても嬉しかったです。
		両方	51	こどもの通う <u>保育園</u> は、 <u>保育士さん</u> の数多く、丁寧に見ていただいている印象で大変ありがたく感じています。どの <u>保育施設</u> でも安心して預けられるよう、 <u>保育士さん</u> の数の充実(なり手不足の解消、待遇の改善など)を行政にお願いしたいです。
子育て	341	ネガティブ	257	<u>子育て</u> しながら働くのが大変。会社に迷惑をかけると思うと、育休明けに復帰するのが億劫。第2子も考えているが、会社のことを考えると、いつのタイミングにするか考えるのも、本当につらい。

				<p>以前、市役所に相談や問い合わせをした際、電話や窓口の様子が悪く、あまり良い印象ではなかったため、正直、相談しにくい。普段から関わってくださっている保育園の先生方や子育て支援センター、保健福祉センターのサポートが頼りになっている。</p> <p>市役所の方も丁寧に対応して気にかけてくださる方もいれば、説明不足やこちらが分かっているだろう…という認識で省略した話しかされなかったことがある。子育てに悩んでいる方が多い中で、そこは親身になって相談しやすい環境作りに取り組んでいただきたいと思う。</p> <p>書類などの発行も遅く、不安要素がある。このアンケート結果を通して、富山市の子育てがより良くなることを祈っています。</p> <p>職場の子育てに対する理解が低すぎた為、結果的に退職することになりました。理解のある会社がまだまだ少ないので、これから仕事をしたい人、復帰したい人のためにも、行政担当者や色々な方に女性の仕事に対する取り組みに力を入れてほしいと強く思います。</p>
		ポジティブ	60	<p>1ヵ月健診後に子育てサークルのような活動が月数回の頻度であれば良いと思う。子育てに関する悩みなどを共有できたら前向きに生活できる。そのためには、行政が1ヵ月健診の案内の様に郵送で情報発信して頂けると嬉しい。</p>
		両方	24	<p>「子育て日本一とやま」を目指すのであれば、まず富山県内全ての保育費無償化運動をしてください。サポート・支援より何よりも子育て側は嬉しいし、精神的な余裕も生まれます。</p>
支援	322	ネガティブ	247	<p>病気になった時など、周囲のサポートや支援がないと育てていけないので、そのような支援環境が充実してほしい。近くの保育園に入れるかが不明で、とても不安です。今後のことも心配で、一人っ子になりそうなので、保育、教育を整えてほしいです。</p> <p>気軽に相談できる場所。子育て支援券を使える所を増やして欲しい(スーパーなど)。双子へのサポートをもっと手厚くしてほしい。</p>

				<p>3人子供がいるので、経済的に何か支援があると助かります。一時的ではなく毎年安定した支援が欲しいです。</p> <p>収入額がいつも壁になり、支援の対象外になることが辛いです。子供が多ければ収入は関係無く、金銭的にも精神的にも大変だということを知って頂きたいです。</p>
		ポジティブ	51	<p>第2子以降を考える時に経済的なサポートがあると嬉しい。例えば育児休業をとって子育てしたいと思っても、収入が減るとやはり取得しにくいので、手当てが100%あると嬉しい。</p> <p>それから高校までの教育費無償化等、導入していただけると大変助かる。これからの富山を盛り上げていく上でも、子育て支援はすぐにでも更なる取り組みを期待しています。</p>
		両方	24	<p>ひとり親の家庭に対しての支援はとても充実しているが、多子世帯へ対する支援が不十分であると思います。</p> <p>4人の子供がいますが、保育料もかかっている状態であり、富山のための子供に平等に支援をしてほしいと思います。そうなれば、子を産もうと思える人達が増えていくのではないのでしょうか。</p>
親	308	ネガティブ	250	<p>ひとり親世帯に対する支援をしてほしい。ファミリーサポートセンターや病児保育を利用したいが、ひとり親からするとお金がかかると利用しづらい。手続きがややこしい。</p> <p>子どもの発達について相談しました(子育て支援センターにて)。専門の先生の発達相談を進めていただき、予約しましたが、予約で常に埋まっており、予約ができたのが随分と先でした。</p> <p>発達相談する親御さんは、不安も大きいと思うので、なるべく早い予約が可能となる等、支援体制のいっそうの充実を望みます。</p> <p>働く親が、小学生の子供を安心して預けられる場所を作ってほしい。</p> <p>共働きでフルタイムだとどちらかが仕事をセーブしないと子供をみられない。</p>

		ポジティブ	39	<p>出産後パートの仕事に変えたことで子育て時間をたくさん持てました。でも母親だけでなく父親も子供が小さい時は協力して子育てすることが大切だと思います。夫婦共働きの家庭は多いと思います。父親の育休取得そして夫婦交代で時短勤務できたら助かります。</p> <p>収入は減りますが医療費、保育料、子ども手当等、昔より子どもに対して手厚くなってきたと思います。今後もこのようなアンケートは続けてほしいです。ぜひとも反映させて下さい。</p>
		両方	19	<p>親が土日祝日に仕事の際、保育のサポート、子の体調不良で休む際、親が仕事をどうしても休めない時のサポート。どこも人手不足だと思いますが、子の病気ケガで仕事を休むことになった際、フォローできる職場の体制を整える。</p> <p>また、その業務が一方に片寄って負担にならないような体制だと良いなと思います。企業で異なる事ですが、行政からも何か働きかけがあれば変わるところもあるかもしれない。</p>
学童	177	ネガティブ	146	<p>小1の壁と言われるように、保育所よりも学童を探すのに苦労している。もっとフルタイム勤務者を支えてくれる、長時間見てくれる学童を増やしてほしい。またそれを低価格で利用できる環境を整えてほしい。</p>
				<p>現在、学童保育は夏休み、冬休みなどの長期休暇のみの利用が出来ないので困る。申し込みも年に1回のみ、途中から仕事をしたいと思っても、長期休暇中の子供が自宅で1人になってしまう為、仕事を探そうとしても条件的に難しい。仕事してる、してない関係無く、学童が利用出来るようになって欲しい。</p> <p>学童に入れないという声があちこちで聞かれ不安しかない、小さい子供を1人で留守番させる環境がおかしい、学童を充実させてほしい、子供も親も安心して生活や仕事ができる市になってほしい。</p>
		ポジティブ	18	<p>病児保育を小6までの受け入れ体制にして頂けると助かります。民間の学童費が高額なので、助成金などがあると嬉しいです。</p>

		両方	13	保育所は時間も長く預けられとてもありがたい。小学校へ入学すると学童の時間が短くフルタイムで働くことができない。共働きの人が多いのにお金払って学校からも家からも遠い所へ預けるのは変だと思う。小学3年生までは時短で働くことは可能だが、夏休み冬休みも預け先がない。
--	--	----	----	---

(2) 小学生の保護者の自由意見

- ①外出した際などにおいて、ちょっとした気遣い・配慮があつてうれしかったことや助かったこと、あるいは困ったことなどについて、アンケート調査の自由意見内容を分類し、抽出が多かった主な単語を示した結果は以下の通りです。

■抽出語件数

抽出語	トイレ	公園	場所	買い物	声
件数	177	87	75	59	56

■就学前児童の保護者の自由意見

抽出語	総件数	分類	件数	代表的な自由意見
トイレ	177	ポジティブ	83	<p>子供が小さい頃は、男子<u>トイレ</u>にベビーベッドがあると父親でも対応できるので助かった。<u>トイレ</u>個室に、子供が立ってズボンやパンツを脱ぐことのできる踏み台があると助かった。</p> <p>最近はまだ小学生になったので一人で<u>トイレ</u>に行かせますが、年中さんや年長さんの頃、女子<u>トイレ</u>に幼児用の<u>トイレ</u>があったのが嬉しかったです。</p>
		ネガティブ	70	<p>父親と娘が二人で出かけたとき、<u>トイレ</u>の時に困ることが度々あったそうです。多目的<u>トイレ</u>があればよかったのですが、なかったり空いていなかったり。多目的<u>トイレ</u>がもう少し増えれば助かります。</p> <p>公共施設の<u>トイレ</u>がキレイでないと、安心して使うことができず困る。</p>
		両方	24	<p><u>トイレ</u>に並んでいた時に、子供を先に行かせてもらったことが何度もありました。<u>トイレ</u>が綺麗だと助かります。汚いと<u>トイレ</u>に入ってくれません。公共施設でも和式しかないと困ります。</p>
公園	87	ネガティブ	49	<p><u>公園</u>でのボールは禁止、小学生が走っていると危険と言われる。道で自転車も乗れない。小学生が自由に遊べる場所がない。</p> <p>天気がいい日は<u>公園</u>で沢山遊ばせられますが、雨や雪の日、小さい子供から大きい子供まで遊べる場所が少ないと感じます。もっとのびのびと遊べる場所と情報が欲しいです。</p> <p><u>公園</u>に行っても休める場所(イス等)が少なくとても不便を感じる。またゴミ箱も少なく感じる。</p>

		ポジティブ	27	公園の整備が定期的にされていて遊ばせやすい。子供用のトイレやオムツ交換場所の設置等外出しやすい環境だと感じています。大きめの公園では年齢層が幅広く、ちょっとした危険かなと思う時もあるが、大きい子(小学校高学年とか中学生)たちも小さい子に気を遣って一緒に遊んでいていいと思います。
		両方	11	子供達を連れて公園に遊びに行くと困るのはトイレ。大きい公園には確かにトイレは整備されているが保育園や小学校近くの公園には子供が気軽に入れる綺麗なトイレがないのが残念。子供が上着を公園に忘れた事を夜に気づき慌てて探しに行ったら公園のテーブルに畳んで置いてあった時は感動した。
場所	75	ポジティブ	35	赤ちゃんを抱っこし、上の子も連れ列に並んでいた時、上の子がトイレに行きたくなり、列を空けなければならず、困っていた時に、前にいた家族が列の場所を取ってくれた。とても嬉しく助かりました。
				子育て支援の割引やサービスを受けることができるとうれしい。子育て支援の期間を指定せず、いつでも利用できるとうれしい。サービスを受けられる場所が増えるとうれしい。
		ネガティブ	32	兄弟に年齢差があると、遊ぶ場所が限られてくる。下に合わせると上の子が行きたがらなかつたり、上の子に合わせると下の子が危ない環境や遊べないことがあったりするので。同じ環境で楽しめる場所が増えたらいいなと思います。 障害児への偏見があるため公園などでのびのび遊ぶことができない。赤ちゃんだけではなく障害児もつかえるオムツ取替え場所があればいいと思う。
		両方	8	子どもをつれて遊びに行くとき、富山は雨や雪が多いので、もう少し室内で気軽に遊べる場所が増えるといいなと思います。外の公園は水はけが悪いところが多いのでよく困ります。
買い物	59	ポジティブ	41	食事や買い物へ子どもを連れて行った際に、小・中学生まで無料等のサービスを受けた時、お得な気持ちでとても嬉しかったです。 とやま子育て応援団の色々なサービスが助かります。外食や買い物等に役立てています。

				<p>外食や<u>買い物</u>の際、キッズスペースがあるお店は助かります。キッズスペースがあるお店の中でも特に親の目が届く場所に設置していたり、年齢別のおもちゃや本が置いてあるところ、床がクッション素材等安全面に配慮されていたり、衛生的なところは親も子も安心して楽しめるので更に良いです。</p>
		ネガティブ	11	<p>子どもがまだ小さかったころ、スーパーに行って、ベビーカーと<u>買い物</u>かごはとても大変でした。2人目が産まれて抱っこ紐でもう一人を抱えながらほんとは大変で<u>買い物</u>が嫌でした。</p>
		両方	7	<p>子供が病気で親が1人で看病している時は、必要な物<u>を買い物</u>しに行くことが出来ず、送迎や<u>買い物</u>の代理サービス等があればいいと思った。</p>
声	56	ポジティブ	40	<p>登校時に行き渋りがあるのですが、毎朝校長先生や養護教諭の先生や通級の先生が生徒玄関に立っておられて、あいさつ、<u>声</u>掛け、応援などしてもらい、子供も親の私も嬉しく心が救われています。ありがたいです。</p>
				<p>昨年まで学童を利用させていただいていました。学童の先生方も児童館の先生方も、お迎えがぎりぎりの時間でもいつも温かい<u>声</u>をかけていただいたことに親子共々助かりました。</p>
				<p>子どもが大きな<u>声</u>を出すなどの時に、嫌な顔などをするのではなく、「子どもはそういうものだ」という対応をしてくれた時は親としても安心した。</p>
		ネガティブ	9	<p>子供を見て「かわいいねー」と<u>声</u>掛けするお年寄りや年配の方たちが、少なくなったこと。子供を見ても何も思わなくなったような、むしろ、けむたがるお年寄りや年配の方が増えたと感じる事。</p>
		両方	7	<p>電車や階段でベビーカーを持ち運んでくれたこと。子供がぐずったとき、年配の方が上手に<u>声</u>をかけて機嫌をなおしてくれたこと。出入口の開閉式のドアを持ち、子供が通るのを待ってくれた時、子供がのろのろしていると舌打ちやため息の大人(特に男性)、あと歩道があまり整備されていない。</p>

(2) 小学生の保護者の自由意見

②子育てや教育をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいか、また、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援について、アンケート調査の自由意見内容を分類し、抽出が多かった主な単語を示した結果は以下の通りです。

■抽出語件数

抽出語	学校	学童	子育て	支援	仕事
件数	216	179	173	152	120

就学前児童の保護者の自由意見

抽出語	総件数	分類	件数	代表的な自由意見
学校	216	ネガティブ	149	学校や社会になじめない子へのサポートはまだ不足していると感じる。教室に入れなかったり、学校へ行けなかったりする子どもや、家庭の中には自ら困り感を発信しないこともあるが、放置せず積極的に働きかけてほしい。
				これから子供を産み、育てていく人の支援は充実してきているが、小学生、中学生の子供がいる家庭への支援は充実していない。子供が小学校へあがってからのほうが、いろんな面での悩みも増えるし、金銭面での負担も増えて大変。
				放課後の子どもが安心して過ごせる場がほしい。公民館(図書館)などに放課後行きやすくてできたら、学童以外の安心できる場ができると思う(平日)。(学校図書館の開放などでも)
		ポジティブ	28	子供たちが自由に遊べる公園があるとよい。長期休暇の時も子供たちが伸び伸びと遊べる所が学童でもあればよいと思うので、環境を整えてほしい。小学校の先生に心配なことを相談すると連絡などいただき、親としては大変安心できました。親が安心して学校生活を送れるのは先生方のおかげでもあるので、先生方の労働環境やメンタルヘルスにも配慮してほしいと思います。
		両方	39	小学校が統合することは、集団生活を学ぶ上で必要だと思えます。けれども学習という面では少人数のクラスの方が1人1人の子供に対応できると思うので、学びが深まると思えます。

学童	179	ネガティブ	134	<p>小学校 4～6 年生が放課後預けられる学童保育やサービスが絶対的に不足していると感じます。小学校 3 年生までの学童保育から急に放り出された感じになり、親としてはかなりの負担になっています。今後、少子化対策の一環として小学校 6 年生までの預かりサービスの充実を考えないと、働く親の不安は永遠に解消されないと考えています。</p> <p>ひとり親への経済的支援をしてほしい。金額が高いと学童も習い事も断念、周りとは比べ、子供にかわいそうな事をしている…と自分を責めてしまう。</p> <p>学童(放課後、長期休み)の対応をもっとニーズに合ったものにしてほしい。時間帯や給食の提供、金額など、働く親の負担を減らす取り組みをして欲しい。</p>
		ポジティブ	18	<p>共働き家族が増えてきていて放課後に学童保育に誰でも預けることができれば親として安心できる。放課後に子供の居場所になるような施設がもっと充実すればいいなと思います。</p>
		両方	27	<p>学童(子供会)に大変お世話になり助かっています。ただ、小 3 までではなく、長期休業中だけでも学年の幅を広げ、時間の延長などができれば、より子育て支援として助かります。</p>
子育て	173	ネガティブ	112	<p>子育てをしていくと、経済的な負担が重い現状がある。他の自治体では、小学校の財政的な負担を軽減してくれる制度や、保育園の給食費の無償化などを実施しているところもある。富山市が「子育て日本一富山」を目指すということであれば、他の自治体を参考にするのではなく、自治体の子育て支援策を超えた、富山市で子育てできてよかった又は富山市で子育てをしたいと思わせる異次元の子育て支援策の検討、実施をしてほしい。</p>
				<p>小 1 の壁には本当に悩まされています。放課後、長期休暇中…子供を安全に過ごさせるには行政の力が必要です。「子育て日本一とやま」を名前だけでは終わらせないようお願いいたします。</p>
				<p>子育てをしながら働いていると、急な発熱などで早退や欠勤が多い。中には厳しい人もいます。もっと子育てしながら働く父・母への理解が欲しいです。</p>

		ポジティブ	33	困ったときに相談する情報や <u>子育て</u> に対する情報が知られていなかったり、気軽に相談できたりするところがあればいいです。
		両方	28	子供は大切、大好きですが、子育てがつらいです。障害を持った子の親(軽度)でも楽しく <u>子育て</u> できるようになってほしい。
支援	152	ネガティブ	105	子供の体調不良で会社を休んだ際に、有休を使わせてもらえず欠勤にされ、働きづらさを感じているので、企業に対して <u>支援</u> する制度があれば良いのと思います。出産をしたら解雇された経験もあります。未就学児の頃は保健福祉センターで相談会があって気軽に行けましたが、子供が大きくなると、子育てのことや家庭の悩みを気軽に相談できるところがなく困っています。窓口があるのかもしれませんが、認知度が低く利用の仕方がよくわかりません。
				子育ては義務教育で終わりではなく、高校生になったら急に <u>支援</u> がなくなったりして、ちょっと驚きました。収入に応じて授業料が変わったり、医療費がかかったり。結局親が負担するので兄弟が多いと苦しくなります。少子化はその先まで見てくれることが大事だと思います。
				教職員や保育園の先生などの負担がひどいと感じる。先生方へのサポートが手厚くなれば子供への対応の時間が増え、良いのではないかと感じる。ぜひ、先生方への <u>支援</u> を充実させてほしい。
		ポジティブ	23	ひとり親 <u>支援</u> の活動で、未来塾に長男を参加させていただきました。学習塾などは費用がかかり、大変だったので、この事業に参加させてもらいとても助かりました。 学習 <u>支援</u> や部活動などを充実できるような <u>支援</u> をしていただきたいです。
		両方	24	ひとり親に対する生活の <u>支援</u> や就労サポート、低所得家庭へのサポートなどもっと手厚くしてほしい。年々虐待やネグレクトのニュースが増えている気がする。もっとのびのび子育てができる世の中になってほしい。

仕事	120	ネガティブ	85	<p>子どもが発熱した時、<u>仕事</u>を休むのが数日間にわたるので、肩身もせまくなり苦痛です。病児保育やその他のサポートがあればいいと思います</p> <p><u>仕事</u>でくたくたなのに PTA や児童クラブの役員などあたる辛いです。子供のためだと分かっているも、負担を減らしてほしい。</p> <p>子育ては<u>仕事</u>の両立への理解。子育て中は<u>仕事</u>をしてお金を稼ぐことと同じくらい、時間も貴重です。身近にサポートしてもらえる人がいればいいですが、いない場合はフルタイムで働くことがとても難しいです。サポートを外部に依頼すればお金もかかるので、働き控えをしてパートに留まる選択をしている状態です。もう少し気楽に子供を預けられるようなところがあれば助かります。</p>
		ポジティブ	19	夏休みなど長期休暇時に子供を見てくれる施設があると安心して <u>仕事</u> を続けることができると思います。
		両方	16	子育てと <u>仕事</u> のバランスが難しいという声をよく聞く(私もそう思います)。他のご家庭(家庭の状態によって違うとは思いますが)フルタイムで <u>仕事</u> をしている両親は、どのように <u>仕事</u> をしているのか知りたい。

2 「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査」調査票

(1) 就学前児童の保護者

就学前児童の保護者の方へ

子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査について

みなさまには、日頃から富山市政にご理解をいただきありがとうございます。

本市は、「子育て日本一とやま」を目指して取り組んでおり、ニーズ調査の結果をふまえて、未来ある子どもたちが健やかに成長できる環境の整備に向けた計画を作成したいと考えております。ご多忙のこととは存じますが、調査にご協力くださいますようお願いいたします。

ご記入いただいたアンケート用紙は、同封しております返信用封筒（切手不要）に入れ、**12月25日（月）**までに、郵便ポストへ投函してください。

市内の就学前児童から調査対象7,500名を無作為に抽出していますので、複数の調査票が届く場合があります。


また、小学校などから、類似した調査票（小学生の保護者を対象としたニーズ調査）が届く場合がありますが、統計上必要な調査ですので、それぞれご協力をお願いいたします。

※インターネットでも回答できます。

パソコン、スマートフォン等でURLまたはQRコードからログインいただき、**令和5年12月25日（月）**までに入力を完了、送信してください。

URL : <https://forms.gle/fvesetizi18pkcSKP6>

※QRコードは随時アンソニーウェブの登録画像です。




QRコード

【問い合わせ先】
〒930-8510
富山市新桜町7番38号
富山市子ども家庭部子ども支援課
電話076-443-2252（直通）

今回の調査業務は、富山市が事業者（有限会社 WIZARD）に委託して実施していますので、返信用封筒の宛先は富山市子ども支援課でなく事業者となっております。

子ども・子育て支援事業に関する ニーズ調査票



【ご記入にあたってのお願い】


- 1 アンケートは、お子さんの保護者の方が記入してください。（無記名ですので、氏名・住所の記入の必要はありません）
- 2 ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。
- 3 質問によって、○をつける数を「1」に○「当てはまるものすべて」に○などと指定しています。また、「その他」をお選びいただいた場合、その後にある（ ）内には、具体的な内容を記入してください。
- 4 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制（例：午後6時は18時）で記入してください。
- 5 前の設問へのご回答によっては、次の設問に回答していただく必要がなくなる場合がありますので、このり書きや失印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は次の設問にお進めください。
- 6 ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、**12月25日（月）**までに投函してください。

※インターネットでも回答できます。

パソコン、スマートフォン等でURLまたはQRコードからログインいただき、**令和5年12月25日（月）**までに入力を完了、送信してください。

URL : <https://forms.gle/fvesetizi18pkcSKP6>

※QRコードは随時アンソニーウェブの登録画像です。



QRコード

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、次の問い合わせ先までお願いいたします。

富山市子ども家庭部子ども支援課 電話076-443-2252（直通）

お住まいの地域についてうかがいます。

問7 子育てを楽しんでいると感じることが多いですか。それとも辛く感じることが多いと感じますか。

(1つに○)

1 楽しいと感じることが多い	2 楽しく感じることが多い	3 辛いと感じることが多い	4 その他
()	()	()	()
5 わからない			

問8 宛名のお子さんの育て方や教育に、影響すると感じる環境はどれですか。

(当てはまるものをすべてに○)

1 家庭	2 地域	3 幼稚園	4 保育所	5 認定こども園
6 児童発達支援事業所	7 その他			
()	()			

※認定こども園・・・幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設
児童発達支援事業所・・・日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適切な調整等の必要な支援を行う施設

問9 日頃、宛名のお子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。(それぞれの項目で1つに○)

A 祖父母	1 日清時に支障してもらえる	2 緊急時には支障してもらえる
	3 支障はない	
B 友人・知人	1 日清時に支障してもらえる	2 緊急時には支障してもらえる
	3 支障はない	

問10 子育てに関する不安や悩みを誰に相談していますか。(当てはまるものをすべてに○)

1 不妊や堕胎を相談する必要性を感じていない	2 配偶者(パートナー)
3 兄弟姉妹	4 親
5 隣近所や民生委員など地域住民	6 職場の人や知人・友人
7 幼稚園・保育所・認定こども園や学校の先生	8 塾や習い事の先生
9 かかりつけの医師	10 保健所・保健福祉センター
11 専門の相談員(市の相談窓口など)	12 フェイスブック、インスタグラムなどSNS上の友達
13 その他	14 相談できる相手がいらない

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの小学校区(居住区)をお答えください。(1つに○)

(1 芝園 2 西田地方 3 中央)

- ・東部 (4 神町 5 東部 6 山荘 7 山室中部 8 新庄 9 新庄北 10 広田 11 藤ノ木)
- ・西部 (12 西方 13 八幡 14 倉垣 15 草島 16 五福 17 椋谷 18 神明)
- ・東部 (19 堀川 20 堀川南 21 錦川 22 本田 23 船野 24 月岡 25 新保 26 光陽)
- ・北部 (27 岩瀬 28 大田 29 浜無崎 30 萩清 31 萩原 32 徳田 33 泉田 34 泉田北)
- ・呉羽 (35 呉羽 36 吉沢 37 志田 38 徳江 39 長岡 40 池多)
- ・水橋 (41 水橋中部 42 水橋西部 43 水橋東部 44 三成)
- ・大沢野・朝入 (45 大沢野 46 大沢野 47 徳井 48 神楽野)
- ・大田 (49 大田 50 大田 51 徳沢 52 小見)
- ・八尾・山田 (53 八尾 54 塚内 55 杉原 56 豊尾 57 山田)
- ・塚中 (58 塚中 59 塚坂 60 朝日 61 賀野 62 吉里 63 音川 64 神保)

お住まいの小学校区がわからない場合は住所を書いてください。【記載例：富山市新保町】番地の記入は不要です。

【住所：富山市 _____ 】

宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。数字は一律に一字)

平成・令和 □□□□年 □□□□月生まれ

問3 宛名のお子さんのまようだいは何人いらっしゃいますか。(口内に数字でご記入ください。)

※2人以上のお子さんがいいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

まようだいな数 □□人 末子の生年月 平成・令和 □□□□年 □□□□月生まれ
(宛名のお子さんを含めた人数を記入)

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんから見た関係をお答えください。

(1つに○)

1 母親	2 父親	3 その他
()	()	()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶者についてお答えください。(1つに○)

1 配偶者がいる	2 配偶者がいない
()	()

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にやっているのはどなたですか。お子さんから見た関係をお答えください。(1つに○)

1 父母ともに	2 主に母親	3 主に父親	4 主に祖父母	5 その他
()	()	()	()	()

宛名のお子さんの保護者の就業状況についてうかがいます。

問 11 宛名のお子さんの保護者の現在の就業状況（自営業、家族従業員含む）をうかがいます。
 (1) 母親の就業状況をお答えください。(1つに○) ※父子家庭の場合は記入不要です。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就業）で就業しており、
産休・育休・介護休業・その他休業中ではない
 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就業）で就業しているが、
産休・育休・介護休業・その他休業中である
 3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就業）で就業しており、
産休・育休・介護休業・その他休業中ではない
 4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就業）で就業しているが、
産休・育休・介護休業・その他休業中である
 5. 以前は就業していたが、現在は就業していない
 6. これまで就業したことがない
- ⇒ (1)-1へ
- ⇒ (2)へ

(1)-1 (1)で「1~4」(就業している)に○をつけた方にうかがいます。
 1週当たりの「就業日数」、1日当たりの「就業時間（就業時間を含む）」をお答えください。
 (□内に数字をご記入ください。数字は一律に一字)

※就業日数や就業時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 ※産休・育休・介護休業・その他の休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 ※期間は、必ず(例)00時~18時のように、24時間制でお答えください。

1週当たり 日 時間
 1日当たり 日 時間

(1)-2 (1)で「1~4」(就業している)に○をつけた方にうかがいます。
 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。(□内に数字をご記入ください。数字は一律に一字)
 ※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 ※産休・育休・介護休業・その他の休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 ※期間は、必ず(例)00時~18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時間 時 分 秒
 帰宅時間 時 分 秒

(2) 父親の就業状況をお答えください。(1つに○) ※母子家庭の場合は記入不要です。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就業）で就業しており、
産休・介護休業・その他休業中ではない
 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就業）で就業しているが、
産休・介護休業・その他休業中である
 3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就業）で就業しており、
産休・介護休業・その他休業中ではない
 4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就業）で就業しているが、
産休・介護休業・その他休業中である
 5. 以前は就業していたが、現在は就業していない
 6. これまで就業したことがない
- ⇒ (2)-1へ
- ⇒ 問 12へ

(2)-1 (2)で「1~4」(就業している)に○をつけた方にうかがいます。
 1週当たりの「就業日数」、1日当たりの「就業時間（就業時間を含む）」をお答えください。
 (□内に数字をご記入ください。数字は一律に一字)

※就業日数や就業時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 ※産休・育休・介護休業・その他の休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 ※期間は、必ず(例)00時~18時のように、24時間制でお答えください。

1週当たり 日 時間
 1日当たり 日 時間

(2)-2 (2)で「1~4」(就業している)に○をつけた方にうかがいます。
 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。(□内に数字をご記入ください。数字は一律に一字)
 ※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 ※産休・育休・介護休業・その他の休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 ※期間は、必ず(例)00時~18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時間 時 分 秒
 帰宅時間 時 分 秒

問 12 問 11の(1)または(2)で「3」「4」(パート・アルバイト等で就業している)に○をつけた方に
 うかがいます。 ⇒ **就業心持ち方は、問 13へ**

フルタイムへの転換希望はありますか。
 (1) 母親の転換希望 (1つに○)

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就業）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就業）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外）の就業を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外）をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親の転換希望 (1つに○)

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就業）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就業）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外）の就業を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外）をやめて子育てや家事に専念したい

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。長休等には、幼稚園や保育所、認定こども園など、問14-1に示した事業が含まれます。

問14 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所、認定こども園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(1つに○)

1 利用している ⇒ 問14-1へ 2 利用していない ⇒ 問14-4へ

問14-1 問14-1～問14-3は、問14で「1. 利用している」に○をつけた方に向かいます。

平日どのような教育・保育の事業を「定期的に」利用していますか。(当てはまるものをすべてに○)

- 1 幼稚園 (通常の幼稚園の利用)
- 2 幼稚園の預かり保育 (通常の幼稚園を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
- 3 保育班 (園が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)
- 4 認可こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
- 5 小規模な保育施設 (園が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの)
- 6 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どものを保育する事業)
- 7 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)
- 8 その他の認可外の保育施設
- 9 居宅訪問型保育 (保育者が子どもの家庭で保育する事業)
- 10 ファミリー・サポート・センター (子育てのお手伝いができる方(協力会員)が、子育てを手伝ってほしい方(依頼会員)の子育てをサポートする事業)
- 11 児童発達支援事業所 (日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等の必要な支援を行う施設)
- 12 その他 ()

問14-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

※1 週あたり何日、1日あたり何時間 (いつからいつまで) かを、口内に具体的な数字でご記入ください。
 ※数字は一概に一字
 ※時間は、必ず (例) 08時～18時のように、24時間制でご記入ください。

(1) 現在

1週当たり 日 1日当たり 時間 (時～ 時)

(2) 希望 ※現在の利用が二重をみたしている場合は、現在の利用状況を記入してください。

1週当たり 日 1日当たり 時間 (時～ 時)

問13 問11の(1)または(2)で「5 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6 これまで就労したことがない」に○をつけた方に向かいます。 ⇒ 就業しおれ方は、問14へ
 就労したいという希望はありますか。(当てはまるもの1つに○、希望する就労形態1つに○)
 (該当する口内には数字をご記入ください。数字は一概に一字)

(1) 母親の就労希望

1 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)

2 1年より先、一番下の子どもが 歳になったら就労したい

3 すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
 →希望する就労形態 (フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 パートタイム、アルバイト等 (10)以外)
 →1週当たり 日 1日当たり 時間

(2) 父親の就労希望

1 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)

2 1年より先、一番下の子どもが 歳になったら就労したい

3 すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
 →希望する就労形態 (フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 パートタイム、アルバイト等 (10)以外)
 →1週当たり 日 1日当たり 時間

問 15 すべての方にかかっています。現在、利用している、利用していないにかかわらず、親名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

(当てはまるものすべてに○)

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担(利用料)が発生する場合があります。
 ※保育所(園)の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

- | | |
|--|---|
| 1 幼稚園
(通常の就園時間の利用) | 2 幼稚園の預かり保育
(通常の就園時間を延長し、預かる事業のうち定期的な利用のみ) |
| 3 保育所
(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの) | 4 認可こども園
(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) |
| 5 小規模な保育施設
(国が定める最低基準に適合した施設で市の認可を受けた定員概ね6～19人もの) | 6 家庭的保育
(保育者の家庭等で5人以下の子どもの保育する事業) |
| 7 事業所内保育施設
(企業が主に従業員用に運営する施設) | 8 その他の認可外の保育施設 |
| 9 居宅訪問型保育
(保育者が子どもの家庭で保育する事業) | 10 ファミリー・サポート・センター
子育てのお手伝いができる方(協力会員)が、子育てを手伝ってほしい方(依頼会員)の子育てをサポートする事業
利用料/基本時間(月～金) 7時～19時 1時間 700円
基本時間外 1時間 900円 |
| 11 児童発達支援事業所
(日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等の必要な支援を行う施設) | 12 その他() |

問 15-1 問15で「1. 幼稚園」、「2. 幼稚園の預かり保育」、「4. 認可こども園」のいずれか1つ以上に○をつけた方にかかっています。施設を選択するに当たり、幼児教育を重視しますか。(1つに○)

- 1 はい 2 いいえ

問 14-3 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由をお答えください。
 (主な理由として当てはまるもの2つに○)

- 1 子どもの教育や発達のため
- 2 子育てをしている方が現在就労している
- 3 子育てをしている方が就労予定がある/求職中である
- 4 子育てをしている方が専業主婦、専業主夫を介護している
- 5 子育てをしている方が病気や障害がある
- 6 子育てをしている方が学生である
- 7 その他()

問 14-4 問14で「2. 利用していない」に○をつけた方にかかっています。利用していない理由は何ですか。
 (主な理由として当てはまるもの2つに○)

※「9」に回答された方は、口内に年齢を数字でご記入ください。

- 1 子どもの教育や発達のため
- 2 母親が父親が就労していない
- 3 子どもの祖父母や親戚の人がみている
- 4 近所の人や父母の友人・知人がみている
- 5 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
- 6 利用したいが、経済的な理由で利用できない
- 7 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
- 8 利用したいが、異業場所など、納得できる教育・保育の事業がない
- 9 子どもがまだ小さいため(歳くらいになったら利用しようと考えている)
- 10 その他()

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 19 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。(一時的な利用は除きます)

※希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)08時～18時のように24時間制でご記入ください。

(数字は一律に一字)

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担(利用料)が発生します。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認定こども園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預りは含みません。

(1) 土曜日 (1つに○)

1 利用する必要はない 利用したい時間帯 時から 時まで

2 ほぼ毎週利用したい 利用したい時間帯 時から 時まで

3 月に1～2回は利用したい 利用したい時間帯 時から 時まで

(2) 日曜・祝日 (1つに○)

1 利用する必要はない 利用したい時間帯 時から 時まで

2 ほぼ毎週利用したい 利用したい時間帯 時から 時まで

3 月に1～2回は利用したい 利用したい時間帯 時から 時まで

問 19-1 問19の(1)もしくは(2)で、「3」月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由はありますか。(当てはまるものすべてに○)

1 月に数回仕事が入るため 2 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため

3 親族の介護や手伝いが必要なため 4 急ぎのため

5 その他 ()

問 20 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。(1つに○)

※希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)08時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一律に一字)。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担(利用料)が発生します。

1 利用する必要はない 利用したい時間帯 時から 時まで

2 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい 利用したい時間帯 時から 時まで

3 休みの期間中、週に数日利用したい 利用したい時間帯 時から 時まで

問 20-1 問20で、「3」週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はありますか。(当てはまるものすべてに○)

1 月に数回仕事が入るため 2 買い物の用事をまとめて済ませるため

3 親族の介護や手伝いが必要なため 4 急ぎのため

5 その他 ()

宛名のお子さん地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 16 宛名のお子さんは、現在、「子育て支援センター」や「親子サークル」などを利用していますか。(当てはまるものすべてに○)

※なおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください(数字は一律に一字)。

※子育て支援センター(親子が集まって過ごしたり、相談をしたりする場)

1 子育て支援センター 回 もしくは 1か月当たり 回 程度

2 保育所、認定こども園等で実施している親子サークル事業など 回 もしくは 1か月当たり 回 程度

3 利用していない 回 もしくは 1か月当たり 回 程度

問 17 問16のような子育て支援センターや親子サークルなどについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用回数を増やしたいと思いませんか。(1つに○)

※なおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください(数字は一律に一字)。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担(利用料)が発生する場合があります。

1 利用していないが、今後利用したい 回 もしくは 1か月当たり 回 程度

2 すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい 回 もしくは 1か月当たり 回 程度

3 新たに利用したり、利用回数を増やしたりしたいと思わない 回 もしくは 1か月当たり 回 程度を増やしたい

問 18 次の事業で知っているものや、これまでに利用したことのあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

	A	B	C
	知っている	これまでに利用したことがある	今後利用したい
① 保健福祉センターの乳幼児相談	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
② 認定こども園等での子育て相談	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
③ 子育て支援センターの教育相談	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
④ 生活安全交流講座での青少年の非行に関する相談	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑤ 不安や悩み相談(ハートSOSダイヤル)	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑥ 子育て支援センターの各種相談	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑦ 子育て支援AIチャットボット	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑧ 子育てテレフォン相談(岡山県児童相談所)	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑨ オンライン小児医療相談サービス(岡山県)	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑩ 親子のための相談LINE(こども家庭庁)	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>

①～⑩のは、岡山市で実施しているものです。

問 21-3 問 21-2 で「1」でなければ病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけたい方がいます。
上記の目的で子どもを預ける場合、次のいずれかの事業形態が望ましいと思えますか。
(当てはまるものすべてに○)

- 1 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
- 2 小規模に併設した施設で子どもを保育する事業
- 3 地域住民等が子育て支援等の身近な場前で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
- 4 その他（ ）

⇒ 問 22 へ

問 21-4 問 21-2 で「2」利用したいと思わない」に○をつけたい方がいます。
そう思う理由はなんですか。（当てはまるものすべてに○）

- 1 病児・病後児を他人に育ててもらえない不安
- 2 地域の事業の質に不安がある
- 3 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）が良くない
- 4 利用料が高すぎる
- 5 利用料がわからない
- 6 親が仕事を休んで対応する
- 7 その他（ ）

⇒ 問 22 へ

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 21 平日の定期的な教育・保育の事業を利用しているときと異なる保護者の方（問 14 で「1」に○をつけた方）
にうかがいます。
⇒ 利用されている方は、問 21 へ

- 1 あった ⇒ 問 21-1 へ
- 2 なかった ⇒ 問 21 へ

問 21-1 宛名のお子さんが病気のやけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、
この1年間に、宛名のお子さんが病気がけがで幼稚園や保育所、認定こども園等が利用できなかったことは
ありますか。（1つに○）

※それぞれの日数も□内に数字で記入ください（平日休日の対応の場合も1日とカウントしてください。）
(数字は一律に一字)

1年間の対処方法		日数
1	父親が休んだ	□ □ 日
2	母親が休んだ	□ □ 日
3	(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	□ □ 日
4	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□ □ 日
5	病児・病後児の保育を利用した (保育園 (園) で実施しているサービスを含む)	□ □ 日
6	ハビシューターを利用した	□ □ 日
7	ファミリー・サポート・センターを利用した	□ □ 日
8	仕方なく子どもだけで留守番させた	□ □ 日
9	その他 ()	□ □ 日

→ 問 21-1 で「1」「2」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 21-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。
(1つに○)

※日数についても□内に数字でご記入ください(数字は一律に一字)。
※なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料(1日2,000円)が発生し、
利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

- 1 できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □ □ 日 ⇒ 問 21-3 へ
- 2 利用したいとは思わない ⇒ □ □ 日 ⇒ 問 21-4 へ

⇒ 問 22 へ

問23 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の残業等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要
があると思いますか。利用希望の有無・目的をお答えください。(当てはまる番号・まる数字すべてに○)
※日数を数字で記入ください。(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数、数字は一律に一字)
※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用者負担(利用料)が発生します。

1 利用したい	計	□	□	日
① 私用(私物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、 リフレッシュ目的		□	□	日
② 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通 院等		□	□	日
③ 不定期の残業		□	□	日
④ その他()		□	□	日
2 利用する必要はない	⇒ 問24へ			

問23-1 問23で「1 利用したい」に○をつけた方にかかいます。問23の目的でお子さんを預ける場合、
下記いずれの事業形態が望ましいと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

- 1 大規模施設で子どもを預かる事業(例：幼稚園・保育所等)
- 2 小規模施設で子どもを預かる事業(例：地域子育て支援拠点等)
- 3 地域住民等が子育て施設等近くで保育する事業(例：ファミリー・サポート・センター等)
- 4 その他()

問24 宛名のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の冠婚葬祭や育児不安、
病気など)により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童発達支援施設等で一定期間、子どもを保護する事業)の
利用希望の有無・目的をお答えください。(当てはまる番号・まる数字すべてに○)

※日数を数字で記入ください。(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数、数字は一律に一字)
※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用者負担(利用料)が発生します。

1 利用したい	計	□	□	日
① 冠婚葬祭		□	□	日
② 保護者や家族の育児疲れ・不安		□	□	日
③ 保護者や家族の病気		□	□	日
④ その他()		□	□	日
2 利用する必要はない	⇒ 問25へ			

宛名のお子さんか不定期に利用する教育・保育事業や
宿泊を伴う一時保育等についてうかがいます。

問22 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、買物や、親の通院、不定期の残業等の
目的で不定期に利用している事業はありますか。(当てはまるものすべてに○)
※1年間の利用日数(おおよそ)も口例に数字で記入ください。(数字は一律に一字)

利用している事業・日数(年間)	
1 一時保育 (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを 保育する事業)	□ □ 日
2 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち 不定期に利用する場合のみ)	□ □ 日
3 ファミリー・サポート・センター (子育てのお手伝いができる方(協力会員)が、子育てを手伝っ てほしい方(依頼会員)の子育てをサポートする事業)	□ □ 日
4 夜間看護事業：トワイライトステイ (児童発達支援施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	□ □ 日
5 ベビーシッター	□ □ 日
6 その他()	□ □ 日
7 利用していない	

⇒ 問23へ

問22-1 問22で「7 利用していない」に○をつけた方にかかいます。
現在利用していない理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

- 1 特に利用する必要がない
- 利用したい事業が地域にない
- 地域の事業の質に不安がある
- 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・
日数など)がよくない
- 利用料がかかる・高い
- 利用料がわからない
- 自分が事業の対象者になるのかどうか
わからない
- 事業の利用方法(手続き等)がわからない
- 利用できる事業があることを知らなかった
- その他()

問26 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（当てはまるものすべてに○）
 ※希望する1週当たりの日数を口内に数字でご記入ください。
 ※「16 放課後児童クラブ（学童保育）」と「18 放課後等デイサービス」の場合には、希望する時間もしくは数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください。（数字は一種に一文字）
 ※だいたいおのりのことになりましたが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1 自宅	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>
2 祖父母や友人・知人宅	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>
3 習い事 （ピアノ/教室、サッカー/クラブ、学習塾など）	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>
4 児童館 ※1	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>
5 放課後子ども教室 ※2	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>
6 放課後児童クラブ（学童保育） ※3	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>
7 ファミリー・サポート・センター ※4	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>
8 放課後等デイサービス ※5	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>
9 その他（公民館、図書館、公園など）	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>

※1～※5の説明については、16ページをご覧ください。

問27 宛名のお子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休学期間について、問25、または問26にある「16 放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望はありますか。（1に○）

※利用したい期間帯を、口内に（例）08時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一種に一文字）。

1 低学年（1～3年生）の間は利用したい 利用したい時間帯

2 高学年（4～6年生）まで利用したい 時から 時から 時まで

3 利用する必要はない

宛名のお子さんが5歳以上（平成29年4月2日～平成30年4月1日生まれ）の方へ
 ⇒ 5歳未満の方は、問28へ

小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

問25 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（当てはまるものすべてに○）

※希望する1週当たりの日数を口内に数字でご記入ください。
 ※「16 放課後児童クラブ（学童保育）」と「18 放課後等デイサービス」の場合には、希望する時間もしくは数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください。（数字は一種に一文字）

1 自宅	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>
2 祖父母や友人・知人宅	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>
3 習い事 （ピアノ/教室、サッカー/クラブ、学習塾など）	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>
4 児童館 ※1	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>
5 放課後子ども教室 ※2	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>
6 放課後児童クラブ（学童保育） ※3	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>
7 ファミリー・サポート・センター ※4	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>
8 放課後等デイサービス ※5	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>
9 その他（公民館、図書館、公園など）	週	<input type="checkbox"/>	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>	<	日	<input type="checkbox"/>

※1 児童館で行う（地域児童館や児童館（子ども会） ※3時間）を利用希望の場合は「16」に回答

※2 地域の各々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者が行事などで民間団体にない留守家庭の子どもたちに、小学校の放課後や夏休みなどに家庭に代わる生活の場を提供する事業で、富山市では次の3種類の事業があります。

【地域児童館全育成事業（子ども会）】
 地域の方が小学校の余剰教室などを利用して運営しています。開館時間は校区によって異なります。（平日は17時～19時までなど、夏休みなどに閉校していない施設もあります）

【放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）】
 社会福祉法人や財団法人などが専用の施設で運営しています。開設時間は平日が19時～20時まで、土曜日や夏休みなども利用できます。

【放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）】
 利用料はクラブによって異なりますが、概ね月額10,000円～15,000円程度です。（夏休みなどの長期休暇中は20,000円以上になるクラブもあります）

※4 子育てのお手伝いができる方（協力会員）が、子育てを手伝ってほしい方（依頼会員）の手配をサポートする事業です。利用料/基本時間（月～金）7時～19時 1時間700円、基本時間外（土曜日）1時間900円

※5 障害のある小学生から高校生から高校生のお子さんを対象に、学校の放課後や夏休みなどに生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進、その他の必要な支援を行う事業です。利用には、一定の利用者負担（利用料）が発生します。

問 28-2 で「1 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にかかいます。

問 28-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(1つに○)

(1) 母親

- 1 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
- 2 利用した
- 3 利用したかったが、利用できなかった(利用できなかった)

(2) 父親

- 1 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
- 2 利用した
- 3 利用したかったが、利用できなかった(利用できなかった)

問 28-7 で「3 利用したかったが、利用しなかった(できなかった)」と回答した方にかかいます。

問 28-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

(1) 母親

- 1 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
- 2 仕事が忙しかった
- 3 短時間勤務にすると給与が減額される
- 4 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
- 5 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
- 6 配偶者が無職、祖父母等の家族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
- 7 子育てや家事に専念するため退職した
- 8 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
- 9 短時間勤務制度が利用できることを知らなかった
- 10 その他 ()

(2) 父親

- 1 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
- 2 仕事が忙しかった
- 3 短時間勤務にすると給与が減額される
- 4 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
- 5 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
- 6 配偶者が無職、祖父母等の家族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
- 7 子育てや家事に専念するため退職した
- 8 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
- 9 短時間勤務制度が利用できることを知らなかった
- 10 その他 ()

問 28-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休職を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りなかつたですか。(口内に数字をご記入ください)

※希望なしの場合は、回答不要です。

(1) 母親

歳 月

(2) 父親

歳 月

問 28-4 で産後の復帰と希望が異なる方にかかいます。

問 28-6 希望の時期に職場復帰しなかつた理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方に、その理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

①母親

- 1 希望する保育所等に入るため
- 2 配偶者や家族の希望があったため
- 3 経済的な理由で早く復帰する必要があった
- 4 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
- 5 その他 ()

②父親

- 1 希望する保育所等に入るため
- 2 配偶者や家族の希望があったため
- 3 経済的な理由で早く復帰する必要があった
- 4 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
- 5 その他 ()

(2) 「希望」より遅く復帰した方に、その理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

①母親

- 1 希望する保育所等に入れなかつたため
- 2 自分や子どもなどの体調が悪くしなかつたため
- 3 配偶者や家族の希望があったため
- 4 職場の受け入れ態勢が整っていなかつたため
- 5 子どもをみてくれる人がいなかつたため
- 6 その他 ()

②父親

- 1 希望する保育所等に入れなかつたため
- 2 自分や子どもなどの体調が悪くしなかつたため
- 3 配偶者や家族の希望があったため
- 4 職場の受け入れ態勢が整っていなかつたため
- 5 子どもをみてくれる人がいなかつたため
- 6 その他 ()

問 29 子育ての相談をする手段として、どのような方法を希望しますか。(1つに○)

- 1 対面で相談 (国・県会等)
- 2 電話で相談
- 3 オンラインで相談 (ZOOMなど)
- 4 SNSやチャットで相談
- 5 その他 ()

問 30 子育てに関する情報をどこから入手していますか。(当てはまるものをすべてに○)

- 1 自分の親
- 2 兄弟姉妹
- 3 職場の人や知人・友人
- 4 隣近所や民生委員など地域住民
- 5 保健福祉センターや市役所など行政の窓口
- 6 市の広報誌 (広報とよま)
- 7 市の子育て支援ウェブサイト「育てほとやま」
- 8 幼稚園・保育所・認定こども園や学校
- 9 子育て支援センター・児童館など
- 10 インターネット
- 11 SNS (フェイスブック、インスタグラムなど)
- 12 その他 ()

問 31 現在、子育てに関してどのような情報が欲しい、あるいは不足していると感じますか。(当てはまるもの3つまでに○)

- 1 子どもの病気や発育に関する情報
- 2 子どもの食事や栄養に関する情報
- 3 子どもの遊ばせ方やしつけに関する情報
- 4 虐待防止に関する情報
- 5 医療機関に関する情報
- 6 子育てに関する相談窓口の情報
- 7 保育園、保育施設、幼稚園等に関する情報
- 8 音楽教室・体育教室などの習い事や塾の情報
- 9 小学校に関する情報
- 10 中学校など子どもの進路や進学に関する情報
- 11 子どもと一緒に外出できる遊び場や施設等の情報
- 12 外出先のベビーベッドや授乳スペース、おむつ替えスペース等の情報
- 13 子育て支援に関する市の施策や事業等に關する情報
- 14 ハビーショップやホームヘルパー等自宅での雇用サービスに関する情報
- 15 サークル等、親同士のネットワークに関する情報
- 16 その他 ()
- 17 特になし

問 32 岡山市の子育てに関する施策の中で今後さらに充実して欲しいと思う施策は何ですか。(当てはまるものをすべてに○)

- 1 子育てに関する相談体制
- 2 教育に関する相談体制
- 3 男女共同参画に関する取組
- 4 保育所・保育園等の保育サービス
- 5 幼稚園等の幼児教育や学校教育
- 6 家庭や地域における子育て環境向上に関する取組
- 7 妊婦検や出産前の母子保健サービス
- 8 小児医療体制
- 9 遊び場や住環境整備の取組
- 10 安全な子育て環境に関する取組
- 11 青少年期の心と体の健康づくりに関する取組
- 12 要保護児童等の支援
- 13 ひとり親家庭への支援
- 14 障害児施策
- 15 子育てに関する経済的支援
- 16 ワーク・ライフ・バランスの意識づくりに関する取組
- 17 雇用環境の整備
- 18 子育て支援に関する情報発信
- 19 子育てに関する手続きのデジタル化
- 20 その他 ()

問 28-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にかがいます。

問 28-4 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(1つに○)

- (1) 母親
 - 1 1歳になるまで育児休業を取得したい
 - 2 1歳になる前に復帰したい
- (2) 父親
 - 1 1歳になるまで育児休業を取得したい
 - 2 1歳になる前に復帰したい

問 28-9で「1. 1歳になるまで育児休業を取得したい」と回答した方にかがいます。

問 28-10 宛名のお子さんが2歳になったときに必ず利用できる保育事業があれば、2歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても2歳になる前に復帰しますか。(1つに○)

- (1) 母親
 - 1 2歳になるまで育児休業を取得したい
 - 2 2歳になる前に復帰したい
- (2) 父親
 - 1 2歳になるまで育児休業を取得したい
 - 2 2歳になる前に復帰したい

問 33 例えば、子どもを連れて外出した際などにおいて、ちょっとした気遣い・配慮があっただけで、とても助かったこと、あるいは困ったことなどがあれば、ご自由にご記入ください。

問 34 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。(1つに○)

満足度が低い ←	2	3	4	5	→ 満足度が高い
1					

問 35 最後に、子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からのようなサポートがあればよいが、また、教育・保育施設の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

アンケートは以上で終わりです。
 最後までご協力いただき、誠にありがとうございました。
 ◎アンケート用紙は同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、
12月25日（月）までに投函してください。

(2) 小学生の保護者

小学生の保護者の方へ

子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査について

みなさまには、日頃から富山市政にご理解をいただきありがとうございます。

本市は、「子育て日本一とやま」を目指して取り組んでおり、ニーズ調査の結果をふまえて、未来ある子どもたちが健やかに成長できる環境の整備に向けた計画を作成したいと考えております。ご多忙のこととは存じますが、調査にご協力くださいますようお願いいたします。


※所要時間は10分程度です。

ご記入いただいたアンケート用紙は、封筒に入れ、**12月6日(水)**までに、学校の担任の先生に提出願います。

なお、郵送で類似した調査票（未就学児童の保護者を対象としたニーズ調査）が届く場合がありますが、統計上必要な調査であり、それぞれご協力をお願いいたします。

【問い合わせ先】
〒930-8510
富山市新桜町7番38号
富山市子ども家庭部こども支援課
電話076-443-2252（直通）

子ども・子育て支援事業に関する ニーズ調査票



【ご記入にあたってのお願い】

- 1 アンケートは、お子さんの保護者の方が記入してください。（無記名です）、氏名・住所の記入の必要はありません。
- 2 ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。
- 3 質問によって、○をつける数を「1つに○」などと指定しています。また、「その他」をお選びいただいた場合、その後にある（ ）内には、具体的な内容を記入してください。
- 4 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制（例：午後6時は18時）で記入してください。
- 5 前の設問へのご回答によっては、次の設問に回答していただく必要がなくなる場合がありますので、ことわり書きや欠印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は次の設問にお進みください。
- 6 ご記入が済みましたら、お手数ですが封筒に入れて、**12月6日(水)**までに、学級担任へ提出してください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、次の問い合わせ先までお願いいたします。

富山市子ども家庭部こども支援課 電話076-443-2252（直通）

宛名のお子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 子育てを楽しいと感じることが多いと思えますか、それとも辛いと感じることが多いと思えますか。(1つに○)

- 1 楽しいと感じることが多い
- 2 楽しいと感じることが多いと感じることが同じくらい
- 3 辛いと感じることが多い
- 4 その他()
- 5 わからない

問8 子育てに関する不安や悩みを誰に相談していますか。(当てはまるものすべてに○)

- 1 不安や悩みを相談する必要性を感じていない
- 2 配偶者(パートナー)
- 3 兄弟姉妹
- 4 親
- 5 隣近所や民生委員など地域住民
- 6 職場の人や知人・友人
- 7 幼稚園・保育所・認定こども園や学校の先生
- 8 塾や習い事の先生
- 9 かかりつけの医師
- 10 保健所・保健福祉センター
- 11 専門の相談員(市の相談窓口など)
- 12 フェイスブック、インスタグラムなど SNS 上の友達
- 13 その他()
- 14 相談できる相手がいらない

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの小学校区(居住区)をお答えください。(当てはまる番号1つに○)

- (1 芝園 2 西田地方 3 中央)
- 東部 (4 栄町 5 東部 6 山手 7 山手中部 8 新庄 9 新庄北 10 丘田 11 藤ノ木)
- 西部 (12 四方 13 八幡 14 倉垣 15 卓島 16 五福 17 板台 18 神原)
- 南部 (19 沼川 20 沼川南 21 堀川 22 太田 23 藤野 24 月岡 25 新保 26 光陵)
- 北部 (27 岩瀬 28 木田 29 沼田 30 萩浦 31 針番 32 栗田 33 奥田 34 奥田北)
- 呉羽 (35 呉羽 36 吾沢 37 若田 38 香江 39 長岡 40 池邊)
- 水橋 (41 水橋中部 42 水橋西部 43 水橋北部 44 三枝)
- 大次野・郷入 (45 大次野 46 大次野 47 郷入 48 神正田)
- 大山 (49 上海 50 木庄 51 福沢 52 小見)
- 八尾・山井 (53 八尾 54 保内 55 杉原 56 穂原 57 山田)
- 奥中 (58 遠尾 59 駒坂 60 新日 61 菅野 62 占里 63 青川 64 神原)

※この事情により他の校区へ通学しておられる場合も実際に「居住区」にて番号をお選びください。

おさんとご家族の状況についてうかがいます。

問2 おさんの学年をご記入ください。(口内に数字をご記入ください。数字は一律に一字)

小学 年生

問3 おさんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。(口内に数字をご記入ください)

※2人以上のおさんがいらっしゃる場合は、おさんの生年月日をご記入ください。

きょうだい数 人 未子の生年月日 平成・令和 年 月 日 月生まれ
(おさんの数すべて)

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。おさんからみられた関係をお答えください。(1つに○)

1 母親 2 父親 3 その他()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶者についてお答えください。(1つに○)

1 配偶者がいる 2 配偶者はいない

問6 おさんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。おさんからみられた関係をお答えください。(1つに○)

1 父母ともに 2 主に母親 3 主に父親 4 主に祖父母 5 その他()

問10 問9の(1)、または(2)で「3」「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にご回答ください。
 ⇒**就労しお祝い方は、問12へ**
 フルタイムへの転換希望はありますか。

- (1) 母親の転換希望 (1つに○)
- フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) への転換希望があり、表現できる見込みがある
 - フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) への転換希望はあるが、表現できる見込みはない
 - パート・アルバイト等 (フルタイム) 以外) の就労を続けることを希望
 - パート・アルバイト等 (フルタイム) 以外) をやめて子育てや家事に専念したい
- (2) 父親の転換希望 (1つに○)
- フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) への転換希望があり、表現できる見込みがある
 - フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) への転換希望はあるが、表現できる見込みはない
 - パート・アルバイト等 (フルタイム) 以外) の就労を続けることを希望
 - パート・アルバイト等 (フルタイム) 以外) をやめて子育てや家事に専念したい

問11 問9の(1)、または(2)で「5」以前は就労していたが、現在は就労していない) または「6」これまで就労したことがない)に○をつけた方にご回答ください。 ⇒**就労しお祝い方は、問12へ**
 就労したいという希望はありますか。(当てはまるもの1つに○、希望する就労形態1つに○)
 (該当する□内には数字をご記入ください。数字は1桁に1字)

- (1) 母親の就労希望
- 子育てや家事などに専念しない (就労の予定はない)
 - 1年より先、一番下の子どもが 歳になったら就労したい
 - すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- ① フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 ② パート・アルバイト等 (フルタイム) 以外)
 →1選当たり 日 1日当たり 時間

- (2) 父親の就労希望
- 子育てや家事などに専念しない (就労の予定はない)
 - 1年より先、一番下の子どもが 歳になったら就労したい
 - すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
- 希望する就労形態
- ③ フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 ④ パート・アルバイト等 (フルタイム) 以外)
 →1選当たり 日 1日当たり 時間

保護者の就労状況についてうかがいます。

問9 お子さんの保護者の現在の就労状況 (自営業、家族従業員含む) をうかがいます。
 (1) 母親の就労状況をお答えください。(1つに○) ※父子家庭の場合は記入不要です。

- フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) で就労しており、産休・育休・介護休業・その他休業中ではない
 - フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) で就労しているが、産休・育休・介護休業・その他休業中である
 - パート・アルバイト等 (フルタイム) 以外の就労) で就労しており、産休・育休・介護休業・その他休業中ではない
 - パート・アルバイト等 (フルタイム) 以外の就労) で就労しているが、産休・育休・介護休業・その他休業中である
 - 以前は就労していたが、現在は就労していない
 - これまで就労したことがない
- ⇒ (1)-1へ
- ⇒ (2)へ

(1)-1 (1)で「1~4」(就労している)に○をつけた方にご回答ください。
 1選当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間 (残業時間を含む)」家を出る時間、帰宅時間をお答えください。(□内に数字をご記入ください。数字は1桁に1字)

※それらが一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 ※休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 ※時間は、必ず (例) 00時~18時のように、24時間制でお答えください。

1選当たり 日 1日当たり 時間

家を出る時間 時 分 帰宅時間 時 分

(2) 父親の就労状況をお答えください。(1つに○) ※母子家庭の場合は記入は不要です。

- フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) で就労しており、産休・介護休業・その他休業中ではない
 - フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労) で就労しているが、産休・介護休業・その他休業中である
 - パート・アルバイト等 (フルタイム) 以外の就労) で就労しており、産休・介護休業・その他休業中ではない
 - パート・アルバイト等 (フルタイム) 以外の就労) で就労しているが、産休・介護休業・その他休業中である
 - 以前は就労していたが、現在は就労していない
 - これまで就労したことがない
- ⇒ (2)-1へ
- ⇒ 問11へ

(2)-1 (2)で「1~4」(就労している)に○をつけた方にご回答ください。
 1選当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間 (残業時間を含む)」家を出る時間、帰宅時間をお答えください。(□内に数字をご記入ください。数字は1桁に1字)

※それらが一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 ※休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 ※時間は、必ず (例) 00時~18時のように、24時間制でお答えください。

1選当たり 日 1日当たり 時間

家を出る時間 時 分 帰宅時間 時 分

お子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問12 お子さんが小学校1～3年生の方へ
 小学校低学年(1～3年生)の間は、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどこで過ごしていますか。
 また、どこで過ごさせたいと思いますか。
 ⇒4年生以上の方は問13へ

現状・希望それぞれ〇をつけた選択肢について、1週当たりの日数を口内に数字で記入ください。

※16 放課後児童クラブ(学童保育)と「9 放課後等デイサービス」の場合には、時間も口内に数字で記入ください。※期間は、必ず(例)18時のように24時間制で記入ください。
 (数字は一律に一字)

	現状	希望
1 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらいい <input type="checkbox"/> 日くらいい	週 <input type="checkbox"/> 日くらいい <input type="checkbox"/> 日くらいい
2 祖父母や友人・知人家	週 <input type="checkbox"/> 日くらいい <input type="checkbox"/> 日くらいい	週 <input type="checkbox"/> 日くらいい <input type="checkbox"/> 日くらいい
3 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらいい <input type="checkbox"/> 日くらいい	週 <input type="checkbox"/> 日くらいい <input type="checkbox"/> 日くらいい
4 児童館 ※1	週 <input type="checkbox"/> 日くらいい <input type="checkbox"/> 日くらいい	週 <input type="checkbox"/> 日くらいい <input type="checkbox"/> 日くらいい
5 放課後子ども教室 ※2	週 <input type="checkbox"/> 日くらいい <input type="checkbox"/> 日くらいい	週 <input type="checkbox"/> 日くらいい <input type="checkbox"/> 日くらいい
6 放課後児童クラブ(学童保育) ※3	週 <input type="checkbox"/> 日くらいい <input type="checkbox"/> 日くらいい	週 <input type="checkbox"/> 日くらいい <input type="checkbox"/> 日くらいい
7 ファミリー・サポート・センター ※4	→下校時から <input type="checkbox"/> 時まで	→下校時から <input type="checkbox"/> 時まで
8 放課後等デイサービス ※5	週 <input type="checkbox"/> 日くらいい <input type="checkbox"/> 日くらいい	週 <input type="checkbox"/> 日くらいい <input type="checkbox"/> 日くらいい
9 その他(公民館、図書館、公園など)	→下校時から <input type="checkbox"/> 時まで	→下校時から <input type="checkbox"/> 時まで

※1 児童館で行う「地域児童館育成事業(子ども会)」※3施設を利用希望の場合は「6」に回答
 地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。
 ※2 保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。
 ※3 保護者が生息できない児童家庭にない児童家庭の子どもたちに、小学校の放課後児童館に代わる生活の場を提供する事業で、香川県では次の2種類の事業があります。

①地域児童館育成事業(子ども会)
 地域の方々が小学校の余剰教室などを利用して運営しています。開館時間は校区によって異なります。(平日は17時や18時までなど、夏休みなどに開館していない校区もあります)
 ※4 利用料は無料ですが、おやつ代などの実費を徴収する校区もあります。

②放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)
 社会福祉法人や財団・法人などが専用の施設で運営しています。開館時間は平日が18時や20時まで、土曜日や夏休みなども利用できます。

※4 利用料はクラブによって異なりますが、概ね月額10,000円～15,000円程度です。(夏休みなどの長期休校期間中は20,000円以上となるクラブもあります。)

※5 子育てのお手伝いができる方(ボランティア)が、子育てを手伝ってほしい方(依頼会員)の子育てをサポートする事業です。利用料/基本時間(月～金)7時～19時/1時間1700円、基本時間外、1時間900円

※6 遊星のある小学生から小学生の子どもを対象に、学校の放課後や夏休みなどに生活能力の向上に必要な知識、社会との交流の促進、その他必要な支援を行う事業です。利用料は、一定の利用者負担(利用料)が発生します。

問13 すべての方へ(お子さんが小学校1～6年生の方)

お子さんが小学校高学年(4～6年生)の間、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどこで過ごしていますか。また、どこで過ごさせたいと思いますか。現状・希望それぞれ〇をつけた選択肢について、1週当たりの日数を口内に数字で記入ください。

※16 放課後児童クラブ(学童保育)と「9 放課後等デイサービス」の場合には、時間も口内に数字で記入ください。※期間は、必ず(例)18時のように24時間制で記入ください。
 (数字は一律に一字)

	現状	希望
1 自宅	(小学校4～6年生のみ) 週 <input type="checkbox"/> 日くらいい <input type="checkbox"/> 日くらいい	(小学校1～6年生) 週 <input type="checkbox"/> 日くらいい <input type="checkbox"/> 日くらいい
2 祖父母や友人・知人家	週 <input type="checkbox"/> 日くらいい <input type="checkbox"/> 日くらいい	週 <input type="checkbox"/> 日くらいい <input type="checkbox"/> 日くらいい
3 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらいい <input type="checkbox"/> 日くらいい	週 <input type="checkbox"/> 日くらいい <input type="checkbox"/> 日くらいい
4 児童館 ※1	週 <input type="checkbox"/> 日くらいい <input type="checkbox"/> 日くらいい	週 <input type="checkbox"/> 日くらいい <input type="checkbox"/> 日くらいい
5 放課後子ども教室 ※2	週 <input type="checkbox"/> 日くらいい <input type="checkbox"/> 日くらいい	週 <input type="checkbox"/> 日くらいい <input type="checkbox"/> 日くらいい
6 放課後児童クラブ(学童保育) ※3	週 <input type="checkbox"/> 日くらいい <input type="checkbox"/> 日くらいい	週 <input type="checkbox"/> 日くらいい <input type="checkbox"/> 日くらいい
7 ファミリー・サポート・センター ※4	→下校時から <input type="checkbox"/> 時まで	→下校時から <input type="checkbox"/> 時まで
8 放課後等デイサービス ※5	週 <input type="checkbox"/> 日くらいい <input type="checkbox"/> 日くらいい	週 <input type="checkbox"/> 日くらいい <input type="checkbox"/> 日くらいい
9 その他(公民館、図書館、公園など)	→下校時から <input type="checkbox"/> 時まで	→下校時から <input type="checkbox"/> 時まで

※1～※5の説明については、6ページをご覧ください。

問14 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休校期間中について、問12、または問13にある「6 放課後児童クラブ(学童保育)」の利用希望はありますか。(1つに○)

※利用したい時間帯を、口内に(例)08時～18時のように24時間制で記入ください(数字は一律に一字)。

- 1 3年生まで利用したい(1～3年生のみ) → 時から 時まで
- 2 4～6年生まで利用したい → 時から 時まで
- 3 利用する必要はない

問15 子育ての相談をする手段として、どのような方法を希望しますか。(1つに○)

- 1 対面で相談(直接会って)
- 2 電話で相談
- 3 オンラインで相談(ZOOMなど)
- 4 SNSやチャットで相談
- 5 その他()

問 19 例えば、子どもを連れて外出した際などにおいて、ちょっとした気遣い・配慮があったことや助かったこと、あるいは困ったことなどがあれば、ご自由にご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

問 20 お住みの地域における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。(1つに○)



問 21 最後に、子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいか、また、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由に記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

アンケートは以上で終わりです。
最後までご協力いただき、誠にありがとうございました。
◎アンケート用紙は封筒に入れ、**12月6日(月)までに**
学校の担任の先生に提出してください。

問 16 子育てに関する情報をどこから入手していますか。(当てはまるものすべてに○)

- 1 自分の親
- 2 兄弟姉妹
- 3 親戚の人や知人、友人
- 4 隣近所や学区委員会など地域住民
- 5 保健福祉センターや市役所など行政の窓口
- 6 市の広報誌(広報とやま)
- 7 市の子育て支援ウェブサイト「子育てとやま」・母子健康手帳アプリ(母子七)など
- 8 幼稚園・保育園・認定こども園や学校
- 9 子育て支援センター・児童館など
- 10 インターネット
- 11 SNS(フェイスブック、インスタグラムなど)
- 12 その他()

問 17 現在、子育てに関してどのような情報が欲しい、あるいは不足していると感じますか。

(当てはまるもの3つまでに○)

- 1 子どもの病気や発育に関する情報
- 2 子どもの食生活や水害に関する情報
- 3 子どもの遊ばせ方やしつけに関する情報
- 4 虐待防止に関する情報
- 5 医療機関に関する情報
- 6 子育てに関する相談窓口の情報
- 7 保育園、保育施設、幼稚園等に関する情報
- 8 音楽教室・体育教室などの習い事や塾の情報
- 9 小学校に関する情報
- 10 中学校など子どもの通学や通学に関する情報
- 11 子どもと一緒に出出でできる遊び場や施設等の情報
- 12 外出先のベビーカーやベビーカーに関する情報
- 13 子育て支援に関する市の施策や事業等に関する情報
- 14 ベビーシッターやホームヘルパー等に関する情報
- 15 サークル等、親同士のネットワークに関する情報
- 16 その他()
- 17 特になし

問 18 岡山市の子育てに関する施策の中で今後さらに充実してほしいと思う施策は何ですか。

(当てはまるものすべてに○)

- 1 子育てに関する相談体制
- 2 教育に関する相談体制
- 3 男女共同参画に関する取組
- 4 保育所・保育園等の保育サービス
- 5 幼稚園等の幼児教育や学校教育
- 6 家庭や地域における子育て環境向上に関する取組
- 7 妊婦層や産後の母子保健サービス
- 8 小児医療体制
- 9 遊び場や住環境整備の取組
- 10 安全な子育て環境に関する取組
- 11 青少年期の心と体の健康づくりに関する取組
- 12 要保護児童等の支援
- 13 ひとり親家庭等への支援
- 14 障害児施策
- 15 子育てに関する経済的支援
- 16 ワーク・ライフ・バランスの意識づくりに関する取組
- 17 雇用環境の整備
- 18 子育て支援に関する情報発信
- 19 子育てに関する手続きのデジタル化
- 20 その他()

富山市
子ども・子育て支援事業に関する
ニーズ調査結果報告書

発行日 令和6年3月
発行者 富山県 富山市役所 こども家庭部 こども支援課
住 所 〒930-8510 富山県富山市新桜町7番38号
T E L 076-443-2252
F A X 076-443-2169
URL <https://www.city.toyama.lg.jp/>